

令和3年度

高知医療センター年報

高知県・高知市病院企業団立高知医療センター

目次

I 病院の概要

1 高知医療センターの理念及び基本方針	
患者さんの権利章典	2
2 高知医療センターの概要	3
3 沿革	4
4 高知県・高知市病院企業団体制	9
5 職員数と診療体制	
(1) 職員・職種別現員表	10
(2) 診療体制	11
(3) 経営分析に関する調	12
6 施設基準	14
7 財務の状況	
(1) 損益状況	20
(2) 貸借対照表	21
(3) 収益費用明細書	22
(4) 資本的収支明細書	24
(5) 一般会計繰入金	25

II 各診療科資料

総合診療科	28
精神科	29
児童精神科	30
地域医療科	31
血液内科・輸血科	32
糖尿病・内分泌内科	33
放射線科・放射線療法科	34
緩和ケア内科	35
腫瘍内科	36
ペインクリニック科	37
病理診断科	38
脳神経外科	39
眼科	40
耳鼻咽喉科	41
歯科口腔外科	42
呼吸器内科	43
呼吸器外科	44
循環器内科	45
心臓血管外科	47
消化器内科	48
消化器外科・一般外科	49
泌尿器科	50
腎臓内科・膠原病科	51
移植外科	52
婦人科	53
産科	54
生殖医療科	55
小児科	56
小児外科	57
救命救急科	58
麻酔科・集中治療科	60
皮膚科	61
整形外科	62
形成外科	63
乳腺・甲状腺外科	64

Ⅲ 各委員会資料

医療安全管理委員会	68
医療関連感染対策委員会	69
ICT（感染制御チーム）運営部会	70
AST（抗菌薬適正使用支援チーム）運営部会	71
職員の業務負担軽減委員会	71
診療情報管理委員会	72
DPC コーディング委員会	73
臨床研修管理委員会（医科）	74
臨床研修管理委員会（歯科）	75
医の倫理委員会	76
治験審査委員会	76
がんセンターボード運営部会	77
抗がん剤レジメン管理委員会	78
行動制限最小化委員会	78
褥瘡防止委員会	79
適正輸血療法推進委員会	80

Ⅳ クリニカルインディケータ

1 退院患者数	
(1) 診療科別・性別退院患者数	82
(2) 診療科別・在院期間別・性別退院患者数	83
(3) 診療科別・性別・在院日数の平均	86
(4) 診療科別・年齢階層別・性別退院患者数	87
(5) 診療科別・年齢階層別・ 性別在院日数の平均	90
(6) 大分類別・性別退院患者数・平均年齢・ 在院日数の平均	93
(7) 中分類別・性別退院患者数・平均年齢・ 在院日数の平均	96
(8) 小分類別・手術の有無・年齢階層別退院 患者数・平均年齢・在院日数の平均	117
2 外来患者数	153
3 疾病分類別統計	
全科疾病分類別上位頻度表	154
4 D P C 統計	
(1) MDC 別退院患者数	159
(2) 在院期間別退院患者数	160
(3) MDC 別・年齢別・性別退院患者数	161
(4) MDC 別退院患者・救急搬送数	162
(5) 科別診断群分類（D P C）上位頻度表	163
(6) 退院後の患者の動向	171
5 悪性新生物統計	
(1) 悪性新生物 主な手術・処置件数	172
(2) 悪性新生物による死亡患者数	179
6 死亡患者統計	
(1) 科別死亡率	180
(2) 死亡患者数	181
(3) 死亡患者数の割合	182
(4) 年齢別死亡患者数	183
(5) 死亡患者疾病順位表〈性別・年齢別〉	184

高知県・高知市病院企業団立高知医療センター
病院長 小野 憲昭

平素より高知医療センターに対してご理解ご支援をいただき、まことにありがとうございます。令和3年度高知医療センター年報が完成いたしました。当院の活動状況、経営状況についてまとめておりますのでご参照いただきたく存じます。

当院は、令和3年度、平成17年3月の開院から17年経過いたしました。高知県の医療各分野での要として、「医療の主人公は患者さん」の理念のもと、高度急性期病院、地域医療支援病院、第1・2種感染症指定病院、基幹災害拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、へき地医療拠点病院、臨床研修指定病院、救命救急センター、総合周産期母子医療センター、DPC特定病院群、等多くの重要な機能を担い、地域の医療機関の皆さまとの強く厚い医療連携を行い、県民市民の皆さまに最善な医療を提供しています。人口減少、少子高齢化、また医療の高度化、高額化の中、世の中の多くの変化に対応しながら、地域医療の中核病院として、最新の医療を提供できますよう努力しております。

令和3年度には、新たな5年間の経営計画を策定、スタートさせました。当院を取り巻く社会変化を踏まえ、働き方改革の推進を含めた大きな外部環境の変化に対応しつつ、収支改善や急性期機能の発揮等の経営課題を着実に解決してまいります。

10月からは、高度医療に適正に対応するため、特定入院料病床である3階病棟他の再編（[3A]ICU12床・[3B]HCU20床）、配置運用の見直しを行いました。

2年以上に及ぶ新型コロナウイルス感染症の流行・まん延・遷延に対して、感染症指定医療機関である当院は、令和2年2月以降高知県内で発症した多数のコロナ陽性患者の診療を最優先課題として対応してまいりました。令和3年度も、アルファ株による第4波では重症者に、それに引き続く7月以降のデルタ株による第5波では、患者の多くが若年者となる中、入院を必要とした重症化リスクを持つ高齢者を中心に入院加療を行いました。令和4年1月以降の感染力の強いオミクロン株による第6波では、重症化し介護も要する高齢者に加え、透析・移植患者や、基礎疾患の治療を必要とする陽性患者が増加し医療負荷を増加させましたが、一般入院病棟を縮小させ、かつ3次救急の受入れ体制を可能な限り維持しつつ、当院で加療する必要のあるコロナ陽性患者への入院加療を断ることなく行いました。現在令和4年度に入り、さらに職員の自宅療養・待機者の急増も加わっていますが、BA-5変異株による第7波に対応し続けています。

今後も、職員の育成強化・意識醸成・確保を基盤としつつ、医療提供サービスと業務プロセスに戦略的に取り組み、「県民・市民に選ばれる中核病院として高度な医療を提供するとともに地域の不足機能を担い地域に貢献」、「職員に選ばれ、働きがいを持ち、働き続けたいと思える組織」、「収支の健全化達成」の経営ビジョンの達成に向け、職員一丸となり日々進んでまいりますので、ご理解ご支援をよろしくお願い申し上げます。

I 病院の概要

高知医療センターの理念及び基本方針

【理 念】医療の主人公は患者さん

【基本方針】

1 患者さんから信頼され、温かい人間性に裏打ちされた夢と希望を提供する医療を実践します

- 患者さんの人間性を尊重し、十分な説明を行うことで、患者さんの理解をもとにした診療を実践します。
- 患者さんのプライバシーを守り、安全で質の高い療養環境を提供します。
- チーム医療を推進し、患者さんの心と体の痛みを和らげるように努め、一日も早い日常生活への復帰を目指します。

2 地域医療連携を基本とした良質で高度な医療を提供します

- 医療や保健・福祉の向上のため、地域の病院や診療所、関係機関との連携を強化します。
- 高度な医療機器を備えて、高度で先進的な医療を提供します。
- 365日24時間体制で救急患者を受け入れます。

3 自治体病院としての使命を果たします

- 基幹災害拠点病院として、大地震などの災害時にも医療機能が発揮できる病院にします。
- 地域で不足する医療の確保に努めます。
- 医療福祉職、学生などの教育・研修に力を入れ、今後の医療・保健・福祉を担う人材を育てます。

4 職員が誇りとやりがいを持ち、成長できる病院にします

- 高知医療センターに関わるすべての職員が、誇りと向上心を持ち、総力を挙げて患者さんの立場に立った医療を提供するための資質向上に取り組みます。
- 医学、看護学、薬学、栄養学などの臨床研究に力を入れ、職員のキャリア形成を支援します。

5 公正で開かれた病院運営と健全な経営を目指します

- モラルを守り、公正で開かれた病院を目指します。
- 効率的な病院運営に努め、健全な経営を実践します。

患者さんの権利章典

患者さんには「受ける権利」「選べる権利」「守られる権利」の3つの権利があります

1 「受ける権利」

- ①患者さんは、ご自身の病気について最善の医療を受ける権利があります。
- ②患者さんは、経済的・社会的地位、年齢、性別、病気の種類などにかかわらず、公平な医療を受ける権利があります。
- ③患者さんは、原則としてご自身の正確な病状や治療・経過を知る権利があります。
- ④患者さんは、病気に立ち向かうための支援を受ける権利があります。あらゆるご相談は、1階の[まごころ窓口]へお寄りください。
- ⑤患者さんは、病気に立ち向かうために自ら学ぶ機会を提供される権利があります。どなたでも病気についての知識を深めるため、2階の[なるほどライブラリ]をご利用いただけます。

2 「選べる権利」

- ①患者さんは、検査、治療法、病気の見通しなどについて、わかりやすい言葉で納得できるまで説明を受け、そのうえで自らの生き方に沿って治療方法などを選択する権利があります。
- ②患者さんは、病状や治療法などについて担当医以外の医師の意見(セカンドオピニオン)を求めたうえで、治療方法などを選択する権利があります。
- ③患者さんは、正しい病名を告知される権利がありますが、一方、告知されない権利もあり、このいずれかを選ぶことができます。
- ④患者さんは、判断する能力が失われたような場合にそなえて、治療法などについて、あらかじめ明らかにしておく権利があります。
- ⑤患者さんは、法律が許す範囲で治療を拒絶する権利があります。またその場合には、医学的にどのような結果になるかを知る権利もあります。

3 「守られる権利」

- ①患者さんは、病気を克服しようとする主体として、その生命・身体・人格を尊重され、守られる権利があります。
- ②患者さんは、医療が実践されるあらゆる場面で、ご自身の個人情報第三者の目に触れることのないように配慮され、守られる権利があります。
- ③患者さんは、法令に基づく場合以外においては、本人の同意がなければ個人情報に関与する医療従事者以外に開示されないよう、守られる権利があります。
- ④患者さんは、医療に関係するすべての記録などが守秘されることを期待する権利があります。
- ⑤患者さんは、診断・治療データなどが研究・発表などに使われる際には、当院の定めるところによりプライバシーが守られる権利があります。

名称	高知県・高知市病院企業団立高知医療センター
開設者	企業長 山本 治
病院長	小野 憲昭
住所	〒781-8555 高知市池 2125 番地 1
連絡先	TEL : 088-837-3000 FAX : 088-837-6766
ホームページ	URL : http://www.khsc.or.jp
E-mail	khsc_info@khsc.or.jp
病床数	一般 548 床、結核 20 床、感染 8 床、精神 44 床 計 620 床 内 救命救急 20 床 (ICU 8 床、CCU 4 床、HCU 8 床) 院内 ICU 8 床、NICU 12 床、後方 15 床、小児 32 床、産科 33 床 MFICU 3 床 (LDR 3 床)、開放病棟 10 床、6F SCU 10 床、HCU 12 床 特別室 19,800 円 (8 床) 9,900 円 (117 床)
特殊病床	人工透析 9 床 (許可病床数に含まず)
施設概況	敷地面積 約 56,000 m ² 延床面積 本 館 : 約 67,400 m ² 精神科病棟 : 約 2,800 m ² がんセンター棟 : 約 3,600 m ² ドクターヘリ棟 : 約 2,000 m ² 滞在施設やまもも : 約 1,100 m ² 構造 本 館 : 鉄骨鉄筋コンクリート造 (基礎免震工法) 精神科病棟、がんセンター棟 : 鉄筋コンクリート造 ドクターヘリ棟 : 鉄骨造 滞在施設やまもも : 鉄筋コンクリート造 階 数 本 館 : 地上 12 階 塔屋 1 階 精神科病棟 : 地上 2 階 塔屋 1 階 がんセンター棟 : 地上 4 階 ドクターヘリ棟 : 地上 3 階 滞在施設やまもも : 地上 1 階 高 さ 地上 58.5m 駐 車 場 約 560 台 (患者さん・見舞い客用) 身障者用 17 台、救命救急センター外来用 14 台
診療科目 (40)	アレルギー科、移植外科、眼科、感染症内科、緩和ケア内科、救急科、形成外科、外科、血液内科、呼吸器外科、呼吸器内科、産科、婦人科 (生殖医療)、歯科口腔外科、腫瘍内科、耳鼻いんこう科、消化器外科、消化器内科、小児科、小児外科、神経内科、心臓血管外科、循環器内科、腎臓内科、心療内科、整形外科、児童精神科、精神科、内科、糖尿病・内分泌内科、乳腺外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、病理診断科、ペインクリニック内科、放射線科、放射線治療科、麻酔科、リハビリテーション科
外来診療時間	8 時 30 分から 12 時、13 時から 16 時 30 分 受付 : 診療開始時間及び診療終了時間の 30 分前まで 休診 : 土・日・祝日・年末年始 (12/29 ~ 1/3)
職員数 (別掲)	医師 看護師 薬剤師 管理栄養士 医療技術 事務 その他
その他	臨床研修指定病院 救急告示病院 (平成 17 年 2 月 26 日指定) 総合周産期母子医療センター (平成 17 年 2 月 26 日指定) 救命救急センター (平成 17 年 3 月 25 日指定) 基幹災害拠点病院 第 1 種感染症指定病院 地域医療支援病院 地域がん診療連携拠点病院

3 沿革

高知医療センターの前身の高知県立中央病院は、昭和23年5月1日に開院、昭和41年に桜井町に移転し、地域がん診療拠点病院、臨床研修拠点病院、救急病院などの機能を持ち、良質な医療を提供する病院として運営してきた。一方、高知市立市民病院は明治26年に市立伝染病隔離病舎として発足した。明治31年高知市丸の内に移転、市立伝染病院として開設、昭和24年高知市立厚生病院と改称、さらに昭和25年高知市立市民病院と改称し、昭和44年潮江市民病院を統合し高知市立市民病院として、救急病院、開放型病院、オーダーリングシステムなどの機能を持ち、同じく良質な医療を提供してきた。

しかし、県民の医療に対するニーズが多様化・高度化する中で、両病院はともに施設の老朽化、狭隘化が著しく、十分な診療機能の発揮が困難となり、両病院の整備に医療法などの制約のもと、統合整備することにより、そのスケールメリットを活かすことで機能の充実を図ることができ、医療資源の効率的な活用や住民に高度医療を提供できる病院として、平成17年に高知県・高知市病院企業団立高知医療センターとして開院した。

- 平成2年 9月 (県議会)高知県立中央病院の移転整備の検討を知事が表明
- 平成3年 3月 (社)病院管理研究協会に県立中央病院の整備に関する基本調査を委託、「中央病院整備基本調査」を提出
- 平成3年 8月 (社)病院管理研究協会、コンピューターシステム研究所に高知市立市民病院の現状分析、将来構想、業務改善などの基本調査を依頼
- 平成4年 4月 高知市立市民病院分析基本調査報告、病院情報システム化計画調査分析開始
- 平成5年 2月 (県議会)高知県知事橋本大二郎「統合について市と協議したい」と申し入れ
- 平成5年 4月 高知市立市民病院業務改善推進委員会発足
- 平成5年 5月 高知県医務課、病院局、高知市の事務レベル協議会開始(5回)
- 平成6年 4月 高知市立市民病院歯科オーダーリングシステム稼動
- 平成6年 6月 医療システム科学研究所に「高知県立中央病院・高知市立市民病院統合基本調査」を委託
- 平成6年 9月 「高知県立中央病院・高知市立市民病院統合検討委員会」発足
この委員会の委員は県・市医師会代表、県・市事務職員、両病院院長・副院長、関連6大学(中央病院は岡山大学、自治医大、市民病院は徳島大学、高知医大(耳鼻科)、京都大学(外科、胸部外科)、三重大学(心臓外科))の専門委員で構成された。
- 平成6年10月 高知市立市民病院病棟オーダーリングシステム稼動
- 平成6年11月 高知県立中央病院：「高知県立中央病院事業経営改善実施計画」提出
- 平成6年11月 高知市立市民病院：「市民病院自主健全化計画」発足
- 平成7年 2月 県・市統合検討委員会の検討結果：『各々単独で整備するよりも両病院を統合して整備する方が、県民・市民に対する医療面の貢献が大きいことから、課題を解決して統合を推進すべき』
- 平成7年 7月 (市議会)「市民病院対策特別委員会」設置
- 平成7年 8月 県・市各々が世論調査を実施(県：1000人、市：1000人を対象)

平成 7年11月	高知市立市民病院外来オーダーリングシステム稼動
平成 7年12月	世論調査公表(過半数は統合に賛成)
平成 8年 4月	「高知県立中央病院・高知市立市民病院統合問題合同検討チーム」発足
平成 8年 5月	(県議会)「病院統合問題調査特別委員会」設置
平成 8年12月	(市議会)「病院統合問題調査特別委員会」の報告：『両病院の今後を検討した結果、統合整備し、統合的かつ高度な診療機能を有し、将来の医療の進歩と多様化に対応できる県下の基幹病院を新たに整備し、その整備の主体として高知県と高知市により新に一部事務組合が設立すべき』
平成 9年 1月	「統合病院立地場所合同研究チーム」発足
平成 9年12月	(市議会)「新病院は統合して池地区に立地すべき」で承認
平成10年 4月	高知県・高知市新病院整備推進室を設置
平成10年 6月	新病院整備基本計画検討委員会が発足
平成10年11月	高知県・高知市病院組合(一部事務組合)設立
平成11年 3月	新病院整備基本計画策定
平成11年 3月30日	高知新聞「県、高知市に基本計画提出 整備事業本格スタートへ」と掲載
平成11年 7月	法律第117号(PFI法)第6条「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」が発令
平成12年 4月 1日	基本設計業務開始
平成12年12月22日	新病院実施設計ワーキング・グループ：両病院において発足
平成13年 1月	統合新病院整備推進要綱策定、推進体制の確立、実施設計業務開始
平成13年 2月	統合新病院推進事業へのPFI手法の導入開始
平成13年 2月21日	(仮称)高知県・高知市新病院整備運営事業「実施方針」策定・公表
平成13年 3月	公募により名称を「高知医療センター」に決定
平成13年 4月	新病院開設許可、地方公営企業法一部適用
平成13年 5月	「高知医療センター PFI事業化検討委員会」設置(高知県・高知市)
平成13年 6月	「統合情報システム基本計画策定プロポーザル審査委員会」発足
平成13年 8月	「高知医療センター PFI事業化検討委員会」中間答申(高知県・高知市)
平成13年 9月	「高知医療センター統合情報システム基本計画」策定業務委託企業選定特定企業選定
平成13年 9月15日	「高知医療センター統合情報システム基本計画」策定
平成13年 9月27日	高知医療センター整備運営事業にかかる特定事業の選定・公表
平成13年10月	「高知医療センター整備運営事業PFIプロポーザル審査委員会」発足
平成13年11月 1日	本事業を実施する民間事業者の1次募集要項の公表・開始 事業に参加を希望する事業者の事前登録の実施 (登録期間：13.11.1～14.1.16、277社登録)

平成13年12月	1次審査実施(12.5～12.6)応募4グループ全員合格
平成14年 1月16日	県医師会、県の健康福祉部と病院組合との「統合病院の医療の在り方」について意見交換会
平成14年 3月 2日	「高知医療センター統合情報システム評価委員会」設置
平成14年 3月15日	本事業を実施する民間事業者の2次募集要項の公表・開始
平成14年 3月29日	「高知医療センター統合情報システム基本計画」策定
平成14年 5月27日	県医師会、県の健康福祉部と病院組合との「統合病院の医療の在り方」について意見交換会
平成14年 6月24日	市医師会、県の健康福祉部と病院組合との「統合病院の医療の在り方」について意見交換会
平成14年 7月	2次審査実施(7.27～7.29)、最優秀提案者オリックスグループを選出
平成14年 8月 9日	高知医療センター整備運営事業にかかる優先交渉権者、次点者の決定・契約交渉開始、優先交渉権者：オリックスグループ、次点者：三井物産グループ
平成14年 9月 2日	「高知医療センター統合情報システム評価委員会」の設置
平成14年10月 7日	「高知医療センター統合情報システム評価委員会」の提言書
平成14年10月24日	PFI基本協定の締結
平成14年10月30日	SPC(「高知医療ピーエフアイ株式会社」)設立
平成14年12月 8日	PFI事業契約の締結(平成44年3月事業の終了) 高知医療センター新築工事「起工式」
平成15年 2月25日	IT基本協定締結
平成15年 3月11日	病院組合業務システム開発整備委託契約締結
平成15年 3月28日	SPC業務システム開発整備・運営保守管理および病院組合業務システム運営保守管理委託契約締結
平成15年 4月 1日	両病院で、1患者1診療録開始
平成16年 4月 1日	高知県・高知市病院組合が運営母体となり、従来の高知県立中央病院は高知県・高知市病院組合立高知中央病院、高知市立市民病院は高知県・高知市病院組合立高知市民病院と名称を変更
平成16年12月11日	統合情報システム総合リハーサル開始(5回)
平成17年 2月13日	高知医療センター開院式、ドナルド・マクドナルド・ハウスこうち開所式
平成17年 2月19日	両病院から高知医療センターへ物品移転開始
平成17年 2月21日	両病院外来診療休診(～2.28)
平成17年 2月25日	ドナルド・マクドナルド・ハウスこうち開所
平成17年 2月26日	両病院から高知医療センターへ患者移送
平成17年 2月26日	高知医療センター開設
平成17年 2月26日	へき地医療拠点病院に指定される

平成17年 2月26日	エイズ治療拠点病院に指定される
平成17年 2月26日	第1種感染症指定医療機関に指定される
平成17年 2月26日	総合周産期母子医療センターに指定される
平成17年 3月 1日	外来診療開始
平成17年 3月 1日	高知県・高知市病院企業団設立(地方公営企業法全部適用)、正式病院名称を『高知県・高知市病院企業団立高知医療センター』と変更して開院
平成17年 3月25日	救命救急センターに指定される
平成19年 4月25日	地域医療支援病院に指定される
平成19年 7月 1日	DPC準備病院に承認される
平成20年 2月 8日	地域がん診療連携拠点病院に指定される
平成21年 2月16日	日本医療機能評価機構認定病院として認定される
平成21年 4月 1日	DPC対象病院に指定される
平成21年12月17日	高知医療センター PFI事業契約解約合意に係る確認書を締結
平成22年 3月11日	高知医療センター整備運営事業契約解約合意書を締結
平成22年 3月31日	高知医療センター整備運営事業PFI事業契約終了
平成22年 8月12日	欧州型ドクターカー(Fast Medical Response Car)の導入
平成22年11月17日	高知女子大学(現高知県立大学)と包括的連携に関する協定締結
平成23年 3月12日	高知県ドクターヘリの導入 東日本大震災のため高知県ドクターヘリにてDMAT派遣
平成23年 5月	「こころのサポートセンター(精神科病棟)」新築工事起工式
平成24年 2月	統合情報システム(IIMS)更新
平成24年 3月	「くじらネット」による電子カルテの地域公開開始
平成24年 4月	「こころのサポートセンター(精神科病棟)」新設
平成24年 4月	基幹災害拠点病院に指定される 平成8年12月19日に高知県立中央病院が指定された「基幹災害医療センター」の名称変更
平成24年 5月	ドクターヘリ場外離着陸場設置
平成24年10月	SCU新設(3床)
平成25年 1月	結核病床(30床)廃止
平成25年 4月	NICU増床(3床:計12床)、SCU増床(3床:計6床)、HCU新設(12床)
平成26年 3月	日本医療機能評価機構による「病院機能評価付加機能認定証(救急医療機能)」の交付
平成26年 7月	ハイブリッド手術室新設
平成26年10月	一般病床(周産期関係)増床(4床:計30床)
平成27年 2月	GCU増床(3床:計15床)

沿革

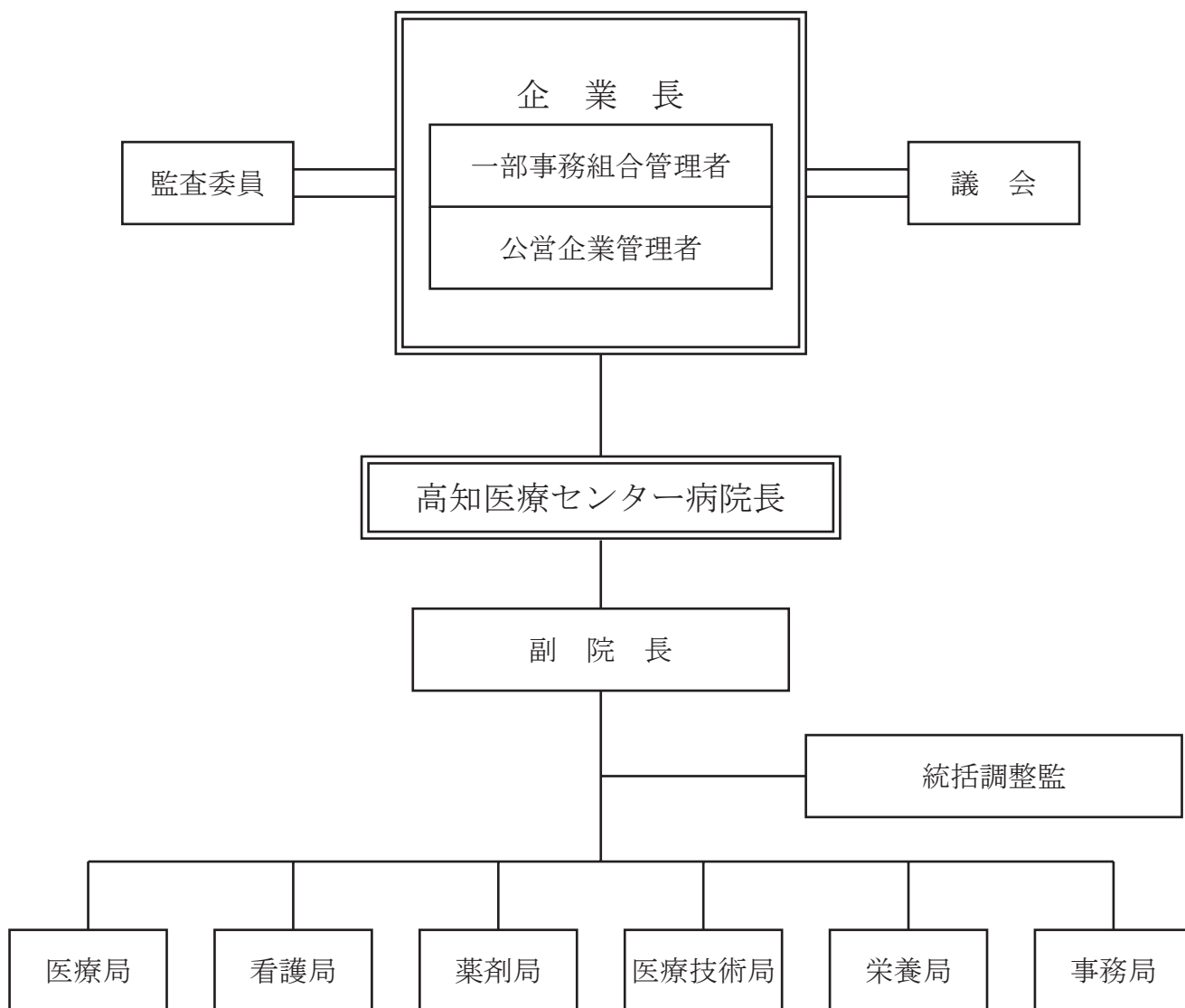
I 病院の概要

平成27年 3月	SCU増床(4床:計10床)
平成27年 5月	開院10周年記念行事
平成27年11月	「新がんセンター(仮称)」新築工事起工式
平成28年 4月	熊本地震にDMAT3隊派遣
平成29年 3月	「がんサポートセンター」竣工
平成29年11月	「患者支援センター」新設
平成31年 2月	統合情報システム(IIMS)更新
平成31年 3月31日	ドナルド・マクドナルド・ハウスこうち閉所
令和 元年 7月	滞在施設「やまもも」開所
令和 2年 2月28日	新型コロナウイルス感染症重点医療機関に指定される
令和 2年 2月29日	新型コロナウイルス感染症患者の受け入れ開始
令和 2年 4月12日	滞在施設「やまもも」一時休止(高知県に貸与)
(令和2年 4月13日	高知県による滞在施設での新型コロナ感染症患者受け入れ開始)
令和 3年10月	3階病棟再編 [3A]救命救急 20床→ICU 12床 [3B]院内ICU 8床→HCU 20床
令和 3年10月	SCU増床(8床:計18床)

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインディケータ



●6つのセンター機能

- 「救命救急センター」
- 「循環器病センター」
- 「がんセンター」
- 「総合周産期母子医療センター」
- 「こころのサポートセンター」
- 「地域医療センター」

5 職員数と診療体制

(1) 職員・職種別現員表

正職員数

所属	職種	令和2年4月1日		令和3年4月1日	
		人数	備考	人数	備考
医療局	医師	147		147	
	歯科医師	5		6	
看護局	看護師	726	助産師含む	711	助産師含む
薬剤局	薬剤師	28		29	
医療技術局	放射線技師	28		27	
	臨床検査技師	21		22	
	臨床工学技士	14		14	
	理学療法士	13		13	
	歯科衛生士	3		3	
	視能訓練士	2		2	
	言語聴覚士	5		5	
	臨床心理士	3		3	
栄養局	作業療法士	5		5	
	管理栄養士	11		11	
事務職	行政職	34		33	
	診療情報管理士	8		9	
	MSW	10		10	
	司書	1		1	
	電気	2		2	
	医療情報事務	2		2	
合 計		1,068		1,055	

(2) 診療体制

看護職員配置数(病棟看護師のみ)

令和3年4月1日現在

階	フロア	病床分類	許可病床数	有効病床数	看護師
2F	なごやか	精神	44	44	21
3F		救命救急	20	20	44
		院内ICU	8	8	33
4F	すこやかA	NICU	12	12	29
		GCU	15	15	20
	一般	32	32	25	
	すこやかB	MFICU	3	3	8
一般		30	30	32	
5F	ほがらかA	一般	48	48	33
	ほがらかB	一般	48	48	34
6F	にこやかA	一般	48	48	33
		SCU	10	10	21
		HCU	12	12	26
7F	のびやかA	一般	48	48	33
	のびやかB	一般	48	48	31
8F	さわやかB	一般	48	48	32
9F	おだやかA	一般	48	48	36
	おだやかB	一般	40	40	0
10F	あたたかA	一般	30	30	22
		結核	20	20	
	あたたかB	一類感染症	2	2	
		二類感染症	6	6	
合 計			620	620	513

病床数

		令和2.4.1～						令和3.4.1～							
		許可 病床数	有効 病床数		一般病棟 病床数 (病床利用 率分母)	その他 病床数	施設基準 上の一般 病床数	一般 病床数 (運用病 床数)	許可 病床数	有効 病床数		一般病棟 病床数 (病床利用 率分母)	その他 病床数	施設基準 上の一般 病床数	一般 病床数 (運用病 床数)
2F	なごやか	精 神	44	44	44	44			44	44	44		44		
		児童・思春期													
3F		救命救急	20	20	28		20	20	20	20	28		20		20
		院内ICU	8	8		8		8	8	8		8			8
4F	すこやかA	NICU	12	12		12	12	12	12	12			12		12
		GCU	15	15	59		15	15	15	15	59			15	15
	小児入院	32	32		32		32	32	32		32			32	
	すこやかB	MFICU	3	3		3		3	3	3			3		3
一般		30	30	33	30		30	30	30	33	30		30	30	
5F	ほがらかA	一般	48	48	48	48		48	48	48	48	48		48	48
	ほがらかB	一般	48	48	48	48		48	48	48	48	48		48	48
6F	にこやかA	一般	48	48	48	48		48	48	48	48	48		48	48
	にこやかB	HCU	12	12	12		12	12	12	12		12			12
		SCU	10	10	10		10	10	10	10		10			10
7F	のびやかA	一般	48	48	48	48		48	48	48	48	48		48	48
	のびやかB	一般	48	48	48	48		48	48	48	48	48		48	48
8F	さわやかA	一般	40	0	0	0		0	0	0	0	0		0	0
	さわやかB	一般	48	48	48	48		48	48	48	48	48		48	48
9F	おだやかA	一般	48	48	48	48		48	48	48	48	48		48	48
	おだやかB	一般	40	40	40	40		40	40	40	40	40		40	40
10F	あたたかA	一般	30	30	30	30		30	30	30	30	30		30	30
		結核	20	20	20		20	20	20		20		20		
	あたたかB	感染症	8	8	8	6	2	6	8	8	8	6	2	6	
合 計			660	620	474	146	442	548	620	620	474	146	442	548	

(3) 経営分析に関する調 (決算統計検収調書より)

区 分		算 式	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	類似規模 全国平均 (R2年度)	
病 床	病床利用率 (%)	一 般 $\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$	80.4	75.3	80.0	69.4	70.4	70.8	
		結 核 $\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$	5.4	5.2	4.2	21.2	33.7	16.4	
		精 神 $\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$	<35.1> 11.2	30.0	30.4	36.7	36.7	48.2	
		伝 染 $\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$				1.8		22.5	
		計 $\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$	<76.0> 72.5	69.3	69.3	64.6	65.9	69.0	
患 者 数	1日平均患者数 (人)	入 院 $\frac{\text{年延入院患者数}}{365 \text{日} \cdot 366 \text{日}}$	478.8	457.0	452.8	401.1	408.7	422.0	
		外 来 $\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{診療日数}}$	831.0	806.0	806.6	699.4	743.9	994.0	
		計	1,309.8	1,263.0	1,259.4	1,100.5	1,152.6	1,416.0	
	外来入院比率 (%)	$\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{年延入院患者数}} \times 100$	116.0	117.9	116.7	116.1	120.7	160.3	
医 師 1 人 1 日 当 た り 患 者 数	入院 外 来 計	入 院 $\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延医師数}}$	3.4	3.1	3.0	2.0	2.0	2.5	
		外 来 $\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{年延医師数}}$	4.0	3.7	3.5	2.3	2.5	4.0	
		計	7.4	6.8	6.5	4.3	4.5	6.5	
収 入	職員1人1日当 たり診療収入 (円)	医 師 $\frac{\text{入院外来収益}}{\text{年延医師数}}$	350,533	328,028	326,514	231,718	240,035	262,030	
		看護職員 $\frac{\text{入院外来収益}}{\text{年延看護師数}}$	80,684	67,159	68,213	56,913	61,944	68,672	
	患者1人当 たり診療収入 (円)	入 院	投薬・注射料 $\frac{\text{投薬注射収入}}{\text{年延入院患者数}}$	2,255	2,480	2,962	2,964	3,830	2,963
			処置・手術 $\frac{\text{処置手術収入}}{\text{年延入院患者数}}$	28,827	28,349	29,361	29,840	31,498	20,584
			検 査 $\frac{\text{検査収入}}{\text{年延入院患者数}}$	969	1,038	1,042	996	1,190	1,271
			放 射 線 $\frac{\text{放射線収入}}{\text{年延入院患者数}}$	575	707	798	689	764	630
			そ の 他 $\frac{\text{その他入院収入}}{\text{年延入院患者数}}$	48,576	49,642	48,403	50,869	51,063	44,953
			計 $\frac{\text{入院収入}}{\text{年延入院患者数}}$	81,202	82,216	82,566	85,358	88,345	64,737
	外 来	投薬・注射料 $\frac{\text{投薬注射収入}}{\text{年延外来患者数}}$	7,169	8,199	9,692	11,886	11,826	9,894	
		検 査 $\frac{\text{検査収入}}{\text{年延外来患者数}}$	3,973	4,125	4,254	4,364	4,454	3,895	
		放 射 線 $\frac{\text{放射線収入}}{\text{年延外来患者数}}$	3,257	3,763	3,975	3,999	3,985	2,798	
		そ の 他 $\frac{\text{その他外来収入}}{\text{年延外来患者数}}$	3,518	3,633	3,725	3,751	3,864	4,433	
		計 $\frac{\text{外来収入}}{\text{年延外来患者数}}$	17,917	19,720	21,646	24,000	24,129	21,110	

※「病床利用率」欄の< >書きは、稼働病床における稼働病床利用率

区 分		算 式	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	類似規模 全国平均 (R2年度)	
費用	患者1人1日当たり薬品費(円)	$\frac{\text{薬品費}}{\text{年延入院外来患者数}}$	7,105	7,923	8,445	9,293	9,497	6,601	
	入院患者1人1日当たり給食材料費(円)	$\frac{\text{患者用給食材料費}}{\text{年延入院外来患者数}}$							
	薬品使用効率(%)	投 薬	$\frac{\text{投薬薬品収入}}{\text{投薬用薬品払出金額}} \times 100$	51.8	52.2	59.1	70.1	77.7	118.3
注 射		$\frac{\text{注射薬品収入}}{\text{注射用薬品払出金額}} \times 100$	72.5	73.9	81.9	86.0	88.2	107.3	
費用構成	医業収益に対する割合(%)	職員給与費	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{医業収益}} \times 100$	50.9	53.1	53.7	57.8	55.5	56.5
		薬品費	$\frac{\text{薬品費}}{\text{医業収益}} \times 100$	14.2	15.4	16.0	16.6	16.8	15.7
		その他の材料費	$\frac{\text{その他医療材料費}}{\text{医業収益}} \times 100$	15.7	15.0	14.6	14.5	14.5	13.1
職員数	病床100床 当たり職員数	医 師	$\frac{\text{年度末(各種)職員数}}{\text{年度末病床数}} \times 100$	20.8	28.8	31.2	31.6	32.3	31.9
		看護部門	$\frac{\text{年度末(各種)職員数}}{\text{年度末病床数}} \times 100$	109.4	116.6	119.6	120.9	117.6	107.2
		薬剤部門	$\frac{\text{年度末(各種)職員数}}{\text{年度末病床数}} \times 100$	4.2	3.8	4.2	4.6	5.2	5.5
		事務部門	$\frac{\text{年度末(各種)職員数}}{\text{年度末病床数}} \times 100$	5.6	16.2	13.6	16.2	16.5	19.2
		給食部門	$\frac{\text{年度末(各種)職員数}}{\text{年度末病床数}} \times 100$	1.4	1.5	2.2	2.2	2.1	2.4
		放射線部門	$\frac{\text{年度末(各種)職員数}}{\text{年度末病床数}} \times 100$	4.7	4.7	4.5	4.5	4.4	5.2
		臨床検査部門	$\frac{\text{年度末(各種)職員数}}{\text{年度末病床数}} \times 100$	3.2	3.3	4.1	4.1	4.4	6.8
		そ の 他	$\frac{\text{年度末(各種)職員数}}{\text{年度末病床数}} \times 100$	6.2	12.7	11.6	12.0	12.9	13.4
		計	$\frac{\text{年度末(各種)職員数}}{\text{年度末病床数}} \times 100$	155.5	187.6	191.0	204.3	202.6	191.6
検査薬品	診療収入に対する割合(%)	検査収入	$\frac{\text{検査収入}}{\text{入院外来収益}} \times 100$	5.5	6.0	5.5	5.3	5.6	7.2
		放射線収入	$\frac{\text{放射線収入}}{\text{入院外来収益}} \times 100$	4.3	4.9	5.0	4.7	4.7	4.9
		薬品収入	$\frac{\text{薬品収入}}{\text{入院外来収益}} \times 100$	10.4	11.5	13.2	14.8	15.4	18.1
室料差額	1人1日当たり 徴収額(円)	個 室	最高	19,440	19,440	19,800	19,800	19,800	
			最低	9,720	9,720	9,900	9,900	9,900	
		2人以上室	最高						
			最低						
室料差額対象病床数/総病床数(%)			18.9	18.9	20.1	20.1	20.1	16.9	

類似規模全国平均は地方公営企業年鑑 第2編 統計資料 6病院事業 (12) 経営分析に関する調 イ 経営規模別 (ウ) 全事業 における 500床以上データから抜粋

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインディケータ

	届出項目	算定開始月
基本診療料の 施設基準に係る届出書	地域歯科診療支援病院歯科初診料	平成22年 4月
	歯科外来診療環境体制加算 2	平成20年 7月
	歯科診療特別対応連携加算	平成22年 4月
	一般病棟入院基本料	平成20年 7月
	急性期一般入院料 1	平成20年 7月
	A D L維持向上等体制加算	平成31年 1月
	結核病棟入院基本料	平成20年 7月
	精神病棟入院基本料	平成24年 3月
	総合入院体制加算 1	平成20年 8月
	救急医療管理加算	令和 2年 4月
	超急性期脳卒中加算	平成20年 4月
	診療録管理体制加算 1	平成17年 2月
	医師事務作業補助体制加算 1	平成21年 5月
	急性期看護補助体制加算	平成23年 2月
	看護職員夜間配置加算	平成28年 7月
	看護補助加算	平成24年 5月
	療養環境加算	平成20年 3月
	重症者等療養環境特別加算	平成19年 2月
	無菌治療室管理加算 1、2	平成24年 4月
	緩和ケア診療加算	平成23年 2月
	精神科応急入院施設管理加算	平成24年 4月
	精神病棟入院時医学管理加算	平成24年 4月
	精神科身体合併症管理加算	平成31年 3月
	栄養サポートチーム加算	平成22年 6月
	医療安全対策加算 1	平成20年 4月
	医療安全対策地域連携加算 1	平成20年 4月
	感染防止対策加算 1	平成22年 4月
	感染防止対策地域連携加算	平成22年 4月
	抗菌薬適正使用支援加算	平成30年 4月
	患者サポート体制充実加算	平成24年 4月
	褥瘡ハイリスク患者ケア加算	平成19年 1月
	ハイリスク妊娠管理加算	平成20年 4月
	ハイリスク分娩管理加算	平成20年 4月
	精神科救急搬送患者地域連携受入加算	平成24年 5月
	後発医薬品使用体制加算 1	令和 2年 9月
	データ提出加算 2 及び 4	平成24年 4月
	提出データ評価加算	平成24年 4月
	入退院支援加算 1	平成28年10月
	入退院支援加算 3	令和 2年 5月
	認知症ケア加算 1	平成28年 4月

	届 出 項 目	算定開始月
基本診療料の 施設基準に係る届出書	せん妄ハイリスク患者ケア加算	令和 2年 4月
	精神疾患診療体制加算	平成28年 4月
	地域医療体制確保加算	令和 2年 4月
	地域歯科診療支援病院入院加算	平成20年 4月
	救急体制充実加算 2	令和元年 5月
	特定集中治療室管理料 2	令和 3年10月
	ハイケアユニット入院医療管理料 1	平成25年 6月
	脳卒中ケアユニット入院医療管理料	平成24年12月
	新生児特定集中治療室管理料 1	令和 2年 4月
	新生児治療回復室入院医療管理料	平成22年 5月
	一類感染症患者入院医療管理料	平成17年 5月
	小児入院医療管理料 2	平成22年 4月
特掲診療料の 施設基準に係る届出書	遠隔モニタリング加算 (ペースメーカー指導管理料)	令和 2年 4月
	糖尿病合併症管理料	平成20年 4月
	がん性疼痛緩和指導管理料	平成22年 4月
	がん患者指導管理料イ、ロ、ハ、ニ	平成26年 4月
	外来緩和ケア管理料	平成24年 4月
	移植後患者指導管理料イ、ロ	平成26年 4月
	糖尿病透析予防指導管理料	平成24年 4月
	乳腺炎重症化予防ケア・指導料	平成30年 4月
	婦人科特定疾患治療管理料	令和 2年 4月
	院内トリアージ実施料	平成25年 5月
	外来放射線照射診療料	平成25年 6月
	ニコチン依存症管理料	平成18年 4月
	療養・就労両立支援指導料 (相談体制充実加算)	平成30年 4月
	開放型病院共同指導料	平成17年 2月
	がん治療連携計画策定料	平成22年 4月
	薬剤管理指導料	平成17年 2月
	検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料	平成28年 6月
	医療機器安全管理料 1	平成20年 4月
	医療機器安全管理料 2	平成20年 4月
	医療機器安全管理料 (歯科)	平成20年 4月
	精神科退院時共同指導料	令和 2年 4月
	総合医療管理加算 (歯科疾患管理料)	平成26年 4月
	在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	令和元年 6月
	持続血糖測定器加算 (間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合) 及び皮下連続式グルコース測定	平成26年 4月
	持続血糖測定器加算 (間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合) 及び皮下連続式グルコース測定	令和 4年 2月
	遺伝学的検査	平成30年 1月
	骨髄微小残存病変量測定	平成30年 4月
	B R C A 1 / 2 遺伝子検査	令和 2年 4月

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインディケータ

	届 出 項 目	算定開始月
特掲診療料の 施設基準に係る届出書	がんゲノムプロファイリング検査	令和 2年 4月
	先天性代謝異常症検査	令和 2年 4月
	抗HLA抗体（スクリーニング検査）及び抗HLA抗体（抗体特異性同定検査）	平成30年 4月
	HPV核酸検出及びHPV核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）	平成22年 4月
	ウイルス・細菌核酸多項目同時検出	令和 2年 4月
	検体検査管理加算（Ⅰ）	平成20年 4月
	検体検査管理加算（Ⅱ）	平成22年 4月
	遺伝カウンセリング加算	平成30年10月
	遺伝性腫瘍カウンセリング加算	令和 2年 4月
	心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	平成20年 4月
	時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	平成28年 4月
	胎児心エコー法	平成30年 4月
	ヘッドアップティルト試験	平成24年 4月
	皮下連続式グルコース測定	平成22年 4月
	コンタクトレンズ検査料 1	平成18年 4月
	小児食物アレルギー負荷検査	平成26年 5月
	内服・点滴誘発試験	平成22年 4月
	センチネルリンパ節生検（片側）	平成22年 4月
	画像診断管理加算 2	平成30年 8月
	遠隔画像診断	平成17年 2月
	ポジトロン断層撮影、ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影、ポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影又は乳房用ポジトロン断層撮影	平成29年 4月
	CT撮影及びMRI撮影	平成17年 2月
	冠動脈CT撮影加算	平成22年 4月
	血流予備量比コンピューター断層撮影	令和 2年 4月
	心臓MRI撮影加算	平成20年 4月
	乳房MRI撮影加算	令和 3年 3月
	小児鎮静下MRI撮影加算	平成30年 8月
	抗悪性腫瘍剤処方管理加算	平成22年 4月
	外来化学療法加算 1	平成20年 4月
	連携充実加算	令和 3年 9月
	無菌製剤処理料	平成17年 2月
	心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）	平成22年 4月
	脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）	平成28年 4月
	運動器リハビリテーション料（Ⅰ）	平成23年 5月
	呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）	平成22年 7月
	歯科口腔リハビリテーション料 2	平成26年 4月
	通院・在宅精神療法	平成28年 4月
	児童・思春期精神科専門管理加算	平成28年 4月
	抗精神病特定薬剤治療指導管理料（治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る）	平成24年 4月

	届出項目	算定開始月
特掲診療料の施設基準に係る届出書	医療保護入院等診療料	平成24年 4月
	処置の休日加算 1、時間外加算 1 及び深夜加算 1	平成26年 4月
	静脈圧迫処置（慢性静脈不全に対するもの）	令和 2年 4月
	エタノールの局所注入（甲状腺に対するもの）	平成17年 3月
	エタノールの局所注入（副甲状腺に対するもの）	平成17年 3月
	人工腎臓 1	平成30年 4月
	口腔粘膜処置	平成30年 5月
	透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	平成30年 4月
	う蝕歯無痛の窩洞形成加算	平成20年 4月
	CAD/CAM冠	平成26年 4月
	皮膚悪性腫瘍切除術（センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る）	平成30年 4月
	組織拡張器による再建手術（一連につき）（乳房（再建手術）の場合に限る）	平成25年10月
	骨移植術（軟骨移植術を含む）（同種骨移植（非生体）（同種骨移植（特殊なものに限る）））	平成29年 4月
	脳刺激装置植込術（頭蓋内電極植込術を含む）及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	平成17年 2月
	内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型（拡大副鼻腔手術）	平成26年 4月
	内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下バセドウ甲状腺全摘（亜全摘）術（両葉）、内視鏡下副甲状腺（上皮小体）腺腫過形成手術	平成28年 4月
	乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術（MRIによるもの）	平成30年 4月
	乳腺悪性腫瘍手術（乳がんセンチネルリンパ節加算 1 及び又は乳がんセンチネルリンパ節加算 2 を算定する場合に限る）	平成22年 4月
	乳腺悪性腫瘍手術（乳頭乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴わないもの）及び乳頭乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴うもの））	平成28年 4月
	ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）	平成25年10月
	食道縫合術（穿孔、損傷）（内視鏡によるもの）、内視鏡下胃・十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、小腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、結腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、腎（腎盂）腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、尿管腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、膀胱腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）及び腔腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）	平成30年 4月
	経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）	平成17年11月
	胸腔鏡下弁形成術、胸腔鏡下弁置換術	令和 3年12月
	経カテーテル大動脈弁置換術	平成26年12月
	経皮的僧帽弁クリップ術	令和元年 5月
	不整脈手術（左心耳閉鎖術（経カテーテル的手術によるもの）に限る）	令和 3年 4月
	経皮的中隔心筋焼灼術	令和 2年 3月
	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	平成17年 2月
	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術（リードレスペースメーカー）	平成30年 4月
	両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術	平成17年 2月
	植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術	平成17年 2月
	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術	平成20年 4月
	大動脈バルーンポンピング法（IABP法）	平成17年 2月
	経皮的循環補助法（ポンプカテーテルを用いたもの）	平成30年 4月

	届出項目	算定開始月
特掲診療料の 施設基準に係る届出書	腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術	平成26年 4月
	腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術	平成26年 4月
	腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術及び腹腔鏡下小切開後腹膜悪性腫瘍手術	平成26年 4月
	腹腔鏡下胃縮小術（スリーブ状切除によるもの）	令和 2年10月
	バルーン閉塞下経静脈的塞栓術	平成30年 4月
	胆管悪性腫瘍手術（膵頭十二指腸切除及び肝切除（葉以上）を伴うものに限る）	平成28年 4月
	体外衝撃波胆石破碎術	平成24年12月
	腹腔鏡下肝切除術	平成24年 4月
	体外衝撃波膵石破碎術	平成26年 4月
	腹腔鏡下膵腫瘍摘出術及び腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	平成24年 4月
	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	平成24年 4月
	腹腔鏡下小切開副腎摘出術	平成23年 2月
	腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎（尿管）悪性腫瘍手術	平成23年 2月
	同種死体腎移植術	平成20年 4月
	生体腎移植術	平成20年 4月
	腹腔鏡下小切開尿管腫瘍摘出術	平成26年 4月
	膀胱水圧拡張術	平成22年 4月
	腹腔鏡下小切開膀胱腫瘍摘出術	平成26年 4月
	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	平成24年 4月
	腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術	平成26年 4月
	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	平成31年 1月
	腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術	平成23年 2月
	腹腔鏡下仙骨隆固定術	令和 2年12月
	胎児胸腔・羊水腔シャント術	平成30年 4月
	手術の休日加算 1、時間外加算 1 及び深夜加算 1	平成26年 4月
	胃瘻造設術（内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）	平成26年 4月
	医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術（遺伝性乳癌卵巣癌症候群の患者に対する乳房切除術に限る）	令和 3年 5月
	医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術（遺伝性乳癌卵巣癌症候群の患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術）	令和 4年 1月
	輸血管理料 I	平成20年 8月
	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	平成24年 4月
	胃瘻造設時嚥下機能評価加算	平成26年 4月
	歯周組織再生誘導手術	平成20年 4月
	手術時歯根面レーザー応用加算	平成22年 4月
広範囲顎骨支持型装置埋入手術	平成25年11月	
口腔粘膜血管腫凝固術	平成30年 5月	
レーザー機器加算の施設基準	平成30年 5月	
麻酔管理料（I）	平成17年 2月	
麻酔管理料（II）	平成22年 4月	
放射線治療専任加算	平成17年 2月	

	届 出 項 目	算定開始月
特掲診療料の 施設基準に係る届出書	外来放射線治療加算	平成20年 4月
	高エネルギー放射線治療	平成17年 2月
	1回線量増加加算	平成26年 4月
	強度変調放射線治療（IMRT）	平成29年11月
	画像誘導放射線治療加算（IGRT）	平成29年11月
	体外照射呼吸性移動対策加算	平成29年11月
	定位放射線治療	平成17年 2月
	定位放射線治療呼吸性移動対策加算	平成29年11月
	保険医療機関間の連携による病理診断	令和元年11月
	病理診断管理加算	平成26年 4月
	悪性腫瘍病理組織標本加算	平成30年 4月
	口腔病理診断管理加算	平成26年 4月
	クラウン・ブリッジ維持管理料	平成17年 2月
保険外併用療養費	特別の療養環境の提供	平成17年 2月
	初診等の保険外併用療養費	平成17年 2月
	180日を超える入院	平成17年 2月
	齲蝕に罹患している患者の指導管理	平成17年 2月
	金属床による総義歯の提供	平成17年 2月
入院時食事療養の基準	入院時食事療養費(1)	平成17年 2月

7 財務の状況

(1) 損益状況 (29年度～3年度)

(単位：円，%)

区 分 年 度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
経 常 収 益 (a)	22,833,508,575	22,624,820,651	22,995,529,469	24,728,626,441	25,103,327,346
うち 医 業 収 益 (b)	18,539,384,995	18,285,933,318	18,530,922,757	17,143,640,780	18,073,729,728
うち 料 金 収 入 (c)	17,822,832,834	17,600,340,625	17,876,687,198	16,577,112,371	17,522,519,296
うち 他 会 計 繰 入 金 (d)	2,458,873,571	2,287,601,787	2,398,446,749	2,396,750,826	2,433,807,830
経 常 費 用 (e)	22,488,069,111	23,372,749,116	23,830,640,173	23,354,240,946	23,249,804,606
うち 医 業 費 用 (f)	21,002,833,106	21,804,275,635	22,378,082,187	21,948,511,158	21,791,285,122
うち 職 員 給 与 費 (g)	9,699,377,944	9,991,969,210	10,242,788,108	10,275,084,558	10,349,885,723
うち 材 料 費 (h)	5,663,282,605	5,676,444,527	5,811,740,379	5,506,765,275	5,814,389,616
うち 支 払 利 息 (i)	438,453,446	412,075,386	387,372,797	359,964,856	332,465,310
経 常 損 益 (j)	345,439,464	△ 747,928,465	△ 835,110,704	1,374,385,495	1,853,522,740
特 別 損 益 (k)	△ 35,702,074	△ 5,739,896	△ 6,257,823	△ 568,314,322	△ 17,966,024
純 損 益 (l)	309,737,390	△ 753,668,361	△ 841,368,527	806,071,173	1,835,556,716
累 積 欠 損 金 (△) (m)	9,393,711,564	10,147,379,925	10,988,748,452	10,182,677,279	8,347,120,563
不 良 債 務 (n)	—	—	—	—	—
経 常 収 支 比 率 (a)/(e)	101.5%	96.8%	96.5%	105.9%	108.0%
医 業 収 支 比 率 (b)/(f)	88.3%	83.9%	82.8%	78.1%	82.9%
職 員 給 与 比 率 (g)/(b)	52.3%	54.6%	55.3%	59.9%	57.3%
材 料 費 比 率 (h)/(b)	30.5%	31.0%	31.4%	32.1%	32.2%
他 会 計 繰 入 金 比 率 (d)/(b)	13.3%	12.5%	12.9%	14.0%	13.5%
不 良 債 務 比 率 (n)/(b)	—	—	—	—	—

(2) 貸借対照表 (29年度～3年度)

(単位：円，%)

区 分	平成30年3月31日		平成31年3月31日		令和2年3月31日		令和3年3月31日		令和4年3月31日		
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	
資産の部	固定資産	28,813,021,788	71.7	29,009,589,202	69.9	27,290,617,575	73.7	25,221,172,946	68.4	23,771,969,418	63.9
	有形固定資産	28,246,646,201	70.3	26,785,945,541	64.6	25,467,337,153	68.8	23,814,818,213	64.6	22,787,548,834	61.3
	無形固定資産	49,297,069	0.1	1,780,433,503	4.3	1,453,938,624	3.9	1,110,881,295	3.0	762,815,506	2.1
	投資	517,078,518	1.3	443,210,158	1.1	369,341,798	1.0	295,473,438	0.8	221,605,078	0.6
	流動資産	11,382,894,678	28.3	12,472,955,217	30.1	9,751,008,730	26.3	11,644,499,955	31.6	13,425,797,891	36.1
	現金預金	4,392,268,653	10.9	6,199,653,030	14.9	4,032,852,446	10.9	4,544,662,082	12.3	5,149,718,308	13.8
	未収金	5,735,145,764	14.3	4,966,216,042	12.0	4,462,931,382	12.0	5,860,364,370	15.9	5,619,407,621	15.1
	貯蔵品	69,410,261	0.2	103,797,855	0.3	80,789,452	0.2	74,839,978	0.2	68,206,182	0.2
	前払金	2,382,000	0.0	2,152,290	0.0	1,781,450	0.0	1,792,528	0.0	1,887,780	0.0
	有価証券	1,183,688,000	2.9	1,201,136,000	2.9	1,172,654,000	3.2	1,162,841,000	3.2	2,586,578,000	7.0
資産合計	40,195,916,466	100.0	41,482,544,419	100.0	37,041,626,305	100.0	36,865,672,901	100.0	37,197,767,309	100.0	
負債の部	固定負債	27,695,526,544	68.9	27,673,800,928	66.7	26,139,375,131	70.6	24,444,483,007	66.3	22,777,196,003	61.2
	企業債	24,351,634,427	60.6	24,316,862,130	58.6	22,606,146,996	61.0	20,253,586,700	54.9	18,382,897,793	49.4
	長期借入金										
	引当金	3,343,892,117	8.3	3,356,938,798	8.1	3,533,228,135	9.5	4,190,896,307	11.4	4,394,298,210	11.8
	流動負債	5,424,799,023	13.5	7,271,993,109	17.5	4,845,756,152	13.1	5,485,723,493	14.9	5,182,079,999	13.9
	企業債	2,415,885,098	6.0	2,605,772,297	6.3	2,347,715,134	6.3	2,659,760,296	7.2	2,471,888,907	6.6
	長期借入金	114,300,000	0.3								
	未払金	2,311,890,418	5.8	4,034,653,894	9.7	1,807,141,562	4.9	2,110,531,912	5.7	2,013,391,348	5.4
	前受金							480,000	0.0	83,366	0.0
	賞与引当金	500,232,340	1.2	545,328,506	1.3	599,771,451	1.6	633,297,122	1.7	611,240,419	1.6
	預り金	82,491,167	0.2	86,238,412	0.2	91,128,005	0.2	81,654,163	0.2	85,475,959	0.2
	繰延収益	2,456,768,745	6.1	2,526,219,589	6.1	2,738,739,756	7.4	2,659,759,962	7.2	2,971,988,152	8.0
長期前受金	2,456,768,745	6.1	2,526,219,589	6.1	2,738,739,756	7.4	2,659,759,962	7.2	2,971,988,152	8.0	
負債合計	35,577,094,312	88.5	37,472,013,626	90.3	33,723,871,039	91.0	32,589,966,462	88.4	30,931,264,154	83.2	
資本の部	資本金	13,385,957,629	33.3	13,385,957,629	32.3	13,385,957,629	36.1	13,385,957,629	36.3	13,385,957,629	36.0
	自己資本金	13,385,957,629	33.3	13,385,957,629	32.3	13,385,957,629	36.1	13,385,957,629	36.3	13,385,957,629	36.0
	剰余金	△ 8,767,135,475	△ 21.8	△ 9,375,426,836	△ 22.6	△ 10,068,202,363	△ 27.2	△ 9,110,251,190	△ 24.7	△ 7,119,454,474	△ 19.1
	資本剰余金	626,576,089	1.6	771,953,089	1.9	920,546,089	2.5	1,072,426,089	2.9	1,227,666,089	3.3
利益剰余金	△ 9,393,711,564	△ 23.4	△ 10,147,379,925	△ 24.5	△ 10,988,748,452	△ 29.7	△ 10,182,677,279	△ 27.6	△ 8,347,120,563	△ 22.4	
資本合計	4,618,822,154	11.5	4,010,530,793	9.7	3,317,755,266	9.0	4,275,706,439	11.6	6,266,503,155	16.8	
負債資本合計	40,195,916,466	100.0	41,482,544,419	100.0	37,041,626,305	100.0	36,865,672,901	100.0	37,197,767,309	100.0	

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインディケーター

(3) 収益費用明細書 (29年度～3年度)

①収益

(単位：円，%)

科 目	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	対前年比	
						収益収益比	対前年比
事業収益	22,901,547,232	22,787,676,786	23,095,928,530	25,216,889,138	25,198,562,220	139.4	99.9
医療収益	18,539,384,995	18,285,933,318	18,530,922,757	17,143,640,787	18,073,729,728	100.0	105.4
入院収益	14,190,209,480	13,720,862,737	13,686,041,472	12,497,164,707	13,178,421,688	72.9	105.5
外来収益	3,632,623,354	3,879,477,888	4,190,645,726	4,079,947,664	4,344,097,608	24.0	106.5
その他医療収益	716,552,161	685,592,693	654,235,559	566,528,409	551,210,432	3.0	97.3
室料差額	253,748,880	258,876,001	259,180,807	218,930,116	196,943,152	1.1	90.0
公衆衛生	126,712,312	109,325,535	97,029,632	92,476,455	104,385,246	0.6	112.9
その他医療	336,090,969	317,391,157	298,025,120	255,121,838	249,882,034	1.4	97.9
医療外収益	4,294,123,580	4,338,887,333	4,464,606,712	7,584,985,661	7,029,597,618	38.9	92.7
受取利息配当金	17,674,893	15,152,612	15,153,043	15,078,246	15,030,516	0.1	99.7
預金利息	105,983	152,612	153,043	78,246	30,516	0.0	39.0
有価証券利息	17,568,910	15,000,000	15,000,000	15,000,000	15,000,000	0.1	100.0
補助金	373,911,494	383,056,564	406,302,560	3,574,456,363	3,247,118,548	18.0	90.8
国庫補助金	16,400,000	19,521,000	24,059,000	153,026,975	35,712,000	0.2	23.3
県補助金	350,496,000	356,599,000	375,124,200	3,414,422,000	3,205,069,000	17.7	93.9
高知市補助金	7,015,494	6,936,564	7,119,360	7,007,388	6,337,548	0.0	90.4
構成団体負担金	2,458,873,571	2,287,601,787	2,398,446,749	2,396,750,826	2,433,807,830	13.5	101.5
構成団体負担金	2,458,873,571	2,287,601,787	2,398,446,749	2,396,750,826	2,433,807,830	13.5	101.5
長期前受金戻入	1,180,307,726	1,269,598,920	1,412,191,188	1,399,650,060	1,111,745,980	6.2	79.4
長期前受金戻入	1,180,307,726	1,269,598,920	1,412,191,188	1,399,650,060	1,111,745,980	6.2	79.4
その他医療外	263,355,896	383,477,450	232,513,172	199,050,166	221,894,744	1.2	111.5
不用品売却	644,520	642,373	1,309,751	1,058,452	1,185,702	0.0	112.0
有価証券評価益	14,562,000	17,448,000					
その他医療外	248,149,376	365,387,077	231,203,421	197,991,714	220,709,042	1.2	111.5
特別利益	68,038,657	162,856,135	100,399,061	488,262,697	95,234,874	0.5	19.5

②費用

科 目	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	対前年比	
						医療収益比	対前年比
事業費用	22,591,809,842	23,541,345,147	23,937,297,057	24,410,817,965	23,363,005,504	129.3	95.7
医療費用	21,002,833,106	21,804,275,635	22,378,082,187	21,948,511,158	21,791,285,122	120.6	99.3
給与費	9,699,377,944	9,991,969,210	10,242,788,108	10,275,084,558	10,349,885,723	57.3	100.7
医師給	827,116,999	872,725,500	896,052,358	1,055,808,484	1,078,905,969	6.0	102.2
看護師給	2,269,275,468	2,329,689,034	2,346,149,675	2,564,649,710	2,530,175,867	14.0	98.7
医療技術職員給	428,575,572	433,184,205	426,767,596	473,865,034	479,521,396	2.7	101.2
事務職員給	112,682,928	119,493,611	128,757,319	296,839,993	323,414,644	1.8	109.0
医師手当	1,502,016,731	1,770,699,826	1,801,680,368	1,835,663,688	1,852,479,553	10.2	100.9
看護師手当	1,251,975,567	1,278,748,936	1,245,789,936	1,243,665,555	1,253,197,089	6.9	100.8
医療技術職員手当	217,052,930	220,882,882	216,556,899	214,809,769	226,115,616	1.3	105.3
事務職員手当	68,016,301	75,138,914	75,045,291	104,774,291	105,889,023	0.6	101.1
賞与引当金繰入額	500,232,340	545,328,506	599,771,451	633,297,122	611,240,419	3.4	96.5
貸金	431,641,823	434,622,250	445,666,993				
報酬	273,926,287	268,987,045	275,931,056				
法定福利費	1,374,904,484	1,403,623,329	1,392,034,296	1,414,989,435	1,412,038,043	7.8	99.8
退職給与金	441,960,584	238,845,172	392,584,870	436,721,477	476,908,104	2.6	109.2
材料費	5,663,282,605	5,676,444,527	5,811,740,379	5,506,765,275	5,814,389,616	32.2	105.6
薬品費	3,204,253,145	3,420,854,234	3,508,092,301	3,382,737,499	3,566,684,115	19.7	105.4
診療材料費	2,416,532,972	2,214,995,584	2,265,867,592	2,087,465,679	2,199,198,953	12.2	105.4
医療消耗備品	42,496,488	40,594,709	37,780,486	36,562,097	48,506,548	0.3	132.7
経費	3,644,167,144	3,939,216,168	3,803,709,927	3,740,572,569	3,704,868,562	20.5	99.0
厚生福利費	21,167,020	21,955,704	21,823,540	22,433,006	22,102,508	0.1	98.5
報償費	124,094,726	123,812,224	143,504,895	112,580,171	101,030,541	0.6	89.7
旅費交通費	8,544,362	7,511,397	9,162,840	4,004,378	3,512,155	0.0	87.7
職員被服費	2,118,700	1,391,960	2,018,090	2,165,780	1,763,530	0.0	81.4
消耗品費	97,218,411	75,302,537	73,687,212	64,872,956	67,421,677	0.4	103.9
光熱水費	370,580,108	393,448,998	390,052,872	341,751,866	355,810,898	2.0	104.1
燃料費	2,782,952	2,611,549	2,578,528	2,431,427	2,535,391	0.0	104.3
食料費	83,417	52,664	78,521	21,433	8,722	0.0	40.7
印刷製本費	4,215,100	4,118,200	4,239,950	3,346,200	3,870,900	0.0	115.7
修繕費	150,872,194	242,250,131	163,292,404	162,790,982	147,893,020	0.8	90.8
特別修繕引当金				41,006,000	41,006,000	0.2	100.0
保険料	33,839,258	27,986,074	27,093,994	24,261,592	27,509,131	0.2	113.4
賃借料	131,490,123	127,385,407	126,507,393	122,130,680	129,973,967	0.7	106.4
通信運搬費	21,644,119	22,881,515	19,060,487	17,776,101	18,467,791	0.1	103.9
委託料	2,448,795,117	2,637,440,574	2,607,510,478	2,627,564,920	2,602,839,131	14.4	99.1
負担金諸会費	206,755,637	230,618,402	192,822,892	174,573,887	151,224,328	0.8	86.6
交際費	270,325	210,352	256,498		5,273	0.0	
雑費	19,695,575	20,238,480	20,019,333	16,861,190	27,893,599	0.2	165.4
減価償却費	1,902,341,475	2,102,221,541	2,419,402,607	2,387,084,149	1,870,245,087	10.3	78.3
建物	1,173,047,102	1,182,632,607	1,187,576,879	1,201,921,587	781,571,986	4.3	65.0
構築物	31,504,854	31,504,854	31,504,854	31,649,027	11,379,559	0.1	36.0
器械備品	666,550,990	875,890,153	838,429,995	786,376,206	709,495,753	3.9	90.2
無形固定資産	31,238,529	12,193,927	361,890,879	367,137,329	367,797,789	2.0	100.2
資産減耗費	36,431,285	32,623,932	47,625,736	14,770,290	21,547,789	0.1	145.9
たな卸	11,441,474	11,472,048	10,224,206	8,722,200	7,018,754	0.0	80.5
固定資産除却費	24,989,811	21,151,884	37,401,530	6,048,090	14,529,035	0.1	240.2
研究研修費	57,232,653	61,800,257	52,815,430	24,234,317	30,348,345	0.2	125.2
謝金	988,274	945,991	508,402	482,243	1,909,538	0.0	396.0
旅費	30,319,161	33,490,411	27,169,772	825,634	1,471,090	0.0	178.2
研究雑費	25,925,218	27,363,855	25,137,256	22,926,440	26,967,717	0.1	117.6

科 目	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	対前年比	
						医療収益比	対前年比
医療外費用	1,485,236,005	1,568,473,481	1,452,557,986	1,405,729,788	1,458,519,484	8.1	103.8
支払利息	438,453,446	412,075,386	387,372,797	359,964,856	332,465,310	1.8	92.4
企業債利息	436,684,962	410,313,608	387,083,251	359,825,218	332,192,036	1.8	92.3
長期借入金利息	762,000	571,500					
企業債手数料及び取扱諸費	1,006,484	1,190,278	289,546	139,638	273,274	0.0	195.7
長期前払消費税償却	73,868,360	73,868,360	73,868,360	73,868,360	73,868,360	0.4	100.0
議会費	1,272,628	1,284,765	1,341,798	1,333,606	1,330,040	0.0	99.7
報酬	953,333	953,000	979,988	953,000	954,248	0.0	100.1
旅費交通費	217,595	212,965	260,710	259,106	259,092	0.0	100.0
委託料	101,700	118,800	101,100	121,500	116,700	0.0	96.0
監査委員費	112,917	112,000	112,917	120,417	112,916	0.0	93.8
報酬	112,917	112,000	112,917	120,417	112,916	0.0	93.8
企業団管理費	3,113,017	2,242,914	4,634,302	3,094,147	4,555,981	0.0	147.2
報償費	861,803	678,483	931,639	703,703	1,333,415	0.0	189.5
消耗品費	42,962		42,812	17,500	9,350	0.0	53.4
賃借料	17,470	19,560	40,864				
通信運搬費	147,004	75,280	70,885	161,820	121,364	0.0	75.0
委託料	366,600	141,000	913,175	100,050	354,175	0.0	354.0
負担金諸会費	38,426	42,130	1,148,910	1,220,910	1,080,455	0.0	88.5
雑費	1,638,752	1,286,461	1,486,017	890,164	1,657,222	0.0	186.2
その他雑損失	968,415,637	1,078,890,056	985,227,812	967,348,402	1,046,186,877	5.8	108.1
その他雑損失	90,415,144	150,763,582	77,345,737	34,423,101	43,472,731	0.2	126.3
3条控除対象外	273,258,108	298,566,331	321,072,346	349,641,945	354,347,905	2.0	101.3
4条 "	159,714,812	187,096,733	53,838,474	41,065,351	51,909,451	0.3	126.4
貯蔵品 "	439,577,573	442,463,410	504,489,255	532,405,005	564,206,667	3.1	106.0
有価証券評価損			28,482,000	9,813,000	32,250,123	0.2	328.6
有価証券売却損	5,450,000						
特別損失	103,740,731	168,596,031	106,656,884	1,056,577,019	113,200,898	0.6	10.7
過年度損益修正損	102,460,758	168,596,031	106,656,884	713,777,019	113,200,898	0.6	15.9
固定資産売却損	1,279,973						
その他特別損失				342,800,000			

科 目	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	対前年比	
						医療収益比	対前年比
当年度純損益	309,737,390	△ 753,668,361	△ 841,368,527	806,071,173	1,835,556,716	10.2	227.7
累積欠損金	△ 9,393,711,564	△ 10,147,379,925	△ 10,988,748,452	△ 10,182,677,279	△ 8,347,120,563	△ 46.2	82.0

(4) 資本的収支明細書 (29年度～3年度)

(単位：円，%)

科 目	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	
						対前年比
資本的収入	3,614,948,318	4,056,019,964	2,191,500,945	1,785,837,074	2,180,902,170	122.1
企業債	2,174,000,000	2,571,000,000	637,000,000	307,200,000	601,200,000	195.7
医療器械整備事業債	2,174,000,000	2,571,000,000	637,000,000	307,200,000	601,200,000	195.7
構成団体負担金	1,439,609,518	1,476,964,964	1,552,270,145	1,411,682,174	1,571,848,170	111.3
高知医療センター建設改良費負担金	1,439,609,518	1,476,964,964	1,552,270,145	1,411,682,174	1,571,848,170	111.3
固定資産売却代金	820,800					
固定資産売却代金	820,800					
補助金	518,000	8,055,000	2,230,800	66,954,900	7,854,000	11.7
国庫補助金				9,194,900	2,332,000	25.4
県補助金	518,000	8,055,000	2,230,800	57,760,000	5,522,000	9.6
資本的支出	4,508,952,682	5,115,498,626	3,251,647,549	2,785,026,701	3,219,894,543	115.6
建設改良費	2,193,357,609	2,585,313,528	645,875,252	437,311,567	560,134,247	128.1
医療器械整備費	1,869,698,630	525,295,065	386,116,780	137,391,067	320,049,470	232.9
資産購入費	122,170,852	1,909,665,383	71,353,392	95,348,000	37,289,777	39.1
施設整備費	201,488,127	150,353,080	188,405,080	204,572,500	202,795,000	99.1
企業債等償還金	2,277,495,073	2,415,885,098	2,605,772,297	2,347,715,134	2,659,760,296	113.3
構成団体長期借入金償還金	38,100,000	114,300,000				
収 支 差 引	△ 894,004,364	△ 1,059,478,662	△ 1,060,146,604	△ 999,189,627	△ 1,038,992,373	104.0

(5) 一般会計繰入金

①繰入金内訳 (29年度～3年度)

(単位：円)

区 分		年 度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
収 益 的 収 入	企業債利息負担金		166,490,000	157,410,000	149,960,000	140,560,000	131,032,000
	割賦金利息負担金		106,648,000	99,089,000	91,402,000	83,583,000	75,631,000
	結核病棟運営費負担金		64,175,000	71,141,000	72,965,000	73,686,000	9,184,000
	小児医療負担金		132,556,000	164,390,000	178,711,000	208,958,000	212,804,000
	周産期医療負担金		202,167,000	165,170,000	236,184,000	329,798,000	353,123,000
	救急医療確保負担金 ※1～※5 ①		378,839,000	379,008,000	398,144,000	490,569,000	474,642,000
	高度特殊医療等負担金		599,650,000	500,481,000	480,122,000	283,166,000	333,733,000
	リハビリテーション医療負担金		1,191,000	2,237,000	20,434,000	46,408,000	37,516,000
	院内保育所運営負担金		28,297,000	19,411,000	22,390,000	23,347,000	22,603,000
	保健衛生行政事務負担金 ②		18,162,000	18,602,000	18,916,000	20,150,000	18,449,000
	医師等研究研修負担金		40,864,000	33,467,000	29,165,000	29,476,000	25,696,000
	地共済追加費用負担金		178,361,000	187,966,000	210,731,000	159,445,000	145,418,000
	医師確保対策費用負担金		6,228,000	5,740,000	5,861,000	6,013,000	11,524,000
	基礎年金拠出金負担金		250,118,000	232,873,000	228,242,000	229,202,000	251,481,000
	児童手当負担金		56,184,000	56,370,000	57,316,000	57,661,000	62,351,000
	企業団管理費負担金		17,557,000	9,037,000	7,130,000	14,259,000	14,717,000
	感染症病床運営費負担金		5,920,000	3,809,000	3,555,000	4,716,000	3,894,000
	精神科医療に要する負担金 ※6 ③		205,466,571	181,400,787	187,218,749	193,909,826	250,009,830
	滞在施設やまもも負担金 ※7 ④					1,844,000	
	計 (A)		2,458,873,571	2,287,601,787	2,398,446,749	2,396,750,826	2,433,807,830
資 本 的 収 入	企業債償還元金出資金		872,267,000	937,357,000	1,028,133,000	894,878,000	1,046,610,000
	〃 高度医療機器分		97,000,000	61,250,000	37,625,000	22,000,000	22,000,000
	割賦金償還元金出資金		442,733,000	450,291,000	457,979,000	465,797,000	473,749,000
	施設整備出資金		1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000
	精神科医療に要する負担金 ※8 ⑤		23,104,518	23,498,964	23,900,145	24,308,174	24,723,170
	災害時における救急医療のために行う施設整備費		3,005,000	3,068,000	3,133,000	3,199,000	3,266,000
計 (B)		1,439,609,518	1,476,964,964	1,552,270,145	1,411,682,174	1,571,848,170	
繰入金合計		3,898,483,089	3,764,566,751	3,950,716,894	3,808,433,000	4,005,656,000	

医療セ グメント の 計算式	負債負担分	2,093,425,089	2,014,850,751	2,111,192,894	2,045,145,000	2,170,240,000
	収益的 ((A)-①-②-③-④)×1/2+①+②+③+④	1,362,068,071	1,264,618,787	1,323,107,749	1,327,148,826	1,371,953,830
	資本的 ((B)-⑤) ×1/2+⑤	731,357,018	750,231,964	788,085,145	717,996,174	798,286,170
医療セ グメント の 計算式	市負担分	1,805,058,000	1,749,716,000	1,839,524,000	1,763,288,000	1,835,416,000
	収益的 ((A)-①-②-③-④)×1/2+①	1,096,805,500	1,022,983,000	1,075,339,000	1,069,602,000	1,061,854,000
	資本的 ((B)-⑤) ×1/2	708,252,500	726,733,000	764,185,000	693,686,000	773,562,000

- ※1 29年度の救命救急に対する繰入のうち、補助金相当分41,634,000円については県負担。
- ※2 30年度の救命救急に対する繰入のうち、補助金相当分41,634,000円については県負担。
- ※3 31年度の救命救急に対する繰入のうち、補助金相当分41,633,000円については県負担。
- ※4 2年度の救命救急に対する繰入のうち、補助金相当分41,633,000円については県負担。
- ※5 3年度の救命救急に対する繰入のうち、補助金相当分41,636,000円については県負担。
- ※6～8 精神科医療に要する負担金および滞在施設やまももに要する負担金については県負担。

②繰入率・一床当り繰入額 (29年度～3年度)

(単位：円，%)

区 分	年 度	29年度		30年度		元年度		2年度		3年度	
		金 額	対前年比	金 額	対前年比	金 額	対前年比	金 額	対前年比	金 額	対前年比
一般会計からの繰入金	収益的収入繰入 (a)	2,458,873,571	99.0	2,287,601,787	93.0	2,398,446,749	104.8	2,396,750,826	99.9	2,433,807,830	101.5
	負 担 金	2,458,873,571	99.0	2,287,601,787	93.0	2,398,446,749	104.8	2,396,750,826	99.9	2,433,807,830	101.5
	資本的収入繰入 (b)	1,439,609,518	90.1	1,476,964,964	102.6	1,552,270,145	105.1	1,411,682,174	90.9	1,571,848,170	111.3
	出 資 金	1,439,609,518	90.1	1,476,964,964	102.6	1,552,270,145	105.1	1,411,682,174	90.9	1,571,848,170	111.3
	繰 入 金 合 計 (c)	3,898,483,089	95.5	3,764,566,751	96.6	3,950,716,894	104.9	3,808,433,000	96.4	4,005,656,000	105.2
収 益 的 収 入 (d)	22,901,547,232	101.0	22,787,676,786	99.5	23,095,928,530	101.4	25,216,889,138	109.2	25,198,562,220	99.9	
資 本 的 収 入 (e)	3,614,948,318	107.8	4,056,019,964	112.2	2,191,500,945	54.0	1,785,837,074	81.5	2,180,902,170	122.1	
繰入率	取 益 的 収 入 $\frac{(a)}{(d)} \times 100$	10.7		10.0		10.4		9.5		9.7	
	資 本 的 収 入 $\frac{(b)}{(e)} \times 100$	39.8		36.4		70.8		79.0		72.1	
	取 益 的 収 入 に 対 す る 繰 入 金 計 $\frac{(c)}{(d)} \times 100$	17.0		16.5		17.1		15.1		15.9	
一床当り繰入金(千円)	取 益 的 収 入 繰 入	3,726		3,466		3,868		3,866		3,925	
	資 本 的 収 入 繰 入	2,181		2,238		2,504		2,277		2,535	
	繰 入 金 合 計	5,907		5,704		6,372		6,143		6,461	

II 各診療科資料

総合診療科

1. 概要

総合診療科では、初診外来および日勤帯の救急外来において、臓器別ではなく疾患に偏りがない幅広い領域にわたる疾患や訴えをもつ患者さんへの診療を行っている。特に日常よく遭遇する common disease をはじめ、診断困難症例への対応や地域医療機関からのセカンドオピニオン、紹介状を持参せず来院された患者さんで、どの診療科にかかったら良いか分からない方、複数の健康問題に対する包括的なケア、根拠に基づく医療 (EBM)、臨床推論、入院・外来患者さんの外来フォロー (再診診療) などを行っている。また病棟 (入院) では、高齢者 (特に虚弱高齢者) や複数の病態を抱える患者さんへのケア、必要に応じて他の専門診療科との連携、心理・社会・倫理的複雑事例への対応、癌・非癌患者さんへの緩和ケア、退院支援と地域医療連携機能の提供、在宅患者さんの緊急入院対応などの役割も同時に担っている。当科では、特に救命救急センターや精神科 (身体合併症)、神経内科とコラボレーションして、複数の診療科に渡る幅広い症例を豊富に診療している。本来であれば二次病院レベルで入院治療が可能な症例も、夜間や時間外に救命救急センターへ救急搬送されてくることから、救急専門医と一緒にこれらの救急患者さんを急性期病棟で診療、治療している。また、COVID-19 の流行に伴い、中等症以上の入院患者についても当科を主体として治療を行っている。

2. スタッフ活動状況

澤田 努 (部長、臨床研修管理センター長)

日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医

伊東 秀樹 (科長)

日本内科学会総合内科専門医

石川 忠則 (主任医長)

日本外科学会指導医、日本消化器外科学会指導医

石井 隆之 (主任医長)

日本脳神経外科学会専門医

日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医
吉村 彰人 (地域医療科長、医長)

日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医
矢野 博子 (医長)

日本救急医学会専門医

日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医
池田 達也 (副医長)

日本内科学会認定内科医

日本老年医学会認定老年科専門医

田邊 義貴 (副医長)

矢野 彰彦 (内科専攻医)

宮本 大地 (内科専攻医)

山本 直 (内科専攻医)

3. 診療実績

現在、月曜日～金曜日まで午前・午後と 3～4 診の外来枠で外来診療を行っている。初期臨床研修医をはじめ、高知大学医学部学生さんらの臨床実習受け入れも行っている。一般病棟は約 10～15 床前後で運用しており、10 階の感染症病棟で COVID-19 の診療を行っている。その他、地域医療分野における地域包括ケア、在宅医療などの業務として、黒潮町国保拳ノ川診療所、宿毛市沖の島へき地診療所、四万十町国保大正診療所、仁淀川町国保大崎診療所等へ毎週医師を派遣している。

4. 今後の課題・目標

JCEP による指導の中で、臨床研修における外来診療の位置づけが大きいことが分かり、医療面接やコミュニケーションに重きをおいた教育体制の充実を目指していく。また、救命救急センターや精神科、神経内科とのコラボレーションはより深化したものとし、内科・総合診療専門医の教育拠点としても努力していく所存である。

精神科

1. 概要

令和3年度は、病棟を再開して4年目であり、精神科医療を発展させる時期であった。新型コロナウイルス対策で翻弄させられたものの、当院身体科や高知県内の精神保健行政、司法の求めに従って、リエゾン医療介入、精神科救急、対応困難症例への入院治療や精神鑑定などを着実にいった。

2. スタッフ活動状況

令和3年度の成人精神科を担当する医師数は、常勤医師が3名、非常勤医師が1名であった。児童を担当する常勤医師は2名、非常勤医師が2名であった。成人精神科30床と児童思春期病棟14床を合わせて44床の病棟を20名の看護師、1名の言語聴覚士、1名の理学療法士、1名の心理技術員で診療を行った。

3. 診療実績

令和3年度の成人精神科の診療実績は、下記のとおりである。

	成人精神科
・延入院患者数	4,439人
・全入院患者数	113人
・延べ外来患者数	1,188人
・外来新患患者数	290人
	成人精神科
・医療保護入院数	94人
・任意入院数	11人
・措置入院数	3人
・応急入院数	3人
・起訴前鑑定入院数	1人
・医療観察法鑑定入院	1人
・ <u>輪番での入院数</u>	<u>16人</u>

4. 問題点・今後の課題・目標

精神科は、30床の成人精神科病棟で入院診療を行い、外来診療には制限をかけている。成人精神科は、他科からの依頼による精神疾患へのアプローチを行うリエゾン活動とともに、身体合併症を有する精神疾患患者の入院を受け入れている。また、自傷他害の恐れのある措置入院患者3名や責任能力を判定する起訴前精神鑑定1名や医療観察法の精神鑑定の患者1名も受け入れた。救急医療に関して、高知県の精神科救急輪番制度では月に3回参加し29名の外来患者の診察と16名の入院患者を受け入れた。このようにいくつかの精神科診療機能に関して徐々に活動の範囲を広げている状態である。

令和3年度は、50%以上の稼働率で運営する目標を持ち、精神科医療を充実させていく予定であった。しかし、前年度に発生した新型コロナウイルス感染症の問題が目標達成に影響を落とし、思いもよらず、診療体制が縮小された。また、新型コロナウイルス感染症予防の名の下、多くの行動、面会の制限を患者に強いなくてはならなかった。

新型コロナウイルスの精神科医療の問題では、行政機関と多くの話し合いを持った。特に高知県で措置入院患者にコロナウイルス感染が起こった場合に、当院で治療をすることを決定した。しかし、幸いに措置入院患者に新型コロナウイルス感染が発生せず当院での新型コロナを合併した措置入院患者はなかった。先行きが予期できぬ感染症であり、今後も精神科医療に関しても難しい局面が続くと考えられる。

新型コロナウイルスで減速した感はあるが、高知県の精神科医療と高知医療センターの中で、当科は徐々にプレゼンスを示すことができるようになってきた。さらなる機能強化を行い、高知県の医療に貢献をしていきたいと考えている。

児童精神科

1. 概要

当科は、児童思春期の精神疾患に対する専門的医療の提供を目的に平成 24 年に開設され、14 床の児童思春期精神科病棟を有している。

2. スタッフ活動状況

令和 3 年度の医師数は、常勤医師が 2 人、非常勤医師が 2 人であった。

3. 診療実績

令和 3 年度の診療実績は、下記のとおりである。

- ・ 延入院患者数 …… 1,436 人
- ・ 退院患者数 …… 34 人
- ・ 延べ外来患者数 …… 2,412 人
- ・ 外来新規患者数 …… 74 人
- ・ 医療保護入院数 …… 32 人
- ・ 任意入院数 …… 1 人
- ・ 措置入院数 …… 1 人

4. 問題点・今後の課題・目標

近年、心の健康に何らかの問題を抱える子どもたちの支援ニーズが高まっている。児童精神科領域においては、神経発達症、児童虐待、愛着の問題、複雑性 PTSD、不登校など、さまざまなキーワードが取り上げられ、子どもの生育や成長に関して精神的介入を求められている。自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症、限局性学習症に代表される神経発達症は社会全体の関心事であり、これらの特性をもつ人たちは幼児期からさまざまな社会場面で適応できず精神疾患を抱えるおそれもあるため、支援体制の確立が不可欠である。こころのサポートセンター児童精神科はこのような子どもたちとその家族を支援する重要な役割を担っ

ており、より一層、診療体制を充実させる必要がある。

多くの子どものこころ専門医療機関が抱える問題として、患児の初診までの待機が長期間になることが挙げられる。当院は県下で唯一の児童精神科専門病棟を持つ医療機関であり、入院が必要な相談ケースには可能な限り早急な対応を心がけている。入院病床があることで、治療のバリエーションを増やし、多様なニーズに応えることが可能となっている。

文部科学省の 2020 年度の不登校調査では県内の小中学校の不登校（年間 30 日以上欠席）の児童生徒は 1,238 人で、前年度から 121 人増え、1,000 人当たり 25.2 人（全国 20.2）は全国で最多であると報道されたことは記憶に新しい。不登校は、子どものメンタルヘルスにおける非常に重要な課題のひとつであるが、近年の臨床像は、神経発達症や他の精神疾患の併存、家庭の機能不全がみられる場合など、複雑な背景を抱えるケースも目立っている。このような中、児童精神科医療機関の主な役割を 2 つ挙げると、不登校をアセスメントすること、および教育機関や地域と連携することである。アセスメントの際には、前思春期から思春期にかけての心理発達の過程において、生物学的な面、心理社会的な面、精神医学的な面、子どもを取り巻く環境が相互に作用していることを十分に把握しなければならない。また、教育機関や地域との連携により、不登校に陥った子どもや保護者の孤立を防ぎ、支援者とのつながりを確保する必要がある。こうしたことを念頭に置き、今後も関連機関と協力して、地域の子どもの心への支援に貢献できるよう努めていきたい。

地域医療科

1. 概要

高知医療センターは、へき地医療拠点病院として指定を受け、無医地区巡回診療やへき地診療所への代診医派遣、へき地医療情報ネットワーク等を活用した遠隔画像伝送を主たる業務として担っている。また、初期臨床研修医や高知大学医学部の学外実習、地域医療夏期実習などで医学生に対する教育にも携わっている。

2. スタッフ活動状況

地域医療科医師 2 名（科長は高知県へき地医療支援機構専任担当官を兼務）が中心となって無医地区巡回診療やへき地診療所への医師派遣、代診医派遣調整などを行っている。また、総合診療科医師とも連携して業務を行っている。各医師が週 1 回程度派遣され活動している状況である。

3. 診療実績

・無医地区巡回診療（長岡郡大豊町久寿軒・北川地区）

医師・看護師、薬剤師、事務職員で巡回診療班を構成し、毎月第 3 火曜日に巡回診療を行っている。

・へき地診療所への代診医派遣

令和 3 年度の代診医派遣実績は 435 日（実日数）であり、その内訳は、

黒潮町国保拳ノ川診療所	110 日
宿毛市立沖の島へき地診療所	94 日（遠隔含む）
仁淀川町国保大崎診療所	79 日
津野町国保杉ノ川診療所	59 日
四万十町国保十和診療所	48 日
四万十町国保大正診療所	43 日
馬路村立馬路診療所	2 日であった。

・へき地医療情報ネットワークの活用

県内で 33 ヶ所の地域医療機関（へき地診療所を含む）がネットワークで繋がっており、画像コンサルトなどで活用されている。遠隔画像伝送によ

り院内の各専門医に直接コンサルトすることが可能となっている。宿毛市沖の島へき地診療所では、天候不良などで地域医療科医師が島に渡ることができない場合に、Web 会議システム等を利用して遠隔診療を行うこともある。また、コロナウイルス感染症流行により代診医が派遣できなかった期間にも、ネットワークを活用したへき地診療支援が可能であった。

・医学教育

平成 16 年 4 月から始まった新医師臨床研修制度では、「地域保健・医療」が研修必修項目の中に挙げられており、中小自治体病院や診療所およびそれに関連する社会福祉施設、介護老人保健施設、へき地・離島にある医療機関や保健所等の地域保健・医療の現場を経験することが研修目標に明記されている。当院では地域医療科が中心となり、へき地医療機関を研修協力施設とする高知県内共通のプログラムに従って、プライマリ・ケア研修を学ぶことができる教育体制をとっている。

4. 今後の課題・目標

総合診療科との連携によって、ここ数年で当科としての活動範囲が経年的に広がってきた。しかし高知県は県内に 26 ヶ所の無医地区（R 元年 10 月現在）を抱えており、65 歳以上の高齢者人口比率は 35.2% で全国第 2 位（令和 2 年版高齢社会白書）の高齢県となっている。このような状況下では、当院の地域医療科単独で担うことのできる業務は限られている。しかし、今後も引き続き県内のへき地医療拠点病院間で連携を図ることで、更なる地域医療への貢献が可能と考えている。

また、災禍時（自然災害や感染症流行等）の地域医療支援への備えも今後の重要な課題である。

血液内科・輸血科

1. 概要

日本血液内科学会研修認定施設（県内で2施設のみ）、非血縁者間骨髄採取・移植認定施設（認定カテゴリー1は県内で当科のみ）として、血液内科の全ての領域の疾患の外来・入院診療と自家および同種造血幹細胞移植を行った。新規紹介患者数、移植症例数ともに前年とほぼ同程度を推移している。LTFU（移植後長期フォローアップ外来）も順調に進行している。

2. スタッフ活動状況

現在、岡山大学第二内科からの医師4名を含む常勤医師6名と非常勤医師1名（週1回）で診療を行っている。スタッフは週に1から2回の専門外来診療を行っている。また、岡医師が2019年4月より、幡多けんみん病院に2週に1回診療支援に行っていたが、2022年7月より今井・町田医師が月に1回診療に行くようになり、月に3回の診療支援を行っている。

3. 診療実績

（外来）

平日の午前中に2名の医師が専門外来を行っている。基本的には、全ての紹介患者の受け入れを行っており、紹介患者数は、2018年308名、2019年339名、2020年293名、2021年287名であった。

（入院）

入院患者数は例年通り50名から60名と安定した患者数が維持できている。

造血幹細胞移植件数は、2018年25件、2019年42件、2020年30件、2021年34件、造血幹細胞採取件数は2018年23件、2019年35件、2020年23件、2021年27件と推移している。

新規患者数は、悪性リンパ腫は2018年88名、2019年94名、2020年86名、2021年102名、多発性骨髄腫は2018年32名、2019年26名、

2020年26名、2021年24名、急性白血病は2018年38名、2019年31名、2020年27名、2021年34名、骨髄異形成症候群2018年31名、2019年45名、2020年45名、2021年45名、と推移を示している。過去3年の新規造血器腫瘍全体の患者数は、2019年218名、2020年212名、2021年237名と推移している。

4. 今後の課題・目標

高知県内の血液内科基幹病院の事情もあり、当科に紹介して頂く患者数は非常に多く、造血幹細胞移植件数も四国で2番目に多い症例数となった。

また、2017年からは、新たな造血幹細胞移植として臍帯血移植とHLA半合致移植も施行しており、ほぼ全ての移植法が当科にて対応可能となり、現時点では県外の高度専門施設への紹介はほぼなくなった。しかし、県内の血液専門医の不足、医師の高齢化が進んできており、数年後の県内の診療には非常に不安を抱えている。当科においても現状の医師数が数年後に維持できているかは不透明である。また、患者増加に伴い病床数（特に個室）の不足が生じ、病床管理が非常に難しくなっているが、2022年10月より大部屋無菌室を1床改修予定であり、個室病床不足は解消されることが期待される。

造血幹細胞移植患者の管理は非常に難しく、治療の選択や全身管理に困難を極めることが多々ある。そのため、今後も高次の医療機関や学会参加などで研鑽などを積み、更に上のレベルでの移植医療の提供を目標としたい。移植医療はチーム医療であり、多くの人材と時間が必要である。今後も安定した人員確保とスタッフの教育、研鑽が必要と考える。現在の診療体制を維持していくには、安定した医師数確保が最も大切である。

数少ない専門医で高知県内の血液疾患の診療を担っている状況であり、今後も他の専門病院との診療連携、協力なども行っていきたい。

糖尿病・内分泌内科

1. 概要

基幹病院として、糖尿病・内分泌疾患の外来診療、入院診療を中心に行った。

2. スタッフ活動状況

令和3年度は、常勤3名体制である。

3. 診療実績

令和3年度の外来患者さんの延べ人数は 5,678 人、入院患者さんの延べ人数は 1,933 人であった。

4. 今後の課題・目標

院内における糖尿病管理を継続する。

糖尿病患者さんは増加しており、また高齢化も進んでいるため、糖尿病の早期発見・治療に努め、合併症の進展を抑制したい。かかりつけ医との連携した対策を行い、逆紹介の増加に努める。

救急科をはじめ他科と連携し糖尿病や内分泌疾患の診療レベルを維持したい。

若手医師育成に関しては、当院は、日本内分泌学会認定施設、日本糖尿病学会認定施設であり専門医の育成に努める。また、他の内科系診療科と協力し、総合内科専門医育成に努める。

放射線科・放射線療法科

1. 概要

各種画像診断(CT、MRI、核医学検査、PET-CT)・レポート作成、放射線治療、血管造影・IVR など日本医学放射線学会の総合修練施設、新専門医制度の高知大学、岡山大学、徳島大学のプログラム修練協力機関として幅広い診療を行っている。

今年度画像検査機器の更新はなかった。

がんサポートセンターのオープンから足かけ 6 年が経過し、PET-CT や高精度放射線治療の安定した提供も行われており、さらなる症例増加を目指している。

2. スタッフ活動状況

放射線治療は、いずれも放射線治療専門医である 2 名の常勤医師で行なっている。平成 29 年 7 月からは、がんサポートセンターにて 2 台の高精度放射線治療装置を用いて、強度変調放射線治療 (IMRT) や定位放射線治療 (STI) など高精度放射線治療を実施している。乳房温存手術後の照射や前立腺癌の根治照射などを中心とした、外来通院による治療例も増えてきている。

読影・レポート作成業務は非常勤読影医師の協力のもと読影専従医 4 名と IVR 医 4 名で実施しており、平成 30 年度 4 月より CT、MRI、核医学検査すべてのレポート作成を再開し、画像診断管理加算Ⅱの請求を継続している。

IVR は全国の IVR 学会修練施設 417 施設中 12 位 (令和 3 年) の症例数で、IVR を習得したい救急医からの研修希望が続き、現在 3 名の救急医が研修中である。6 名のオンコール医により 24 時間 365 日緊急 IVR 対応を継続している。

3. 2021 年度診療実績 (2020 年度件数)

画像検査・診断レポート作成

・ CT	21,526 件	(20,433)
・ MRI	7,304 件	(6,947)
・ 核医学	633 件	(599)
・ PET-CT	948 件	(899)
上記全例レポート作成。		

血管造影・IVR : 1,700 件 (936)

・ CV カテ、PICC、リザーバー留置	487 件	(483)
・ 動脈塞栓術 (頭頸部・胸腹部・他)	92 件	(102)
・ ドレナージ (腹胸部・他)	145 件	(154)
・ 生検 (頭頸部、胸腹部・他)	20 件	(76)
・ 血管形成術 (PTA、下肢、シャント)	57 件	(57)
・ ステンントグラフト (胸部・腹部)	39 件	(34)

放射線治療 : 225 件(275)

・ 胸部 (肺・食道)	56 件	(85)
・ 乳癌	45 件	(44)
・ 骨転移	25 件	(28)
・ 造血器・リンパ系	22 件	(29)
・ TBI (全身照射)	10 件	(13)
・ IMRT (強度変調放射線治療)	83 件	(101)
・ STI (定位放射線治療)	8 件	(19)

緩和ケア内科

1. 緩和ケア内科とチームの概要

治療の早期の段階から緩和ケアを提供し、全人的苦痛を取り除くように MSW やがん専門看護師などと共働している。治療継続が困難な患者さんには最適な療養環境を整えることも行う。緩和ケアチームでは、介入依頼のあった患者さんの治療や療養場所についてなどを主治医チーム、病棟看護師、緩和ケアチーム看護師、薬剤師、MSW、管理栄養士、理学療法士などの多職種でカンファレンスを行い、診療支援に努めている。

2. スタッフ活動状況

緩和ケア内科は、専従医師 1 名。

緩和ケアチームは、医師（専従 1 名、専任 2 名）、がん専門看護師（専従 1 名、専任 1 名）、薬剤師 1 名、管理栄養士 1 名、理学療法士 1 名、MSW 2 名で活動を行なっている。

PEACE 緩和ケア研修会を開催、また院内では病棟リンクナースの勉強会を行なっている。令和 3 年度は管理栄養士の勉強会を行った。

高知県がん連携連絡協議会の緩和ケア部会緩和ケアチーム委員会において、副部長兼委員長、委員として研修会の計画や座長などをつとめた。

医学部学生、看護学大学院生などへの緩和ケアに関する講義、研修医や地域の臨床医の研修、医学部学生、看護学大学院生等の実習受け入れも行なっている。

平成 29 年 4 月から、がんサポートセンター緩和ケアセンター、がん相談支援センターを開設。がん相談支援センターでは相談員 2 名が、対面あるいは電話やメールでの相談に応じている。

3. 診療実績

緩和ケア内科の外来診療は、月曜日～金曜日の午前中に行なっている。基本的には当院に通院中の紹介患者さんが対象である。全人的な苦痛を取

り除くことを目的にして治療を行ない、治療継続が困難となった患者さんには最適な療養環境を整えるように MSW やがん専門看護師と協力し、他院の外来に紹介するなどの地域連携を行なっている。令和 3 年度の外来診療件数は、1,381 件であった。課題と考えていた外来緩和ケア管理料を、要件を満たせば算定することができるようになった。

緩和ケアチームは、火曜日と金曜日に定期チーム回診、カンファレンスを行うほかに、随時、診療支援を行っている。令和 3 年度の依頼件数は、198 件であり、退院のうち、在宅ケア導入が 14 件、緩和ケア病棟転院が 17 件、その他の転院が 12 件、死亡退院が 22 件であった。ほとんどががんの患者であるが、非がん（心疾患、呼吸器疾患 COVID-19 関連患者の症状コントロールも含む。）は 10 件あった。なお緩和ケア診療加算件数は、771 件であった。

4. 今後の課題・目標

算定をはじめた外来緩和ケア管理料の件数を少しずつ増やしていきたいと考えている。

外来常駐看護師、医療秘書は不在、緩和ケアセンター事務も不在である。診療のみならず、医師や看護師が勉強会や講演会の企画運営や会場準備まで担当する厳しい状態である。がん診療連携拠点病院の施設基準は改定を重ねる毎に厳しくなっている。緩和ケアセンターの積極的な運用、提供する緩和ケアの質向上のために、人的資源の充実を目標とする。医師や看護師、医療秘書、また、緩和ケアセンターとして活動するための事務担当者、ゼネラルマネージャーの確保も必要。

他診療科、他部署との連携、地域連携、緩和ケアの啓発も重要であり、継続課題である。

併せて、がん相談支援センターの活用の充実も目標とする。

腫瘍内科

1. 概要

消化器がんを中心とした固形がんの抗がん剤治療を担当し、2017年4月開院のがんサポートセンター3階、外来ケアルームを主たる診療場所としている。

術前・術後化学療法、再発・転移例に対する化学療法を実施、治験・臨床試験も積極的に導入している。

診療初期より緩和ケア科と併診体制を敷き、緩和ケアチームをはじめとした多職種のかかわりにより全人的医療を実践しており、病状進行期には、近隣の緩和ケア専門医療機関や在宅診療機関との連携を密に図っている。

また、高知県立大学と共同で、がん専門看護師、がん化学療法認定看護師の育成にあたっており、県下のみならず、全国的なメディカル・スタッフ育成にも寄与している。

2. スタッフ活動状況

腫瘍内科を主たる業務とする常勤医は科長の根来医師1名である。非常勤医師として島田前院長（週2回）および香川大学より2名を交代制で招聘し、外来診療を依頼している。また消化器外科、消化器内科各々より、腫瘍内科枠での外来業務を担って貰っている。

3. 診療実績

外来のべ患者数は平成31/令和元年度4,582名、令和2年度4,519名、令和3年度4,948名であり、昨年度は月平均400名あまりまで増多している。

新型コロナウイルス感染症の影響での前年までの落ち込みに対して、従来の実績まで回復したのが昨年度となる。

対象癌腫は、胃癌、大腸癌、膵癌、胆道癌を主とした消化器がんを中心に、一部の原発不明癌も担

当している。標準治療を第一に実施し、臨床試験や治験の適格条件を満たす場合には患者さんに説明し参加を依頼している。また、薬剤師や栄養士も交えた定期多職種カンファレンスを設けているほか、必要に応じキャンサーボードにおいて複数科・多職種で協議し、より良い経過を得るべく個々の症例の検討を行っている。

がん遺伝子プロファイリングも適宜利用している。しかしながら疾患領域的に実際の治療に結び付くことは稀である。

4. 今後の課題・目標

- 1) 腫瘍内科医の確保は大きな懸案事項である。腫瘍内科医の必要性が増す一方で、安定した供給体制がないのが実情である。現在のところ腫瘍内科を目指す若手医師は大都市圏のがんセンターに集中する傾向があり、地方都市への招聘は極めて困難である。今後の高知県のがん診療を担う人材輩出のためにも、当センターにおいて消化器内科、外科と連携を図り若手ががん診療医の育成をしていく。院外からの研修も受け容れており、今後とも積極的に外来化学療法実践の場を提供していく。
- 2) JCOG 他の研究者主導臨床研究や治験に積極的に症例登録を行い、当センターの立場をアピールしていく。
- 3) 抗がん剤、支持療法の高騰化を適正化するために、新規薬剤の適応、導入について十分な検討を行い、医療経済的視点を持って抗がん剤にあたる。
- 4) がんサポートセンター外来ケアルームの安定した運用のため、看護師をはじめとしたメディカル・スタッフの育成を目指す。

ペインクリニック科

1. 概要

外来診療を中心として、患者さんへの治療を行った。主に神経ブロック治療や、キシロカイン、アルプロスタジルアルファデクスの点滴治療や内服薬による治療、ボトックス注射、脊髄刺激電極による治療、高周波パルス療法などを実施した。

2. スタッフ活動状況

令和3年度の医師数は、常勤医師が1名、非常勤医師が2名（1名は麻酔科との兼任で2月から勤務）であった。

3. 診療実績

令和3年度の診療実績は、下記のとおりである。

- ・延入院患者数 11人
- ・退院患者数 11人
- ・外来患者数 4,006人

4. 今後の課題・目標

令和3年度より、常勤医師1名、非常勤医師1名(2月から2名)体勢に変更となり、外来日が1日減となったが、外来患者数は前年度比較で345名増加し、当日の受診希望に添えない状況が発生している。

予約診療の厳格化や、逆紹介患者を増やしていくことが今後の課題である。

病理診断科

1. 概要

各臨床科の外来診療・入院診療の一翼を担い、種々の検体を対象とした病理診断（組織診・細胞診・病理解剖）を行った。日本病理学会の認定施設、および日本臨床細胞学会の認定施設・教育研修施設の資格も維持している。

2. スタッフ活動状況

前年と同じく、2名の常勤病理医が業務に携わっている。いずれも日本病理学会認定病理専門医・病理専門医研修指導医である。病理医1人あたりの業務量がやや多めであるが、業務の遂行に大きな支障は生じていない。

なお、医師に加え、医療技術局に属する6名の臨床検査技師（常勤職員5名、臨時職員1名、前者のうち3名は細胞検査士）、および事務局に属する医療秘書1名が業務をともにしている。臨床検査技師は前年より1名減の状態である。

3. 診療実績

組織診は6,051件（うち迅速組織診458件）、細胞診は4,283件（うち迅速細胞診3件）、病理解剖は9件であった。前年は新型コロナウイルス蔓延の影響で前々年よりいずれも減少したが（組織診5,706件、細胞診4,220件、病理解剖10件）、今回、病理解剖はほぼ前年並みだったものの、組織診は増加して前々年の水準に復帰し、細胞診も微増した。

組織診と細胞診においては、臨床科の幅広さを反映して、多領域・多臓器にわたる検体が提出されている。特に組織診では、手術検体の比率が高く（生検検体と手術検体の数に大差がない）、件数

の割には作製ブロック数・標本数が多いという特徴がある。コンパニオン診断を含め、診断や治療に際して有用な情報を提供しうる免疫染色の標本数も多い。件数の増加に伴い、それらブロック数・標本数も前年より増加している。

組織診ブロック数 37,363→42,353

組織診標本数 56,013→59,995

組織診免疫染色 7,652→8,806

細胞診標本数 6,473→6,699

病理解剖は内科系からの依頼が主で、特に血液内科が多い。全例において初期臨床研修医が臨床医の一員として関与し、また、全例において臨床病理検討会（CPC）を行っている。

4. 今後の課題・目標

病理検体の数が近い将来において大幅に変化する可能性は低いと思われるが、臨床科から求められる情報の量や質は高まる一方であり、それに従って業務量も増え続けている。よって、現時点では確保できている（ただし高齢化しつつある）病理医のマンパワーを、将来にわたって維持してゆくための体制づくりが喫緊の課題である。

日本病理学会認定病理専門医の研修については、当院は高知大学医学部附属病院を基幹施設としたプログラムの連携施設の一つとなっている。今後の人的要素の安定のためにも、高知大学医学部附属病院、および他の連携施設との関係を密にしてゆく所存である。

一方、標本作製等に携わる技師への配慮も必要であり、業務量増加に対して人員減という、相反した状態にある現状の改善が望まれる。

脳神経外科

1. 概要

脳神経外科学会専門医研修プログラムの連携・関連施設、脳神経血管内治療学会研修施設、脳卒中学会認定研修教育病院として、脳神経外科領域の外来診療や手術治療（カテーテルによる神経放射線治療を含む）を主とする入院診療を行った。

2. スタッフ活動状況

常勤スタッフは同様 6 名の体制であった（うち脳神経外科専門医 6→5 名）。外科治療を主目的にご紹介いただいた外来受診患者さんのみならず、脳卒中や頭部外傷などの急性期の神経疾患で救急受診した患者さんを幅広く診療した。

3. 診療実績

診療実績は、外来、入院、救急、手術などの実績はコロナ禍の影響を受けた昨年とほぼ同様であった。特に前半は昨年度以上に落ち込みがみられた。院内救急患者受け入れ体制の見直し等を行い後半は回復傾向をみせ、昨年とほぼ同程度に持ち直したが、例年に比べるとまだ低調である。

（外来）延べ人数 2,514 人

週 3 日の外来診療を各日 2 診察室の体制で行った。そのほか緊急患者さんを診療する人員を常に確保し、24 時間県内全域からの新たな患者さんを受け入れる体制を維持した。

専門外来は設けてはいないが、脳神経外科専門医、脳血管内治療専門医が各曜日に診療を担当している。

（入院）延べ人数 8,236 人

06 SCU 病棟の 9 床など、急性期脳卒中の診療体制の充実に努めた。そのほか、一般入院加療は 06 にこやか A 病棟、特に重篤な急性疾患に関しては 03 救命救急病棟、入院患者の術後は 03 集中治療病棟もしくは 06HCU で加療を行った。

（手術）

令和 3 年度の脳神経外科の手術総数は 184 例（うち緊急が 126 例）であった。直達手術 102 例、脳血管内治療は 82 例であった。

4. 今後の課題・目標

令和 3 年度も病院全体がコロナ禍の影響を脱しきれておらず、当科においては科の特性上、救急患者搬送の減少が大きく、外来、入院、救急、手術すべてにおいて診療実績に影響することとなる。そのため、院内救急患者受け入れ体制の見直し等を行い救急の確保に努めている。

高知県では他県よりも顕著に高齢化が進行している。高齢者に対する外科治療としては、低侵襲性を重視した脳血管内治療の適応が拡大している。

当科の診療体制の強みは、大半が脳神経外科専門医であること、脳神経血管内治療学会研修施設として中心的な役割を果たしていること、複数の脳卒中学会専門医および神経内視鏡専門医が在籍すること、医師以外のさまざまな職種が治療に動的に関与していることである。したがって、当科の診療の特徴は、急性期脳卒中に対する集中的な治療である。

今後の問題点としては、県人口の全体的な減少や同様の診療体制を喧伝する競合施設の出現による症例分散に伴う症例数の減少である。また救急部への過度の負担も無視できない。つまり、現在の急性期脳卒中診療を中心とした診療体制のみでは、限界が近いことが予想される。

したがって、今後も日常診療における治療成績を向上させることは当然だが、各症例での収益率を高めること、脳神経外科を志す若手医師を養成すること、当院の協力施設を増やすこと、急性期脳卒中以外の高齢者の対象疾患を拡大することが重要である。具体的には、入院期間の短縮化、専門医制度の充実、紹介医への丁寧な報告書の提供と逆紹介等を推進していきたい。

コロナ禍がまだまだ拡大する中、症例数に関しては厳しい状況が続くと予想されるが、到達すべき目標として DPC II 超率 20%（令和 2→3 年度退院患者数：30.3%→30.2%、入院延べ数：23.0%→17.7%）を手術治療 250 例、緊急症例 6 割、逆紹介率 500%を目指し努力したい。

現在の診療体制は近隣より高い評価をいただいているため、その迅速かつ信頼される診療体制を今後も守りつつも、より幅広い専門的疾患に対応できるような体制に移行していきたい。

眼科

1. 概要

眼科領域の外来診療や手術治療を主とする入院診療を行った。

2. スタッフ活動状況

常勤医師2名、非常勤医師1名で診療を行った。視能訓練士2名により眼科諸検査を行った。

3. 診療実績

(外来)

週5日の外来診療を常勤医師2名と非常勤医師1名で、3診体制で行った(金曜日のみ2診体制)。主に視能訓練士による屈折検査、視力検査、眼圧検査、眼底カメラ撮影、OCT(眼底三次元断層撮影)などの検査後に、医師が細隙灯顕微鏡検査、眼底検査などにより診察を行った。また、術前検査として超音波検査、角膜内皮測定、涙管通水検査を行った。さらに、緑内障や脳外科疾患などの患者には視野検査、眼球運動検査などを視能訓練士が行った。斜視患者には眼位検査、両眼視機能検査などを行った。糖尿病網膜症や網膜血管閉塞症には蛍光眼底造影などの検査を行い、必要に応じて網膜光凝固術を施行した。毎週水曜日にはNICUでの未熟児診療を行った。

(入院)

入院患者の延数は、127名であった。多くは手術症例であった。手術症例以外でも重症例では入院管理の下に治療を要する例もあった。

(手術)

令和3年度の眼科での手術総数は211例であった。内訳は、白内障および硝子体手術89例、眼瞼手術21例、斜視手術27例、網膜光凝固術16例、虹彩光凝固術3例、抗VEGF硝子体注射54例、その他1例であった。

4. 今後の課題・目標

新型コロナウイルス感染が広がる中で、眼科診療においても引き続き対策を行った。患者診察ごとに手指の洗浄や消毒を行った。使用した眼科診療機器やパソコンのキーボードも診察毎に消毒した。診察室の換気をこまめに行い、感染予防を徹底した。

新型コロナウイルス感染拡大により入院・手術にも影響が及んだ。入院時には感染を疑う症状の有無がないかチェックし、家族や学校等での感染状況について確認した。必要なら入院時にLAMP検査を施行し、院内感染予防に努めた。病棟や手術室のスタッフにも自宅待機者が増加し、マンパワーが不足する中、一つひとつの処置や指示を確実に行うよう心がけた。感染状況により入院や手術を制限せざるを得ない時期もあった。新型コロナウイルス感染予防に細心の注意を払いつつ、確実に安全な医療を提供していく必要がある。

耳鼻咽喉科

1. 概要

地域の基幹病院として、手術と入院を中心に診療を行った。救急部と協力して耳鼻咽喉科救急疾患に対応した。時間外呼出しにも応需した。新型コロナウイルス感染症対策を行った。

2. スタッフ活動状況

耳鼻咽喉科学会認定専門医の常勤医 4 名で診療を行っている。

3. 診療実績

週 3 回（月水金）の外来診療を医師 3 名で行なった。令和 3 年度の外来患者数は 8,656 人で前年度の 7,661 人から大幅に増加した。休診日でも緊急性を認めたときにはできる限り対応した。

当院での精査治療終了後は、速やかに紹介元に逆紹介を行った。

（入院）

令和 3 年度入院患者の延べ数は 392 例であった。内訳は手術症例が 244 例、めまいや突発性難聴などの感覚器障害が 22 例であった。入院患者のうち、がん患者は延べ 107 例で、うち手術を施行したのは 43 例、放射線治療および化学療法を施行したのは 25 例であった。

合併症がある患者も多く、必要に応じて関連他科と連携して診療を行なった。

（手術）

令和 3 年度の手術症例数は 424 例であった。鼓室形成術等の耳科手術は 64 例、内視鏡下鼻副鼻腔手術は 103 例、口腔・咽喉頭手術は 176 例、耳下腺などの唾液腺手術は 20 例、頸部手術は 19 例であった。気管切開その他 18 例であった。

頭頸部進行がんなどの再建を要する手術については、形成外科、歯科口腔外科や消化器外科など他科と協力して手術を行なった。耳科手術は完全

内視鏡手術が多数を占めつつある。

（検査）

一般開業医では施行できない検査を中心に行った。めまいの精密検査として電気眼振図は 48 例、重心動揺検査は 179 件。頭頸部腫瘍に対して超音波（エコー）検査 190 例、エコーガイド下穿刺吸引細胞診 64 例。組織診は 169 例施行している。

4. 今後の課題・目標

① 転院先の確保

すぐに自宅退院できない患者やリハビリが必要な患者の受入れ先、逆紹介先の確保。限られた医療資源を有効に活用するため、当院での急性期医療、耳鼻科集学的治療を終えた患者さんの受入れ先を充実させる。

② 頭頸部外科の実践

高知医療センターの設備、人的資源を活用した手術中心の医療を行う。

③ 頭頸部癌治療の充実

形成外科、消化器外科、その他関連他科、看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士、言語聴覚士らとのチーム医療を実践する。

④ 耳鼻咽喉科救急への対応、救急部との協力

高知医療センター耳鼻咽喉科に求められる診療範囲は広く、外来紹介患者診療、手術、入院管理、特殊検査など多岐にわたる。特に救急時間外対応は医師の過重労働へとつながるため業務役割分担を行う。

⑤ 地域医療機関への密な報告

当科への紹介患者さんの診療経過を報告する。

（注）手術件数は、日本耳鼻咽喉科学会算定方法による。このため入院症例数に対して、手術症例数が見かけ上多くなっている。

歯科口腔外科

1. 概要

口腔顎顔面領域の外来診療や手術治療および周術期口腔管理に関わった。

日本口腔外科学会、日本有病者歯科医療学会、日本障害者歯科医療学会の認定施設としての診療基準をクリアした。

2. スタッフ活動状況

令和3年度は常勤医6名（歯科口腔外科担当4名、小児歯科および障害者歯科担当1名、周術期口腔機能管理担当1名）が在籍し、うち3名は日本口腔外科学会専門医・指導医、1名は日本小児歯科学会認定医、日本障害者歯科学会認定医として専門的な診療を行った。救急対応を含む外来・入院・手術・周術期口腔機能管理への対応、地域貢献活動として歯科医師会での講演などを行った。非常勤医師は2名で昨年度から変化はない。チーム医療としては周術期口腔機能管理、摂食・嚥下チームおよびNSTに関与・協力している。

3. 診療実績

（外来）

常勤医6名を中心に院内・外の紹介患者受け入れを行い、外来患者数は、新患数3,307人（昨年度3,334人）、再初診では延べ16,306人（昨年度16,301人）、外来1日平均患者数は67.4人であった。新型コロナウイルス影響下での患者数は昨年度からほぼ横ばいであった。紹介率については、昨年度より上昇し50.2%（昨年度45.2%）であった。逆紹介は患者さんや紹介先との診療上の繋がりを重要視してほぼ院外からの紹介では全例で行っているが、診療情報提供書算定要件が厳しく統計上の逆紹介率は29.6%となっている。なお令和3年度、周術期口腔機能管理の新規歯科受診件数は対象疾患を再整理した結果、1,145件（昨年度1,421件）と減少した。

（入院）

入院患者延べ数は、1,327人（昨年度1,221人）であった。ここ数年の傾向として、高齢化に伴う疾患割合の変化、具体的には薬剤関連顎骨壊死や糖尿病などをはじめ合併症を有する難治性菌性感染症や後期高齢者以上の口腔癌治療ケースが増加傾向にある。

（手術）

手術室での年間執刀症例は105件であり、内訳は、難抜歯、嚢胞、骨髄炎、外傷、良性腫瘍、悪性腫瘍、および顎矯正手術などであった。歯科臨床研修施設としてあまり偏りのない症例が確保できている。

4. 今後の課題・目標

当科における診療は、口腔顎顔面領域の疾患に対する専門的治療を中心とし、有病者・障害者に対する外来診療、入院・手術治療、周術期口腔管理（院内・院外連携）が柱であり、今後は高齢化に伴って地域歯科医療の後方支援としての役割もより一層期待されるものとする。患者支援センターからの周術期口腔機能管理の歯科介入率はまだ改善の余地があり、引く続き課題として挙げられる。新規患者受け入れ体制を整備するためには歯科医師、歯科衛生士、診療スペースのさらなる確保が必要である。また開院以来17年を経過し、歯科用チェアユニットなど様々な医療機器の更新が適宜必要となってきている。目標としては、①医療連携をベースとし高知県内では数少ない口腔顎顔面疾患に特化する診療科として、診断や観血的処置の提供が安心安全に行える継続した体制作り、②マンパワーを確保し、周術期口腔機能管理の介入率のアップ（40～50%台を目標）、それに関連して③口腔ケアに熟知し、病院歯科で活躍できる「歯科衛生士」の養成と獲得（県内養成機関である高知学園短大との包括連携協定の具体化など）が挙げられる。

呼吸器内科

1. 概要

当科は、呼吸器疾患の内科的診断、治療全般を行っており胸部異常陰影に対する気管支鏡、胸腔鏡など精査や、肺癌に対する化学療法、放射線治療など集学的治療、急性呼吸不全や慢性呼吸不全の増悪などの急性期疾患、難治性肺炎、間質性肺炎の治療を行える病院として高知県全域からも患者さんを受け入れており、各地域の医院、病院の先生方と連携を保ちながら診療を行っている。

2. スタッフ活動状況

2名の呼吸器内科専門医および高知大学呼吸器内科学教室より1名の後期研修医の派遣をいただき3名の常勤スタッフで診療を行っている。

3. 診療実績

週5日の外来診療を、常勤医3名、非常勤1名で診察を行っている。表1に令和3年度の呼吸器系患者の入院、外来数の延べ人数を示した。延べ入院患者3,487人、外来患者数は3,710人である。

入院患者の内訳は肺癌が6割をしめる。肺癌の化学療法は97人に施行されており、免疫チェックポイント阻害剤(35人導入)、や分子標的治療薬を積極的に使用している。肺癌の化学療法については入院での治療導入後は外来化学療法が主体となっており、患者さんのQOLの維持を目的として緩和ケアチームと連携を取りながら治療に当たっている。

呼吸器内科の人員の減少により、通常の肺炎などは総合診療科や救命救急科で治療していただき、難治性肺炎や間質性肺炎など特殊な疾患については呼吸器内科での加療となる体制となっている。

気管支鏡検査は年間119例施行しており1泊2日のパスを使用している。末梢肺の小型病変に対してはEBUS-GSやバーチャル気管支ナビゲーション

を使用し診断率向上に努めている。縦隔リンパ節病変の精査に対してはEBUS-TBNAを施行。原因不明の胸水の精査および膿胸の加療目的に局所麻酔下胸腔鏡を施行している。なお結核病棟がCOVID-19病棟として運用しており、現在は感染性のある肺結核患者さんの受け入れは中止とさせていただいている。

表1 入院・外来実績

入院・外来患者数		
	延べ入院患者数	延べ外来患者数
呼吸器内科	3,487人	3,710人

表2 疾患別退院患者数(370人)

疾患名	退院患者数(人)
肺炎	26
肺癌	190
気管支喘息	6
間質性肺炎	26
気胸	0
肺結核	5
その他	46

表3 化学療法実績

	患者数	レジメン適用回数 (患者・回数1カウント)
呼吸器内科	100人	552回

4. 今後の課題・目標

肺炎などについては総合診療科や救命救急科の協力のもと加療を行い、肺癌など悪性疾患については呼吸器外科と連携のもと診断、治療を行っているが今後もスタッフの充実が望まれる。

呼吸器外科

1. 概要

当科は、呼吸器疾患を中心に外科的治療（手術）を主に行う科で、「肺がん、気胸などの呼吸器疾患に対する安全を重視した外科的治療」を基本理念としている。高知県全域および県外からも患者さんを受け入れており、各地域の医院、病院の先生方と連携を保ちながら診療を行っている。

2. スタッフ活動状況

現在 2 名の常勤スタッフで手術を中心とした診療を続けているが、令和 4 年度より 3 名の常勤スタッフでの診療になった。

3. 診療実績

週 2 日の外来診療を、常勤医 2 名で行った。表 1 に呼吸器系患者さんの入院、外来数の延べ人数を示した。入院、外来とも呼吸器外科患者数はそれぞれ約 2,900-3,700 人であった。

表 2 に手術実績を示した。令和 2 年は 154 例、令和 3 年は 182 例の手術を施行し、令和 2 年、令和 3 年と概ね 150～200 例の手術を施行した。

<https://www2.khsc.or.jp/shinryouka-bumon/shinryouka/kokyuukigeka/#jisseki>

令和 3 年の内訳では、原発性肺癌が 93 例で最多であるが、当院の特徴として他の疾患からの転移（転移性肺腫瘍）の診断・治療（手術）が多いのも特徴である。胸腔鏡下の肺切除術（VATS）が手術全体の 8 割以上で行われている。令和 3 年も、年間を通して手術関連死亡（術死、在院死）を認めなかった。気管支鏡検査は、呼吸器内科、呼吸器外科合わせて 160 件で、呼吸器内科を中心に施行いただいた。

表 1 入院・外来実績（令和 3 年）

	延べ入院患者数	延べ外来患者数
呼吸器外科	2,902 人	3,611 人
呼吸器内科	3,487 人	3,710 人

表 2 手術実績

手術実績	令和 2 年	令和 3 年
肺癌	72	93
転移性肺腫瘍	33	27
縦隔腫瘍	5	10
気胸	11	18
膿胸	5	7
外傷	3	1
その他	25	26
合計	154	182

表 3 化学療法実績

	患者数	レジメン適用回数 (患者・回数 1 カウント)	レジメン適用回数 (患者・回数複数カウント)
呼吸器外科	30 人	45 回	217 回
呼吸器内科	100 人	153 回	552 回

表 3 に化学療法の実績を示し、呼吸器内科、呼吸器外科ともに多くの化学療法を行っている。1 患者さんあたり 2 種類以上のレジメンが施行されている。肺癌病期 IA 期でも、2cm 以上の大きさでは術後化学療法が推奨される。また大多数の切除不能肺癌・進行肺癌・再発肺癌の領域でのレジメン数は増加し、適応症例や適応回数も増加しうると思われる。DPC 資料からも地域での肺悪性腫瘍の診療実績が上位にあり、基幹病院としての役割を果たしている。

4. 今後の課題・目標

今後発展し続ける内視鏡手術の適応継続と保険収載となったロボット支援下の手術手技・システムの充実、保持、適切な更新とともに、肺癌化学療法の分野の著しい進歩に合わせた呼吸器内科・呼吸器外科の連携、スタッフの充実、教育、がん診療連携拠点病院の機能保持が望まれる。

循環器内科

1. 概要

『紹介患者さんを断らない』をモットーに、24時間・365日、循環器内科医師が常駐し、迅速な患者さんの受け入れ直後より、専門医師による救急医療を提供する。救急外来での診断、緊急カテーテル治療、CCU・一般病棟管理、早期からの心臓リハビリテーション（心リハ）、病診連携による外来フォローと、切れ目のない循環器診療を実践している。

虚血性心疾患に対する経皮的冠動脈インターベンション（PCI）、不整脈に対するカテーテルアブレーション（RFCA）、各種デバイス移植術（ペースメーカーやICD）、大動脈弁疾患に対する経皮的な大動脈弁置換術（TAVI）／形成術（BAV）、経皮的僧帽弁接合不全修復術（マイトラクリップ）、末梢血管疾患に対するカテーテル治療（EVT）等、最先端の低侵襲治療を積極的に行っている。

2. スタッフ活動状況

常勤スタッフ6名で診療を行っている（表1、2）。日本内科学会総合内科専門医、日本循環器学会専門医、日本心血管インターベンション治療学会専門医、日本不整脈心電学会専門医、経カテーテル的大動脈弁置換術関連学会協議会指導医、日本超音波医学会指導医の資格を持つ専属スタッフにより、質の高い医療を実践している。

3. 診療実績

令和3年度の診療実績を表3に示す。

令和3年度の外来患者数は延べ5,275人、入院患者数は延べ10,023人であり、平均入院日数は7.5日とコロナウイルス患者受け入れ病院として

制限のある中で、昨年より入院患者数は増え、多くの患者さんの治療を行なうことができた。

当科でのPCIについては、ロータブレーター、エキシマレーザー、方向性粥腫切除術（DCA）の認定施設であり、複雑冠動脈病変へのPCIを積極的かつ安全に行っている。

心臓弁膜症へのカテーテル治療に関しては、重症大動脈弁狭窄症に対するTAVI、僧帽弁閉鎖不全症に対するマイトラクリップの施行施設である。

また、重症心不全症例に対する補助循環装置であるインペラの実施施設であり、高知県の心不全治療の最先端を担っている。

令和3年度は新たに経皮的左心耳閉鎖術（WATCHMAN）と経皮的リード抜去が開始となり、多くの患者さんの治療を行なっている。

当院は日本循環器学会専門医研修施設、日本心血管インターベンション治療学会研修施設、日本内科学会認定教育施設、日本超音波専門医研修施設であり、種々認定医・専門医の教育を行っている。

4. 今後の課題・目標

多くの患者さんを県内の医療機関からご紹介いただけるよう、地域連携の強化及び救急医療のレベルアップを図る。

また、受け入れた緊急患者さんが急性期を脱し病状が安定すれば、迅速な退院・転院が可能となるよう密な病診・病病連携を継続し地域医療連携を更に推し進める。

高知県で世界標準の循環器医療が受けられるようソフト面・ハード面ともに充実させ、地域完結型の循環器診療を目指したい。

(表 1)

名前	役職	専門分野
山本 克人	副院長	不整脈
尾原 義和	科長	虚血/弁膜症
福岡 陽子	医長	心エコー
吉村 由紀	副医長	弁膜症/不整脈
竹内 雅音	主査	虚血
谷岡 克敏	科長 (血管内治療科)	虚血

(表 2)

曜日	午前・午後	名前
月曜	午前	尾原 吉村 山本 (不整脈)
	午後	尾原
火曜	午前	谷岡
水曜	午前	山本
	午後	ペースメーカー外来
木曜	午前	福岡
金曜	午後	ペースメーカー外来

(表 3)

		件数
虚血性心疾患	冠動脈造影	727
	PCI	299
	ロータブレーター	35
	DCA	7
不整脈	EPS	27
	RFCA	11
ペースメーカー	新規	57
	電池交換	33
大動脈弁	TAVI	32
	BAV	13
僧帽弁	MitraClip	16
	WATCHMAN	18
	リード抜去	2

心臓血管外科

1. 概要

心臓血管外科専門医機構の基幹施設として、心臓血管外科領域の外来診療・入院診療を行っている。入院診療は手術治療を中心とし、手術対象は心臓・大血管・末梢血管である。

2. スタッフ活動状況

現在常勤スタッフ4名の体制で診療を行っている。医師数に余裕ができ、予定手術を含めた日々の診療への対応はもちろん、終日自由に行動できるスタッフをおくことができるため、ICU・病棟での処置対応や急変対応、および救急外来における緊急対応までもを万全に行える体制となっている。既に手術中である場合、または、麻酔科・手術室体制として受け入れ不可能な場合を除いて全ての緊急症例を受け入れる体制で診療している。

3. 診療実績

(外来診療)

月・火・金曜日に外来診療を行っており、各々が特殊外来を兼任する形で行っている。一般的な心臓血管外科外来およびその他の特殊領域の外来；静脈瘤、末梢血管、ステントグラフト；などを対象として、外来診療を受診しやすく、紹介しやすくして対応している。

当科では手術をした患者さんに関しては基本的に術後終生診させていただくことを原則とし、術後状態についても責任を持って行くべく診療体制をとっている。

また、救急救命センターとの連携において、通常の急患はもちろん、術後状態変化のあった患者さんに関しても可及的早期に受診できる様になっている。

(入院診療)

当院9階フロアを循環器病センターとし、循環器内科と心臓血管外科を同一病棟に配置して、術前後の連携を図っている。心臓・大血管術後急性期は当院3階のICUにて、集中治療科医との連携のもと、必要な期間治療している。

(手術治療)

週4日の手術日にて手術治療を、また、半日のカテ治療日にカテ治療を行っている。2021年の手術総数は220例で、弁膜症38例、虚血性心疾患22例、胸部大動脈瘤45例、腹部大動脈瘤21例、などであった。僧帽弁逆流は基本的に形成術を施行し、症例に応じてMICS(正中切開を伴わない小開胸での手術)も行い、胸部、腹部の大動脈瘤はステントグラフト治療も症例に応じて行っている。

カテ治療も積極的に行っており、ステントグラフト治療はTEVARとEVARを併せて37例、TAVI治療は28例に施行した。両治療ともに緊急・準緊急症例に対しても積極的に行っている。

4. 今後の課題・目標

様々な合併疾患を有し、複雑化・高齢化した手術症例が増加する傾向はますます進行しているが、院内他科、特に麻酔科・集中治療科・救命救急科との協力が充分に行われており、良好な成績を得ている。

最新の手術動向を取り入れつつも、高知で最も早く開心術を行ったチームから引き継がれた歴史と伝統を活かしつつ治療を行っており、しっかりした礎に建てられた最新の快適な家のように、病気に冒された患者さんに少しでも快適を提供できるように努力していきたいと考えている。

消化器内科

1. 概要

当診療科は消化器内科領域、特に消化管、胆膵疾患の診断・治療を担当し、外来および入院診療を行った。なかでも内視鏡診断・治療を中心として、救急治療、専門的な精査、治療を行った。また研修医および院外からの研修医師を受け入れ、診療および内視鏡研修の指導を行った。

2. スタッフ活動状況

常勤スタッフは計9名、他非常勤医師5名が水曜午後の外来及び内視鏡検査を担当している。

3. 診療実績

外来業務

週5日午前、月・木は2診、火・水・金は1診での常勤スタッフによる診察、水曜午後に非常勤医師による診察を行った。また救命救急科を主として各科と連携しつつ救急外来の対応を行った。基本的には早期の転医を推進し、再診患者数の削減を目指している。

入院業務

検査、予定治療入院、緊急入院診療を行い、地域医療連携、退転院調整、離床促進やリハビリを早期より積極的に利用し、在院日数の短縮を図っている。

内視鏡実績以外には急性膵炎、炎症性腸疾患が主たる疾患で入院期間も長期になりやすい。

内視鏡実績：2021年度の消化器内科での内視鏡実績は以下の通りであった。

上部消化管内視鏡検査

通常検査	1,985
止血術	133
食道ESD	15
胃ESD	59
胃ポリペクトミー・EMR	7

十二指腸ポリペクトミー・EMR	2
静脈瘤硬化療法	27
静脈瘤結紮術	6
異物除去	16
胃瘻造設術	47
消化管拡張術：食道	76
胃十二指腸	7
ステント留置：食道	0
胃十二指腸	1
内視鏡下胃管挿入	47
胆膵EUS	26
FNA・ドレナージ	19
迅速ウレアーゼテスト	75

下部消化管内視鏡検査

通常検査	814
止血術	93
大腸ポリペクトミー・EMR	303
大腸ESD	12
消化管拡張術 小腸・大腸	2
ダブルバルーン小腸内視鏡検査	9
ERCP	
通常検査	37
結石除去	215
ステント留置	256

4. 今後の課題・目標

主な業務となる消化器救命救急、がん診療に対する院内外からの要望がより高まる中、年々減少するスタッフの数が絶対的に足りていないのが現状である。また数年来肝疾患専門常勤スタッフ不在で、週1回非常勤医師の外来のみの対応となっている。これらは当科の指導システムや新しい人材の確保、施設認定等においても影響する課題といえる。

スタッフの確保と、いかに安全性を保ちつつ診療体制の維持・進歩をはかっていくかが最大の課題・目標である。

消化器外科・一般外科

1. 概要

高知県の消化器外科の基幹病院として、手術治療を主とした入院診療、外来診療および救急医療を行った。

2. スタッフ活動状況

常勤スタッフ 17 人+専攻医 2 人の体制で活動した。

3. 診療実績

(外来)

外来診療においては、平日午前、午後それぞれ 2-3 診察室の体制で、外来患者数 12,028 人（新患者数 559 人）を診察した。今後再診患者診療の効率化と共に、初心患者さんの増加を図る工夫を行いたい。

(入院)

新規入院患者数は月平均 143.2 人、1 日平均入院患者数は 60.7 人であり、入院患者総数は 1,718 人とコロナ禍前よりも増加した。平均在院日数は 11.5 日であり、前年度比-1.7%と重症例を診療していたにもかかわらず診療効率を上げ短縮されていた。

(手術)

令和 3 年度の消化器外科手術総数は 1,173 件であった。令和 2 年度の手術総数は 1,071 件であり、前年と比べて大幅に増加した。主な疾患別では、食道疾患 30 件、胃疾患 127 件、大腸疾患 297 件、肝胆膵腫瘍手術は 170 件であった。また、胆嚢摘出術 151 件、ヘルニア 96 件であった。腹腔鏡下手術は総数 655 件であり、全症例の約 56%を占めていた。

4. 今後の課題・目標

以前同様に常勤スタッフ数に対し、消化器外科専攻医が少ない状況が続いているが、近年県外から当院での研修および研修後の就職の問い合わせ、相談件数が増えている。全国の基幹病院と引けをとらない豊富な手術症例数、上級医からの教育体制が評価されつつあるのかもしれない。

今後は県内外の研修医に向けて積極的にアピールを行い、岡山大学との連携も図り専攻医の更なる増加を実現したい。

また、女性医師も就任し、女性医師が安心して働ける消化器外科を目指して環境整備を進めている。

高知県内では唯一、内視鏡外科専門医や肝胆膵外科高度技能専門医を定期的に輩出している。高知県内での臨床外科医育成の拠点となっている。

平成 30 年度から実施している消化器外科内での臓器別グループ化も定着してきた。各グループ毎のカンファレンスも行なわれており、専門性のより高い診療が提供できるように努力をしている。各領域における臨床試験、治験等への取り組みもさらに充実できればと考えている。

学会発表・論文業績においてもこれまで岡山大学関連病院の中で有数を保持しており、今後も業績を維持・向上させるべく、各スタッフの努力が望まれる。

泌尿器科

1. 概要

泌尿器科領域の外来診療や手術治療を主とする入院診療を行った。当院は地域がん診療拠点病院であるため、泌尿器悪性腫瘍の患者さんが中心となるが、尿路結石の治療や、前立腺肥大症など排尿障害の手術なども積極的に行っている。

2. スタッフ活動状況

常勤スタッフ4名と、専修医2名の6名体制で診療を行った。常勤スタッフ4名は日本泌尿器科学会の専門医、3名は指導医であり、うち2名は泌尿器腹腔鏡技術認定医である。

診療時間外についても1名のオンコール体制により緊急対応も行っている。

3. 診療実績

(外来)

令和3年度の外来患者総数は5,033人、月平均419人であり、昨年度と同様に新型コロナウイルスの影響により以前に比べ減少している。

週4日（水曜以外）の外来診療は各日午前中2-3診察室の体制で行った。初診患者さんの紹介状は地域医療連携室へ事前にFAXで送っていただき、初診時にできるだけ効率よく検査ができるようにしている。

(入院)

入院患者さんの延べ数は4,081人で、こちらも新型コロナウイルスによる手術制限などの影響で前年度よりさらに減少していた。

入院目的となる大半の疾患に対してはクリニカルパスを使用し入院期間の短縮に努めている。パス適応の手術・検査は、腹腔鏡下副腎摘除術、腎摘除術、腎尿管全摘除術、TUL、尿管ステント留置術、TUR-BT、前立腺全摘除術、HoLEP、精巣摘除術、前立腺生検である。

(手術)

令和3年の総手術件数は444例（前立腺生検も含む）であった。前年度に比べ約10%の減少となっている。

主な手術内容としては泌尿器腫瘍に対する手術が多く、副腎腫瘍に対する腹腔鏡下副腎摘除術を5例、腎腫瘍に対する鏡視下腎摘除術を5例、後腹膜鏡下腎部分切除術を15例行った。上部尿路腫瘍に対して後腹膜鏡下腎尿管全摘除術を8例行い、膀胱腫瘍に対しては腹腔鏡下膀胱全摘除術を3例（尿路変向はすべて回腸導管）、TURBTを61例（初発30例）行った。前立腺癌に対しては腹腔鏡下前立腺全摘除術を17例、去勢術を31例行った。精巣腫瘍に対する高位精巣摘除術は4例であった。

腫瘍以外については、前立腺肥大症に対する経尿道的ホルミウムレーザー前立腺核出術（HoLEP）を78例行い、結石治療としてPNL1例、TUL48例、経尿道的膀胱碎石術10例行った。尿管ステント留置・交換は64例、前立腺生検は77例（前立腺癌検出は56例）であった。

4. 今後の課題・目標

泌尿器科悪性腫瘍の手術においては、ほぼすべての術式でロボット支援下手術が保険適応となっており、こちらが今や標準的治療となりつつある。当院には未だ導入されていなかったため、腹腔鏡下手術を中心にやってきた。今後の治療レベルの維持、若手人材の確保のためにも手術支援ロボットの導入が望まれるところであったが、令和4年度中のダ・ヴィンチ導入が決定した。ロボット支援下手術の開始により、より安定した手術経過が期待される。

また、ホルミウムレーザーを使用した前立腺肥大症手術や結石手術の症例も多く、今後も積極的に行っていく方針である。

腎臓内科・膠原病科

1. 概要

腎臓疾患の基幹病院として、腎炎・ネフローゼ症候群、慢性腎臓病、膠原病、血管炎の外来診療、入院診療を中心に行った。

2. スタッフ活動状況

平成 27 年 4 月から常勤スタッフ 3 名であったが、平成 28 年 8 月に 1 名退職し、常勤 2 名体制になった。令和 3 年度は、西村誠明先生に週 1 回外来担当いただき（火曜日午後、隔週）、佐田憲映先生に週 1 回膠原病院内対診枠担当いただき（水曜日午後、隔週）、計 4 名体制で診療した。

3. 診療実績

外来患者さんの延べ数は、3,993 人（平成 30 年度）、3,950 人（令和元年度）、3,715 人（令和 2 年度）、3,793 人（令和 3 年度）、前年比 102.0%と増加した。新患は可能な範囲で受入れた。

入院患者さんの延べ数は、3,106 人（平成 30 年度）、2,886 人（令和元年度）、2,250 人（令和 2 年度）、1,846 人（令和 3 年度）、前年比 82.0%に減少した。

要因として、COVID-19 が一因と考えられる。

腎炎・ネフローゼ症候群、膠原病、血管炎の診断、診療を中心に継続した。血液浄化療法に関しては、①急性腎不全、慢性腎不全急性増悪時に対する血液透析、血液透析導入、②他院にて血液透析中の合併症に対する治療（手術、内視鏡治療、循環器内科的治療、化学療法等）、③腎移植前後の管理（血漿交換、血液透析）、④消化器疾患（GCAP、血漿交換等）、⑤特殊な疾患に対する血漿交換療法（血栓性血小板減少性紫斑病など）を行った。

日本透析学会 2021 年末統計調査報告は、当院新規導入 26 名（平均 72.8 歳、49～91 歳、男性 15 名、女性 11 名）、原疾患①糖尿病性腎症 34.6%、②腎硬化症 30.8%、③慢性糸球体腎炎 15.4%と報

告した。

他科入院中に合併する腎不全は、頻度が多く早期対応が望ましいと考え、対診枠は月～金、従来どおり継続した。時間外の急性腎不全、急性血液浄化、特殊な疾患に対する血漿交換療法に関しては、麻酔科、救命救急科と連携し対応した。定期的血液透析は休日も同様に継続し、周術期に関連した血液浄化は、ICU と連携し、時間外の臨時（緊急）透析に対応した。COVID-19 合併透析患者さんの入院中の血液透析（10A 病棟）を行った。

4. 今後の課題・目標

院内発症の腎不全管理、腎代替療法の選択・導入、維持透析中の合併症治療における血液透析管理を継続する。

腎炎・ネフローゼ症候群、血管炎が増加しており、また高齢化も進んでおり、早期発見・治療に努め、末期腎不全への進展を抑制したい。

当院の新規血液透析導入の傾向は、平均年齢が上昇（全国平均 70.4 歳）、糖尿病性腎症、腎硬化症が共に増加する傾向が認められた。かかりつけ医との連携した慢性腎臓病（CKD）対策、特に早期発見・治療、その後の逆紹介アップに努める。

若手医師育成に関しては、当院は、日本腎臓学会研修施設、日本透析医学会教育関連施設であり、腎臓専門医、透析専門医の育成に努める。腎臓疾患は、全身と密接に関連しており、全身疾患によって腎障害は惹起され、また、腎障害は全身に影響を与える。原疾患と腎疾患の関連を常に考えながら診断、治療を行う generalist の意識を育成する。平成 28 年 8 月透析専門医が 1 名退職したため、日本透析医学会認定施設の条件が満たされなくなり、平成 29 年度より教育関連施設に変更した。他の内科系診療科と協力し、総合内科専門医育成に努める。

移植外科

1. 概要

県内唯一の腎臓移植施設として生体腎臓移植手術・献腎移植手術を行い、現在までの多数の腎移植患者さん（他院で腎移植を施行した方も含む）のフォローアップを外来で行っている。また、総合的な腎不全治療として、内シャント設置術、シャントトラブルの対応を行い、入院中の維持血液透析患者さんの診療を腎臓膠原病内科と協力して行っている。

2. スタッフ活動状況

令和3年1月より堀見孔星医師が着任した。外来診療は澁谷と堀見で行う事で、より丁寧な診療が可能になっただけでなく、受診時の待ち時間短縮にもつながっている。また、日本移植学会認定レシピエント移植コーディネーターである三谷と米本は入院外来患者さんへの生活指導やその他の様々な相談に対応しており、各方面のチーム医療を展開する事でより多角的できめ細やかな腎移植後フォローを行っている。

学会活動も積極的に行っており、移植関連の各種地方学会や全国学会で発表を行った。

3. 診療実績

令和3年度は生体腎移植14例、献腎移植1例、腹腔鏡下移植用腎採取術14例、シャント関連手術70例を行った。

近年は透析導入することなく腎移植を行う先行的腎移植が増加している。透析による動脈硬化の進行や手術リスクの増加を考慮すると先行的腎移植はより良い成績が報告されており、当科でも積極的に取り組んでいる。また、手術手技の確立や薬剤の飛躍的な発達により、腎移植自体の適応も広がっており、高齢者や合併症を多く持つ方の腎移植も増えてきている。

4. 今後の課題・目標

腎臓移植は患者の生活の質や生存率を向上させるだけではなく、医療費（移植医療は腎臓提供者も含め公費負担がほとんど）の面でも透析療法に比べ安価となるため、そのメリットは非常に大きいと考えられる。腎不全患者さんだけでなく一般の方へ腎臓移植医療の情報をきちんと提供し、腎移植を考える方・腎提供を考える方を増やしたいと考えています。

婦人科

1. 概要

産婦人科は婦人科腫瘍、産科周産期医療、生殖医療とその他疾患に専門が更に分かれてきている。

婦人科は婦人科腫瘍とその他疾患を取り扱っている。

2. スタッフ活動状況

婦人科は他の産科、生殖医療科の医師も兼任している。

3. 診療実績

週5日の外来診療を行っている。

令和3年度の初診患者さんは475例（紹介患者さんは402例）であり、逆紹介患者さんは145例であった。

令和3年度の手術総数は340例であり、そのうち腹腔鏡手術が124例、子宮鏡手術が22例であった。

婦人科悪性腫瘍治療数（初回治療症例のみ）は、子宮悪性腫瘍28例、卵巣がん・境界悪性腫瘍が16例であった。

令和4年10月よりロボット手術を導入する予定である。

4. 今後の課題・目標

初診患者さんの受け入れを遅滞なく行うため、逆紹介患者さんを増やし、再診患者数の削減が必要である。産科周産期症例が増加している中、婦人科疾患の救急対応に対して他施設との連携が必要である。

産科

1. 概要

産婦人科は令和3年度末現在、専攻医1名を含む合計13名で診療にあたっている。

外来受診妊婦の約半数は妊娠初期リスクスコア2点以下の一般産科症例であり、残りの半数が妊娠初期リスクスコア3点以上のハイリスク妊娠である。ローリスクからハイリスク妊娠まで、幅広く対応している。近年では生殖補助医療（ART）による妊娠や35歳以上の高齢妊娠が増加に伴い、妊娠高血圧症候群（HDP）、妊娠糖尿病（GDM）、胎盤位置異常、癒着胎盤などのハイリスク症例が増えてきている。さらに、高齢妊娠の増加を背景に出生前診断を希望される妊婦も多いため、特殊外来に受診していただき、カウンセリングを含めて検査などの対応をしている。また、昨今の新型コロナウイルス感染症に関わる妊婦の対応なども高知県や他院と連携してその役割を果たしている。

当院は高知県唯一の総合周産期母子医療センターであり、MFICU3床、NICU12床、GCU15床を有し、小児科、小児循環器科（非常勤）、小児外科の協力を得て、高知県全域からハイリスク妊娠や胎児疾患症例を受け入れている。胎児疾患症例の紹介も多く、診断から治療を含めた管理に関しては、他県の高次施設とも連携しながら対応している。

2. スタッフ活動状況

外来診療、入院診療および定時手術に加え、緊急手術や母体搬送などに対応している。

学術活動としては、日本産科婦人科学会、日本周産期・新生児医学会、日本超音波医学会をはじめ、周産期医療関連の学会に積極的に参加して、演題発表を行い、得られた最先端の情報を臨床現場に反映させている。各学会指導医のもとで、専門医の取得も可能である。

また、シミュレーション教育にも力を入れている。看護スタッフとともにALSO、J-CIMELS（日本母体救命システム普及協議会）などチーム医療や産科救急に関する研修会に積極的に参加している。定期的に開催している病棟内での様々なシミュレーションを通して、診療技術の向上に加え、チーム医療のあり方を学んでいる。その他、高知県周産期医療関係者研修事業の委託を受けて、周

産期医療関係者研修会、症例検討会を開催することで、周産期に関わる人材育成や情報共有を進めている。

3. 診療実績

産科外来患者数	延べ 8,348 名
産科入院患者数	延べ 6,822 名
分娩件数（22週以降）	563 件
多胎 双胎	22 組
品胎	1 組
出生児総数	587 人
	（22～27週：4人、28～33週：34人、 34～36週：43人、37～41週：506人）
帝王切開	286 件
母体搬送受け入れ件数	37 件
	（搬送断り：7件、他院へ転院搬送：2件）

高知県下の出生数は年々減少してきているが、当院の分娩数は令和2年度と同等の水準であった。帝王切開率が50%に達している部分からはよりリスクの高い妊婦の管理が増加していると考えられる。

また、新型コロナウイルス感染症に関わる妊婦の対応やNICUの空床状況等により、搬送受け入れ困難な場合があり、関連部署とは周産期医療体制における情報共有を密に行っている。

4. 今後の課題・目標

高知県の出生数は年々減少しているが、ハイリスク妊娠率の増加により、一つひとつの症例にかかる負担が大きくなっている印象である。高知県下で継続されている早産予防対策は一定の効果を上げているが、母体合併症の悪化に伴う早産や胎児発育不全のための早産は減少していない。分娩週数による出生児の未熟性と胎児の健康状態の評価を総合的に判断して適切な娩出時期を検討していく必要がある。

以前より妊産褥婦のメンタルヘルスケアにも注力してきたが、新型コロナウイルス感染症におけるメンタルヘルスケアにも積極的に取り組んでいく予定である。

母児の健康を確保するために質の高い医療（安心・安全）を提供しつつ、産科を志し、高知県の産科医療を担う医師の育成に今後も力を入れていく。

生殖医療科

1. 概要

生殖医療専門医制度の認定研修施設として、日本産科婦人科学会規約を遵守し一般不妊治療から高度生殖医療に至る幅広い診療を行っている。

2. スタッフ活動状況

生殖医療専門医 2 名を含む医師 4 名、胚培養士 3 名による配偶者間人工授精、及び高度生殖医療として体外受精、顕微受精（精巣内精子回収法を含む）、凍結融解胚移植を行っている。また、AYA（思春期・若年成人）世代の悪性腫瘍患者の妊孕性温存希望者に対して精子、未受精卵子および胚の凍結保存を行っている。また、不妊症看護認定看護師 2 名による外来カウンセリングを適宜実施している。

3. 診療実績

外来診療として不妊症検査スクリーニング、timing 指導、配偶者間人工授精、高度生殖医療を実施している。高度生殖医療の 2021 年 1 月～12 月の実施件数および成績を示す。

採卵周期 153 例（体外受精 102 周期、顕微受精 51 周期）、凍結融解胚移植 136 周期

胚移植あたりの妊娠率 36.9%

胚移植あたりの妊娠継続率 25.4%

採卵周期数および融解胚移植周期数は年々増加している。

悪性腫瘍患者に対する妊孕性温存のための精子凍結保存 3 例、未受精卵子凍結 8 例（合計 11 例）。

4. 今後の課題・目標

2022 年 4 月よりタイミング療法、人工授精といった一般不妊治療、および体外受精、顕微受精、凍結融解胚移植などの生殖医療が保険適用され、20～30 歳代の不妊に悩む方々にはより身近な治療になった。今後紹介患者数も増加すると予測され、出生数減少の課題を抱える高知県の一助となれば幸いである。

小児科

1. 概要

当科は、主に小児の内科的疾患を対象とし、高知県全域から患者さんを受け入れており、各地域の開業医院、病院の先生がたと連携を保ちながら診療を行っている。また、外科的治療を要する児に関しても、小児外科および他の外科系診療科との連携を図りながら、患者さん全身の診療を行っている。小児病棟では院内学級も併設、院内保育士も配備されており、長期入院児の学業面および生活面のサポートを行っている。

総合周産期母子医療センターを有しており、県内の新生児疾患全般に関して診療を行っており、先天性心疾患および希少な重複外科疾患の一部は県外の専門施設と連携しながら対応している。

2. スタッフ活動状況

スタッフ 9 名(うち小児科専門医 9 名)、後期研修医 3 名である。外来診察室は感染症 2 室、非感染症 4 室(小児外科含む)と分けて診療を行い、病院での感染に配慮している。一般外来・専門外来ともに午前・午後行っている。専門外来では、小児循環器、小児神経、小児血液・腫瘍、内分泌・腎臓、慢性疾患、NICU 卒業児の発達フォローアップを行っている。

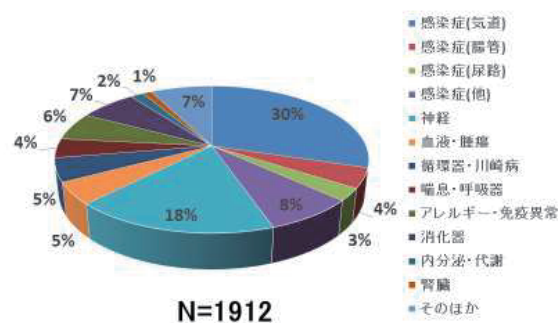
3. 診療実績

(入院：小児科病棟 図 1)

一般病棟への入院数は、2019 年度 831 人、2020 年度 449 人、2021 年度 632 人、であった。2020、2021 年度は、過去数年と比較すると激減している。新型コロナウイルス感染症の流行により、例年流行する RS ウイルス、インフルエンザ感染症での入院の減少が主たる原因である。3 年間の入院数は 1,912 人であり、感染症は約 45%と半数弱であり、神経疾患やアレルギー疾患等、他の疾患での

入院が約 55%であった。

図1 2018～2020年度の疾患別入院割合(NICUを除く)



(入院：NICU 図 2)

NICU は過去 10 年間で 2,747 人の入院があった。低出生体重児が全体の半数ほどで、ほぼ横ばいであった。10 年間の全死亡例は 27 例で、救命率は平均 99.0%であった。

図2 年別NICU入院数



	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	合計
総入院数	238	243	292	251	295	313	281	297	270	267	2747
死亡数	4	5	1	1	3	2	2	5	2	2	27
救命率(%)	98.3	97.9	99.7	99.6	99.0	99.4	99.3	98.3	99.3	99.3	99.0

(外来)

2021 年度の外来患者数は 13,917 名、予防接種件数 6,539 回(複数接種含む)、乳児健診 878 名であった。昨年度より若干の増加を認めているが、長期的には、分娩件数の減少に伴い、外来患者数・乳児健診数は減少傾向にある。

4. 今後の課題・目標

今後も現状と同様、地域の医療機関と連携して診療を継続していく予定である。

小児外科

1. 概要

日本小児外科学会認定施設として、小児外科・小児泌尿器科領域の外来・入院診療を行った。

2. スタッフ活動状況

日本小児外科学会専門医1名が一人医長として勤務していたが、10月より小児外科研修目的で外科医が1名増員となった。これまでどおり小児外科予定手術に小児科の研修している1年目・2年目の初期臨床研修医も第二助手として手術に加わり、小児外科の研修を行っている。

緊急手術や高難度の予定手術は、他診療科の協力を得ながら、症例によっては岡山大学より学会認定指導医や専門医の応援を得て施行している。小児泌尿器科領域も小児外科領域と同様に泌尿器科の協力を得ている。

当院小児科が日本小児血液・がん学会研修施設であることから、若手小児科医の修練を外科的な立場でサポートしている。また日本周産期・新生児学会も修練施設であり、同様に新生児外科的疾患に関する若手小児科医の修練をサポートしている。

3. 診療実績

(外来)

従来と同様に、月曜日と水曜日に外来診療を行っている。受診患者数が多く患者さん達からの希望もあり、金曜日にも外来診療を枠外で行っている。外来検査は火曜日の午後と金曜日に行っているが、月曜日の午前中も必要に応じて行っている。多くの画像検査で小児の場合鎮静が必要となり、鎮静を行う場合は小児外科医が鎮静を行い、その後もすべての検査に立ち会っている。

(入院)

引き続き新型コロナウイルス感染症の影響で、小児患者数自体が少なくなっており、外科的疾患症例も減少しているため、昨年よりは多少増加したが、手術症例数は159例とコロナ以前の症例数よりもかなり減少したままで推移している。

鏡視下手術は17例、新生児手術は8例、泌尿器科関連手術は10例であった。

4. 今後の課題・目標

当院の病院機能として小児外科的・小児泌尿器科的疾患に対して救急対応を行っている現状を考えると小児外科専門医がもう一名常勤医として赴任することが必要と考えられる。研修目的で外科医1名の増員がはかられたことは良い傾向ではあるが、いずれは高知を離れることが前提であることから、今後も長期間高知で診療を行える人材を全国的に求めていく必要がある。

日本小児外科学会は発足当初より日本の山々・津々浦々で等しく小児外科医療を行うべく専門医制度（以前は認定医制度）を1980年代から行ってきたが、近年の少子化による症例確保の問題もあり、複数県での集約化を行うべきではないかとその考え方を考えようとしている。

高知県における出生数が年々減少している現状を踏まえて、高知県における小児外科の必要性をどのように考えるか、他施設との集約化をどのように図るか、当院の施設認定を含め、行政とも十分に議論を行い、病院としての長期的なビジョンを示す必要がある。そのビジョンに沿うように人的資源の確保に努めたい。

目標は、専門医取得前の若手外科医の確保とその若手外科医が、十分に経験ができると思われる手術症例数200例を確保したい。

救命救急科

1. 概要

救命救急センターとして、突然発症した重症な病気や外傷の患者さんに対し救急専門医を中心に各科の専門医と連携を密にとりながら、早期診断と集学的治療において『救急医療は医の原点』である理念を実践し、患者さんが安心して受けられる高度救急医療を提供している。

2. スタッフ活動状況

常勤医 6 名、うち救急専門医 2 名でドクターヘリ事業を中心とした病院前診療、救急外来診療、及び救命救急センターの入院診療を行っている。診療以外ではメディカルコントロールの一環として事後検証会（県内各地で月 1 回開催）へ出席し、更に年間を通じた救急救命士病院研修では看護師の協力を得て静脈路確保や脳卒中をはじめとする症状の観察指導を実施している。Off-the-Job Training でも学会認定の蘇生コース、チーム診療、外傷診療・災害対応等の標準コース開催やインストラクターとしての県内外への参加を積極的に行っている。

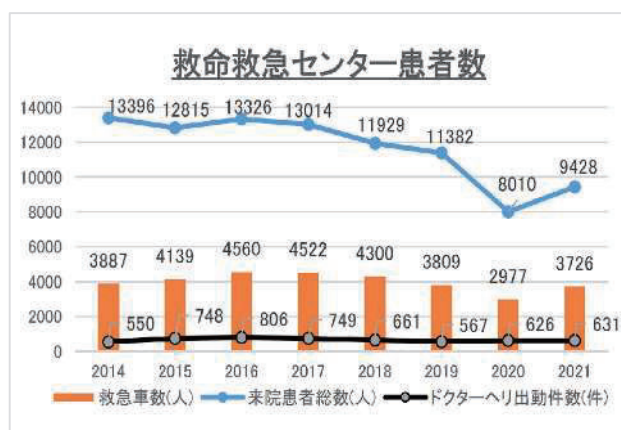
3. 診療実績

（病院前診療）

高知市内の救命救急センターから遠い地域でも救急専門医を早期に傷病者に接触させるシステムとして高知県ドクターヘリ事業があり、当院はその基地病院として重要な役割を担っている。また、病院に比較的近い地域においては欧州型ドクターカー（通称：FMRC）を出動させている。2021 年度の FMRC 要請 167 件中、出動は 120 件であり運転手の確保が課題である。

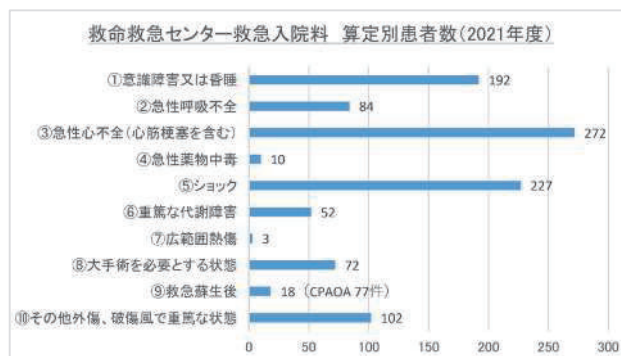
（救急外来診療）

救急隊や病院前診療に出動した医師との情報共有として ICT などを駆使し良質な搬送をめざし救急隊活動や病院前診療を支援している。また、救急外来では各科と連携し、外傷や脳卒中スクランブル対応などにおいて直ちに必要な処置が実施できる体制を確保している。CPAOA は 77 件、t-PA 投与症例は 56 件であった。



（入院）

専任の薬剤師、栄養士、リハビリを ICU に配置している。毎朝の他職種カンファレンスで治療内容が検討され遅滞なく治療を進めている。総合診療科と連携し重症 COVID-19 対応を行った。



4. 今後の課題・目標

①教育

症例報告、論文作成を支援する。各部門において研修医教育の充実をはかる。

②診療

(病院前診療)

活動の検証を行ない安全、迅速な活動を保証する。

(救急外来)

重症多発外傷及び脳卒中に対する診療体制を更に充実させる。

(集中治療)

高齢者における機能回復リハビリテーションと症状緩和を実践し、更なる治療中の QOL 向上をはかる。

③安全

チーム医療を実践する。情報の見える化と情報共有を推進する。倫理的課題に対して多職種カンファレンスを効率的に実施する。

④人員

休暇を確保しつつ、働き方を意識した業務の効率化を引き続き進める。

麻酔科・集中治療科

1. 概要

当院は急性期病院として多くの手術件数をこなしている。心臓血管外科手術や移植医療といった難度の高い手術も多く、また合併症を多く持つハイリスク患者さんや超高齢者の手術症例にも対応している。

集中治療室において、ハイリスク症例の術後管理を麻酔科・集中治療科が担当しており、術中～術後まで一貫した周術期管理を行っている。

2. スタッフ活動状況

現在、常勤、非常勤、専修医の計 19 名で運営しており、麻酔科専門医・指導医 13 名を擁する。2017 年に日本集中治療医学会専門医研修施設として認定を受け、集中治療専門医 3 名を擁する。また、心臓血管麻酔認定施設として心臓血管麻酔専門医 4 名を擁する。

スタッフ各自が麻酔専門医を土台とし、さらに上位の専門医取得に努めている。

3. 診療実績

手術室は 11 室あり、うち 1 室はハイブリッド手術室である。平成 27 年より稼動したハイブリッド手術室では、経カテーテル的大動脈弁置換術 (TAVI)、経皮的僧帽弁クリップ術 (MitraClip) を実施しており、一昨年度から経皮的左心耳閉鎖術 (Watchman) も始まり、症例数は年々増加している。COVID-19 の影響もあり全体の手術件数は若干減少したが、局所麻酔や腕神経叢ブロックのみで行う手術以外のすべての麻酔管理 (カテ室も含む) を麻酔科が担当している。

手術件数 (うち、ハイブリッド手術室の手術件数)

令和元年度	5,217 件 (202 件)
令和 2 年度	4,545 件 (211 件)
令和 3 年度	4,912 件 (257 件)

術後鎮痛は、以前は硬膜外麻酔が主流であったが、抗凝固薬や抗血小板薬投与を受けている患者さんが増加しており、硬膜外麻酔が実施できないケースが増加している。このような患者さんに対して、近年急速に進歩している超音波ガイド下末梢神経ブロックを積極的に行っている。

集中治療室は、外科の術後症例、内科の病棟急変症例を主に受け入れており、重症 COVID-19 患者の治療も担当している。現在 8 床で運営しているが、今年度中に増床予定である。

4. 今後の課題・目標

手術室での麻酔管理のみならず、集中治療、ペインクリニックの充実のため、教育システムの質をさらに向上させ、多くの麻酔科専修医を獲得し、さらなる人員の拡充、育成に努めたい。

専修医の先生方には、麻酔科専門医はもちろん、それを土台として集中治療専門医、心臓血管麻酔専門医、ペインクリニック専門医などの subspeciality 習得への道を開いている。

皮膚科

1. 概要

日本皮膚科学会認定専門医研修施設として、皮膚科領域の外来診療や入院診療（自科、他科問わず）を行った。

2. スタッフ活動状況

これまで常勤スタッフ2名が、平日午前2診体制で外来診療をおこない、緊急時の対応にも速やかに行えるようにした。他科からの対診依頼にも時間的に可能な範囲で対応した。

また、医療秘書も診療補助につき診療業務を円滑に行うために不可欠となっている。

さらに、不定期ではあるが、1ヶ月単位での初期研修医の皮膚科研修で、人手のいる処置などでも非常に助かっている。

3. 診療実績

外来患者数	4,924人(累計)
入院患者数	809人(累計)
平均在院日数	23日
局所麻酔下年間手術数(生検含む)	100例
全身麻酔下年間手術数	4例
	(いずれも全身熱傷や形成手術応援)
☆皮膚科への対診数	786件(院内で2番目)
外来対診	347件
入院対診	439件

(外来)

従来のように、平日週5日の外来診療を常勤医師2名で、毎日2診体制で行った。開業医師からの紹介も多く、個々の症例に対する細やかな診療・治療を心がけてきた。院内他科からの当日紹介も多くあった。

鶏眼処置、疣贅冷凍凝固、紫外線治療、皮膚生

検、小手術、乾癬患者やアトピー性皮膚炎患者に対する生物学製剤の使用など可能な限り行っている。

皮膚悪性腫瘍の場合には、皮膚生検の結果や手術の侵襲の程度等に応じ、形成外科等へ紹介している。美容・レーザー治療などは他院へ紹介している。

毎月院外にて大学、勤務医、開業医と皮膚科の病診連携につながる勉強会等に参加し、スキルアップにつなげている。今年度は新型コロナ感染の影響で休会も多くあった。

(入院)

蜂窩織炎、帯状疱疹、自己免疫性水疱症、中毒疹、薬疹、紅皮症、難治性下腿潰瘍、アトピー性皮膚炎の急性増悪等で入院治療を行ってきた。褥瘡に関しては褥瘡防止委員会の一員としてWOCナースや他のコメディカルと連携をとりながら、褥瘡回診を行っている。

他科入院中患者に関しては、一般病床、ICU、NICU、救急外来、手術室などありとあらゆる部署への往診を含め診察治療を行い、経過をフォローしている。

4. 今後の課題・目標

様々な合併疾患を有し、複雑化、高齢化した患者の皮膚疾患も目立ってきている。

当科だけでは対応できない皮膚悪性腫瘍の手術症例、全身と皮膚との関連を思わせるデルマドローーム、病院全体として取り組む褥瘡治療、予防などのチーム医療も欠かせない状況である。

今後、新専門医制度の導入にあたり、施設認定の維持、研修システムへの参加などが必要不可欠である。十分今後も検討していく予定である。

整形外科

1. 概要

日本整形外科学会が認定する専門医研修施設として外傷、脊椎、関節、腫瘍を軸に手術加療をメインに診療を行った。

2. スタッフ活動状況

2021年3月31日をもって開院以来当院整形外科を長年牽引していただいた時岡孝光先生が退職された。またスタッフの数も8人と1人減となったが全員で力を合わせ診療にあたった。

3. 診療実績

外来延べ患者数 7,932人

入院延べ患者数 13,679人

関連病院 2021年(1/1~12/31)の各種手術件数(件)

総手術件数		959
外傷	骨折手術	130
	上肢	130
	下肢	192
	骨盤	12
	偽関節手術	4
その他	15	
関節	鏡視下ACL再建	4
	鏡視下半月板手術	28
	鏡視下肩手術	0
	鏡視下手術その他	11
	骨盤骨切り	0
	下肢骨切り	2
	人工関節	26
	THA	26
	TKA (UKA含む)	49
	TEA	0
その他(肩・手関節・指)	0	
その他	3	

脊椎 脊髄	頰椎	54	
	胸椎	40	
	腰椎	167	
	脊椎・脊髄腫瘍	0	
	その他	0	
腫瘍	生検	4	
	骨腫瘍	良性	9
		悪性	2
	軟部腫瘍	良性	28
悪性		10	
手	絞扼性神経障害	3	
	ばね指	1	
	腱	16	
	先天奇形	0	
	その他	3	
足関節 足	足関節固定(鏡視下含む)	1	
	外反母趾	1	
	足趾形成術	0	
	その他	2	
切断	上肢	0	
	下肢	6	
感染	切開排膿	12	
	搔爬+α	12	
抜釘・その他		112	

4. 今後の課題・目標

COVID-19感染、時岡先生の退職、スタッフの1人減などの影響で上半期は手術件数も減少していたが下半期は回復した。今後はさらに手術件数を増やしていきたいと考えている。

形成外科

1. 概要

日本形成外科学会の認定施設として形成外科領域の外来診療、入院診療、手術治療をおこなった。

2. スタッフ活動状況

形成外科では常勤スタッフとして3名が在籍している。これまでの入院診療は手術が主な目的であったが、近年の創傷管理に対する意識の高まりやデバイスの進歩に伴って、当科でも創傷管理自体が目的の入院診療、さらに他科からの創傷管理の依頼が増えてきている。これには時間と人手が必要であり、今後さらに同様のケースが増え続けるなら人員増員も視野に入れた対策が必要かもしれない。

3. 診療実績

(外来)

基本的には外来は毎日行っている。少ない人数で回しているため病棟回診などと掛け持ちすることが多い。本来なら院外施設と連携して経過観察などを依頼すべきだが、高知県には形成外科専門医が少なく地域の病院に丸投げできないのが現状である。救急外来については切断指など、超緊急を要する場合は対応できないことがある。他科も含めマイクロサージャンの育成が待たれる。

(入院)

前述の通り、近年創傷管理に対する意識、技術、デバイスなどの進歩は目を見張るものがある。当院でも形成外科が創傷管理のスペシャリストとして認識されてきた。令和3年度の入院延べ人数は2,103人で対前年比117.2%であった。これに加えて同数もしくはそれ以上の他科入院中の患者さんの創傷処置を行っている。当科での平均在院日数は12.9日と前年より0.7日長い結果となっている。

(手術)

令和3年の形成外科単独手術、他科との共同手術含め手術は総数727件であった。総数は数年来変わらないが、内容は年々変化している印象がある。創傷管理と同様に手術の分野でも新しい機器、設備が導入され、より安全に正確におこなわれるようになった。顔面骨折はほぼ全例ハイブリッド手術室でおこなうことで、リアルタイムで整復の正確性が検証できている。

4. 今後の課題・目標

これまで同様、形成外科領域の疾患に対しての診療を行うことに加えて、更に他科に信頼されるよう連携をすすめたい。そのためには地域の病院との連携や創傷に関する理解が絶対条件となるので、できる限りのアピールや啓発活動も行っていきたい。

乳腺・甲状腺外科

1. 概要

日本乳癌学会認定施設、日本内分泌外科学会認定施設として乳癌、甲状腺癌を中心とした乳腺甲状腺疾患の手術、薬物療法、遺伝カウンセリング、緩和治療などを行っている。またセカンドオピニオンにも対応している。

2. スタッフ活動状況

常勤スタッフ2名、乳腺疾患は高島、甲状腺疾患は大石が担当し、適宜ローテーション研修医、修練医が加わる。学外活動としては全国学会、地方会ともに演題発表には積極的に取り組んでおり、論文執筆も行っている。JBCRG、SBP、CSPORなどの臨床試験にも積極的に参加している。また癌診療拠点病院に関連した講演活動なども行っている。各種教育セミナーや研究会にも参加し知識、技術のアップデートに努めている。また遺伝性乳癌卵巣癌症候群をはじめとした遺伝性腫瘍に対するカウンセリング、サーベイランスにも力をいれている。さらになんゲノムプロファイリング検査に関するセカンドオピニオンにも対応している。

3. 診療実績

以下に過去4年間の手術症例数を示す。

手術症例数は順調に増えており、乳癌についてはエキスパンダーインプラント実施施設の認定を取得し、乳房再建にも積極的に対応しており、インプラントによる人工物での乳房再建のみならず、広背筋皮弁等の自家組織での再建も行っている。

また遺伝性乳癌卵巣癌患者に対するリスク低減乳房切除も対応可能である。甲状腺については術後出血等の合併症に早急に対処できるよう安全対策の徹底をおこなっている。

(外来)

2名の常勤スタッフで週2回終日の外来を行っており、一日あたり最大50人程度の患者さんの診療を行っている。紹介率も年々増加傾向にある。可能な限り待ち時間を短縮すべく迅速かつ丁寧な診察に努めている。また外来診療日以外の日でも緊急を要する場合は適宜対応可能な体制を取っている。セカンドオピニオン、遺伝カウンセリングなどは時間的余裕をもって対応できるよう外来受診日以外に日程を別途もうけるようにしている。紹介医には詳細な経過報告を遅滞なく行う事に留意している。

(入院)

手術については乳腺、甲状腺ともに最大1週間（乳房再建の場合は2週間）の入院で可能な限り早期退院を目指している。術後リハビリ、リンパ浮腫指導なども病棟スタッフが中心となり、患者満足度を上げるべく努力している。化学療法については患者さん教育、副作用観察、服薬指導などを目的に初回のみ数日の入院で行うようにしている。終末期の患者さんについては当院の機能上、長期入院が不可能なため、原則、近隣の緩和病床への紹介を行っている。合併症発症時に総合病院のメリットを活かすべく関連科への迅速なコンサルトを心がけている。

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
乳腺 手術件数	88例	84例	70例	98例

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
甲状腺 手術件数	89例	87例	109例	109例

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
副甲状腺 手術件数	3例	5例	10例	15例

4. 今後の課題・目標

2名のスタッフで診療に当たっているが症例数の増加に伴いマンパワー不足を感じる場面も多くなってきたため後進の育成もかねて当科への勧誘、アピールも積極的に行っていきたい。

乳癌症例については外来治療が長期にわたることも多く、特に再発症例では終末期までを視野に入れた外来、入院間の途切れのない連携をいかに構築するかが今後の大きな課題である。

認定看護師などを仲介とした医師、コメディカル間の情報共有がこれらの解決策として期待される。

甲状腺手術に関しては県内唯一の甲状腺内分泌外科専門医が在籍していることから紹介数も増えているが、安全性を追求した手術を目指す努力を続けている。

地域の中核病院として地元信頼され都会の専門病院にひけをとらない診療体制の構築が我々に課せられた義務であり、症例数のみを追求するのではなく診療の質を落とさないよう個々の患者さんに対し真摯に向きあえるようなチーム医療体制の確立が今後の目標である。

Ⅲ 各委員会資料

医療安全管理委員会

1. 目的

委員会の目的は院内の医療安全管理対策の検討及び推進を行い、医療安全に関わる協議決定を行う事。定期開催日は毎月第2月曜日。委員は病院長が任命した各局の責任ある職員を含む26名。委員会の検討結果については、定期的に委員長が病院長に報告すると共に、各局協議会、セイフティマネジメント部会を通じて各部署の全職員に周知徹底する。

2. 開催回数

12回/年

3. 1年間の活動要約

(1)毎月のインシデントレポート統計の件数と種類別(7項目)の詳細分析と対策の報告、重要事案に関する報告を行った。さらに、医薬品安全管理に関する情報提供、医療機器安全管理に関する情報提供、医療放射線安全管理に関する情報提供、研修や点検実績の報告。統計報告は、毎月院内 Web にて全職員が共有できるようにしている。

(2)各局から医療安全に関する報告や提案を受けた。患者からの医療安全に関する相談は、まごころ窓口で対応するとともに医療安全管理センターからも窓口での患者相談がスムーズに進展するよう連携し対応事例への情報提供を相互に行なった。

(3)放射線および病理検査結果レポートの未読に起因する有害事象をゼロにする取り組みを行なった。結果、未読レポートによる有害事象の発生はなかった。

(4)年間計画に基づく医療安全管理 Web 研修会の実施報告。アンケートによる職員の反応や研修内容の評価、各局別に参加状況等を報告し、年2回の必須研修に参加していない職員に対する啓発を継続的に実施した。その結果、委託業者も含めた全職員の受講率は100%となった。

(5)インシデント重要事案、医療問題検証委員会の報告を行い、方針、結論を確定した。

(6)医療安全管理マニュアルの改定、行事の企画運営等についての提案や報告を行った。

4. 今後の活動目標

(1)医療安全管理体制の再検討・整備

(2)e ラーニングによる研修を企画し全職員100%参加が継続されることを目指す。

(3)患者の高齢化を背景とした転倒・転落防止にむけた取り組みを検討する。

(4)インシデント分析と、再発防止策の周知徹底。ラウンドで評価を行い、再発防止に努めると共に、多職種で事故を未然に防ぐ方策を検討する。

医療関連感染対策委員会

1. 目的

病院長の諮問機関として、医療関連感染防止ための必要事項について審議することを目的としている。

2. 開催日・審議事項等

1) 定期開催 1回/月（第2月曜日）

開催回数：12回/年

2) 臨時開催必要時

開催なし

3. 1年間の活動要約

1) 毎月の報告・検討事項

- (1) ICT・AST 運営部会、感染管理リンクナース会活動報告
- (2) 抗菌薬抗真菌薬使用状況(AUD)報告
- (3) 院内感染対策レポート(血液培養/耐性菌等)
- (4) 医療系廃棄物不法投棄状況件数報告
- (5) 針刺し切創・皮膚粘膜曝露発生状況報告
- (6) 栄養部門便等培養検査結果報告など
- (7) 各局・各部門での取り組み等報告
- (8) 感染対策研修会参加状況報告
- (9) 感染対策地域連携に関する報告
- (10) 新型コロナウイルス感染症対策 など

2) 検討および審議事項

- (1) 感染管理関連組織に関すること
- (2) 針刺し切創・皮膚粘膜曝露対策強化対策
- (3) 季節性インフルエンザ対策
- (4) 新型コロナウイルス感染症対策
- (5) マニュアルの改訂・承認
新型コロナウイルス対応マニュアル改訂

3) その他

- (1) 軟性内視鏡細菌培養：1回/年

4. 今後の活動目標

委員会決定事項の職員への周知徹底を図る。

ICT（感染制御チーム）運営部会

【ICTメンバー：14名】

医師	3名
看護師	2名
薬剤師	5名
臨床検査技師	3名
事務	2名

4) アウトブレイク対応

5) 加算2 医療機関との合同カンファレンス

対象 11 施設と 4 回／年実施

6) 加算1 医療機関との相互評価

訪問 1 回、受審 1 回

1. 目的

医療関連感染対策を円滑に運営することを目的とする。そのための具体的な活動を行う。

7) 厚生労働省サーベイランスデータ提出

検査部門
手術部位感染
新生児集中治療室（NICU）部門

2. 開催日・審議事項等

1) 定期開催：1回／週（水曜日）

ICT 運営部会開催 46 回／年

8) ICT ニュース発行

№1～8 号

2) 院内ラウンド：1回／週（水曜日）

ICT チームラウンド実施 46 回／年

9) 新型コロナウイルス感染症対策

3. 1年間の活動要約

1) 院内ラウンド

ICT チームラウンド（多職種ラウンド）

1 回／週定期実施：46 回／年

4. 今後の活動目標

ICT と下部組織の感染管理リンクナース会との連携を強化して対策の周知徹底を図る。

2) 感染対策研修会

eラーニングで実施し、企業団・協力企業とも

100%受講完了

3) マニュアル作成・改訂など

新型コロナウイルス感染症対応マニュアル

AST (抗菌薬適正使用支援チーム) 運営部会

【AST メンバー：16名】

医師 5名・看護師 2名・薬剤師 5名
臨床検査技師 3名・事務 2名

1. 目的

抗菌薬の適正な使用の推進を目的とする。

2. 開催日・審議事項等

1) AST 運営部会

定期開催：1回/週開催

開催 46回/年

2) AST カンファレンス

原則平日毎日開催

3. 1年間の活動要約

1) AST カンファレンス

(1) 血液培養・耐性菌カンファレンス

(原則平日毎日開催)

(2) 週報カンファレンス (1回/週)

(3) 抗菌薬・抗真菌薬長期使用カンファレンス

(1回/週)

(1)～(3) 事例合計数：1,520件

2) 院内ラウンド

46回/年実施

3) AST 研修会

4) 施設内アンチバイオグラム作成フィードバック

5) 院内・他施設からのコンサルテーション対応

4. 今後の活動目標

抗菌薬適正使用に関わる体制強化と、システムを活用してコンサルテーション依頼に対して迅速な対応に努める。

職員の業務負担軽減委員会

1. 目的

高知医療センター職員の勤務負担軽減を図るため。

2. 開催日・審議事項等

(1) 令和3年8月27日(金)

令和4年3月28日(月)

・高知医療センターにおける勤務負担軽減
および処遇の改善に資する体制づくり計画等について 他

3. 1年間の活動要約

当委員会はいくまでの「医師の勤務負担軽減委員会」「ワークライフバランス委員会」をまとめて平成30年度に新設された委員会で、医師に限定せず広く職員の勤務負担軽減を検討するものである。

病院長指針を基に負担軽減計画を策定し、取組内容とそれに対応する評価尺度を設けた。計画は達成状況を確認しながら、常に見直しを行い、改善へと繋げていくものである。

4. 今後の活動目標

上記計画に基づき、年度ごとに評価を行うこととし、取組内容の見直し等を行うことで勤務負担軽減と業務効率の上昇をはかる。

診療情報管理委員会

1. 目的

診療録の電子保存、電子媒体や紙媒体記録の精度管理、適正な診療記録の記載に関する啓蒙・教育・研修・広報、診療録等帳票の様式およびフォーマット、診療録の開示等診療情報の提供、その他診療録管理業務に関し必要と認める事項等の審議を行う。

2. 開催日・審議事項等

毎月1回 第3木曜日に開催

3. 1年間の活動要約

(1) 退院サマリ作成状況および受取点検の詳細については、退院2週間以内での担当医によるサマリ記載と診療科長の承認を、毎月98～99%で維持できた。また看護サマリについても、同様に作成・承認状況を確認し、各フロア科長へ督促を行い、承認率向上を図った。

(2) 未承認委譲者オーダーについては、未承認オーダーが残っている医師に対しては、医療局長、医療情報センターより督促メールを送信し、委譲者オーダー承認の向上を図った。

(3) 手術レポートの作成状況については、医事請求業務委託事業者より状況を報告してもらい、手術記録の記載や点検、管理の強化を図った。

(4) 入院診療計画書7日以内の説明交付率については、交付抜かりが無いよう運用の周知徹底を図った。

(5) 傷病名の記載に関する具体的なルールを作成し、診療録の記載指針への追加作業を行った。

4. 今後の活動目標

引き続き、医師退院サマリの退院2週間以内の承認率90%以上の維持と未承認委譲者オーダーの早期承認のため、医師への記載・承認依頼、さらに督促の強化を図っていきたい。

手術レポート作成状況については、手術手技料算定の根拠となるため、記載依頼など未作成が無いよう取り組みを継続していく。

入院診療計画書については、関係部署と連携を図りながら、7日以内に抜かりなく交付できるよう連携を図っていく。

DPC コーディング委員会

1. 目的

適切な診断群分類の決定を促進することを目的とする。適切な DPC コーディング、「はずれ値」の評価、提出データの精度管理等の事項に関し、関係する部署および他の委員会等と連携しながら検討を行い、当院の DPC コーディングの質向上を目指す。

2. 開催日・審議事項等

2ヶ月に1回開催

(1) 実績報告

- ・ DPC 退院患者月別集計
- ・ DPC 入院期間月別集計(入院期間Ⅲ超え症例)
- ・ DPC 出来高差額上位 10 症例のコーディングの妥当性の検討
- ・ コード変更実績(医療情報センター・フロア)

(2) その他

- ・ 留意すべき ICD コード(詳細不詳病名)の月別使用割合
- ・ 未コード化傷病名の月別使用割合
- ・ 医師の DPC 承認率

3. 1年間の活動要約

実績報告については、各資料に入院の経過やそれぞれの理由等記載し、委員会メンバーによるコーディングの妥当性について協議を行った。

また、令和3年度は実績報告資料のうち特に検討が必要な症例や、診療情報管理士が日々の点検業務でコーディングに疑問を感じた症例等を2〜3症例ピックアップし、コーディングの妥当性について協議を行った。

その他について、留意すべき ICD コード、未コード化傷病名の使用割合、医師の DPC 承認率について問題がないことを確認した。

(開催日)

2021年 5/27・7/27・9/30・11/26

2022年 1月・3月：メール開催

4. 今後の活動目標

より一層、適切な診断群分類による診療報酬請求と精緻なデータ提出ができるよう、医事請求担当と協力していくと共に、DPC 制度等について、医師をはじめとする院内職員に広報や情報提供を行い、周知を図っていきたい。

臨床研修管理委員会（医科）

1. 目的

医科初期研修医が、円滑かつ充実した臨床研修生活を遂行できることを目的として開催する。

2. 開催日・審議事項等

第一回：令和3年4月23日（金）

- ・臨床研修病院としての理念及び基本方針の確認
- ・令和3年度採用研修医の紹介
- ・令和2年度及び令和3年度採用研修医研修ローテーション表
- ・令和4年度採用研修医初期臨床研修プログラム
- ・医学生向け説明会開催日程
- ・令和4年度採用研修医マッチングスケジュールなど
- ・研修中断者の再開について
- ・令和3年度臨床研修管理委員会開催予定 他

第二回：令和3年9月17日（金）

- ・令和4年度採用研修医マッチング試験結果
- ・令和2年度及び令和3年度採用研修医研修状況
- ・令和3年度臨床研修管理委員会開催予定 他

第三回：令和4年3月18日（金）

- ・令和2年度採用研修医初期臨床研修プログラム修了等
- ・令和3年度及び令和4年度採用研修医研修予定
- ・令和3年度採用研修医フィードバック
- ・令和4年度採用研修医初期臨床研修プログラム
- ・令和3年度医師臨床研修費補助金
- ・令和4年度採用研修医試験日程 他

3. 1年間の活動要約

委員会として、病院長以下院内の指導医、初期研修医、事務職員、院外の連携施設の先生方（委任状提出）とともに研修場の問題点や課題について討論。

また、臨床研修管理センターを常時設置し、研修ローテーションや出向研修の管理、院外からの研修医受け入れなどに、円滑に対応できるようにしている。

<主な議題>

研修プログラムについての確認

- 概要、スケジュール、評価方法など
- 問題点・改善点など

採用試験についての確認

- 試験日の調整、試験結果の報告など
- マッチングの結果報告
- 医大生へのアプローチなど

4. 今後の活動目標

来年度も年3回の開催を予定している。当院の良さを活かした研修プログラムを提供できるよう、指導医や臨床研修管理センターで万全の体制を整え、初期研修医を指導する。

臨床研修管理委員会（歯科）

1. 目的

歯科初期臨床研修医（管理型2・1年コース、管理型3・2年コース）や後期研修医に対し円滑かつ充実した研修生活が当院にて遂行できる事を目的として開催する。

2. 開催日・審議事項等

第一回：令和3年10月7日（木）

- ・令和4年度採用研修医 採用試験について
- ・令和4年度採用研修医（2年目コース）募集について
- ・令和4年度歯科臨床研修プログラムについて

第二回：令和4年3月24日（月）

- ・令和4年度研修予定者
- ・歯科臨床研修制度改正に伴う令和4年度プログラム変更について
- ・令和4年度採用研修医 採用試験日程

3. 1年間の活動要約

研修プログラムの問題点や改善点の確認
研修医募集期間および採用試験日の調整、採用試験に関する結果報告
マッチングの結果報告
歯科初期研修指導医、院外の管理型研修施設の指導医（委任状提出）、病院長以下院内の研修管理委員会のメンバーの先生での研修上の問題点や今後の研修のあり方などを討論
臨床研修補助金配分の詳細を毎年報告する

4. 今後の活動目標

来年度も少なくとも年2回以上の開催を原則とし、初期研修医や後期研修医がより良い環境下で研修を行えるようにサポートしていく。

医の倫理委員会

1. 目的

当院での診療や研究において、倫理的配慮を要する事例について外部委員を含む多職種での審議を行い、倫理的及び法的規範に即して実施されるよう病院としての統一見解を出す。

2. 開催日・審議事項等

令和3年度 医の倫理委員会は開催なし

(下部組織の臨床倫理委員会において、令和3年度に、「高知医療センター DNARに関する指針」の改訂を行った。)

3. 今後の活動目標

- ・倫理問題に現場で対応できるチーム作りを目指し、倫理に関する研修を実施する。
- ・倫理的配慮を要する研究について、適否の判定を行う。
- ・下部組織として設置した臨床倫理委員会においては、臨床現場で日常的に遭遇する倫理的に価値判断が困難な事案に対する相談・支援を行う。

治験審査委員会

1. 目的

治験を依頼した製薬会社や治験を実施する医師等とは独立した第三者的な機関として設置されている。治験を計画通りに実施することができるか、参加される患者さんの治療に不利益にならないか等を事前に取り決めた手順書に従って、治験を開始する前に確認している。また、治験実施中に、治験が正しく実施されているか確認したり、安全性に問題がないかを評価し、治験を継続すべきか判断したりしている。

2. 開催日・審議事項等

令和3年 4月26日
 令和3年 5月24日
 令和3年 6月28日
 令和3年 7月26日
 令和3年 8月23日
 令和3年 9月27日
 令和3年 10月25日
 令和3年 11月22日
 令和3年 12月20日
 令和4年 1月24日
 令和4年 2月28日
 令和4年 3月28日

院内実施中治験の安全性報告、治験に関する変更、新規案件実施の可否等審査している。

3. 1年間の活動要約と今後の目標

月1回の開催を行い、院内の実施試験を患者さんの人権保護と安全確保の観点から公正に審議していく。

がんセンターボード運営部会

1. 目的

患者によりよい医療を提供するために、手術、放射線療法および化学療法に携わる専門的な知識を有する医師や、その他の専門医師および医療スタッフなどが参集し、がん患者の症状、状態および治療方針などを意見交換・共有・確認などを行うことを目的とする。

がんセンターボードの実施は、がん診療連携拠点病院の認定要件である。

2. 開催日・審議事項等

開催は毎週火曜日の 17:30 とする。提示される事例がなければ参集されない。

新規治療開始患者・再発患者を問わず、治療方針などについて検討を行う。

3. 1年間の活動要約

令和3年度の開催は23回、検討事例件数は37例であった。参集メンバーは、病理医、放射線治療医、腫瘍内科医、画像診断医、消化器外科医、消化器内科医、乳腺外科医、整形外科医、耳鼻咽喉科医、呼吸器外科医、泌尿器科医、総合診療科医、緩和ケア医など症例に関連する診療科医、ならびに薬剤師、看護師、放射線技師、栄養士、理学療法士、医療秘書などである。

治療方針が決定した際には、必要な対診日程なども決定し、速やかに治療が開始できるように調整を行う。

またがんゲノム医療におけるがん遺伝子プロファイリング出検の妥当性について検討を行っており、提出については検体の確認や家族歴の聴取など、多職種での情報共有を行っている。

4. 今後の活動目標

がんセンターボードの開催については、がん診療に関わるすべての診療科の医師に伝わるように連絡先を拡大し、各診療科のニーズを把握しながら、検討される必要のある症例が適切に検討される機会を提供していく。

がんゲノム医療を含めて事例の検討ができるように、がんゲノム医療推進部会とも連携した活動を目指す。

抗がん剤レジメン管理委員会

1. 目的

注射用抗がん剤はレジメンオーダーによってのみ施行できるものとしており、抗がん剤レジメンオーダーの運用を円滑に行い、抗がん剤の適正使用を推進する。

2. 開催日・審議事項等

- (1) 第 48 回 令和 3 年 8 月 27 日
新規申請のレジメン承認 36 件
レジメンの整理（オプジーボのショートカット導入）
連携充実加算の算定開始について
レジメン稼動状況、登録数、適用率
抗がん剤調製数、抗がん剤調製患者数
レジメンの整理、当日発生について
B 型肝炎対策
- (2) 第 49 回 令和 4 年 2 月 28 日
新規申請のレジメン承認 28 件
レジメンオーダー時の締め切り時間の変更
レジメン稼動状況、登録数、適用率
抗がん剤調製数、抗がん剤調製患者数
レジメンの整理、当日発生について
B 型肝炎対策

3. 1 年間の活動要約

レジメンの登録については、申請があれば、その都度、院内メール等を利用して審議し、64 件のレジメンを承認した。レジメンのショートカット導入、不使用レジメンの整理等について審議した。

4. 今後の活動目標

レジメンの稼動率や運用状況を確認し、使用していない登録レジメンは削除し整理を行うなど、継続してレジメンの妥当性を評価し、抗がん剤の適正使用を推進していく。

行動制限最小化委員会

1. 目的

精神科病棟における患者の基本的な人権を尊重するため、医療及び保護に不可欠な必要最低限の行動制限基準を定め、適切な運用を図ることを目的とする。

2. 開催日・審議事項等

毎月第 4 水曜日に開催する。

3. 1 年間の活動要約

行動制限が長期化した症例がなかったかに注意を払った。

医療保護入院から任意入院への変更ができないかを検討した。

また、任意入院の任意性は確保できているかを検討した。

精神科職員に精神保健福祉法の研修を行った。

4. 今後の活動目標

対象事例が発生した場合には委員会を開催して審議する。行動制限を少なくするように検討していく。

褥瘡防止委員会

1. 目的

当院は、救命救急センターをはじめ、循環器病センター、がんセンター、総合周産期母子医療センターなど不安定な呼吸・循環動態、高侵襲の治療、脆弱な皮膚など褥瘡発生リスクの高い患者さんが多い。当院ではリスクアセスメントを行い、多職種が連携をし、褥瘡発生予防、褥瘡の治癒、褥瘡悪化予防など褥瘡対策に取り組むことを目的としている。

2. 開催日・審議事項等

原則毎月第2金曜日開催

褥瘡発生状況の報告を毎回実施。褥瘡対策に関する内容については医療局、看護局、薬剤局、栄養局、医療技術局、事務局で協議し、チーム医療を推進している。

3. 1年間の活動要約

- (1) 褥瘡保有者の状況報告を毎回実施し、重要な案件に対しては、防止策の検討を行い、周知徹底を目指した。
- (2) 院内発生の褥瘡は、インシデントレポートで報告している。
- (3) 体圧分散寝具が効果的に使用できているか、定期的なラウンドと整備を実施した。
- (4) 褥瘡防止委員会リンクナース会を毎月開催し、より実践的なケアにつながる知識、技術の向上に取り組んだ。
- (5) 「じょくそう NEWS」を発行し、褥瘡などの創傷に関連する情報を発信した。

4. 今後の活動目標

今後も、褥瘡防止委員会を引き続き1回/月の開催とし、各専門職の専門技能を集結かつ有効に発揮できる場の提供に努める。

また、病院機能に必要な物品等の充足、褥瘡防止等に向けた職員への啓発活動の継続、さらに地域と連携を図り、チーム医療のより一層の充実を図りたい。

適正輸血療法推進委員会

1. 目的

高知医療センターにおける輸血療法の適正化を図る。

2. 開催日

6回／年 隔月第3火曜日開催

3. 1年間の活動要約

1) 月次報告

毎月以下の統計をとり、委員会で検証している。

- ・日赤血購入額
- ・使用単位数内訳（RBC、FFP、PC）
- ・製剤廃棄額
- ・廃棄製剤内訳（RBC、FFP、PC）
- ・Alb/RBC比、FFP/RBC比
- ・科別使用単位数
- ・血液製剤大量使用例
- ・心臓血管外科血液製剤使用例
- ・超救命対応
- ・副作用報告（発生件数、払出票回収率、終了実施入力率、副作用入力率）
- ・返却PC（理由、転用の有無）
- ・遡及調査
- ・不規則抗体検査実施率
- ・輸血後感染症（輸血後感染症疑いの有無）

※輸血後感染症は第2回まで報告

2) 使用済製剤バッグ全例回収

機能評価で指摘されていた使用済製剤バッグの全例回収を7月15日より開始した。保管場所は血液管理科冷蔵庫。保管期間は原則1週間とした。

3) 特定共同指導再指導の対応

特定共同指導PJTから輸血量記載推進のための輸血説明同意書の改定の依頼を受け進めたが、PJTの方針は記載の周知に留まった。

4) 血液製剤種類別専用搬送バッグ運用開始

返却時管理温度の異なる血液製剤を一緒に搬送バッグに入れ製剤が廃棄になるインシデント解消のため、3月1日より製剤別にバッグの種類を変えた血液製剤別専用搬送バッグで搬送する運用を開始した。

4. 今後の活動目標

院内における輸血に関する問題点を多職種で審議し、より一層輸血療法の適正化を図りたい。

IV クリニカルインディケータ

1 退院患者数

(1) 診療科別・性別退院患者数

(単位：人)

診療科	性別	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総合診療科	男	151	140	260
	女	108	154	268
精神科	男	31	30	51
	女	19	39	63
血液内科・輸血科	男	400	483	464
	女	330	306	352
糖尿病・内分泌内科	男	34	40	64
	女	45	72	93
放射線療法科	男	1	1	
	女			2
感染症科	男		91	2
	女		68	7
腫瘍内科	男	31	14	1
	女	11	9	
ペインクリニック科	男	7	6	3
	女	4	4	8
脳神経外科	男	360	272	325
	女	281	212	232
眼科	男	93	61	73
	女	71	54	51
耳鼻咽喉科	男	222	206	247
	女	149	101	142
歯科口腔外科	男	71	47	83
	女	77	77	67
呼吸器内科	男	353	244	205
	女	165	150	107
呼吸器外科	男	196	157	187
	女	92	78	96
循環器内科	男	929	702	753
	女	434	336	389
心臓血管外科	男	198	201	196
	女	110	109	92
乳腺・甲状腺外科	男	38	37	33
	女	223	221	259
消化器内科	男	453	410	475
	女	286	275	333
消化器外科・一般外科	男	1,125	939	1,096
	女	583	550	636
泌尿器科	男	556	434	394
	女	129	99	122
腎臓内科・膠原病科	男	79	56	67
	女	48	53	52
婦人科	男			
	女	565	455	514
生殖医療科	男			
	女	4	6	4
移植外科	男	54	66	72
	女	45	39	56
救命救急科	男	237	138	63
	女	160	131	40
小児科	男	602	414	489
	女	535	301	390
小児外科	男	106	89	102
	女	52	39	50
産科	男			
	女	836	712	717
皮膚科	男	17	14	11
	女	18	23	16
整形外科	男	848	656	591
	女	685	596	528
形成外科	男	83	85	83
	女	54	48	66
緩和ケア内科	男			1
	女			
児童精神科	男	8	15	10
	女	6	19	20
合計	男	7,283	6,048	6,401
	女	6,125	5,336	5,772

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインディケータ

(2) - 1 診療科別・在院期間別・性別退院患者数

令和元年度

診療科	患者総数 (人)	患者数 比率	性別	総数 (人)	在院日数 の平均 (日)	在院期間								
						1 ~8	9 ~15	16 ~22	23 ~1M	1M ~2M	2M ~3M	3M ~6M	6M ~1Y	1Y~
総合診療科	259	1.9%	男	151	24.5	29	52	23	14	23	4	5	1	
			女	108	16.8	41	23	19	11	11	2	1		
精神科	50	0.4%	男	31	72.1	3	3		6	6	6	5	2	
			女	19	74.2	2	3	1	1	2	4	5	1	
血液内科・輸血科	730	5.4%	男	400	25.2	66	100	105	57	44	15	10	3	
			女	330	26.7	36	68	111	43	42	19	9	2	
糖尿病・内分泌内科	79	0.6%	男	34	8.8	12	21	1						
			女	45	8.8	28	13	2	1	1				
放射線療法科	1	0.0%	男	1	2.0	1								
			女											
腫瘍内科	42	0.3%	男	31	13.8	15	7	1	5	3				
			女	11	14.6	3	6		2					
ペインクリニック科	11	0.1%	男	7	11.4		7							
			女	4	5.8	3	1							
脳神経外科	641	4.8%	男	360	16.7	106	112	66	35	34	6	1		
			女	281	14.9	89	81	60	26	24	1			
眼科	164	1.2%	男	93	7.3	73	9	6	3	2				
			女	71	7.2	49	16	6						
耳鼻咽喉科	371	2.8%	男	222	15.9	92	74	15	12	18	10	1		
			女	149	9.3	83	60	1		5				
歯科口腔外科	148	1.1%	男	71	9.5	55	8	3		4		1		
			女	77	11.1	52	12	5	4	1	3			
呼吸器内科	518	3.9%	男	353	10.8	219	59	27	22	25	1			
			女	165	12.0	97	23	14	18	11	2			
呼吸器外科	288	2.1%	男	196	8.8	119	55	13	5	4				
			女	92	7.6	58	30	3	1					
循環器内科	1,363	10.2%	男	929	7.3	723	103	44	23	31	3	2		
			女	434	9.0	308	68	24	14	16	1	3		
心臓血管外科	308	2.3%	男	198	23.2	48	49	36	26	25	5	9		
			女	110	32.4	31	7	18	17	25	5	4	3	
乳腺・甲状腺外科	261	1.9%	男	38	6.3	31	6	1						
			女	223	8.1	140	61	12	5	5				
消化器内科	739	5.5%	男	453	9.5	273	120	28	17	13	1	1		
			女	286	10.6	166	80	22	10	6	1		1	
消化器外科・一般外科	1,708	12.7%	男	1,125	13.5	447	391	135	72	66	9	5		
			女	583	12.4	202	253	67	33	24	4			
泌尿器科	685	5.1%	男	556	7.6	430	89	18	7	7	4	1		
			女	129	6.7	101	18	6	2	2				
腎臓内科・膠原病科	127	0.9%	男	79	20.6	40	13	6	4	10	4	1	1	
			女	48	36.3	24	4	3	4	5	3	3	1	1
婦人科	565	4.2%	男											
			女	565	7.3	478	61	12	7	5		2		
生殖医療科	4	0.0%	男											
			女	4	6.0	4								
移植外科	99	0.7%	男	54	15.1	18	19	4	6	7				
			女	45	24.5	14	12	2	1	11	4	1		
救命救急科	397	3.0%	男	237	6.9	171	38	11	9	8				
			女	160	6.4	113	34	7	3	3				
小児科	1,137	8.5%	男	602	11.0	435	68	40	14	26	12	6	1	
			女	535	11.5	396	63	24	15	22	8	3	3	1
小児外科	158	1.2%	男	106	3.9	99	3	4						
			女	52	6.8	45	1	1	2	3				
産科	836	6.2%	男											
			女	836	9.8	666	78	22	23	36	9	2		
皮膚科	35	0.3%	男	17	8.2	11	5	1						
			女	18	19.0	8	6	1		1	1	1		
整形外科	1,533	11.4%	男	848	11.4	412	233	118	41	35	5	3	1	
			女	685	11.8	272	204	152	35	19	3			
形成外科	137	1.0%	男	83	14.0	47	13	10	3	7	3			
			女	54	8.8	38	8	3	2	3				
児童精神科	14	0.1%	男	8	60.4	1	1		1	1	1	3		
			女	6	62.0		1		1	1	1	2		
合計	13,408	100.0%	男	7,283	12.5	3,976	1,658	716	382	399	89	54	9	
			女	6,125	12.2	3,547	1,295	598	279	286	71	36	11	2

(2) - 2 診療科別・在院期間別・性別退院患者数

令和2年度

診療科	患者総数 (人)	患者数 比率	性別	総数 (人)	在院日数 の平均 (日)	在院期間									
						1 ~8	9 ~15	16 ~22	23 ~1M	1M ~2M	2M ~3M	3M ~6M	6M ~1Y	1Y~	
総合診療科	294	2.6%	男	140	18.5	37	52	17	11	17	6				
			女	154	14.4	55	59	25	6	6	2		1		
精神科	69	0.6%	男	30	56.8		2	1	1	13	11	2			
			女	39	48.7	3	5	2	6	12	7	3	1		
血液内科・輸血科	789	6.9%	男	483	23.8	90	115	136	52	58	16	15		1	
			女	306	22.9	34	79	117	30	31	7	7	1		
糖尿病・内分泌内科	112	1.0%	男	40	11.9	13	18	6	2	1					
			女	72	9.3	33	32	4	2	1					
放射線療法科	1	0.0%	男	1	7.0	1									
			女												
感染症科	159	1.4%	男	91	9.4	49	27	8	4	3					
			女	68	8.4	35	25	5	3						
腫瘍内科	23	0.2%	男	14	13.4	5	2	5	2						
			女	9	21.7	2	2	3		1	1				
ペインクリニック科	10	0.1%	男	6	7.5	5		1							
			女	4	16.0	1	1		2						
脳神経外科	484	4.3%	男	272	15.6	76	89	66	22	14	3	2			
			女	212	18.5	50	63	47	21	27	1	2	1		
眼科	115	1.0%	男	61	5.0	55	4	2							
			女	54	5.6	45	6	2	1						
耳鼻咽喉科	307	2.7%	男	206	14.7	113	59	4	8	10	11		1		
			女	101	8.5	58	40	1		2					
歯科口腔外科	124	1.1%	男	47	8.2	30	10	5	2						
			女	77	10.9	38	25	7	5	1		1			
呼吸器内科	394	3.5%	男	244	10.8	146	38	29	17	13		1			
			女	150	12.0	81	33	14	8	13	1				
呼吸器外科	235	2.1%	男	157	8.3	105	36	7	6	3					
			女	78	9.2	42	30	4	1	1					
循環器内科	1,038	9.1%	男	702	7.5	555	69	29	22	21	3	3			
			女	336	9.0	221	60	29	12	13		1			
心臓血管外科	310	2.7%	男	201	23.6	48	40	53	22	18	13	7			
			女	109	23.7	28	18	24	9	26	2	2			
乳腺・甲状腺外科	258	2.3%	男	37	5.6	32	5								
			女	221	7.5	148	53	13	3	4					
消化器内科	685	6.0%	男	410	8.2	272	100	19	12	7					
			女	275	9.3	171	69	18	6	10		1			
消化器外科・一般外科	1,489	13.1%	男	939	14.8	349	320	123	63	67	12	4	1		
			女	550	14.8	176	222	68	35	38	8	3			
泌尿器科	533	4.7%	男	434	9.2	283	87	36	15	10	1	2			
			女	99	8.7	68	16	7	5	2	1				
腎臓内科・膠原病科	109	1.0%	男	56	25.3	15	10	7	6	13	4	1			
			女	53	17.2	30	4	4	4	7	4				
婦人科	455	4.0%	男												
			女	455	6.8	378	59	9	1	8					
生殖医療科	6	0.1%	男												
			女	6	3.8	6									
移植外科	105	0.9%	男	66	16.9	31	18	3	2	9	1	2			
			女	39	12.9	17	15	1	1	5					
救命救急科	269	2.4%	男	138	7.5	112	9	5	2	8	1	1			
			女	131	4.7	111	11	7	1			1			
小児科	715	6.3%	男	414	12.9	286	50	17	15	29	10	6	1		
			女	301	12.6	212	43	9	11	17	4	2	3		
小児外科	128	1.1%	男	89	5.2	80	2	5	1			1			
			女	39	4.7	36	2				1				
産科	712	6.3%	男												
			女	712	9.9	554	70	32	20	25	9	2			
皮膚科	37	0.3%	男	14	9.9	7	6	1							
			女	23	13.9	11	7	1	2	1	1				
整形外科	1,252	11.0%	男	656	12.8	290	126	157	49	27	5	1	1		
			女	596	13.0	222	141	159	49	20	5				
形成外科	133	1.2%	男	85	14.4	48	15	7	8	5		2			
			女	48	11.0	26	10	8	1	3					
児童精神科	34	0.3%	男	15	49.3		3	2		8		2			
			女	19	58.5	5	3	1		3	3	3	1		
合計	11,384	100.0%	男	6,048	13.3	3,133	1,312	751	344	354	97	52	4	1	
			女	5,336	12.3	2,897	1,203	621	245	278	56	28	8		

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインディケータ

(2) - 3 診療科別・在院期間別・性別退院患者数

令和3年度

診療科	患者総数 (人)	患者数 比率	性別	総数 (人)	在院日数 の平均 (日)	在院期間									
						1 ~8	9 ~15	16 ~22	23 ~1M	1M ~2M	2M ~3M	3M ~6M	6M ~1Y	1Y~	
総合診療科	528	4.3%	男	260	15.7	81	96	33	21	24	3	2			
			女	268	14.4	73	129	27	19	15	3	2			
精神科	114	0.9%	男	51	50.2	5	6	4	7	18	4	5	2		
			女	63	38.9	8	10	6	11	17	5	5	1		
血液内科・輸血科	816	6.7%	男	464	22.7	110	95	118	60	60	10	8	3		
			女	352	23.3	80	74	81	43	52	15	6	1		
糖尿病・内分泌内科	157	1.3%	男	64	11.9	26	24	9	2	2	1				
			女	93	11.2	48	32	8	1	2	2				
放射線療法科	2	0.0%	男												
			女	2	2.0	2									
感染症科	9	0.1%	男	2	10.5		2								
			女	7	14.9	1	3	2		1					
腫瘍内科	1	0.0%	男	1	25.0				1						
			女												
ペインクリニック科	11	0.1%	男	3	17.7	1	1			1					
			女	8	8.9	5	3								
脳神経外科	557	4.6%	男	325	14.4	110	115	47	26	22	4	1			
			女	232	15.9	65	69	55	25	13	4	1			
眼科	124	1.0%	男	73	5.1	66	5	1		1					
			女	51	4.5	47	4								
耳鼻咽喉科	389	3.2%	男	247	12.1	163	43	10	9	12	8	2			
			女	142	10.0	104	25	3	1	6	2	1			
歯科口腔外科	150	1.2%	男	83	10.1	58	14	6	1		4				
			女	67	7.7	43	17	4	3						
呼吸器内科	312	2.6%	男	205	12.9	115	39	16	12	19	3	1			
			女	107	9.1	73	13	7	7	7					
呼吸器外科	283	2.3%	男	187	11.9	112	48	12	3	9	1	1	1		
			女	96	8.6	59	30	5	2						
循環器内科	1,142	9.4%	男	753	7.6	584	94	34	19	15	4	2	1		
			女	389	11.3	221	81	32	25	25	5				
心臓血管外科	288	2.4%	男	196	19.6	46	53	40	28	21	6	1	1		
			女	92	17.4	25	25	18	10	12	1	1			
乳腺・甲状腺外科	292	2.4%	男	33	13.7	25	4	1	1	1			1		
			女	259	6.8	197	45	9	5	3					
消化器内科	808	6.6%	男	475	9.4	298	112	33	12	15	5				
			女	333	10.2	211	59	36	11	11	4	1			
消化器外科・一般外科	1,732	14.2%	男	1,096	13.0	448	399	111	67	58	10	2	1		
			女	636	12.8	254	241	70	41	23	5	1	1		
泌尿器科	516	4.2%	男	394	8.0	268	93	15	9	5	4				
			女	122	7.6	86	23	8	3	2					
腎臓内科・膠原病科	119	1.0%	男	67	14.2	38	10	3	5	10	1				
			女	52	20.3	24	8	5	1	8	6				
婦人科	514	4.2%	男												
			女	514	6.1	444	63	5	1	1					
生殖医療科	4	0.0%	男												
			女	4	4.5	3	1								
移植外科	128	1.1%	男	72	11.2	45	14	2	3	7	1				
			女	56	14.0	25	13	6	3	8	1				
救命救急科	103	0.8%	男	63	3.3	58	1	2		2					
			女	40	2.5	37	3								
小児科	879	7.2%	男	489	10.7	362	65	8	12	29	6	7			
			女	390	10.0	291	50	13	9	15	9	2	1		
小児外科	152	1.2%	男	102	6.6	95	4			2			1		
			女	50	4.5	44	4	2							
産科	717	5.9%	男												
			女	717	9.4	571	72	24	16	27	5	2			
皮膚科	27	0.2%	男	11	41.6	4	4	1	1				1		
			女	16	59.3	8	2	2	3						
整形外科	1,119	9.2%	男	591	11.5	278	136	111	39	24	3				
			女	528	12.8	189	157	137	25	14	6				
形成外科	149	1.2%	男	83	17.6	46	11	5	6	10	3	2			
			女	66	12.1	38	16	2	3	7					
緩和ケア内科	1	0.0%	男	1	3.0	1									
			女												
児童精神科	30	0.2%	男	10	42.9	1	2		1	3	3				
			女	20	52.6	3	3	1	3	2	5	2	1		
合計	12,173	100.0%	男	6,401	12.6	3,444	1,490	622	345	370	84	34	12		
			女	5,772	12.0	3,279	1,275	568	269	273	78	24	5	1	

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインディケータ

(3) 診療科別・性別・在院日数の平均

(単位：日)

診療科	性別	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総合診療科	男	24.5	18.5	15.7
	女	16.8	14.4	14.4
精神科	男	72.1	56.8	50.2
	女	74.2	48.7	38.9
血液内科・輸血科	男	25.2	23.8	22.7
	女	26.7	22.9	23.3
糖尿病・内分泌内科	男	8.8	11.9	11.9
	女	8.8	9.3	11.2
放射線療法科	男	2.0	7.0	
	女			2.0
感染症科	男		9.4	10.5
	女		8.4	14.9
腫瘍内科	男	13.8	13.4	25.0
	女	14.6	21.7	
ペインクリニック科	男	11.4	7.5	17.7
	女	5.8	16.0	8.9
脳神経外科	男	16.7	15.6	14.4
	女	14.9	18.5	15.9
眼科	男	7.3	5.0	5.1
	女	7.2	5.6	4.5
耳鼻咽喉科	男	15.9	14.7	12.1
	女	9.3	8.5	10.0
歯科口腔外科	男	9.5	8.2	10.1
	女	11.1	10.9	7.7
呼吸器内科	男	10.8	10.8	12.9
	女	12.0	12.0	9.1
呼吸器外科	男	8.8	8.3	11.9
	女	7.6	9.2	8.6
循環器内科	男	7.3	7.5	7.6
	女	9.0	9.0	11.3
心臓血管外科	男	23.2	23.6	19.6
	女	32.4	23.7	17.4
乳腺・甲状腺外科	男	6.3	5.6	13.7
	女	8.1	7.5	6.8
消化器内科	男	9.5	8.2	9.4
	女	10.6	9.3	10.2
消化器外科・一般外科	男	13.5	14.8	13.0
	女	12.4	14.8	12.8
泌尿器科	男	7.6	9.2	8.0
	女	6.7	8.7	7.6
腎臓内科・膠原病科	男	20.6	25.3	14.2
	女	36.3	17.2	20.3
婦人科	男			
	女	7.3	6.8	6.1
生殖医療科	男			
	女	6.0	3.8	4.5
移植外科	男	15.1	16.9	11.2
	女	24.5	12.9	14.0
救命救急科	男	6.9	7.5	3.3
	女	6.4	4.7	2.5
小児科	男	11.0	12.9	10.7
	女	11.5	12.6	10.0
小児外科	男	3.9	5.2	6.6
	女	6.8	4.7	4.5
産科	男			
	女	9.8	9.9	9.4
皮膚科	男	8.2	9.9	41.6
	女	19.0	13.9	59.3
整形外科	男	11.4	12.8	11.5
	女	11.8	13.0	12.8
形成外科	男	14.0	14.4	17.6
	女	8.8	11.0	12.1
緩和ケア内科	男			3.0
	女			
児童精神科	男	60.4	49.3	42.9
	女	62.0	58.5	52.6
合計	男	12.5	13.3	12.6
	女	12.2	12.3	12.0

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインディケータ

(4) - 1 診療科別・年齢階層別・性別退院患者数

令和元年度

診療科	患者総数 (人)	患者数 比率	性別	総数 (人)	年齢階層							
					0~2 才	3~5 才	6~15 才	16~20 才	21~40 才	41~60 才	61~79 才	80才~
総合診療科	259	1.9%	男	151				1	9	22	68	51
			女	108				12	14	7	27	48
精神科	50	0.4%	男	31			1	1	8	8	11	2
			女	19			2	1	3	8	3	2
血液内科・輸血科	730	5.4%	男	400					32	58	235	75
			女	330				1	12	29	232	56
糖尿病・内分泌内科	79	0.6%	男	34				1		7	21	5
			女	45					15	15	13	2
放射線療法科	1	0.0%	男	1							1	
			女									
腫瘍内科	42	0.3%	男	31						3	27	1
			女	11					1	5	5	
ペインクリニック科	11	0.1%	男	7						2	2	3
			女	4						2	2	
脳神経外科	641	4.8%	男	360			7	2	5	57	201	88
			女	281	1	2	5	1	5	36	100	131
眼科	164	1.2%	男	93		3	9	1		10	51	19
			女	71		1	9	1		8	37	15
耳鼻咽喉科	371	2.8%	男	222	4	12	14	7	17	51	105	12
			女	149	2	7	14	5	25	44	35	17
歯科口腔外科	148	1.1%	男	71			7	3	5	24	25	7
			女	77	1	1	2	3	8	12	18	32
呼吸器内科	518	3.9%	男	353			1		4	45	241	62
			女	165			1		4	30	94	36
呼吸器外科	288	2.1%	男	196			1	4	6	32	117	36
			女	92			1		2	14	59	16
循環器内科	1,363	10.2%	男	929			1		9	160	531	228
			女	434				1	4	30	197	202
心臓血管外科	308	2.3%	男	198						18	122	58
			女	110					1	13	48	48
乳腺・甲状腺外科	261	1.9%	男	38					4	8	17	9
			女	223				2	25	95	83	18
消化器内科	739	5.5%	男	453					8	78	251	116
			女	286				2	7	28	125	124
消化器外科・一般外科	1,708	12.7%	男	1,125			3	3	30	162	769	158
			女	583			1	4	22	99	310	147
泌尿器科	685	5.1%	男	556				1	12	41	366	136
			女	129				1	1	27	51	49
腎臓内科・膠原病科	127	0.9%	男	79				5	8	16	30	20
			女	48				2	7	11	21	7
婦人科	565	4.2%	男									
			女	565			3	4	129	275	139	15
生殖医療科	4	0.0%	男									
			女	4					4			
移植外科	99	0.7%	男	54					4	25	25	
			女	45					6	17	19	3
救命救急科	397	3.0%	男	237	3		5	3	19	42	91	74
			女	160	1	1	3	2	12	21	48	72
小児科	1,137	8.5%	男	602	398	87	110	6	1			
			女	535	332	68	115	6	12	2		
小児外科	158	1.2%	男	106	58	20	28					
			女	52	20	14	16	2				
産科	836	6.2%	男									
			女	836			2	5	774	55		
皮膚科	35	0.3%	男	17	1				4		10	2
			女	18		2			1	1	8	6
整形外科	1,533	11.4%	男	848		1	21	29	110	207	366	114
			女	685		1	14	6	55	98	293	218
形成外科	137	1.0%	男	83	6	2	4	4	10	22	20	15
			女	54	7	4	7	2	8	13	7	6
児童精神科	14	0.1%	男	8			8					
			女	6			6					
合計	13,408	100.0%	男	7,283	470	125	220	71	305	1,098	3,703	1,291
			女	6,125	364	101	201	63	1,157	995	1,974	1,270

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインデキータ

(4) - 2 診療科別・年齢階層別・性別退院患者数

令和2年度

診療科	患者総数 (人)	患者数 比率	性別	総数 (人)	年齢階層							
					0~2 才	3~5 才	6~15 才	16~20 才	21~40 才	41~60 才	61~79 才	80才~
総合診療科	294	2.6%	男	140				7	17	32	47	37
			女	154			14	25	27	28	60	
精神科	69	0.6%	男	30			2	2	5	8	12	1
			女	39		1	4	11	10	13		
血液内科・輸血科	789	6.9%	男	483				5	32	37	298	111
			女	306					11	41	193	61
糖尿病・内分泌内科	112	1.0%	男	40				2	4	8	20	6
			女	72					25	18	20	9
放射線療法科	1	0.0%	男	1							1	
			女									
感染症科	159	1.4%	男	91					16	31	32	12
			女	68				1	9	13	20	25
腫瘍内科	23	0.2%	男	14						1	13	
			女	9						1	8	
ペインクリニック科	10	0.1%	男	6						2	4	
			女	4					1		2	1
脳神経外科	484	4.3%	男	272	3		2	2	8	46	129	82
			女	212			4		5	20	88	95
眼科	115	1.0%	男	61		5	10	1	3	6	28	8
			女	54	1	2	18	1	1	2	14	15
耳鼻咽喉科	307	2.7%	男	206	1	4	14	6	28	34	105	14
			女	101	2		10	4	13	30	27	15
歯科口腔外科	124	1.1%	男	47			5	1	8	4	27	2
			女	77			3	4	7	12	21	30
呼吸器内科	394	3.5%	男	244					1	49	149	45
			女	150					3	25	90	32
呼吸器外科	235	2.1%	男	157				4	6	25	96	26
			女	78			1	1	5	15	44	12
循環器内科	1,038	9.1%	男	702					6	95	371	230
			女	336					4	14	136	182
心臓血管外科	310	2.7%	男	201					4	18	121	58
			女	109					1	5	59	44
乳腺・甲状腺外科	258	2.3%	男	37					5	14	16	2
			女	221					15	77	97	32
消化器内科	685	6.0%	男	410					3	52	223	132
			女	275					5	7	31	124
消化器外科・一般外科	1,489	13.1%	男	939			2	2	25	149	611	150
			女	550				6	33	89	275	147
泌尿器科	533	4.7%	男	434				3	16	38	262	115
			女	99					1	26	41	31
腎臓内科・膠原病科	109	1.0%	男	56				2	2	7	29	16
			女	53					16	10	13	14
婦人科	455	4.0%	男									
			女	455				3	106	213	118	15
生殖医療科	6	0.1%	男						5	1		
			女	6					8	29	28	1
移植外科	105	0.9%	男	66					5	16	14	4
			女	39								
救命救急科	269	2.4%	男	138	2		2	2	15	19	56	42
			女	131			2	5	9	13	31	71
小児科	715	6.3%	男	414	276	54	77	7				
			女	301	212	30	49	5	2	3		
小児外科	128	1.1%	男	89	51	20	18					
			女	39	17	9	13					
産科	712	6.3%	男									
			女	712				12	641	59		
皮膚科	37	0.3%	男	14				1	3		8	2
			女	23			1	1	1	4	10	6
整形外科	1,252	11.0%	男	656		3	22	7	69	174	290	91
			女	596			16	11	26	101	260	182
形成外科	133	1.2%	男	85	7	1	4	4	8	21	27	13
			女	48	5		2	2	9	19	8	3
児童精神科	34	0.3%	男	15			15					
			女	19			19					
合計	11,384	100.0%	男	6,048	340	87	173	58	292	899	3,003	1,196
			女	5,336	237	41	139	79	997	895	1,754	1,194

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインディケータ

(4) - 3 診療科別・年齢階層別・性別退院患者数

令和3年度

診療科	患者総数 (人)	患者数 比率	性別	総数 (人)	年齢階層							
					0~2 才	3~5 才	6~15 才	16~20 才	21~40 才	41~60 才	61~79 才	80才~
総合診療科	528	4.3%	男	260			2	3	27	57	95	76
			女	268				13	50	37	53	115
精神科	114	0.9%	男	51				2	13	14	17	5
			女	63			2	5	13	19	17	7
血液内科・輸血科	816	6.7%	男	464				6	24	70	267	97
			女	352				1	17	36	220	78
糖尿病・内分泌内科	157	1.3%	男	64				1	5	16	30	12
			女	93					38	21	18	16
放射線療法科	2	0.0%	男									
			女	2								2
感染症科	9	0.1%	男	2				1		1		
			女	7				1	2	1	1	2
腫瘍内科	1	0.0%	男	1							1	
			女									
ペインクリニック科	11	0.1%	男	3						1		2
			女	8					1	1	4	2
脳神経外科	557	4.6%	男	325	1	1	4	2	10	54	154	99
			女	232	3		4		9	39	78	99
眼科	124	1.0%	男	73		4	13	2	2	2	36	14
			女	51		6	10	3	1	3	21	7
耳鼻咽喉科	389	3.2%	男	247	2	4	8	5	35	48	113	32
			女	142		4	8	5	12	51	45	17
歯科口腔外科	150	1.2%	男	83	1	1	9	2	20	16	23	11
			女	67		1	3	2	10	13	18	20
呼吸器内科	312	2.6%	男	205					4	19	126	56
			女	107					4	17	60	26
呼吸器外科	283	2.3%	男	187				2	7	21	134	23
			女	96				1	2	15	57	21
循環器内科	1,142	9.4%	男	753				1	7	99	399	247
			女	389					6	22	142	219
心臓血管外科	288	2.4%	男	196					2	28	110	56
			女	92					1	6	43	42
乳腺・甲状腺外科	292	2.4%	男	33				1	4	7	16	5
			女	259				2	24	109	101	23
消化器内科	808	6.6%	男	475				1	11	76	280	107
			女	333			1	4	8	34	148	138
消化器外科・一般外科	1,732	14.2%	男	1,096			1	5	22	175	697	196
			女	636			1	3	25	85	327	195
泌尿器科	516	4.2%	男	394					9	35	263	87
			女	122					3	30	55	34
腎臓内科・膠原病科	119	1.0%	男	67				3	12	10	34	8
			女	52					12	11	21	8
婦人科	514	4.2%	男									
			女	514			1	1	114	230	157	11
生殖医療科	4	0.0%	男									
			女	4					3	1		
移植外科	128	1.1%	男	72					5	26	33	8
			女	56					7	21	18	10
救命救急科	103	0.8%	男	63	1		1	1	2	12	25	21
			女	40				1	2	2	12	23
小児科	879	7.2%	男	489	316	75	82	8	8			
			女	390	305	30	50	1	3	1		
小児外科	152	1.2%	男	102	58	18	26					
			女	50	21	10	18	1				
産科	717	5.9%	男									
			女	717			1	12	657	47		
皮膚科	27	0.2%	男	11					3	1	5	2
			女	16				1		4	9	2
整形外科	1,119	9.2%	男	591		6	24	17	50	160	243	91
			女	528			4	7	4	28	89	220
形成外科	149	1.2%	男	83	4	1	13	4	4	16	35	6
			女	66	3	2	6	3	9	19	15	9
緩和ケア内科	1	0.0%	男	1							1	
			女									
児童精神科	30	0.2%	男	10			10					
			女	20			20					
合計	12,173	100.0%	男	6,401	383	110	193	67	286	964	3,137	1,261
			女	5,772	332	57	132	64	1,061	964	1,862	1,300

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインディケータ

(5) - 1 診療科別・年齢階層別・性別在院日数の平均

令和元年度

診療科	患者総数 (人)	患者数 比率	性別	総数 (人)	在院日数 の平均 (日)	年齢階層								
						0~2 才	3~5 才	6~15 才	16~20 才	21~40 才	41~60 才	61~79 才	80才~	
総合診療科	259	1.9%	男	151	24.5				7.0	12.7	24.9	26.9	23.7	
			女	108	16.8				9.7	8.1	9.6	22.7	18.9	
精神科	50	0.4%	男	31	72.1			2.0	182.0	90.4	42.3	80.3	53.0	
			女	19	74.2			88.5	14.0	109.0	62.6	85.3	67.0	
血液内科・輸血科	730	5.4%	男	400	25.2					40.1	21.1	25.7	20.2	
			女	330	26.7				8.0	33.4	36.5	24.3	30.5	
糖尿病・内分泌内科	79	0.6%	男	34	8.8			2.0			9.0	9.2	8.4	
			女	45	8.8					7.7	7.2	12.1	9.0	
放射線療法科	1	0.0%	男	1	2.0							2.0		
			女											
腫瘍内科	42	0.3%	男	31	13.8						15.3	13.7	13.0	
			女	11	14.6					4.0	13.6	17.8		
ペインクリニック科	11	0.1%	男	7	11.4						12.5	10.5	11.3	
			女	4	5.8						5.5	6.0		
脳神経外科	641	4.8%	男	360	16.7			13.6	8.0	17.2	14.2	16.9	18.1	
			女	281	14.9	6.0	11.5	24.4	13.0	10.4	14.3	14.6	15.3	
眼科	164	1.2%	男	93	7.3			3.0	3.0	6.0		15.6	7.2	6.2
			女	71	7.2			3.0	3.0	3.0		7.9	8.4	7.0
耳鼻咽喉科	371	2.8%	男	222	15.9	7.0	9.7	9.8	12.3	9.1	13.7	19.0	26.1	
			女	149	9.3	10.5	7.4	8.9	8.4	9.6	9.2	10.7	7.4	
歯科口腔外科	148	1.1%	男	71	9.5				3.4	3.3	6.0	11.0	12.9	3.7
			女	77	11.1	3.0	3.0	4.5	7.3	3.9	10.0	12.7	13.8	
呼吸器内科	518	3.9%	男	353	10.8			19.0		4.3	8.4	10.5	13.8	
			女	165	12.0			2.0		9.8	8.7	11.6	16.1	
呼吸器外科	288	2.1%	男	196	8.8			5.0	7.8	7.0	6.7	8.6	11.6	
			女	92	7.6			14.0		5.5	7.6	7.5	7.9	
循環器内科	1,363	10.2%	男	929	7.3			4.0		6.0	6.2	6.4	10.3	
			女	434	9.0				4.0	8.0	8.2	6.4	11.7	
心臓血管外科	308	2.3%	男	198	23.2						18.1	25.2	20.5	
			女	110	32.4					8.0	23.2	38.9	29.0	
乳腺・甲状腺外科	261	1.9%	男	38	6.3					5.3	5.1	5.8	9.0	
			女	223	8.1				5.5	6.8	7.4	9.3	8.5	
消化器内科	739	5.5%	男	453	9.5					9.8	8.8	8.9	11.3	
			女	286	10.6				3.0	7.3	6.3	10.5	11.8	
消化器外科・一般外科	1,708	12.7%	男	1,125	13.5			9.3	4.3	8.9	12.2	13.7	15.3	
			女	583	12.4			6.0	3.8	11.3	11.4	11.4	15.7	
泌尿器科	685	5.1%	男	556	7.6				3.0	4.0	6.1	8.1	7.1	
			女	129	6.7				5.0	5.0	5.3	6.5	7.8	
腎臓内科・膠原病科	127	0.9%	男	79	20.6				4.2	9.0	14.4	12.5	46.5	
			女	48	36.3				3.5	4.1	5.4	57.0	64.4	
婦人科	565	4.2%	男					5.7	5.8	5.4	7.2	9.5	7.1	
			女	565	7.3									
生殖医療科	4	0.0%	男											
			女	4	6.0					6.0				
移植外科	99	0.7%	男	54	15.1					22.8	16.3	12.8		
			女	45	24.5					19.3	24.4	29.8	2.0	
救命救急科	397	3.0%	男	237	6.9	6.7		3.2	1.7	4.3	4.2	8.0	8.4	
			女	160	6.4	1.0	14.0	4.3	4.5	1.9	7.4	6.4	7.0	
小児科	1,137	8.5%	男	602	11.0	12.3	5.9	9.9	14.7	4.0				
			女	535	11.5	14.6	5.8	7.1	4.3	5.8	2.0			
小児外科	158	1.2%	男	106	3.9	3.7	4.1	4.0						
			女	52	6.8	11.2	3.2	4.6	4.5					
産科	836	6.2%	男											
			女	836	9.8			4.0	7.0	9.9	7.8			
皮膚科	35	0.3%	男	17	8.2	6.0				5.3		8.8	12.5	
			女	18	19.0			9.5			2.0	2.0	26.0	18.5
整形外科	1,533	11.4%	男	848	11.4		34.0	4.4	9.8	8.4	10.4	12.0	15.8	
			女	685	11.8		6.0	8.8	12.3	5.7	10.1	11.8	14.3	
形成外科	137	1.0%	男	83	14.0	3.2	4.5	3.0	7.0	17.7	15.5	17.5	15.2	
			女	54	8.8	3.4	3.0	4.6	2.5	10.5	12.2	14.1	9.8	
児童精神科	14	0.1%	男	8	60.4			60.4						
			女	6	62.0			62.0						
合計	13,408	100.0%	男	7,283	12.5	11.1	6.1	9.7	11.0	14.1	11.2	12.8	14.1	
			女	6,125	12.2	14.1	5.7	9.6	7.1	9.4	10.2	13.7	14.6	

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインディケータ

(5) - 2 診療科別・年齢階層別・性別在院日数の平均

令和2年度

診療科	患者総数 (人)	患者数 比率	性別	総数 (人)	在院日数 の平均 (日)	年齢階層							
						0~2 才	3~5 才	6~15 才	16~20 才	21~40 才	41~60 才	61~79 才	80才~
総合診療科	294	2.6%	男	140	18.5				13.4	15.8	13.3	19.2	24.1
			女	154	14.4			6.1	9.1	13.3	19.7	16.4	
精神科	69	0.6%	男	30	56.8			53.0	55.0	53.4	64.8	54.1	54.0
			女	39	48.7			31.0	20.3	53.7	39.9	61.5	
血液内科・輸血科	789	6.9%	男	483	23.8				51.8	37.8	22.3	22.9	21.4
			女	306	22.9					29.2	22.7	24.0	18.2
糖尿病・内分泌内科	112	1.0%	男	40	11.9			9.5	11.8	8.9	11.8	17.0	
			女	72	9.3				9.0	6.8	10.5	12.3	
放射線療法科	1	0.0%	男	1	7.0							7.0	
			女										
感染症科	159	1.4%	男	91	9.4					4.5	7.1	11.4	16.7
			女	68	8.4				8.0	6.4	6.5	8.4	10.0
腫瘍内科	23	0.2%	男	14	13.4						6.0	14.0	
			女	9	21.7						13.0	22.8	
ペインクリニック科	10	0.1%	男	6	7.5						11.0	5.8	
			女	4	16.0					24.0		19.0	2.0
脳神経外科	484	4.3%	男	272	15.6	8.0		5.0	11.0	17.0	18.6	14.3	16.4
			女	212	18.5			19.0		14.0	17.4	19.7	17.8
眼科	115	1.0%	男	61	5.0		3.0	3.0	3.0	6.0	8.3	5.5	4.4
			女	54	5.6	3.0	3.0	2.9	3.0	3.0	4.5	5.3	10.2
耳鼻咽喉科	307	2.7%	男	206	14.7	12.0	9.5	8.9	7.3	8.1	13.0	18.2	16.4
			女	101	8.5	10.0		7.8	8.5	7.7	10.3	7.4	7.9
歯科口腔外科	124	1.1%	男	47	8.2			4.8	3.0	6.8	10.3	9.1	9.0
			女	77	10.9			8.0	3.3	2.6	6.3	8.3	17.7
呼吸器内科	394	3.5%	男	244	10.8					2.0	7.9	10.1	16.2
			女	150	12.0					15.3	10.8	10.7	16.3
呼吸器外科	235	2.1%	男	157	8.3			5.3	8.0	7.8	8.6	8.1	
			女	78	9.2		5.0	8.0	6.6	7.0	10.4	9.4	
循環器内科	1,038	9.1%	男	702	7.5					9.2	7.0	6.9	8.8
			女	336	9.0					5.3	7.7	6.8	10.9
心臓血管外科	310	2.7%	男	201	23.6					10.8	24.9	22.4	26.8
			女	109	23.7					5.0	19.2	28.4	18.4
乳腺・甲状腺外科	258	2.3%	男	37	5.6					5.2	5.2	5.8	8.0
			女	221	7.5					5.3	7.1	7.6	9.4
消化器内科	685	6.0%	男	410	8.2					3.7	7.5	7.8	9.2
			女	275	9.3				5.6	4.6	5.1	8.0	12.4
消化器外科・一般外科	1,489	13.1%	男	939	14.8			6.5	6.0	10.2	12.1	15.5	15.4
			女	550	14.8				11.7	8.6	10.4	15.4	18.0
泌尿器科	533	4.7%	男	434	9.2				5.7	9.3	9.6	8.8	10.0
			女	99	8.7					4.0	5.8	11.1	8.2
腎臓内科・膠原病科	109	1.0%	男	56	25.3				4.0	11.0	17.3	26.8	30.6
			女	53	17.2					3.1	7.4	18.0	39.6
婦人科	455	4.0%	男										
			女	455	6.8				6.0	5.0	6.5	8.3	11.2
生殖医療科	6	0.1%	男										
			女	6	3.8					4.0	3.0		
移植外科	105	0.9%	男	66	16.9					10.6	12.4	23.4	13.0
			女	39	12.9					12.2	17.8	9.6	6.0
救命救急科	269	2.4%	男	138	7.5	1.5		1.5	2.0	4.3	3.1	10.1	8.1
			女	131	4.7			1.5	2.4	3.4	11.4	4.0	4.1
小児科	715	6.3%	男	414	12.9	14.4	7.7	10.9	14.7				
			女	301	12.6	13.7	13.7	4.7	6.0	105.5	2.7		
小児外科	128	1.1%	男	89	5.2	5.6	4.3	5.2					
			女	39	4.7	5.6	3.0	4.6					
産科	712	6.3%	男										
			女	712	9.9				11.9	9.9	9.0		
皮膚科	37	0.3%	男	14	9.9				4.0	9.3		10.3	12.0
			女	23	13.9			4.0	8.0	7.0	6.0	8.3	32.3
整形外科	1,252	11.0%	男	656	12.8		2.7	5.8	9.4	11.2	10.9	13.8	16.6
			女	596	13.0			6.6	5.5	9.3	10.4	13.1	15.8
形成外科	133	1.2%	男	85	14.4	3.4	3.0	2.8	5.8	9.8	14.4	20.1	18.5
			女	48	11.0	5.8		3.0	7.0	8.2	12.7	14.8	15.0
児童精神科	34	0.3%	男	15	49.3			49.3					
			女	19	58.5			58.5					
合計	11,384	100.0%	男	6,048	13.3	12.7	6.5	12.2	14.0	13.5	11.7	13.7	14.3
			女	5,336	12.3	12.9	10.8	12.9	7.8	9.8	9.8	13.8	14.3

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインデキータ

(5) - 3 診療科別・年齢階層別・性別在院日数の平均

令和3年度

診療科	患者総数 (人)	患者数 比率	性別	総数 (人)	在院日数 の平均 (日)	年齢階層							
						0~2 才	3~5 才	6~15 才	16~20 才	21~40 才	41~60 才	61~79 才	80才~
総合診療科	528	4.3%	男	260	15.7			3.5	8.0	10.0	11.7	18.9	17.4
			女	268	14.4				4.4	9.3	13.4	19.7	15.7
精神科	114	0.9%	男	51	50.2				21.5	37.7	46.2	67.6	46.2
			女	63	38.9			25.0	29.0	35.8	39.3	45.8	37.7
血液内科・輸血科	816	6.7%	男	464	22.7				17.5	31.3	21.5	24.8	15.9
			女	352	23.3				77.0	12.5	31.8	23.4	20.5
糖尿病・内分泌内科	157	1.3%	男	64	11.9				20.0	5.4	10.3	13.9	11.3
			女	93	11.2					8.7	10.9	9.8	19.5
放射線療法科	2	0.0%	男										
			女	2	2.0								2.0
感染症科	9	0.1%	男	2	10.5				10.0		11.0		
			女	7	14.9				9.0	9.0	6.0	17.0	27.0
腫瘍内科	1	0.0%	男	1	25.0							25.0	
			女										
ペインクリニック科	11	0.1%	男	3	17.7						36.0		8.5
			女	8	8.9						6.0	6.0	10.0
脳神経外科	557	4.6%	男	325	14.4	2.0	4.0	7.3	11.5	7.8	11.1	15.4	15.8
			女	232	15.9	12.0		31.3		12.1	14.3	15.6	16.5
眼科	124	1.0%	男	73	5.1		3.0	3.4	3.0	3.0	7.0	6.3	4.5
			女	51	4.5		3.0	3.0	2.7	3.0	5.0	5.6	5.9
耳鼻咽喉科	389	3.2%	男	247	12.1	12.5	8.3	6.1	5.8	6.6	9.4	14.2	18.0
			女	142	10.0		8.3	4.6	8.0	8.7	8.2	10.0	20.0
歯科口腔外科	150	1.2%	男	83	10.1	3.0	3.0	3.9	4.5	6.2	6.3	16.9	16.3
			女	67	7.7		3.0	3.3	6.5	6.0	5.4	8.6	10.4
呼吸器内科	312	2.6%	男	205	12.9					20.8	10.1	11.7	15.9
			女	107	9.1					5.8	10.0	8.6	10.5
呼吸器外科	283	2.3%	男	187	11.9				4.5	9.6	10.5	12.7	10.4
			女	96	8.6				8.0	14.0	6.7	7.7	12.0
循環器内科	1,142	9.4%	男	753	7.6				4.0	4.9	6.2	7.2	8.8
			女	389	11.3					4.7	7.1	9.8	12.9
心臓血管外科	288	2.4%	男	196	19.6					19.5	21.7	18.5	20.9
			女	92	17.4					21.0	16.3	15.6	19.4
乳腺・甲状腺外科	292	2.4%	男	33	13.7				5.0	5.3	5.0	10.4	44.8
			女	259	6.8				6.0	5.6	6.8	7.2	6.8
消化器内科	808	6.6%	男	475	9.4				2.0	4.6	8.9	9.2	10.9
			女	333	10.2			4.0	12.5	8.6	5.8	10.1	11.4
消化器外科・一般外科	1,732	14.2%	男	1,096	13.0				5.0	10.8	8.4	11.3	13.2
			女	636	12.8				2.0	2.3	6.9	8.9	13.5
泌尿器科	516	4.2%	男	394	8.0					12.3	8.2	7.6	8.6
			女	122	7.6					5.0	5.0	8.0	9.4
腎臓内科・膠原病科	119	1.0%	男	67	14.2				3.0	4.0	17.5	14.4	28.6
			女	52	20.3					3.3	21.6	22.1	39.1
婦人科	514	4.2%	男										
			女	514	6.1			6.0	6.0	5.2	6.3	6.2	7.5
生殖医療科	4	0.0%	男										
			女	4	4.5					3.0	9.0		
移植外科	128	1.1%	男	72	11.2					5.4	15.3	10.6	4.5
			女	56	14.0					15.6	14.2	13.0	14.2
救命救急科	103	0.8%	男	63	3.3	1.0		2.0	3.0	1.5	4.8	4.0	1.9
			女	40	2.5				2.0	3.5	1.5	3.5	2.0
小児科	879	7.2%	男	489	10.7	11.8	8.3	7.3	13.8	18.4			
			女	390	10.0	10.7	9.7	6.1	10.0	8.3	4.0		
小児外科	152	1.2%	男	102	6.6	8.9	3.8	3.6					
			女	50	4.5	3.4	3.4	6.4	4.0				
産科	717	5.9%	男						4.0	10.2	9.6	6.9	
			女	717	9.4								
皮膚科	27	0.2%	男	11	41.6					7.0	12.0	79.2	14.5
			女	16	59.3					7.0	8.8	96.7	18.0
整形外科	1,119	9.2%	男	591	11.5		2.3	3.1	10.2	11.3	9.9	11.4	17.7
			女	528	12.8		3.5	9.7	15.5	8.4	10.4	12.8	15.0
形成外科	149	1.2%	男	83	17.6	3.8	3.0	4.5	4.0	4.8	26.6	21.2	30.0
			女	66	12.1	4.3	4.0	3.3	6.7	13.6	13.4	14.9	15.1
緩和ケア内科	1	0.0%	男	1	3.0							3.0	
			女										
児童精神科	30	0.2%	男	10	42.9			42.9					
			女	20	52.6			52.6					
合計	12,173	100.0%	男	6,401	12.6	11.2	6.9	7.4	9.8	11.9	11.9	13.2	13.6
			女	5,772	12.0	10.2	7.0	13.9	10.3	9.1	10.0	13.4	14.4

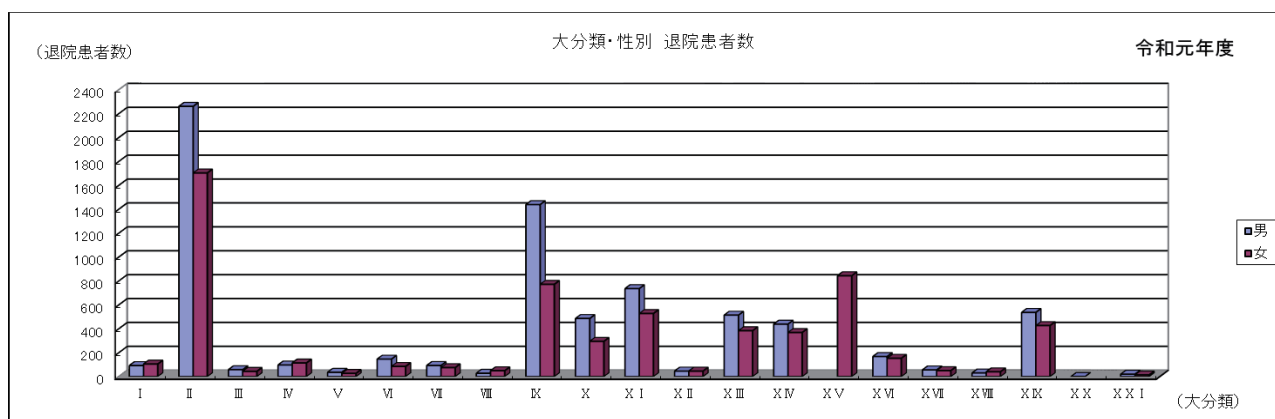
I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

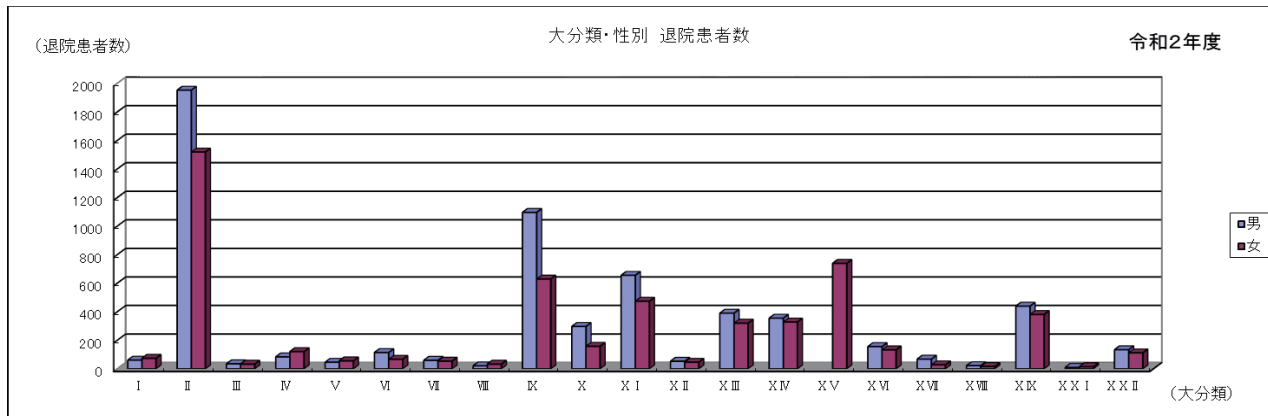
IV クリニカルインディケータ

(6) - 1 【令和元年度】大分類別・性別退院患者数・平均年齢・在院日数の平均



大分類		患者総数 (人)	患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
I	感染症及び寄生虫症	197	1.5%	男	92	41.4	13.0
				女	105	40.5	10.8
II	新生物<腫瘍>	3,965	29.6%	男	2,261	68.5	14.6
				女	1,704	65.1	13.3
III	血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の傷害	102	0.8%	男	58	50.3	15.5
				女	44	38.0	24.1
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	211	1.6%	男	97	65.8	10.3
				女	114	55.5	8.9
V	精神及び行動の障害	63	0.5%	男	36	38.1	66.1
				女	27	39.2	67.3
VI	神経系の疾患	231	1.7%	男	146	39.8	12.8
				女	85	40.6	11.0
VII	眼及び付属器の疾患	168	1.3%	男	93	63.6	7.3
				女	75	60.5	7.0
VIII	耳及び乳様突起の疾患	77	0.6%	男	28	47.0	6.4
				女	49	43.3	5.7
IX	循環器系の疾患	2,211	16.5%	男	1,439	71.2	11.0
				女	772	75.9	12.7
X	呼吸器系の疾患	781	5.8%	男	486	44.6	10.7
				女	295	34.0	9.4
X I	消化器系の疾患	1,264	9.4%	男	736	59.3	9.1
				女	528	60.7	9.4
X II	皮膚及び皮下組織の疾患	92	0.7%	男	46	45.9	13.0
				女	46	46.2	15.5
X III	筋骨格系及び結合組織の疾患	898	6.7%	男	514	59.5	10.5
				女	384	64.8	12.1
X IV	腎尿路生殖器系の疾患	808	6.0%	男	439	62.2	10.8
				女	369	54.8	11.1
X V	妊娠、分娩及び産褥	844	6.3%	男	844	33.2	9.8
				女	844	33.2	9.8
X VI	周産期に発生した病態	321	2.4%	男	168	0.0	19.9
				女	153	0.0	21.3
X VII	先天奇形、変形及び染色体異常	106	0.8%	男	56	5.6	8.7
				女	50	21.0	16.4
X VIII	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	70	0.5%	男	30	23.8	4.3
				女	40	26.6	3.8
X IX	損傷、中毒及びその他の外因の影響	964	7.2%	男	537	56.6	14.0
				女	427	68.7	13.0
X X	傷病及び死亡の外因	1	0.0%	男	1	70.0	14.0
				女	1	70.0	14.0
X X I	健康状態に影響をおよぼす要因及び保健サービスの利用	34	0.3%	男	20	54.1	10.4
				女	14	52.1	9.1
合計		13,408	100.0%	男	7,283	60.8	12.5
				女	6,125	55.9	12.2

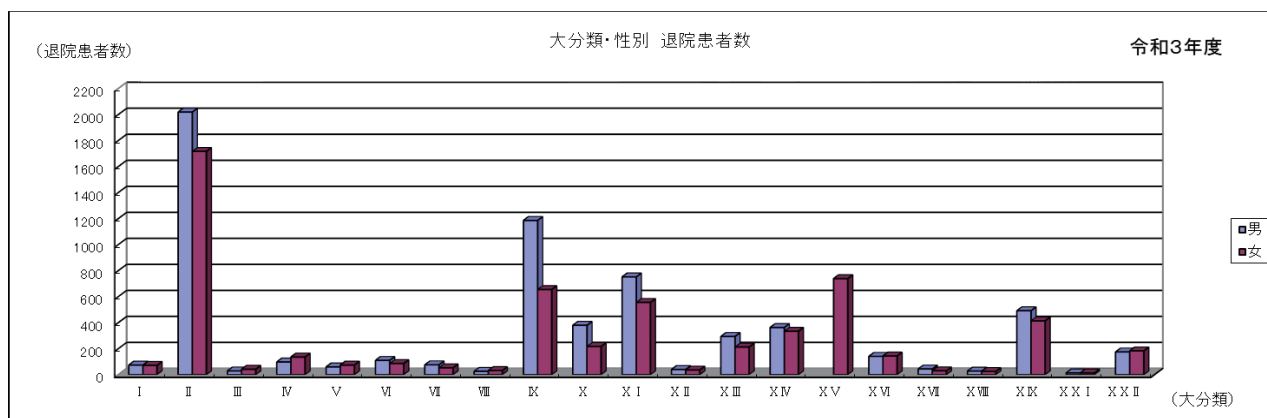
(6) - 2 【令和2年度】大分類別・性別退院患者数・平均年齢・在院日数の平均



令和2年度

大分類		患者総数 (人)	患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
I	感染症及び寄生虫症	135	1.2%	男	61	48.0	15.9
				女	74	49.4	10.7
II	新生物<腫瘍>	3,471	30.5%	男	1,952	68.6	16.0
				女	1,519	65.4	13.4
III	血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の傷害	68	0.6%	男	35	58.2	16.4
				女	33	40.4	20.2
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	205	1.8%	男	84	60.1	9.2
				女	121	59.6	7.2
V	精神及び行動の障害	102	0.9%	男	46	36.3	53.0
				女	56	35.1	53.6
VI	神経系の疾患	181	1.6%	男	114	39.4	10.9
				女	67	51.0	10.6
VII	眼及び付属器の疾患	114	1.0%	男	60	53.3	5.2
				女	54	48.5	5.6
VIII	耳及び乳様突起の疾患	54	0.5%	男	21	45.0	6.5
				女	33	57.9	6.0
IX	循環器系の疾患	1,725	15.2%	男	1,096	71.9	11.2
				女	629	77.9	13.7
X	呼吸器系の疾患	455	4.0%	男	297	54.5	13.0
				女	158	52.1	10.9
X I	消化器系の疾患	1,129	9.9%	男	655	64.4	9.2
				女	474	62.8	9.2
X II	皮膚及び皮下組織の疾患	99	0.9%	男	53	50.1	16.3
				女	46	56.0	16.1
X III	筋骨格系及び結合組織の疾患	710	6.2%	男	390	64.3	14.3
				女	320	66.4	13.9
X IV	腎尿路生殖器系の疾患	683	6.0%	男	355	60.4	10.1
				女	328	55.8	8.7
X V	妊娠、分娩及び産褥	739	6.5%	男			
				女	739	33.1	9.8
X VI	周産期に発生した病態	289	2.5%	男	156	0.0	19.1
				女	133	0.0	15.1
X VII	先天奇形、変形及び染色体異常	96	0.8%	男	68	5.1	9.7
				女	28	21.9	21.7
X VIII	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	38	0.3%	男	22	29.2	4.2
				女	16	35.9	7.4
X IX	損傷、中毒及びその他の外因の影響	820	7.2%	男	439	56.6	12.3
				女	381	67.9	12.8
X X I	健康状態に影響をおよぼす要因及び保健サービスの利用	25	0.2%	男	10	44.8	8.3
				女	15	54.1	9.7
X X II	その他	246	2.2%	男	134	53.9	11.0
				女	112	59.6	10.2
合計		11,384	100.0%	男	6,048	61.9	13.3
				女	5,336	58.0	12.3

(6) - 3 【令和3年度】大分類別・性別退院患者数・平均年齢・在院日数の平均



大分類		患者総数 (人)	患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
I	感染症及び寄生虫症	146	1.2%	男	74	45.8	13.0
				女	72	52.3	11.6
II	新生物<腫瘍>	3,736	30.7%	男	2,019	69.6	15.0
				女	1,717	64.4	12.5
III	血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の傷害	71	0.6%	男	29	55.9	20.5
				女	42	52.5	13.5
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	234	1.9%	男	98	57.5	10.8
				女	136	57.2	7.9
V	精神及び行動の障害	134	1.1%	男	60	45.4	48.1
				女	74	38.4	44.7
VI	神経系の疾患	196	1.6%	男	110	40.2	8.6
				女	86	40.8	10.7
VII	眼及び付属器の疾患	129	1.1%	男	76	55.7	5.1
				女	53	50.1	4.8
VIII	耳及び乳様突起の疾患	58	0.5%	男	26	49.1	4.7
				女	32	53.1	6.1
IX	循環器系の疾患	1,841	15.1%	男	1,186	72.2	10.0
				女	655	78.0	13.0
X	呼吸器系の疾患	597	4.9%	男	380	43.6	11.5
				女	217	40.0	9.3
X I	消化器系の疾患	1,308	10.7%	男	752	62.0	9.2
				女	556	63.9	9.1
X II	皮膚及び皮下組織の疾患	76	0.6%	男	40	48.3	30.3
				女	36	57.6	34.9
X III	筋骨格系及び結合組織の疾患	507	4.2%	男	294	62.5	12.1
				女	213	65.8	13.5
X IV	腎尿路生殖器系の疾患	697	5.7%	男	363	59.4	9.7
				女	334	58.3	10.1
X V	妊娠、分娩及び産褥	739	6.1%	男			
				女	739	33.1	9.4
X VI	周産期に発生した病態	285	2.3%	男	141	0.0	20.9
				女	144	0.3	15.8
X VII	先天奇形、変形及び染色体異常	74	0.6%	男	44	6.3	7.8
				女	30	20.0	6.6
X VIII	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	53	0.4%	男	28	16.9	5.4
				女	25	12.0	5.0
X IX	損傷、中毒及びその他の外因の影響	906	7.4%	男	492	56.6	11.9
				女	414	67.9	12.6
X X I	健康状態に影響をおよぼす要因及び保健サービスの利用	28	0.2%	男	14	45.4	9.9
				女	14	51.7	8.6
X X II	その他	358	2.9%	男	175	57.4	15.1
				女	183	58.5	13.7
合計		12,173	100.0%	男	6,401	61.5	12.6
				女	5,772	57.3	12.0

(7) - 1 中分類別・性別退院患者数・平均年齢・在院日数の平均

令和元年度

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
I 感染症及び寄生虫症							
腸管感染症		79	40.1%	男	34	14.6	4.8
				女	45	19.8	6.2
結核		13	6.6%	男	8	64.3	16.0
				女	5	66.0	33.0
その他の細菌性疾患		35	17.8%	男	16	70.6	27.1
				女	19	69.2	16.3
主として性的伝播様式をとる感染症		1	0.5%	男			
				女	1	38.0	3.0
中枢神経系のウイルス感染症		2	1.0%	男	2	2.0	13.0
				女			
節足動物媒介ウイルス熱及びウイルス性出血熱		4	2.0%	男	2	76.5	12.0
				女	2	58.5	10.5
皮膚及び粘膜病変を特徴とするウイルス感染症		24	12.2%	男	10	54.1	13.3
				女	14	55.2	13.8
ウイルス性肝炎		5	2.5%	男	5	43.0	10.2
				女			
その他のウイルス性疾患		26	13.2%	男	12	45.0	8.5
				女	14	35.4	9.5
真菌症		7	3.6%	男	3	71.3	44.0
				女	4	53.8	6.8
蠕虫症		1	0.5%	男			
				女	1	82.0	3.0
II 新生物<腫瘍>							
口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物<腫瘍>		81	2.0%	男	64	68.0	29.1
				女	17	70.1	25.5
消化器の悪性新生物<腫瘍>		1,211	30.5%	男	844	70.1	14.0
				女	367	71.9	13.5
呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物<腫瘍>		545	13.7%	男	377	69.7	10.3
				女	168	69.5	9.8
骨及び関節軟骨の悪性新生物<腫瘍>		11	0.3%	男	11	20.8	13.5
				女			
皮膚の悪性新生物<腫瘍>		31	0.8%	男	23	69.6	9.8
				女	8	66.8	19.6
中皮及び軟部組織の悪性新生物<腫瘍>		54	1.4%	男	23	67.5	13.2
				女	31	64.0	15.1
乳房の悪性新生物<腫瘍>		152	3.8%	男	3	69.3	6.7
				女	149	58.4	8.8
女性生殖器の悪性新生物<腫瘍>		257	6.5%	男			
				女	257	61.9	9.6
男性生殖器の悪性新生物<腫瘍>		177	4.5%	男	177	71.6	6.6
				女			
腎尿路の悪性新生物<腫瘍>		142	3.6%	男	109	73.0	11.1
				女	33	79.4	10.2
眼、脳及び中枢神経系のその他の部位の悪性新生物<腫瘍>		4	0.1%	男	2	51.5	26.5
				女	2	63.0	5.0
甲状腺及びその他の内分泌腺の悪性新生物<腫瘍>		35	0.9%	男	15	62.7	7.8
				女	20	64.2	6.5
部位不明確、続発部位及び部位不明の悪性新生物<腫瘍>		182	4.6%	男	116	68.2	13.2
				女	66	70.4	10.7
リンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物<腫瘍>		539	13.6%	男	283	64.1	27.2
				女	256	68.3	28.5
上皮内新生物<腫瘍>		12	0.3%	男	1	74.0	14.0
				女	11	47.7	3.6
良性新生物<腫瘍>		298	7.5%	男	86	59.9	6.9
				女	212	50.2	6.7
性状不詳または不明の新生物<腫瘍>		234	5.9%	男	127	68.3	18.2
				女	107	67.6	12.0
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の傷害							
栄養性貧血		2	2.0%	男	2	36.5	4.0
				女			
溶血性貧血		5	4.9%	男	3	82.0	22.0
				女	2	78.0	17.0

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	無形成性貧血及びその他の貧血	16	15.7%	男	10	72.5	15.6
				女	6	62.8	95.7
	凝固障害、紫斑病及びその他の出血性病態	58	56.9%	男	32	40.8	17.5
				女	26	27.8	13.5
	血液及び造血器のその他の疾患	10	9.8%	男	4	42.5	18.3
				女	6	30.5	6.3
免疫機構の障害	11	10.8%	男	7	57.1	5.0	
			女	4	58.8	16.3	
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患							
甲状腺障害	64	30.3%	男	19	65.6	5.3	
			女	45	49.0	6.9	
糖尿病	54	25.6%	男	33	66.5	10.5	
			女	21	64.7	12.0	
その他のグルコース調節及び膵内分泌障害	2	0.9%	男	1	1.0	2.0	
			女	1	87.0	5.0	
その他の内分泌腺障害	34	16.1%	男	11	70.7	14.4	
			女	23	62.6	8.9	
栄養失調（症）	2	0.9%	男				
			女	2	40.0	31.0	
その他の栄養欠乏症	1	0.5%	男	1	57.0	4.0	
			女				
代謝障害	54	25.6%	男	32	65.7	12.1	
			女	22	52.4	7.9	
V 精神及び行動の障害							
症状性を含む器質性精神障害	7	11.1%	男	5	73.8	59.2	
			女	2	83.5	42.5	
精神作用物質使用による精神及び行動の障害	6	9.5%	男	6	41.5	24.0	
			女				
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	9	14.3%	男	5	45.8	169.8	
			女	4	47.3	111.8	
気分〔感情〕障害	10	15.9%	男	5	42.6	64.8	
			女	5	53.8	49.2	
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	15	23.8%	男	6	28.7	29.2	
			女	9	33.1	41.8	
生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	3	4.8%	男				
			女	3	25.7	93.0	
知的障害<精神遅滞>	3	4.8%	男	1	50.0	25.0	
			女	2	15.0	88.5	
心理的発達の障害	3	4.8%	男	2	11.0	9.5	
			女	1	14.0	116.0	
小児<児童>期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	7	11.1%	男	6	11.3	91.5	
			女	1	15.0	90.0	
VI 神経系の疾患							
中枢神経系の炎症性疾患	21	9.1%	男	13	43.2	13.3	
			女	8	16.6	14.9	
主に中枢神経系を障害する系統萎縮症	18	7.8%	男	13	34.7	4.7	
			女	5	43.0	7.4	
錐体外路障害及び異常行動	1	0.4%	男	1	76.0	12.0	
			女				
神経系のその他の変性疾患	3	1.3%	男	3	69.7	19.0	
			女				
中枢神経系の脱髄疾患	2	0.9%	男	1	58.0	27.0	
			女	1	72.0	35.0	
挿間性及び発作性障害	116	50.2%	男	75	30.6	12.9	
			女	41	31.0	7.7	
神経、神経根及び神経叢の障害	30	13.0%	男	15	68.1	6.6	
			女	15	64.5	7.6	
多発（性）ニューロパチ<シ>-及びその他の末梢神経系の障害	4	1.7%	男	2	40.5	37.0	
			女	2	67.5	7.5	
神経筋接合部及び筋の疾患	2	0.9%	男	2	31.5	19.5	
			女				
脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	2	0.9%	男	2	2.0	7.5	
			女				
神経系のその他の障害	32	13.9%	男	19	52.5	17.6	
			女	13	50.7	23.1	

退院患者数

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
VII 眼及び付属器の疾患							
	眼瞼，涙器及び眼窩の障害	22	13.1%	男 女	12 10	33.7 21.0	4.7 3.5
	結膜の障害	2	1.2%	男 女	2	73.5	6.0
	強膜，角膜，虹彩及び毛様体の障害	2	1.2%	男 女	2	74.5	30.0
	水晶体の障害	102	60.7%	男 女	64 38	74.3 72.9	6.0 6.8
	脈絡膜及び網膜の障害	16	9.5%	男 女	4 12	57.3 65.0	26.8 11.6
	緑内障	5	3.0%	男 女	1 4	67.0 75.5	2.0 2.5
	硝子体及び眼球の障害	2	1.2%	男 女	2	56.0	21.5
	眼筋，眼球運動，調節及び屈折の障害	12	7.1%	男 女	6 6	9.0 16.8	3.0 4.0
	眼及び付属器のその他の障害	5	3.0%	男 女	5	74.0	12.2
VIII 耳及び乳様突起の疾患							
	外耳疾患	1	1.3%	男 女	1	64.0	3.0
	中耳及び乳様突起の疾患	35	45.5%	男 女	13 22	33.7 26.9	6.2 5.0
	内耳疾患	33	42.9%	男 女	10 23	60.1 58.1	5.4 5.7
	耳のその他の障害	8	10.4%	男 女	4 4	53.0 49.3	10.3 9.5
IX 循環器系の疾患							
	慢性リウマチ性心疾患	38	1.7%	男 女	18 20	70.8 73.4	35.4 36.2
	高血圧性疾患	19	0.9%	男 女	10 9	69.6 86.7	11.0 14.9
	虚血性心疾患	817	37.0%	男 女	617 200	69.8 75.3	5.3 5.6
	肺性心疾患及び肺循環疾患	13	0.6%	男 女	8 5	70.5 69.4	19.0 6.2
	その他の型の心疾患	558	25.2%	男 女	304 254	73.9 77.3	11.7 13.5
	脳血管疾患	467	21.1%	男 女	263 204	70.8 76.1	17.9 15.4
	動脈，細動脈及び毛細血管の疾患	261	11.8%	男 女	197 64	73.2 75.1	15.9 17.3
	静脈，リンパ管及びリンパ節の疾患，他に分類されないもの	35	1.6%	男 女	21 14	58.4 64.0	8.9 10.3
	循環器系のその他及び詳細不明の障害	3	0.1%	男 女	1 2	48.0 33.0	19.0 5.0
X 呼吸器系の疾患							
	急性上気道感染症	51	6.5%	男 女	36 15	15.4 13.7	6.2 8.3
	インフルエンザ及び肺炎	204	26.1%	男 女	127 77	51.6 34.3	11.2 10.0
	その他の急性下気道感染症	152	19.5%	男 女	79 73	2.3 4.0	5.0 4.9
	上気道のその他の疾患	115	14.7%	男 女	62 53	40.6 40.4	8.5 8.6
	慢性下気道疾患	52	6.7%	男 女	30 22	33.0 34.0	7.7 7.5
	外的因子による肺疾患	93	11.9%	男 女	65 28	74.2 78.5	19.5 17.0
	主として間質を障害するその他の呼吸器疾患	45	5.8%	男 女	29 16	76.4 67.8	13.2 13.8
	下気道の化膿性及び壊死性病態	13	1.7%	男 女	10 3	77.8 71.0	20.5 17.7

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインディケータ

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	胸膜のその他の疾患	46	5.9%	男	40	63.7	12.2
				女	6	60.2	18.5
	呼吸器系のその他の疾患	10	1.3%	男	8	65.3	6.4
				女	2	68.5	17.0
X I 消化器系の疾患							
	口腔、唾液腺及び顎の疾患	104	8.2%	男	54	52.7	4.8
				女	50	59.9	5.0
	食道、胃及び十二指腸の疾患	73	5.8%	男	34	65.8	11.1
				女	39	65.6	10.6
	虫垂の疾患	66	5.2%	男	35	44.2	7.7
				女	31	40.0	5.7
	ヘルニア	149	11.8%	男	97	45.6	4.9
				女	52	28.0	4.6
	非感染性腸炎及び非感染性大腸炎	42	3.3%	男	24	25.8	9.4
				女	18	27.8	28.9
	腸のその他の疾患	237	18.8%	男	127	63.8	10.1
				女	110	67.3	9.6
	腹膜の疾患	30	2.4%	男	20	63.7	27.5
				女	10	74.1	29.2
	肝疾患	45	3.6%	男	25	61.0	14.6
				女	20	64.9	17.6
	胆嚢、胆管及び膵の障害	393	31.1%	男	243	65.6	9.4
				女	150	71.2	8.5
	消化器系のその他の疾患	125	9.9%	男	77	66.0	7.8
				女	48	65.6	8.5
X II 皮膚及び皮下組織の疾患							
	皮膚及び皮下組織の感染症	51	55.4%	男	27	52.7	10.6
				女	24	52.0	12.8
	水疱症	1	1.1%	男			
				女	1	74.0	92.0
	皮膚炎及び湿疹	6	6.5%	男	2	33.5	5.0
				女	4	42.5	7.8
	丘疹落屑<鱗屑>性障害	1	1.1%	男			
				女	1	67.0	13.0
	蕁麻疹及び紅斑	8	8.7%	男	3	0.0	10.0
				女	5	10.8	5.2
	皮膚付属器の障害	4	4.3%	男	2	13.0	5.5
				女	2	19.0	6.0
	皮膚及び皮下組織のその他の障害	21	22.8%	男	12	49.8	21.8
				女	9	52.6	25.9
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患							
	感染性関節障害	4	0.4%	男	4	54.5	25.5
				女			
	炎症性多発性関節障害	8	0.9%	男	1	82.0	12.0
				女	7	74.4	8.1
	関節症	65	7.2%	男	17	68.5	16.3
				女	48	73.5	15.9
	その他の関節障害	8	0.9%	男			
				女	8	45.3	11.3
	全身性結合組織障害	55	6.1%	男	41	19.9	15.5
				女	14	25.8	40.0
	変形性脊柱障害	120	13.4%	男	39	62.0	7.3
				女	81	72.6	8.5
	脊椎障害	433	48.2%	男	295	68.3	10.0
				女	138	70.9	10.1
	その他の脊柱障害	135	15.0%	男	79	45.3	6.0
				女	56	42.2	4.1
	筋障害	10	1.1%	男	7	57.4	5.9
				女	3	59.0	23.3
	滑膜及び腱の障害	10	1.1%	男	5	38.2	2.6
				女	5	48.4	8.0
	その他の軟部組織障害	9	1.0%	男	7	59.3	19.4
				女	2	61.0	12.5
	骨の密度及び構造の障害	14	1.6%	男	4	74.0	20.0
				女	10	78.3	11.1
	その他の骨障害	18	2.0%	男	11	56.4	26.4
				女	7	53.0	75.6

退院患者数

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	軟骨障害	2	0.2%	男	2	57.5	49.0
	筋骨格系及び結合組織のその他の障害	7	0.8%	女	2	64.0	7.0
				男	5	80.6	18.8
XIV 腎尿路生殖器系の疾患							
	糸球体疾患	72	8.9%	男	37	43.4	17.4
				女	35	44.1	12.3
	腎尿細管間質性疾患	137	17.0%	男	63	60.2	6.2
				女	74	65.5	6.4
	腎不全	137	17.0%	男	85	65.4	24.2
				女	52	66.3	34.8
	尿路結石症	77	9.5%	男	47	59.6	6.0
				女	30	62.4	6.4
	腎及び尿管のその他の障害	14	1.7%	男	14	84.9	3.4
				女			
	尿路系のその他の疾患	61	7.5%	男	21	67.6	9.2
				女	40	66.8	12.7
	男性生殖器の疾患	168	20.8%	男	168	63.5	6.5
				女			
	乳房の障害	2	0.2%	男	1	85.0	7.0
				女	1	80.0	12.0
	女性骨盤臓器の炎症性疾患	11	1.4%	男	11	36.1	5.6
				女			
	女性生殖器の非炎症性障害	125	15.5%	男	125	42.4	4.8
				女			
	腎尿路生殖器系のその他の障害	4	0.5%	男	3	64.3	9.3
				女	1	66.0	6.0
XV 妊娠、分娩及び産褥							
	流産に終わった妊娠	10	1.2%	男			
				女	10	33.1	4.0
	妊娠、分娩及び産褥における浮腫、蛋白尿及び高血圧性障害	25	3.0%	男			
				女	25	33.5	8.9
	主として妊娠に関連するその他の母体障害	30	3.6%	男			
				女	30	32.8	9.6
	胎児及び羊膜腔に関連する母体ケア並びに予想される分娩の諸問題	354	41.9%	男			
				女	354	33.6	13.2
	分娩の合併症	154	18.2%	男			
				女	154	33.1	9.7
	分娩	260	30.8%	男			
				女	260	32.8	5.7
	主として産褥に関連する合併症	11	1.3%	男			
				女	11	29.6	5.7
XVI 周産期に発生した病態							
	妊娠期間及び胎児発育に関連する障害	110	34.3%	男	59	0.0	39.5
				女	51	0.0	48.3
	周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	110	34.3%	男	59	0.0	10.2
				女	51	0.0	9.3
	周産期に特異的な感染症	4	1.2%	男	2	0.0	13.0
				女	2	0.0	21.5
	胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	65	20.2%	男	33	0.0	5.3
				女	32	0.0	5.3
	胎児及び新生児に特異的な一過性の内分泌障害及び代謝障害	8	2.5%	男	5	0.0	8.2
				女	3	0.0	4.7
	胎児及び新生児の外皮及び体温調節に関連する病態	5	1.6%	男	3	0.0	2.7
				女	2	0.0	3.5
	周産期に発生したその他の障害	19	5.9%	男	7	0.0	21.9
				女	12	0.0	7.6
XVII 先天奇形、変形及び染色体異常							
	神経系の先天奇形	7	6.6%	男	3	11.0	14.3
				女	4	8.0	17.3
	眼、耳、顔面及び頸部の先天奇形	9	8.5%	男	2	5.5	4.5
				女	7	11.9	2.9
	循環器系の先天奇形	20	18.9%	男	8	10.9	7.3
				女	12	45.4	16.0

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	呼吸器系の先天奇形	1	0.9%	男 女	1	0.0	16.0
	唇裂及び口蓋裂	3	2.8%	男 女	3	4.3	7.7
	消化器系のその他の先天奇形	13	12.3%	男 女	4 9	1.0 37.6	8.3 9.8
	生殖器の先天奇形	27	25.5%	男 女	27	3.4	4.9
	腎尿路系の先天奇形	1	0.9%	男 女	1	0.0	26.0
	筋骨格系の先天奇形及び変形	13	12.3%	男 女	5 8	0.6 3.0	3.2 14.0
	その他の先天奇形	7	6.6%	男 女	5 2	16.0 2.0	35.0 18.5
	染色体異常, 他に分類されないもの	5	4.7%	男 女	1 4	5.0 2.3	6.0 63.8

XVIII 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの

循環器系及び呼吸器系に関する症状及び徴候	11	15.7%	男	4	37.8	5.0
			女	7	61.0	3.7
消化器系及び腹部に関する症状及び徴候	4	5.7%	男	4	34.3	5.0
			女	4	34.3	5.0
神経系及び筋骨格系に関する症状及び徴候	1	1.4%	男	1	12.0	1.0
			女	1	12.0	1.0
腎尿路系に関する症状及び徴候	5	7.1%	男	4	77.3	7.5
			女	1	92.0	9.0
認識, 知覚, 情緒状態及び行動に関する症状及び徴候	3	4.3%	男	2	48.0	2.0
			女	1	7.0	2.0
全身症状及び徴候	44	62.9%	男	19	8.3	3.8
			女	25	11.8	3.6
血液検査の異常所見, 診断名の記載がないもの	1	1.4%	男	1	0.0	3.0
			女	1	0.0	3.0
画像診断及び機能検査における異常所見, 診断名の記載がないもの	1	1.4%	男	1	93.0	6.0
			女	1	93.0	6.0

XIX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響

頭部損傷	147	15.2%	男	97	60.6	13.0
			女	50	72.4	12.8
頸部損傷	61	6.3%	男	44	66.4	16.8
			女	17	68.8	14.5
胸部<郭>損傷	61	6.3%	男	29	65.3	11.1
			女	32	68.6	15.2
腹部, 下背部, 腰椎及び骨盤部の損傷	123	12.8%	男	76	57.5	14.4
			女	47	69.6	17.1
肩及び上腕の損傷	48	5.0%	男	28	41.9	8.7
			女	20	65.6	15.8
肘及び前腕の損傷	59	6.1%	男	28	41.2	7.5
			女	31	62.6	6.3
手首及び手の損傷	28	2.9%	男	27	48.3	10.8
			女	1	66.0	9.0
股関節部及び大腿の損傷	124	12.9%	男	38	69.1	18.5
			女	86	81.0	13.3
膝及び下腿の損傷	87	9.0%	男	48	50.7	21.5
			女	39	65.3	18.0
足首及び足の損傷	19	2.0%	男	13	54.2	9.5
			女	6	59.2	9.7
多部位の損傷	14	1.5%	男	11	57.5	38.5
			女	3	79.7	30.0
部位不明の体幹もしくは(四)肢の損傷または部位不明の損傷	6	0.6%	男	3	20.3	11.7
			女	3	45.3	3.7
自然開口部からの異物侵入の作用	17	1.8%	男	6	40.8	2.3
			女	11	71.2	9.6
熱傷及び腐食	13	1.3%	男	7	33.3	20.7
			女	6	41.3	16.3
薬物, 薬剤及び生物学的製剤による中毒	18	1.9%	男	5	49.2	2.8
			女	13	53.5	3.8
薬用を主としない物質の毒作用	22	2.3%	男	13	57.2	4.7
			女	9	57.8	4.7
外因のその他及び詳細不明の作用	35	3.6%	男	19	41.2	2.7
			女	16	42.1	3.8

退院患者数

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	外傷の早期合併症	3	0.3%	男	3	65.3	4.0
	外科的及び内科的ケアの合併症，他に分類されないもの	79	8.2%	男	42	66.9	17.1
				女	37	70.2	13.5
XX 傷病及び死亡の外因							
	患者の異常反応または後発合併症を生じた外科的及びその他の医学的処置で，処置時には事故の記載がないもの	1	100.0%	男	1	70.0	14.0
	女						
XX I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用							
	特定の処置及び保健ケアのための保健サービスの利用者	34	100.0%	男	20	54.1	10.4
				女	14	52.1	9.1
合計		13,408	100.0%	男	7,283	60.8	12.5
				女	6,125	55.9	12.2

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインディケーター

(7) - 2 中分類別・性別退院患者数・平均年齢・在院日数の平均

令和2年度

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
I 感染症及び寄生虫症							
	腸管感染症	49	36.3%	男 女	22 27	36.5 36.3	6.6 7.2
	結核	1	0.7%	男 女	1	81.0	2.0
	その他の細菌性疾患	34	25.2%	男 女	16 18	70.4 77.3	32.5 16.7
	主として性的伝播様式をとる感染症	1	0.7%	男 女			
	リケッチア症	1	0.7%	男 女	1	26.0	14.0
	中枢神経系のウイルス感染症	9	6.7%	男 女	3 6	41.3 43.7	16.7 6.5
	節足動物媒介ウイルス熱及びウイルス性出血熱	3	2.2%	男 女	2 1	72.0 67.0	13.0 17.0
	皮膚及び粘膜病変を特徴とするウイルス感染症	15	11.1%	男 女	6 9	53.0 45.9	11.8 10.8
	ウイルス性肝炎	1	0.7%	男 女			
	ヒト免疫不全ウイルス [HIV] 病	1	0.7%	男 女	1	48.0	75.0
	その他のウイルス性疾患	16	11.9%	男 女	7 9	21.7 30.1	9.4 7.7
	真菌症	2	1.5%	男 女	2	52.0	2.0
	原虫疾患	2	1.5%	男 女			
					2	79.0	29.5
II 新生物<腫瘍>							
	口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物<腫瘍>	87	2.5%	男 女	73 14	67.8 70.7	20.7 21.0
	消化器の悪性新生物<腫瘍>	989	28.5%	男 女	654 335	70.1 73.4	15.8 16.6
	呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物<腫瘍>	396	11.4%	男 女	257 139	68.5 68.0	9.6 9.8
	骨及び関節軟骨の悪性新生物<腫瘍>	4	0.1%	男 女	3 1	63.0 94.0	17.7 21.0
	皮膚の悪性新生物<腫瘍>	18	0.5%	男 女	14 4	77.1 70.5	11.3 10.5
	中皮及び軟部組織の悪性新生物<腫瘍>	42	1.2%	男 女	16 26	58.6 60.8	19.6 12.7
	乳房の悪性新生物<腫瘍>	140	4.0%	男 女	1 139	72.0 61.8	9.0 8.6
	女性生殖器の悪性新生物<腫瘍>	196	5.6%	男 女			
	男性生殖器の悪性新生物<腫瘍>	140	4.0%	男 女	140	70.9	8.9
	腎尿路の悪性新生物<腫瘍>	142	4.1%	男 女	120 22	71.0 75.9	13.3 14.7
	眼、脳及び中枢神経系のその他の部位の悪性新生物<腫瘍>	5	0.1%	男 女	2 3	42.5 13.7	7.0 32.7
	甲状腺及びその他の内分泌腺の悪性新生物<腫瘍>	43	1.2%	男 女	14 29	60.1 63.7	8.2 6.8
	部位不明確、続発部位及び部位不明の悪性新生物<腫瘍>	164	4.7%	男 女	92 72	68.7 67.9	11.8 12.7
	リンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物<腫瘍>	597	17.2%	男 女	366 231	66.3 68.4	27.5 26.2
	上皮内新生物<腫瘍>	19	0.5%	男 女	2 17	78.0 45.9	8.0 4.2
	良性新生物<腫瘍>	231	6.7%	男 女	58 173	61.1 50.6	7.5 7.2
	性状不詳または不明の新生物<腫瘍>	258	7.4%	男 女	140 118	68.7 67.2	13.6 8.8

退院患者数

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の傷害							
	栄養性貧血	5	7.4%	男	2	58.5	13.0
				女	3	76.3	6.7
	溶血性貧血	4	5.9%	男	3	85.0	17.3
				女	1	76.0	74.0
	無形成性貧血及びその他の貧血	12	17.6%	男	11	80.5	9.6
				女	1	72.0	130.0
	凝固障害、紫斑病及びその他の出血性病態	35	51.5%	男	14	36.9	17.4
				女	21	29.9	17.1
	血液及び造血器のその他の疾患	9	13.2%	男	3	54.3	21.3
				女	6	40.8	11.3
	免疫機構の障害	3	4.4%	男	2	50.5	41.5
				女	1	84.0	16.0
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患							
	甲状腺障害	72	35.1%	男	22	58.0	5.0
				女	50	60.5	5.7
	糖尿病	47	22.9%	男	30	58.3	12.1
				女	17	64.9	11.4
	その他のグルコース調節及び膵内分泌障害	3	1.5%	男	2	27.0	2.5
				女	1	65.0	2.0
	その他の内分泌腺障害	37	18.0%	男	8	67.8	7.1
				女	29	53.5	4.6
	栄養失調（症）	4	2.0%	男	3	29.0	4.3
				女	1	0.0	5.0
	その他の栄養欠乏症	2	1.0%	男	1	65.0	15.0
				女	1	49.0	22.0
	肥満（症）及びその他の過栄養<過剰摂食>	2	1.0%	男	1	39.0	43.0
				女	1	46.0	29.0
	代謝障害	38	18.5%	男	17	72.9	9.9
				女	21	65.5	9.7
V 精神及び行動の障害							
	症状性を含む器質性精神障害	3	2.9%	男	1	71.0	90.0
				女	2	72.5	50.5
	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	6	5.9%	男	4	65.5	53.3
				女	2	30.5	28.0
	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	20	19.6%	男	10	46.8	62.5
				女	10	49.9	81.2
	気分〔感情〕障害	27	26.5%	男	9	57.8	46.3
				女	18	42.3	55.2
	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	22	21.6%	男	6	26.0	46.8
				女	16	23.8	41.0
	生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	4	3.9%	男			
				女	4	13.0	57.8
	成人の人格及び行動の障害	1	1.0%	男			
				女	1	22.0	54.0
	知的障害<精神遅滞>	3	2.9%	男	2	15.5	43.5
				女	1	15.0	31.0
	心理的発達障害	7	6.9%	男	5	13.4	57.8
				女	2	14.5	34.0
	小児<児童>期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	9	8.8%	男	9	10.3	48.4
				女			
VI 神経系の疾患							
	中枢神経系の炎症性疾患	10	5.5%	男	8	51.9	36.4
				女	2	40.0	31.0
	主に中枢神経系を障害する系統萎縮症	15	8.3%	男	8	40.0	6.0
				女	7	64.6	8.6
	錐体外路障害及び異常行動	4	2.2%	男	4	52.8	22.0
				女			
	中枢神経系の脱髄疾患	1	0.6%	男			
				女	1	55.0	4.0
	挿間性及び発作性障害	98	54.1%	男	66	33.1	8.6
				女	32	44.4	8.5
	神経、神経根及び神経叢の障害	19	10.5%	男	9	54.1	7.9
				女	10	73.5	11.1

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	多発（性）ニューロパチ<シ>-及びその他の末梢神経系の障害	8	4.4%	男	5	71.0	8.2
	女			3	55.7	7.3	
	神経筋接合部及び筋の疾患	2	1.1%	男	2	35.5	2.0
	女						
脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	2	1.1%	男	2	0.0	9.0	
	神経系のその他の障害	22	12.2%	男	10	44.5	11.2
				女	12	42.2	14.9
VII 眼及び付属器の疾患							
	眼瞼、涙器及び眼窩の障害	16	14.0%	男	7	23.7	5.4
				女	9	8.2	3.0
	結膜の障害	3	2.6%	男	2	80.5	6.0
				女	1	58.0	4.0
	強膜、角膜、虹彩及び毛様体の障害	2	1.8%	男	1	80.0	26.0
				女	1	71.0	3.0
	水晶体の障害	60	52.6%	男	35	70.5	5.0
				女	25	79.9	6.6
	脈絡膜及び網膜の障害	3	2.6%	男	2	75.5	9.5
				女	1	63.0	3.0
	緑内障	1	0.9%	男			
				女	1	65.0	16.0
	硝子体及び眼球の障害	1	0.9%	男			
				女	1	81.0	24.0
	視神経及び視（覚）路の障害	1	0.9%	男	1	67.0	6.0
				女			
	眼筋、眼球運動、調節及び屈折の障害	25	21.9%	男	11	7.7	3.0
				女	14	8.6	2.9
	眼及び付属器のその他の障害	2	1.8%	男	1	23.0	3.0
				女	1	88.0	22.0
VIII 耳及び乳様突起の疾患							
	外耳疾患	1	1.9%	男	1	61.0	11.0
				女			
	中耳及び乳様突起の疾患	21	38.9%	男	14	30.1	5.1
				女	7	31.0	4.7
	内耳疾患	27	50.0%	男	4	76.3	7.3
				女	23	64.2	6.0
	耳のその他の障害	5	9.3%	男	2	79.5	12.5
				女	3	72.0	9.3
IX 循環器系の疾患							
	慢性リウマチ性心疾患	32	1.9%	男	11	72.8	19.7
				女	21	78.7	26.9
	高血圧性疾患	7	0.4%	男	5	72.2	10.6
				女	2	80.5	8.0
	虚血性心疾患	585	33.9%	男	461	71.1	5.4
				女	124	77.0	5.4
	肺性心疾患及び肺循環疾患	6	0.3%	男	3	79.7	16.7
				女	3	77.7	22.3
	その他の型の心疾患	455	26.4%	男	228	73.6	15.4
				女	227	80.3	11.5
	脳血管疾患	346	20.1%	男	189	70.6	15.9
				女	157	76.3	20.7
	動脈、細動脈及び毛細血管の疾患	271	15.7%	男	188	74.1	15.4
				女	83	77.0	16.2
	静脈、リンパ管及びリンパ節の疾患、他に分類されないもの	20	1.2%	男	10	55.5	7.3
				女	10	66.3	8.2
	循環器系のその他及び詳細不明の障害	3	0.2%	男	1	65.0	13.0
				女	2	56.0	3.0
X 呼吸器系の疾患							
	急性上気道感染症	29	6.4%	男	19	11.1	3.6
				女	10	17.4	4.9
	インフルエンザ及び肺炎	93	20.4%	男	65	69.6	14.5
				女	28	68.0	10.9
	その他の急性下気道感染症	40	8.8%	男	24	1.9	4.1
				女	16	2.1	4.1

退院患者数

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	上気道のその他の疾患	76	16.7%	男	47	45.6	7.9
	女			29	48.2	8.1	
	慢性下気道疾患	36	7.9%	男	17	26.1	5.8
				女	19	26.8	6.4
	外的因子による肺疾患	87	19.1%	男	59	76.6	24.5
				女	28	80.2	17.7
	主として間質を障害するその他の呼吸器疾患	43	9.5%	男	30	75.5	10.8
				女	13	69.0	17.1
	下気道の化膿性及び壊死性病態	10	2.2%	男	8	70.9	20.4
				女	2	81.0	26.5
胸膜のその他の疾患	30	6.6%	男	21	49.9	9.9	
			女	9	67.1	15.2	
呼吸器系のその他の疾患	11	2.4%	男	7	60.0	20.3	
			女	4	75.0	9.3	
X I 消化器系の疾患							
	口腔、唾液腺及び顎の疾患	90	8.0%	男	37	54.1	6.5
				女	53	61.9	6.9
	食道、胃及び十二指腸の疾患	73	6.5%	男	38	67.6	8.7
				女	35	71.1	8.3
	虫垂の疾患	49	4.3%	男	25	47.5	7.5
				女	24	46.3	9.0
	ヘルニア	121	10.7%	男	70	46.7	4.8
				女	51	33.2	5.5
	非感染性腸炎及び非感染性大腸炎	22	1.9%	男	14	44.4	7.4
				女	8	16.9	6.6
	腸のその他の疾患	223	19.8%	男	127	67.5	12.6
				女	96	67.1	12.6
	腹膜の疾患	20	1.8%	男	11	70.0	25.9
				女	9	86.2	18.4
	肝疾患	29	2.6%	男	20	68.0	20.3
				女	9	63.1	12.0
	胆嚢、胆管及び膵の障害	387	34.3%	男	230	69.0	9.2
				女	157	71.8	8.9
	消化器系のその他の疾患	115	10.2%	男	83	72.2	7.9
				女	32	61.8	8.5
X II 皮膚及び皮下組織の疾患							
	皮膚及び皮下組織の感染症	53	53.5%	男	27	47.0	16.2
				女	26	54.0	10.9
	水疱症	4	4.0%	男	2	77.0	15.0
				女	2	88.0	14.5
	皮膚炎及び湿疹	2	2.0%	男	2	45.5	8.0
				女			
	蕁麻疹及び紅斑	3	3.0%	男	1	76.0	15.0
				女	2	20.0	5.5
	皮膚及び皮下組織放射線（非電離及び電離）に関する障害	2	2.0%	男	1	79.0	11.0
				女	1	70.0	38.0
	皮膚付属器の障害	7	7.1%	男	4	34.5	6.5
				女	3	42.0	5.3
	皮膚及び皮下組織のその他の障害	28	28.3%	男	16	53.1	20.7
				女	12	63.3	30.3
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患							
	感染性関節障害	7	1.0%	男	5	53.2	12.2
				女	2	87.5	23.0
	炎症性多発性関節障害	8	1.1%	男	2	79.0	4.5
				女	6	87.5	12.5
	関節症	54	7.6%	男	15	72.9	18.2
				女	39	76.2	17.0
	その他の関節障害	10	1.4%	男	8	47.9	10.6
				女	2	14.5	13.0
	全身性結合組織障害	35	4.9%	男	15	37.0	32.1
				女	20	45.3	18.5
	変形性脊柱障害	88	12.4%	男	30	66.4	9.9
				女	58	71.8	12.9
	脊椎障害	359	50.6%	男	236	68.8	14.1
				女	123	71.7	14.1
	その他の脊柱障害	100	14.1%	男	58	49.8	7.9
				女	42	43.9	7.7

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	筋障害	5	0.7%	男	2	88.0	8.5
	女			3	80.7	26.7	
	滑膜及び腱の障害	7	1.0%	男			
	女			7	70.9	5.7	
	その他の軟部組織障害	5	0.7%	男	3	78.3	18.3
	女			2	57.5	14.0	
	骨の密度及び構造の障害	7	1.0%	男	4	57.5	16.5
	女			3	77.7	31.0	
	その他の骨障害	20	2.8%	男	8	73.6	42.5
	女			12	53.4	15.7	
軟骨障害	1	0.1%	男	1	59.0	15.0	
女							
筋骨格系及び結合組織のその他の障害	4	0.6%	男	3	67.0	27.0	
女			1	95.0	31.0		
XIV 腎尿路生殖器系の疾患							
	糸球体疾患	72	10.5%	男	30	45.9	16.0
				女	42	45.4	11.2
	腎尿細管間質性疾患	138	20.2%	男	54	58.1	7.6
				女	84	63.7	7.0
	腎不全	125	18.3%	男	87	64.7	16.8
				女	38	70.6	19.9
	尿路結石症	38	5.6%	男	21	65.2	5.7
				女	17	73.5	6.5
	腎及び尿管のその他の障害	6	0.9%	男	5	67.2	5.8
				女	1	48.0	5.0
	尿路系のその他の疾患	54	7.9%	男	24	55.6	11.9
				女	30	66.5	11.5
	男性生殖器の疾患	134	19.6%	男	134	61.5	5.9
				女			
	女性骨盤臓器の炎症性疾患	7	1.0%	男			
				女	7	49.1	8.9
	女性生殖器の非炎症性障害	109	16.0%	男			
				女	109	43.4	4.8
XV 妊娠、分娩及び産褥							
	流産に終わった妊娠	12	1.6%	男			
				女	12	34.3	3.0
	妊娠、分娩及び産褥における浮腫、蛋白尿及び高血圧性障害	33	4.5%	男			
				女	33	35.6	13.5
	主として妊娠に関連するその他の母体障害	44	6.0%	男			
				女	44	34.2	9.0
	胎児及び羊膜腔に関連する母体ケア並びに予想される分娩の諸問題	248	33.6%	男			
				女	248	34.2	8.2
	分娩の合併症	204	27.6%	男			
				女	204	32.1	15.7
	分娩	190	25.7%	男			
				女	190	32.1	5.7
	主として産褥に関連する合併症	3	0.4%	男			
				女	3	30.0	3.7
	その他の産科的病態、他に分類されないもの	5	0.7%	男			
				女	5	33.2	7.8
XVI 周産期に発生した病態							
	妊娠期間及び胎児発育に関連する障害	100	34.6%	男	58	0.0	39.7
				女	42	0.0	35.1
	周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	103	35.6%	男	59	0.0	7.2
				女	44	0.0	7.0
	胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	61	21.1%	男	29	0.0	5.5
				女	32	0.0	4.9
	胎児及び新生児に特異的な一過性の内分泌障害及び代謝障害	13	4.5%	男	5	0.0	9.6
				女	8	0.0	5.0
	胎児及び新生児の外皮及び体温調節に関連する病態	2	0.7%	男	1	0.0	3.0
				女	1	0.0	3.0
	周産期に発生したその他の障害	10	3.5%	男	4	0.0	10.5
				女	6	0.0	4.7

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
XVII 先天奇形, 変形及び染色体異常							
	神経系の先天奇形	3	3.1%	男	2	5.0	11.5
				女	1	11.0	6.0
	眼, 耳, 顔面及び頸部の先天奇形	5	5.2%	男	2	5.5	3.0
				女	3	32.0	4.7
	循環器系の先天奇形	16	16.7%	男	10	17.6	9.8
				女	6	38.0	9.0
	唇裂及び口蓋裂	5	5.2%	男	5	0.0	4.2
				女			
	消化器系のその他の先天奇形	15	15.6%	男	7	0.0	29.6
				女	8	20.6	21.9
	生殖器の先天奇形	31	32.3%	男	28	2.3	4.8
				女	3	15.0	6.7
	腎尿路系の先天奇形	2	2.1%	男	2	26.0	8.5
				女			
	筋骨格系の先天奇形及び変形	5	5.2%	男	3	4.0	8.0
				女	2	0.0	4.5
	その他の先天奇形	7	7.3%	男	4	2.8	5.3
				女	3	22.7	87.0
	染色体異常, 他に分類されないもの	7	7.3%	男	5	2.2	21.2
				女	2	0.0	34.5
XVIII 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの							
	循環器系及び呼吸器系に関する症状及び徴候	9	23.7%	男	5	70.6	7.4
				女	4	80.3	4.0
	消化器系及び腹部に関する症状及び徴候	3	7.9%	男	2	10.0	3.5
				女	1	17.0	4.0
	皮膚及び皮下組織に関する症状及び徴候	2	5.3%	男	2	24.5	2.5
				女			
	神経系及び筋骨格系に関する症状及び徴候	1	2.6%	男	1	81.0	2.0
				女			
	腎尿路系に関する症状及び徴候	1	2.6%	男			
				女	1	81.0	33.0
	全身症状及び徴候	21	55.3%	男	12	11.6	3.4
				女	9	10.9	6.6
	血液検査の異常所見, 診断名の記載がないもの	1	2.6%	男			
				女	1	58.0	6.0
XIX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響							
	頭部損傷	104	12.7%	男	66	64.9	12.1
				女	38	66.8	11.1
	頸部損傷	44	5.4%	男	34	67.4	17.1
				女	10	69.9	18.6
	胸部<郭>損傷	44	5.4%	男	22	63.4	12.8
				女	22	73.0	16.0
	腹部, 下背部, 腰椎及び骨盤部の損傷	92	11.2%	男	46	57.4	14.5
				女	46	68.6	16.8
	肩及び上腕の損傷	67	8.2%	男	42	47.9	7.3
				女	25	67.4	9.8
	肘及び前腕の損傷	58	7.1%	男	29	42.7	9.1
				女	29	60.1	8.2
	手首及び手の損傷	18	2.2%	男	14	52.7	7.1
				女	4	74.5	8.8
	股関節部及び大腿の損傷	117	14.3%	男	33	70.9	13.6
				女	84	82.8	13.9
	膝及び下腿の損傷	69	8.4%	男	35	48.5	14.8
				女	34	51.1	14.4
	足首及び足の損傷	20	2.4%	男	14	37.9	10.3
				女	6	71.0	13.2
	多部位の損傷	22	2.7%	男	13	59.6	23.9
				女	9	71.0	18.0
	部位不明の体幹もしくは(四)肢の損傷または部位不明の損傷	2	0.2%	男	2	35.5	23.0
				女			
	自然開口部からの異物侵入の作用	18	2.2%	男	11	32.5	3.4
				女	7	37.6	3.9
	熱傷及び腐食	11	1.3%	男	8	66.4	31.3
				女	3	25.3	11.0
	薬物, 薬剤及び生物学的製剤による中毒	10	1.2%	男	4	38.5	2.0
				女	6	32.5	2.0

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	薬用を主としない物質の毒作用	9	1.1%	男	7	59.1	2.3
	外因のその他及び詳細不明の作用	31	3.8%	女	2	52.5	28.5
				男	16	35.0	3.2
	外傷の早期合併症	3	0.4%	女	15	62.6	4.3
男				1	87.0	8.0	
外科的及び内科的ケアの合併症，他に分類されないもの	81	9.9%	女	2	60.0	3.5	
			男	42	65.3	13.1	
				女	39	68.8	13.4
XX I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用							
	特定の処置及び保健ケアのための保健サービスの利用者	25	100.0%	男	10	44.8	8.3
				女	15	54.1	9.7
XX II その他							
	原因不明の新たな疾患又はエマージェンシーコードの暫定分類	246	100.0%	男	134	53.9	11.0
				女	112	59.6	10.2
合計		11,384	100.0%	男	6,048	61.9	13.3
				女	5,336	58.0	12.3

(7) - 3 中分類別・性別退院患者数・平均年齢・在院日数の平均

令和3年度

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
I 感染症及び寄生虫症							
腸管感染症		67	45.9%	男	37	33.6	8.0
				女	30	23.6	4.6
結核		2	1.4%	男			
				女	2	84.5	10.0
人畜共通細菌性疾患		2	1.4%	男			
				女	2	43.0	12.5
その他の細菌性疾患		44	30.1%	男	22	68.0	22.9
				女	22	83.0	16.0
主として性的伝播様式をとる感染症		1	0.7%	男			
				女	1	34.0	6.0
リケッチア症		1	0.7%	男			
				女	1	63.0	19.0
中枢神経系のウイルス感染症		2	1.4%	男	1	1.0	9.0
				女	1	84.0	115.0
皮膚及び粘膜病変を特徴とするウイルス感染症		18	12.3%	男	10	50.4	12.8
				女	8	60.4	9.9
ウイルス性肝炎		2	1.4%	男			
				女	2	65.5	15.0
その他のウイルス性疾患		4	2.7%	男	3	36.0	6.3
				女	1	85.0	41.0
真菌症		2	1.4%	男	1	38.0	7.0
				女	1	64.0	2.0
蠕虫症		1	0.7%	男			
				女	1	37.0	8.0
II 新生物<腫瘍>							
口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物<腫瘍>		101	2.7%	男	83	69.6	22.6
				女	18	75.8	23.9
消化器の悪性新生物<腫瘍>		1,153	30.9%	男	763	70.3	13.9
				女	390	73.3	14.4
呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物<腫瘍>		396	10.6%	男	263	72.1	11.4
				女	133	68.5	7.8
骨及び関節軟骨の悪性新生物<腫瘍>		10	0.3%	男	9	54.9	8.4
				女	1	28.0	2.0
皮膚の悪性新生物<腫瘍>		14	0.4%	男	8	73.1	7.6
				女	6	77.5	9.0
中皮及び軟部組織の悪性新生物<腫瘍>		106	2.8%	男	34	65.8	9.7
				女	72	56.6	8.8
乳房の悪性新生物<腫瘍>		172	4.6%	男			
				女	172	59.0	7.2
女性生殖器の悪性新生物<腫瘍>		204	5.5%	男			
				女	204	58.3	6.3
男性生殖器の悪性新生物<腫瘍>		134	3.6%	男	134	74.0	7.1
				女			
腎尿路の悪性新生物<腫瘍>		127	3.4%	男	94	73.2	10.8
				女	33	72.5	12.8
眼、脳及び中枢神経系のその他の部位の悪性新生物<腫瘍>		9	0.2%	男	8	29.9	43.9
				女	1	42.0	18.0
甲状腺及びその他の内分泌腺の悪性新生物<腫瘍>		55	1.5%	男	18	62.9	20.6
				女	37	58.8	6.4
部位不明確、続発部位及び部位不明の悪性新生物<腫瘍>		149	4.0%	男	83	68.3	12.2
				女	66	69.6	12.2
リンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物<腫瘍>		655	17.5%	男	354	67.4	24.2
				女	301	69.6	23.8
上皮内新生物<腫瘍>		40	1.1%	男	3	73.7	11.0
				女	37	44.4	4.0
良性新生物<腫瘍>		218	5.8%	男	59	54.9	6.1
				女	159	49.8	7.3
性状不詳または不明の新生物<腫瘍>		193	5.2%	男	106	71.3	15.5
				女	87	60.2	13.8
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の傷害							
栄養性貧血		4	5.6%	男	1	76.0	8.0
				女	3	80.3	11.0

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	溶血性貧血	1	1.4%	男	1	30.0	14.0
	無形成性貧血及びその他の貧血	15	21.1%	男	8	54.1	35.3
				女	7	51.0	26.6
	凝固障害、紫斑病及びその他の出血性病態	39	54.9%	男	16	55.8	17.0
				女	23	48.5	12.4
	血液及び造血器のその他の疾患	5	7.0%	男	2	61.0	6.5
				女	3	6.3	6.7
	免疫機構の障害	7	9.9%	男	1	68.0	6.0
女				6	79.0	7.2	
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患							
甲状腺障害	61	26.1%	男	12	55.8	5.5	
			女	49	51.4	5.8	
糖尿病	60	25.6%	男	31	57.3	10.6	
			女	29	58.0	11.1	
その他のグルコース調節及び膵内分泌障害	3	1.3%	男				
その他の内分泌腺障害	48	20.5%	男	18	54.3	9.5	
			女	30	55.0	4.5	
栄養失調(症)	5	2.1%	男	4	50.0	8.0	
			女	1	73.0	12.0	
その他の栄養欠乏症	1	0.4%	男				
			女	1	0.0	2.0	
肥満(症)及びその他の過栄養<過剰摂食>	5	2.1%	男	3	46.0	24.3	
			女	2	52.5	15.5	
代謝障害	51	21.8%	男	30	62.3	13.1	
			女	21	73.7	13.1	
V 精神及び行動の障害							
症状性を含む器質性精神障害	21	15.7%	男	11	67.3	65.4	
			女	10	75.2	64.6	
精神作用物質使用による精神及び行動の障害	5	3.7%	男	5	57.2	18.0	
			女				
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	23	17.2%	男	12	49.0	75.1	
			女	11	56.5	53.8	
気分[感情]障害	27	20.1%	男	11	54.5	47.6	
			女	16	37.6	29.2	
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	28	20.9%	男	11	33.6	28.4	
			女	17	32.9	35.5	
生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	8	6.0%	男	1	8.0	2.0	
知的障害<精神遅滞>	5	3.7%	男				
			女	5	18.0	31.6	
心理的発達の障害	7	5.2%	男	4	19.0	39.5	
			女	3	12.0	37.0	
小児<児童>期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	10	7.5%	男	5	11.0	36.0	
			女	5	11.8	39.6	
VI 神経系の疾患							
中枢神経系の炎症性疾患	8	4.1%	男	6	22.0	13.3	
			女	2	35.5	12.5	
主に中枢神経系を障害する系統萎縮症	12	6.1%	男	8	29.3	6.3	
			女	4	45.8	18.8	
錐体外路障害及び異常行動	5	2.6%	男	3	76.3	18.0	
			女	2	79.0	7.5	
神経系のその他の変性疾患	3	1.5%	男	2	80.5	18.5	
			女	1	65.0	38.0	
挿間性及び発作性障害	112	57.1%	男	70	37.5	6.3	
			女	42	37.7	8.6	
神経、神経根及び神経叢の障害	21	10.7%	男	7	56.3	11.1	
			女	14	67.6	8.2	
多発(性)ニューロパチ<シ>-及びその他の末梢神経系の障害	4	2.0%	男	3	46.0	23.0	
			女	1	61.0	15.0	
神経筋接合部及び筋の疾患	9	4.6%	男	4	43.5	7.5	
			女	5	2.0	6.4	
脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	2	1.0%	男				
神経系のその他の障害	20	10.2%	女	2	4.5	9.0	
			男	7	47.7	15.9	
			女	13	32.5	17.5	

退院患者数

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
VII	眼及び付属器の疾患						
	眼瞼、涙器及び眼窩の障害	25	19.4%	男	19	37.5	3.6
				女	6	31.2	3.7
	結膜の障害	1	0.8%	男	1	77.0	2.0
				女			
	水晶体の障害	68	52.7%	男	41	72.3	6.6
				女	27	74.6	6.1
	脈絡膜及び網膜の障害	6	4.7%	男	3	87.7	2.3
				女	3	68.0	6.0
	緑内障	1	0.8%	男			
				女	1	85.0	4.0
	眼筋、眼球運動、調節及び屈折の障害	28	21.7%	男	12	18.2	3.6
女				16	10.3	3.0	
VIII	耳及び乳様突起の疾患						
	中耳及び乳様突起の疾患	28	48.3%	男	16	41.4	4.8
				女	12	26.8	3.9
	内耳疾患	24	41.4%	男	10	61.3	4.7
				女	14	69.3	6.6
	耳のその他の障害	6	10.3%	男			
女				6	68.0	9.5	
IX	循環器系の疾患						
	慢性リウマチ性心疾患	24	1.3%	男	15	69.5	20.7
				女	9	77.3	21.0
	高血圧性疾患	17	0.9%	男	11	80.6	10.4
				女	6	91.0	10.0
	虚血性心疾患	633	34.4%	男	491	71.0	5.8
				女	142	74.9	8.4
	肺性心疾患及び肺循環疾患	11	0.6%	男	6	73.8	13.5
				女	5	65.8	5.2
	その他の型の心疾患	488	26.5%	男	262	75.5	10.9
				女	226	82.6	12.5
	脳血管疾患	378	20.5%	男	213	71.7	14.5
				女	165	75.2	16.8
	動脈、細動脈及び毛細血管の疾患	261	14.2%	男	168	72.6	13.9
女				93	78.1	14.9	
静脈、リンパ管及びリンパ節の疾患、他に分類されないもの	21	1.1%	男	13	52.2	11.8	
			女	8	61.0	7.9	
循環器系のその他及び詳細不明の障害	8	0.4%	男	7	72.3	13.0	
			女	1	73.0	19.0	
X	呼吸器系の疾患						
	急性上気道感染症	39	6.5%	男	31	24.2	4.9
				女	8	14.0	4.5
	インフルエンザ及び肺炎	90	15.1%	男	53	61.1	12.2
				女	37	57.1	11.9
	その他の急性下気道感染症	137	22.9%	男	75	2.1	5.3
				女	62	1.2	4.8
	上気道のその他の疾患	100	16.8%	男	60	44.0	6.0
				女	40	51.8	7.5
	慢性下気道疾患	38	6.4%	男	22	22.6	5.1
				女	16	19.9	6.2
	外的因子による肺疾患	92	15.4%	男	66	66.8	20.1
				女	26	79.9	14.7
	主として間質を障害するその他の呼吸器疾患	49	8.2%	男	34	70.4	18.3
女				15	70.1	20.3	
下気道の化膿性及び壊死性病態	14	2.3%	男	12	71.2	31.8	
			女	2	83.0	16.0	
胸膜のその他の疾患	26	4.4%	男	19	59.0	14.8	
			女	7	51.7	10.6	
呼吸器系のその他の疾患	12	2.0%	男	8	64.4	9.8	
			女	4	84.5	13.0	

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
X I 消化器系の疾患							
	口腔、唾液腺及び顎の疾患	107	8.2%	男	55	47.2	7.1
				女	52	56.0	7.2
	食道、胃及び十二指腸の疾患	72	5.5%	男	45	69.1	8.8
				女	27	72.2	11.0
	虫垂の疾患	59	4.5%	男	27	37.3	6.7
				女	32	40.0	6.1
	ヘルニア	155	11.9%	男	86	48.8	4.8
				女	69	42.6	5.5
	非感染性腸炎及び非感染性大腸炎	34	2.6%	男	24	35.8	15.1
				女	10	35.0	14.2
	腸のその他の疾患	242	18.5%	男	123	68.4	11.4
				女	119	70.2	10.7
	腹膜の疾患	31	2.4%	男	26	64.3	27.3
				女	5	71.6	17.6
	肝疾患	49	3.7%	男	30	66.2	14.9
				女	19	65.1	12.4
	胆嚢、胆管及び膵の障害	400	30.6%	男	232	67.4	8.5
				女	168	73.8	9.4
	消化器系のその他の疾患	159	12.2%	男	104	68.7	6.2
				女	55	67.9	8.8
X II 皮膚及び皮下組織の疾患							
	皮膚及び皮下組織の感染症	34	44.7%	男	15	42.5	11.8
				女	19	56.1	11.2
	水疱症	2	2.6%	男	2	74.5	177.0
				女			
	皮膚炎及び湿疹	3	3.9%	男	1	33.0	10.0
				女	2	58.5	13.5
	丘疹落屑<鱗屑>性障害	2	2.6%	男	2	71.0	9.5
				女			
	蕁麻疹及び紅斑	5	6.6%	男	2	67.0	9.5
				女	3	57.3	20.3
	皮膚付属器の障害	6	7.9%	男	3	16.3	4.0
				女	3	56.0	4.3
	皮膚及び皮下組織のその他の障害	24	31.6%	男	15	52.5	41.4
				女	9	61.2	105.0
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患							
	感染性関節障害	4	0.8%	男	1	42.0	2.0
				女	3	71.3	47.7
	炎症性多発性関節障害	10	2.0%	男	4	39.0	17.0
				女	6	77.8	16.2
	関節症	64	12.6%	男	12	71.2	18.8
				女	52	71.6	18.0
	その他の関節障害	10	2.0%	男	4	29.8	13.5
				女	6	57.8	9.7
	全身性結合組織障害	29	5.7%	男	15	18.6	11.2
				女	14	20.9	13.6
	変形性脊柱障害	18	3.6%	男	10	70.1	9.6
				女	8	70.4	7.9
	脊椎障害	244	48.1%	男	171	68.9	10.1
				女	73	72.1	10.9
	その他の脊柱障害	48	9.5%	男	26	52.4	6.8
				女	22	51.6	7.1
	筋障害	11	2.2%	男	8	59.1	10.0
				女	3	80.0	19.7
	滑膜及び腱の障害	14	2.8%	男	7	44.9	4.7
				女	7	50.7	5.7
	その他の軟部組織障害	8	1.6%	男	6	65.7	54.3
				女	2	79.5	30.0
	骨の密度及び構造の障害	11	2.2%	男	8	68.3	12.3
				女	3	84.0	21.3
	その他の骨障害	25	4.9%	男	16	59.3	23.1
				女	9	73.3	14.8
	軟骨障害	3	0.6%	男	2	50.0	5.5
				女	1	3.0	8.0
	筋骨格系及び結合組織のその他の障害	8	1.6%	男	4	78.5	31.8
				女	4	87.0	17.8

退院患者数

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
XIV	腎尿路生殖器系の疾患						
	糸球体疾患	85	12.2%	男	52	43.9	11.6
				女	33	47.4	13.0
	腎尿細管間質性疾患	121	17.4%	男	46	66.4	10.4
				女	75	64.6	7.4
	腎不全	147	21.1%	男	86	67.2	14.4
				女	61	67.9	22.2
	尿路結石症	50	7.2%	男	26	64.1	7.0
				女	24	71.9	6.7
	腎及び尿管のその他の障害	5	0.7%	男	5	71.4	14.0
				女			
	尿路系のその他の疾患	53	7.6%	男	36	60.0	8.6
				女	17	62.0	10.2
	男性生殖器の疾患	111	15.9%	男	111	55.8	5.8
女							
乳房の障害	1	0.1%	男				
			女	1	25.0	3.0	
女性骨盤臓器の炎症性疾患	11	1.6%	男				
			女	11	44.8	9.9	
女性生殖器の非炎症性障害	112	16.1%	男				
			女	112	50.2	5.2	
腎尿路生殖器系のその他の障害	1	0.1%	男	1	76.0	7.0	
			女				
XV	妊娠, 分娩及び産褥						
	流産に終わった妊娠	17	2.3%	男			
				女	17	35.2	4.2
	妊娠、分娩及び産褥における浮腫、蛋白尿及び高血圧性障害	23	3.1%	男			
				女	23	32.4	8.7
	主として妊娠に関連するその他の母体障害	56	7.6%	男			
				女	56	32.7	11.5
	胎児及び羊膜腔に関連する母体ケア並びに予想される分娩の諸問題	263	35.6%	男			
				女	263	34.0	8.1
	分娩の合併症	198	26.8%	男			
女				198	33.2	14.6	
分娩	175	23.7%	男				
			女	175	31.7	5.7	
主として産褥に関連する合併症	5	0.7%	男				
			女	5	30.6	6.0	
その他の産科的病態、他に分類されないもの	2	0.3%	男				
			女	2	32.5	8.5	
XVI	周産期に発生した病態						
	母体側要因並びに妊娠及び分娩の合併症により影響を受けた胎児及び新生児	4	1.4%	男	2	0.0	7.0
				女	2	0.0	9.5
	妊娠期間及び胎児発育に関連する障害	82	28.8%	男	45	0.0	52.4
				女	37	0.0	43.4
	出産外傷	2	0.7%	男	2	0.0	12.5
				女			
	周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	120	42.1%	男	59	0.0	6.9
				女	61	0.0	7.6
	周産期に特異的な感染症	2	0.7%	男	2	0.0	3.0
				女			
	胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	54	18.9%	男	21	0.0	4.0
女				33	0.0	4.0	
胎児及び新生児に特異的な一過性の内分泌障害及び代謝障害	5	1.8%	男	4	0.0	5.5	
			女	1	0.0	3.0	
胎児及び新生児の外皮及び体温調節に関連する病態	7	2.5%	男	2	0.0	7.0	
			女	5	8.8	2.6	
周産期に発生したその他の障害	9	3.2%	男	4	0.0	5.3	
			女	5	0.0	7.0	
XVII	先天奇形, 変形及び染色体異常						
	神経系の先天奇形	7	9.5%	男	2	9.0	4.0
				女	5	5.8	12.2
	眼、耳、顔面及び頸部の先天奇形	7	9.5%	男	3	21.0	3.0
女				4	26.0	3.3	

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	循環器系の先天奇形	8	10.8%	男	5	7.0	6.4
	女			3	18.3	3.3	
	呼吸器系の先天奇形	1	1.4%	男	1	0.0	2.0
	女						
	唇裂及び口蓋裂	5	6.8%	男	4	3.8	6.0
	女			1	0.0	8.0	
	消化器系のその他の先天奇形	13	17.6%	男	6	11.0	10.7
	女			7	32.7	7.3	
	生殖器の先天奇形	19	25.7%	男	17	3.3	3.0
	女			2	0.0	9.5	
腎尿路系の先天奇形	2	2.7%	男	2	6.5	17.0	
女							
筋骨格系の先天奇形及び変形	6	8.1%	男	3	4.3	18.0	
女			3	9.3	3.0		
その他の先天奇形	4	5.4%	女	4	39.0	5.0	
染色体異常、他に分類されないもの			2	2.7%	男	1	0.0
				女	1	0.0	6.0
XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの							
	循環器系及び呼吸器系に関する症状及び徴候	8	15.1%	男	6	55.0	6.2
				女	2	70.0	7.0
	消化器系及び腹部に関する症状及び徴候	4	7.5%	男	2	14.5	8.0
				女	2	14.5	2.5
	言語及び音声に関する症状及び徴候	1	1.9%	男	1	73.0	15.0
				女			
	全身症状及び徴候	40	75.5%	男	19	2.2	4.4
				女	21	6.2	5.1
XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響							
	頭部損傷	113	12.5%	男	82	62.0	11.6
				女	31	62.0	13.9
	頸部損傷	38	4.2%	男	28	62.2	16.8
				女	10	73.3	16.8
	胸部<郭>損傷	50	5.5%	男	28	68.0	16.3
				女	22	76.4	12.2
	腹部、下背部、腰椎及び骨盤部の損傷	81	8.9%	男	41	59.2	12.5
				女	40	74.5	16.7
	肩及び上腕の損傷	83	9.2%	男	44	42.1	6.9
				女	39	63.2	8.6
	肘及び前腕の損傷	53	5.8%	男	24	39.1	6.0
				女	29	64.2	5.0
	手首及び手の損傷	19	2.1%	男	15	47.1	7.3
				女	4	67.0	6.8
	股関節部及び大腿の損傷	150	16.6%	男	46	77.6	14.2
				女	104	80.5	14.9
	膝及び下腿の損傷	97	10.7%	男	51	48.5	14.0
				女	46	56.2	14.9
	足首及び足の損傷	22	2.4%	男	15	49.8	14.4
				女	7	72.9	8.7
	多部位の損傷	15	1.7%	男	9	66.6	30.9
				女	6	73.5	17.2
	部位不明の体幹もしくは(四)肢の損傷または部位不明の損傷	7	0.8%	男	5	30.0	6.6
				女	2	40.0	3.5
	自然開口部からの異物侵入の作用	9	1.0%	男	5	46.6	6.6
				女	4	24.3	4.0
	熱傷及び腐食	8	0.9%	男	4	66.3	23.8
				女	4	52.8	25.5
	薬物、薬剤及び生物学的製剤による中毒	15	1.7%	男	5	40.4	8.8
				女	10	34.3	2.2
	薬用を主としない物質の毒作用	14	1.5%	男	10	54.8	5.3
				女	4	61.0	3.3
	外因のその他及び詳細不明の作用	36	4.0%	男	23	22.9	3.3
				女	13	42.5	4.4
	外傷の早期合併症	5	0.6%	男	4	73.3	10.8
				女	1	21.0	13.0
	外科的及び内科的ケアの合併症、他に分類されないもの	90	9.9%	男	53	67.8	12.2
				女	37	72.3	14.2
	損傷、中毒及びその他の外因による影響の続発・後遺症	1	0.1%	男			
				女	1	62.0	2.0

退院患者数

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
XX I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用							
	特定の処置及び保健ケアのための保健サービスの利用者	27	3.0%	男	13	48.6	8.4
				女	14	51.7	8.6
	家族歴、既往歴及び健康状態に影響をおよぼす特定の状態に関連する健康障害をきたす恐れのある者	1	3.6%	男	1	4.0	29.0
				女			
XX II その他							
	原因不明の新たな疾患又はエマージェンシーコードの暫定分類	358	100.0%	男	175	57.4	15.1
				女	183	58.5	13.7
	合計	12,173	100.0%	男	6,401	61.5	12.6
				女	5,772	57.3	12.0

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインディケーター

(8) 小分類別・手術の有無・年齢階層別退院患者数・平均年齢・在院日数の平均

令和3年度

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
A020	サルモネラ腸炎	無	1	14.0	8.0			1						
A021	サルモネラ敗血症	無	1	66.0	23.0							1		
A029	サルモネラ感染症	無	1	0.0	11.0	1								
A045	カンピロバクター腸炎	無	2	64.5	7.0						1	1		
A046	エルシニア腸炎	無	1	6.0	3.0			1						
A047	偽膜性腸炎	有	2	71.0	40.5								2	
A049	細菌性大腸炎	無	2	51.0	7.0					1		1		
A049	細菌性腸炎	無	2	37.0	8.5			1					1	
A081	ノロウイルス性胃腸炎	無	8	1.6	3.9	7	1							
A081	ノロウイルス性胃腸炎に伴う痙攣	無	2	1.0	2.5	2								
A084	ウイルス性胃腸炎	無	3	31.7	3.3	1		1						1
A090	感染性胃腸炎	有	1	65.0	10.0								1	
A090	感染性大腸炎	無	11	6.0	3.1	6	2	2		1				1
A090	感染性腸炎	無	1	81.0	13.0									1
A090	感染性腸炎	無	12	38.3	6.0	4	1			1	1	3	2	
A099	急性胃腸炎	無	13	29.7	4.9	2	2	3	1	1	1	1	2	
A099	急性大腸炎	無	1	72.0	5.0							1		
A099	急性腸炎	無	3	59.0	7.0						2	1		
A183	結核性腹膜炎	有	2	84.5	10.0									2
A281	猫ひっかき病	有	1	75.0	17.0								1	
A281	猫ひっかき病	無	1	11.0	8.0			1						
A310	肺非結核性抗酸菌症	無	4	77.8	7.5							3	1	
A310	肺非結核性抗酸菌症の疑い	無	1	73.0	2.0							1		
A321	リステリア性髄膜炎	有	1	68.0	51.0								1	
A400	劇症型A群連鎖球菌感染症	有	1	79.0	26.0								1	
A410	MRSA敗血症	有	3	73.0	32.0						1	1	1	
A410	MRSA敗血症	無	1	74.0	25.0							1		
A410	MSSA敗血症	有	1	81.0	78.0									1
A410	黄色ぶどう球菌敗血症	有	1	68.0	10.0								1	
A410	黄色ぶどう球菌敗血症	無	1	84.0	18.0									1
A411	コアグラウゼ陰性ぶどう球菌敗血症	無	1	49.0	13.0						1			
A415	グラム陰性敗血症	有	1	71.0	8.0								1	
A415	グラム陰性桿菌敗血症	有	6	82.3	10.5								2	4
A415	グラム陰性桿菌敗血症	無	2	90.5	19.0									2
A418	グラム陽性菌敗血症	有	1	90.0	18.0									1
A418	グラム陽性菌敗血症	無	1	67.0	13.0								1	
A418	腎盂腎炎性敗血症	有	1	72.0	27.0								1	
A418	腎盂腎炎性敗血症	無	2	86.5	16.5									2
A419	敗血症性ショック	有	3	85.0	27.0									3
A419	敗血症性ショック	無	7	76.4	17.4								6	1
A481	レジオネラ肺炎	無	1	57.0	5.0						1			
A491	B群溶連菌感染症	無	1	0.0	5.0	1								
A498	大腸菌感染症	無	2	87.5	11.5									2
A499	ESBL産生菌感染症	無	1	45.0	69.0						1			
A600	外陰部ヘルペス	有	1	34.0	6.0					1				
A778a	日本紅斑熱	有	1	63.0	19.0								1	
A879	ウイルス性髄膜炎	有	1	84.0	115.0									1
A879	ウイルス性髄膜炎	無	1	1.0	9.0	1								
B003	ヘルペスウイルス髄膜炎	無	1	94.0	31.0									1
B021	帯状疱疹性髄膜炎	無	1	73.0	25.0								1	
B022	三叉神経帯状疱疹	無	8	64.3	7.5					2	1	4	1	
B022	帯状疱疹後多発性ニューロパチー	無	1	69.0	22.0								1	
B022	帯状疱疹神経炎	有	1	89.0	43.0									1
B029	胸部帯状疱疹	無	1	25.0	6.0					1				
B029	口腔帯状疱疹	無	1	48.0	6.0						1			
B029	腰腹帯状疱疹	無	1	73.0	5.0								1	
B082	突発性発疹症	無	1	0.0	4.0	1								
B084	手足口病	無	1	0.0	2.0	1								
B085	ヘルパンギーナ	無	1	2.0	3.0	1								
B179	急性肝炎	無	2	65.5	15.0							1		1
B250	サイトメガロウイルス肺炎	有	1	85.0	41.0									1
B259	サイトメガロウイルス感染症	有	2	45.0	5.0					1	1			
B270	EBウイルス伝染性単核症	無	1	18.0	9.0			1						
B441	肺アスペルギルス症	有	1	38.0	7.0					1				
B49	アレルギー性気管支肺真菌症	無	1	64.0	2.0								1	
B810	腸アニサキス症	無	1	37.0	8.0					1				
C01	舌根部癌	有	8	74.0	24.8								6	2
C01	舌根部癌	無	4	61.0	25.3							2	2	
C021	舌縁癌	有	5	64.8	30.2							1	3	1
C022	舌下面癌	有	1	56.0	31.0							1		
C022	舌下面癌	無	1	56.0	3.0							1		
C029	舌癌	有	3	75.0	30.0								2	1
C029	舌癌	無	2	93.0	5.5									2
C029	舌癌の再発	無	1	80.0	4.0									1

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインディケータ

退院患者数

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
C030	上顎歯肉癌	有	5	77.6	24.4								3	2
		無	2	83.0	6.0									2
C031	下顎歯肉癌	有	6	80.5	22.3								2	4
		無	1	81.0	3.0									1
C041	側方型口腔底癌	有	2	65.0	24.5								2	
		無	1	62.0	3.0								1	
C049	口腔底癌	有	1	77.0	9.0								1	
C052	口蓋垂癌	有	2	59.5	35.0						1		1	
		無	3	64.3	5.7								3	
C060	頬粘膜癌	有	1	83.0	20.0									1
C061	口腔前庭癌	有	1	77.0	55.0								1	
C07	耳下腺癌	有	1	65.0	6.0								1	
C080	顎下腺癌	有	2	77.5	7.5								1	1
		無	1	71.0	7.0								1	
C099	扁桃癌	有	1	79.0	130.0								1	
C100	喉頭蓋谷癌	有	1	64.0	56.0								1	
C100	再発喉頭蓋谷癌	有	1	82.0	22.0									1
C102	中咽頭側壁癌	有	6	62.2	27.8						2		4	
		無	4	56.8	16.5						2		2	
C103	中咽頭後壁癌	有	1	70.0	59.0								1	
		無	1	69.0	10.0								1	
C111	上咽頭後壁癌	有	1	68.0	70.0								1	
C112	上咽頭側壁癌	有	1	70.0	80.0								1	
C12	梨状陥凹癌	有	11	71.9	28.6						1		8	2
		無	1	72.0	36.0								1	
C130	輪状後部癌	有	2	71.0	28.0								2	
		無	9	64.9	3.0								9	
C132	下咽頭後部癌	有	3	74.3	19.3								2	1
C138	下咽頭喉頭癌	有	1	68.0	24.0								1	
C138	再発下咽頭喉頭癌	有	1	83.0	11.0									1
		無	2	82.0	4.0									2
C150	頸部食道癌	有	4	72.8	27.3								4	
		無	11	66.7	7.8								11	
C151	胸部下部食道癌	有	11	66.6	16.6						2		8	1
		無	14	66.3	7.9						3		11	
C151	胸部上部食道癌	有	7	64.9	32.4						2		5	
		無	23	65.5	10.0						8		15	
C151	胸部食道悪性黒色腫	有	1	65.0	3.0								1	
		無	1	64.0	7.0								1	
C151	胸部食道癌	有	28	71.4	18.3						2		22	4
		無	30	72.0	10.3						1		24	5
C151	胸部中部食道癌	有	39	69.1	32.2						3		34	2
		無	45	69.7	8.8						3		37	5
C154	中部食道癌	有	3	71.3	8.3						1		1	1
C158	食道胃接合部癌	有	4	72.5	16.8						1		1	2
		無	1	67.0	11.0								1	
C160	胃噴門部GIST(悪性)	有	1	82.0	10.0									1
C160	噴門癌	有	12	69.9	17.3						2		7	3
		無	1	91.0	12.0									1
C160	噴門食道接合部癌	有	2	75.5	22.0								1	1
C161	胃底部癌	有	7	77.7	15.1								6	1
C162	胃体部GIST(悪性)	有	1	73.0	15.0								1	
C162	胃体部癌	有	94	72.7	15.1						9		60	25
		無	13	73.9	9.9								12	1
C163	胃前庭部癌	有	50	75.0	13.1						4		27	19
		無	1	49.0	4.0						1			
C163	転移性胃前庭部癌	有	1	66.0	9.0								1	
C163	幽門前庭部癌	有	7	74.1	10.6						1		3	3
		無	1	67.0	10.0								1	
C164	胃幽門部癌	有	3	77.3	20.0								2	1
		無	1	73.0	2.0								1	
C169	KIT(CD117)陽性胃消化管間質腫瘍	有	1	72.0	13.0								1	
C169	胃管癌	有	3	75.7	4.0								3	
C169	胃消化管間質腫瘍	有	1	44.0	7.0						1			
C169	胃神経内分泌細胞癌	有	3	66.0	5.0								3	
		無	1	77.0	9.0								1	
C169	胃神経内分泌腫瘍	有	1	78.0	3.0								1	
		無	1	84.0	14.0									1
C170	十二指腸癌	有	3	69.3	27.7						1		1	1
C180	回盲部癌	有	1	86.0	13.0									1
C180	盲腸癌	有	11	84.6	14.4								3	8
C181	虫垂癌	有	5	57.4	10.6						3		2	
		無	43	70.7	14.0						7		27	9
C182	上行結腸癌	有	1	71.0	3.0								1	
		無	34	73.7	16.0						4		21	9
C184	横行結腸癌	有	3	59.7	5.0					1			2	
		無	1	67.0	5.0								1	
C184	横行結腸神経内分泌細胞癌	有	1	67.0	5.0								1	

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインディケータ

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
C186	下行結腸癌	有	16	72.1	18.2						2	11	3
C187	S状結腸癌	有	55	70.2	15.7					1	8	32	14
		無	3	63.0	4.3						1	2	
C19	直腸S状部癌	有	12	64.3	16.4					1	4	6	1
C19	直腸S状部結腸癌	有	25	69.5	15.6						3	18	4
		無	2	71.5	8.5							1	1
C20	直腸カルチノイド	有	5	65.6	3.6						2	2	1
C20	直腸癌	有	121	68.9	14.0						23	84	14
		無	10	67.6	19.7						4	5	1
C20	直腸癌術後再発	有	4	65.8	103.0							4	
C20	直腸神経内分泌腫瘍	有	7	58.9	11.7					1	2	4	
C211	肛門管癌	有	3	71.3	18.0							2	1
		無	1	68.0	4.0							1	
C220	肝細胞癌	有	72	75.4	9.0						3	41	28
		無	7	71.0	9.4						2	3	2
C221	肝内胆管癌	有	10	74.1	14.7						1	6	3
		無	3	66.7	9.0							3	
C227	混合型肝癌	有	1	79.0	12.0							1	
C23	胆のう癌	有	19	74.7	12.6					1		13	5
		無	5	72.0	9.8							4	1
C23	胆のう癌の疑い	無	1	74.0	5.0							1	
C240	遠位胆管癌	有	13	65.5	12.6						3	10	
C240	下部胆管癌	有	2	79.0	5.5							1	1
		無	1	69.0	1.0							1	
C240	肝外胆管癌	有	3	88.7	26.3								3
C240	肝外胆管癌の疑い	有	1	74.0	3.0							1	
C240	胆のう管癌	有	3	66.3	6.7							3	
C240	胆管癌	有	10	77.0	15.4							7	3
		無	3	72.7	8.0							2	1
C240	胆管癌の疑い	有	1	81.0	5.0								1
C240	中部胆管癌	有	1	81.0	16.0								1
C241	十二指腸乳頭部癌	有	7	78.1	20.9							4	3
C248	肝門部胆管癌	有	27	76.4	11.9						1	14	12
		無	7	74.1	8.3							5	2
C248	肝門部胆管癌の疑い	有	2	66.0	4.0						1		1
C250	膵頭部癌	有	101	71.8	11.8						15	61	25
		無	17	70.5	6.5						3	11	3
C250	膵頭部癌の疑い	有	1	74.0	2.0							1	
C251	膵体部癌	有	10	68.4	17.0						2	7	1
		無	2	66.5	11.0							2	
C251	膵体部癌の疑い	有	1	69.0	2.0							1	
C252	膵尾部癌	有	6	67.5	23.7						1	4	1
		無	5	74.2	4.2							4	1
C252	膵尾部癌の疑い	無	1	56.0	2.0						1		
C253	膵管内管状腺癌の疑い	有	1	73.0	2.0							1	
C253	膵管内乳頭粘液性腺癌	有	10	71.9	20.4						2	6	2
		無	1	88.0	14.0								1
C258	膵体尾部癌	有	3	73.0	13.3							3	
C259	膵癌	有	1	85.0	4.0								1
C300	鼻腔癌	有	1	80.0	8.0								1
C310	上顎癌	有	1	82.0	85.0								1
		無	2	50.0	5.5						2		
C310	上顎洞癌	有	1	50.0	67.0						1		
C311	篩骨洞癌	有	2	51.0	6.5					1		1	
		無	5	61.0	13.2							5	
C319	副鼻腔癌の疑い	有	1	71.0	4.0							1	
C320	声門癌	有	3	84.0	20.3								3
		無	1	80.0	45.0								1
C321	声門上癌	有	3	76.0	21.7							3	
C322	声門下癌	有	1	67.0	9.0							1	
		無	1	67.0	28.0							1	
C33	気管癌	有	1	69.0	48.0							1	
		無	2	68.5	2.5							2	
C340	肺門部小細胞癌	有	1	65.0	29.0							1	
		無	3	65.0	4.3							3	
C340	肺門部肺癌	有	1	71.0	5.0							1	
		無	1	61.0	2.0							1	
C341	パンコースト腫瘍(肺尖部浸潤肺癌)	有	1	73.0	9.0							1	
		無	4	76.3	2.0							4	
C341	上葉小細胞肺癌	有	2	74.5	6.0							1	1
		無	4	75.0	4.5							2	2
C341	上葉小細胞肺癌の術後	有	1	66.0	15.0							1	
C341	上葉肺癌	有	61	70.5	10.3						9	44	8
		無	55	71.9	9.8						3	44	8
C341	上葉肺癌の疑い	無	33	70.9	2.2						3	24	6
C341	上葉肺癌の術後	有	1	64.0	16.0							1	
C341	上葉肺腺癌	有	1	56.0	61.0						1		

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインデイクータ

退院患者数

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
C341	上葉非小細胞肺癌	有	13	75.2	25.2							10	3
		無	8	69.8	14.3						1	6	1
C341	上葉非小細胞肺癌の疑い	無	1	79.0	2.0							1	
C341	肺上葉腺癌	無	1	71.0	4.0							1	
C341	肺上葉大細胞神経内分泌癌	有	1	52.0	6.0						1		
		無	3	52.0	4.0						3		
C342	中葉肺癌	有	4	73.0	6.5							4	
		無	3	76.0	15.7							1	2
C342	中葉肺癌の疑い	無	1	60.0	2.0						1		
C343	下葉小細胞肺癌	有	1	63.0	5.0							1	
		無	10	68.8	7.7							9	1
C343	下葉肺癌	有	40	70.5	10.9						7	26	7
		無	55	71.4	8.3						6	38	11
C343	下葉肺癌の疑い	無	20	72.7	2.1					1	2	9	8
C343	下葉肺腺癌	有	1	76.0	32.0							1	
C343	下葉肺扁平上皮癌の術後	無	1	70.0	16.0							1	
C343	下葉非小細胞肺癌	有	11	69.2	14.1						2	8	1
		無	15	75.1	12.8						1	8	6
C343	肺下葉腺癌	無	1	79.0	2.0							1	
C349	ALK融合遺伝子陽性非小細胞肺癌	無	1	71.0	30.0							1	
C349	肺癌の疑い	無	1	47.0	2.0						1		
C349	肺大細胞神経内分泌癌	無	4	76.8	4.0							4	
C37	悪性胸腺腫	無	1	81.0	5.0								1
C37	胸腺癌	無	1	77.0	44.0							1	
C37	浸潤型胸腺腫	有	4	66.0	9.8						1	3	
C402	大腿骨近位端骨肉腫	有	1	72.0	9.0							1	
		無	1	73.0	9.0							1	
C414	坐骨悪性腫瘍	有	2	50.0	16.5						2		
		無	5	49.8	5.0						5		
C414	坐骨悪性腫瘍の疑い	無	1	28.0	2.0					1			
C433	鼻腔悪性黒色腫	有	1	86.0	4.0								1
C437	下肢悪性黒色腫	有	1	82.0	10.0								1
C437	第1趾趾悪性黒色腫	有	1	59.0	13.0						1		
C437	趾悪性黒色腫	有	1	75.0	10.0							1	
C441	下眼瞼基底細胞癌	有	1	87.0	10.0								1
C441	上眼瞼基底細胞癌	有	1	62.0	3.0							1	
C442	耳介有棘細胞癌	有	1	84.0	6.0								1
C443	顔面基底細胞癌	有	1	51.0	10.0						1		
C443	顔面有棘細胞癌	有	1	83.0	12.0								1
C443	前額部基底細胞癌	有	2	73.5	3.0							2	
C443	頬部メルケル細胞癌	有	1	80.0	14.0								1
C444	頭部有棘細胞癌	有	1	75.0	6.0							1	
C449	上腕汗腺癌	有	1	79.0	11.0							1	
C450	悪性胸膜中皮腫	無	4	73.5	5.5							4	
C480	巨大後腹膜脂肪肉腫	有	1	71.0	37.0							1	
C480	後腹膜悪性腫瘍の再発	無	8	70.8	3.8							8	
C480	後腹膜脂肪肉腫	有	3	73.7	13.7							3	
C481	腸間膜消化管間質腫瘍	有	1	66.0	10.0							1	
C482	腹膜癌	有	5	63.0	14.0						2	3	
		無	10	65.9	7.0						4	6	
C490	顔面横紋筋肉腫	有	1	62.0	8.0							1	
		無	13	58.8	8.0						6	7	
C490	頬部横紋筋肉腫	有	3	52.0	5.0						3		
		無	12	52.0	5.1						12		
C491	肩部滑膜肉腫	無	1	55.0	3.0						1		
C491	上腕悪性軟部腫瘍	無	1	80.0	2.0								1
C491	上腕脂肪肉腫	有	1	56.0	4.0						1		
C491	前腕悪性軟部腫瘍	有	4	80.3	21.3							1	3
		無	1	73.0	7.0							1	
C492	足部悪性軟部腫瘍	有	3	73.3	7.3							3	
C492	大腿悪性軟部腫瘍	有	5	54.6	26.4						4	1	
C492	大腿部脂肪肉腫	有	2	79.0	14.0							1	1
C494	腹部悪性軟部腫瘍	無	15	60.1	5.5						13	2	
C495	骨盤部悪性軟部腫瘍	有	1	50.0	13.0						1		
C495	殿部悪性軟部腫瘍	有	1	68.0	7.0							1	
C496	背部悪性軟部腫瘍	有	2	21.5	14.5						2		
		無	7	21.0	8.7						7		
C499	血管肉腫	有	1	68.0	21.0							1	
C501	乳房中央部乳癌	有	5	69.4	7.8							5	
		無	4	64.0	6.8						1	3	
C502	乳房上内側部乳癌	有	23	66.5	7.1					1	5	15	2
		無	9	61.6	7.3						5	4	
C503	乳房下内側部乳癌	有	10	53.6	9.3					2	3	5	
		無	2	54.5	14.0						1	1	
C503	乳房下内側部乳癌の術後	有	1	49.0	9.0						1		

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインデキータ

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
C504	乳房上外側部乳癌	有	57	57.4	8.3					3	32	16	6
		無	40	57.2	4.7					2	24	10	4
C505	乳房下外側部乳癌	有	14	59.6	8.3						8	5	1
		無	4	54.8	3.0						3	1	
C509	乳癌	有	1	57.0	9.0						1		
		無	1	56.0	3.0						1		
C509	乳癌の疑い	有	1	51.0	4.0						1		
C519	外陰癌	有	1	80.0	5.0								1
C530	子宮頸管癌	有	1	44.0	12.0						1		
		無	1	37.0	6.0					1			
C530	子宮頸管癌の疑い	無	1	59.0	2.0						1		
C531	子宮頸外膜癌	無	1	60.0	3.0						1		
C531	子宮腔部癌	有	8	48.4	11.4					3	4	1	
		無	11	44.0	5.3					8	2	1	
C539	子宮頸癌	有	1	44.0	3.0						1		
C539	子宮頸部腺癌	有	3	45.3	9.3					1	2		
		無	6	52.0	4.5						6		
C541	子宮内膜癌	有	20	64.4	11.7						9	8	3
		無	44	63.0	4.8					2	11	31	
C542	子宮肉腫	無	3	55.3	4.3						3		
C542	子宮平滑筋肉腫	有	1	41.0	9.0						1		
		無	1	41.0	4.0						1		
C549	子宮体癌	有	1	68.0	8.0							1	
C549	子宮体癌の疑い	有	2	46.0	3.0						2		
		無	1	52.0	10.0						1		
C56	再発卵巣癌	有	1	52.0	10.0						1		
		無	10	56.1	7.3						6	4	
C56	卵巣悪性腫瘍	有	2	44.0	9.0						2		
		無	14	57.9	9.7					1	7	6	
C56	卵巣癌	有	1	52.0	10.0						1		
		無	53	59.0	4.7					6	16	31	
C56	卵巣癌の疑い	有	1	44.0	4.0						1		
C56	卵巣癌の術後	有	1	54.0	5.0						1		
		無	3	62.7	7.3						1	2	
C56	卵巣明細胞腺癌	有	3	62.7	7.3						1	2	
		無	8	63.3	5.0							8	
C570	卵管癌	有	2	70.0	3.0							2	
		無	3	72.3	4.7							3	
C61	去勢抵抗性前立腺癌	有	11	75.3	14.6							9	2
		無	7	72.3	10.7							6	1
C61	進行性前立腺癌	有	1	90.0	29.0								1
C61	前立腺癌	有	39	77.0	8.0							27	12
		無	6	73.0	2.7						1	3	2
C61	前立腺癌の疑い	無	56	73.6	2.0						5	39	12
C61	前立腺小細胞癌	有	2	73.5	12.5								2
		無	8	73.8	7.1							8	
C629	精巣悪性腫瘍	有	2	57.0	4.0						1	1	
C629	精巣癌	有	1	45.0	65.0						1		
C629	精巣胎児性癌	有	1	38.0	86.0					1			
C64	腎癌	有	25	66.6	12.3						7	16	2
		無	8	66.1	7.8						2	5	1
C64	腎細胞癌	有	1	53.0	9.0						1		
C65	腎盂癌	有	10	75.7	21.0						1	5	4
		無	16	79.1	11.0							5	11
C65	腎盂癌の疑い	無	1	61.0	2.0							1	
C66	尿管癌	有	2	75.0	47.0							1	1
		無	2	73.0	5.5							1	1
C66	尿管癌の疑い	無	1	83.0	4.0								1
C670	膀胱三角部膀胱癌	有	1	82.0	7.0								1
C672	膀胱側壁部膀胱癌	有	17	75.6	10.3						1	10	6
C673	膀胱前壁部膀胱癌	有	4	68.5	7.3					1		3	
C674	膀胱後壁部膀胱癌	有	19	73.6	9.8						2	10	7
		無	4	74.0	5.3							3	1
C675	膀胱頸部膀胱癌	有	8	78.1	9.5							5	3
		無	1	77.0	7.0							1	
C676	尿管口部膀胱癌	有	2	84.5	15.5								2
		無	3	74.0	3.7							3	
C677	尿管癌	有	1	53.0	9.0						1		
C679	膀胱癌の疑い	有	1	84.0	5.0								1
C696	眼窩横紋筋肉腫	有	2	4.0	37.0								
		無	2	4.0	35.5								
C711	前頭葉膠芽腫	有	1	70.0	70.0							1	
C712	側頭葉悪性星状細胞腫	有	1	43.0	16.0						1		
		無	1	42.0	14.0						1		
C712	頭葉膠芽腫	有	1	68.0	106.0							1	
C716	小脳毛様細胞性星細胞腫	有	1	42.0	18.0						1		
C73	甲状腺癌	有	1	54.0	7.0						1		
C73	甲状腺乳頭癌	有	43	62.1	11.0				1	5	13	15	9
		無	6	73.7	14.2							6	
C73	甲状腺濾胞癌	有	1	73.0	5.0							1	

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインデキータ

退院患者数

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
C749	副腎神経芽腫	有	1	1.0	23.0	1								
		無	2	1.0	2.5	2								
C755	悪性傍神経節腫	有	1	68.0	11.0							1		
C770	頸部リンパ節転移	有	5	68.8	13.2						2	2	1	
C770	頸部リンパ節転移の疑い	有	1	56.0	4.0						1			
C771	縦隔リンパ節転移	有	1	74.0	7.0							1		
C772	大動脈周囲リンパ節転移	有	1	73.0	11.0							1		
C773	腋窩リンパ節転移	有	1	79.0	11.0							1		
C780	転移性肺腫瘍	有	29	71.2	11.1						5	18	6	
C782	癌性胸水	有	2	71.5	7.5							2		
C782	癌性胸膜炎	無	1	79.0	13.0							1		
C786	癌性腹水	有	2	74.0	3.5							2		
C786	癌性腹膜炎	有	1	80.0	18.0								1	
C786	転移性後腹膜腫瘍	有	1	54.0	10.0						1			
C786	腹膜偽粘液腫	有	2	68.5	10.0							2		
		無	1	67.0	12.0							1		
C786	腹膜播種	有	1	32.0	15.0					1				
C787	転移性肝癌	有	22	69.7	11.2						2	18	2	
		無	2	82.0	2.0								2	
C787	転移性肝腫瘍	有	17	71.5	11.1						3	11	3	
		無	7	66.9	2.3						2	4	1	
C787	転移性肝腫瘍の疑い	無	2	63.0	2.0						1	1		
C788	転移性脾腫瘍	有	1	79.0	8.0							1		
C792	転移性腹壁腫瘍	有	1	70.0	8.0							1		
C793	転移性脳腫瘍	有	5	54.0	40.4						3	2		
		無	6	72.8	17.2							4	2	
C793	転移性脳腫瘍の疑い	無	1	67.0	2.0							1		
C795	胸椎転移	有	1	65.0	16.0							1		
C795	頸椎転移	有	1	60.0	15.0						1			
		無	1	63.0	4.0							1		
C795	骨盤転移	有	1	73.0	15.0							1		
C795	脊椎転移	有	2	64.5	11.0							2		
		無	4	78.0	13.8							3	1	
C795	大腿骨転移性骨腫瘍	有	1	59.0	11.0						1			
C795	転移性胸椎腫瘍	有	2	55.5	9.5						1	1		
C795	転移性骨腫瘍	有	1	75.0	45.0							1		
		無	2	73.5	12.5							2		
C795	転移性頭蓋骨腫瘍	有	1	55.0	10.0						1			
		無	1	55.0	3.0						1			
C795	乳癌骨転移	有	1	82.0	23.0								1	
C795	肺癌骨転移	有	1	67.0	7.0							1		
C795	膝臓癌骨転移	有	1	88.0	15.0								1	
C797	転移性副腎腫瘍	有	1	68.0	9.0							1		
C797	副腎転移	有	1	67.0	9.0							1		
C798	転移性口腔癌	有	1	79.0	5.0							1		
C800	原発不明癌	有	4	67.0	27.8						1	3		
		無	6	62.0	12.0						3	3		
C800	神経内分泌細胞癌・原発部位不明	無	1	73.0	6.0							1		
C809	胎児性癌	有	1	38.0	10.0					1				
C811	結節硬化型古典的ホジキンリンパ腫	有	3	55.0	26.3						3			
C814	リンパ球豊富型古典的ホジキンリンパ腫	有	2	70.0	17.0							2		
C817	古典的ホジキンリンパ腫	有	1	63.0	21.0							1		
C820	濾胞性リンパ腫・グレード1	有	4	78.8	24.8							3	1	
		無	6	75.8	11.7							6		
C821	濾胞性リンパ腫・グレード2	有	5	69.6	25.4						1	4		
		無	4	77.0	10.8							4		
C823	再発濾胞性リンパ腫・グレード3 a	無	1	53.0	24.0						1			
C823	濾胞性リンパ腫・グレード3 a	無	1	74.0	4.0							1		
C824	濾胞性リンパ腫・グレード3 b	無	1	84.0	16.0								1	
C829	濾胞性リンパ腫	有	1	75.0	31.0							1		
		無	1	79.0	4.0							1		
C829	濾胞性リンパ腫の再発	有	1	72.0	11.0							1		
		無	2	72.0	6.0							2		
C830	リンパ形質細胞性リンパ腫	有	3	69.0	19.0							3		
		無	6	74.5	8.0							6		
C830	小リンパ球性リンパ腫	有	1	75.0	4.0							1		
C830	脾辺縁帯リンパ腫	無	1	70.0	19.0							1		
C831	マントル細胞リンパ腫	有	4	72.0	22.5							4		
		無	1	77.0	16.0							1		
C831	マントル細胞リンパ腫の再発	無	2	77.0	9.5							2		
C833	T細胞組織球豊富型大細胞性B細胞性リンパ腫	有	5	78.6	20.8							5		
		無	1	79.0	17.0							1		
C833	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫	有	57	68.0	25.1					2	12	33	10	
		無	114	70.2	12.9					5	11	67	31	
C833	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫の再発	有	5	76.4	46.8							3	2	
		無	7	77.9	9.7							5	2	

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインディケータ

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
C833	胃びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫	有	3	62.0	18.7							3	
		無	3	62.0	15.7							3	
C833	甲状腺びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫	有	1	81.0	17.0								1
		無	1	81.0	16.0								1
C833	高齢者EBV陽性びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫	有	5	74.0	44.6							4	1
		無	9	76.8	12.4					1			8
C833	中枢神経系原発びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫	有	2	68.0	45.0							2	
C838	びまん性大細胞型・パークット中間型分類不能B細胞性リンパ腫	有	2	76.0	20.0							2	
		無	7	74.0	14.7						1	6	
C838	血管内大細胞型B細胞性リンパ腫	有	1	57.0	19.0							1	
		無	4	57.0	11.0						4		
C838	原発性滲出性リンパ腫	有	1	85.0	45.0								1
C844	CD30陽性末梢性T細胞リンパ腫	有	1	71.0	18.0							1	
		無	1	71.0	14.0							1	
C844	CD30陽性末梢性T細胞リンパ腫・詳細不明	有	2	78.0	23.0							2	
C844	CD30陽性末梢性T細胞リンパ腫・詳細不明の再発	有	1	63.0	143.0							1	
C844	末梢性T細胞リンパ腫	有	7	67.1	36.4							7	
		無	3	65.3	14.3							3	
C844	末梢性T細胞リンパ腫・詳細不明	有	2	78.5	25.5							1	1
		無	1	86.0	26.0								1
C845	T細胞リンパ腫	有	1	86.0	5.0								1
C846	未分化大細胞リンパ腫	無	1	69.0	8.0							1	
C847	ALK陰性未分化大細胞リンパ腫	有	8	72.1	15.3							8	
		無	5	71.0	9.2							5	
C851	B細胞性非ホジキンリンパ腫	有	5	82.4	35.8							2	3
		無	2	76.0	6.5							2	
C851	B細胞性非ホジキンリンパ腫の疑い	有	1	87.0	5.0								1
C851	CD20陽性B細胞性非ホジキンリンパ腫	有	1	75.0	26.0							1	
C851	マンツル細胞リンパ腫	有	4	69.0	17.8							4	
C859	悪性リンパ腫	無	1	87.0	2.0								1
C859	悪性リンパ腫の疑い	有	2	57.5	5.0					1	1		
		無	2	85.0	2.0								2
C859	顎下部悪性リンパ腫	有	1	73.0	4.0							1	
C859	甲状腺悪性リンパ腫の疑い	無	1	44.0	3.0					1			
C859	縦隔悪性リンパ腫	有	1	80.0	8.0								1
C859	精巣悪性リンパ腫	有	1	65.0	5.0							1	
C860	節外性NK/T細胞リンパ腫・鼻型	有	1	73.0	42.0							1	
C865	血管免疫芽球性T細胞リンパ腫	有	1	73.0	21.0							1	
		無	7	81.7	14.7							1	6
C865	血管免疫芽球性T細胞リンパ腫の再発	無	1	80.0	9.0								1
C884	MALTリンパ腫	有	1	72.0	44.0							1	
C884	胃MALTリンパ腫	有	3	44.3	13.3					2	1		
C884	甲状腺MALTリンパ腫	有	1	73.0	16.0							1	
C900	ペンスジョーンズ型多発性骨髄腫	有	5	73.0	43.2							5	
		無	1	55.0	26.0					1			
C900	形質細胞性骨髄腫	無	3	71.0	26.3							3	
C900	再発性難治性多発性骨髄腫	有	5	53.0	25.0						5		
C900	多発性骨髄腫	有	52	69.1	27.1						7	41	4
		無	30	70.1	19.1						3	23	4
C900	難治性ペンスジョーンズ型多発性骨髄腫	有	1	68.0	26.0							1	
C900	難治性多発性骨髄腫	有	1	69.0	30.0							1	
		無	1	68.0	26.0							1	
C901	形質細胞白血病	有	1	73.0	11.0							1	
C910	Bリンパ芽球性白血病/リンパ腫	有	3	53.0	26.7						3		
		無	2	53.0	15.5						2		
C910	Ph陽性急性リンパ性白血病	有	17	61.3	37.1					2	8	3	4
		無	6	68.8	11.5						3	1	2
C910	Tリンパ芽球性白血病/リンパ腫	有	2	31.0	48.5					2			
		無	1	31.0	27.0					1			
C910	急性リンパ性白血病	有	1	53.0	52.0						1		
C911	難治性慢性リンパ性白血病	有	1	75.0	11.0							1	
C915	CCR4陽性成人T細胞白血病リンパ腫	有	2	70.0	19.5							2	
		無	3	71.7	4.3							3	
C915	再発成人T細胞白血病リンパ腫	有	4	65.5	31.3							4	
		無	1	66.0	20.0							1	
C915	成人T細胞白血病リンパ腫	有	11	68.6	33.6						2	9	
		無	9	75.0	19.1					1	7	1	
C915	成人T細胞白血病リンパ腫・急性型	有	1	72.0	52.0							1	
C915	成人T細胞白血病リンパ腫の再発	有	1	77.0	18.0							1	
C920	FLT3-ITD変異陽性急性骨髄性白血病	有	4	62.3	68.8						2	1	1
		無	1	80.0	9.0								1
C920	FLT3-ITD変異陽性急性骨髄性白血病の再発	有	2	65.0	188.5							2	
C920	FLT3遺伝子変異陽性未分化型急性骨髄性白血病(M1)	有	2	67.0	32.0							2	
C920	急性骨髄性白血病	有	24	63.3	32.1			1	2			17	4
		無	16	63.4	11.3				3			12	1
C920	急性骨髄性白血病・最未分化型	有	7	85.4	33.0								7

退院患者数

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
C920	急性骨髄性白血病の再発	有	5	73.0	33.2							4	1
C920	成熟を伴わない急性骨髄性白血病	無	2	71.0	19.0							2	
C920	分化型急性骨髄性白血病 (M2)	有	1	4.0	120.0		1						
C920	未分化型急性骨髄性白血病 (M1)	有	13	49.2	33.9					5	4	4	
C920		無	1	66.0	62.0							1	
C920		有	2	85.0	11.0								2
C921	慢性骨髄性白血病	無	4	50.8	12.3					2		1	1
C921	慢性骨髄性白血病急性転化	有	1	71.0	61.0							1	
C921	慢性骨髄性白血病慢性期	無	1	37.0	14.0					1			
C923	顆粒球肉腫	有	1	67.0	115.0							1	
C924	急性前骨髄球性白血病	有	8	61.8	44.8				1		1	5	1
C924		無	5	64.0	26.0			1				2	2
C925	急性骨髄単球性白血病	無	1	72.0	2.0							1	
C928	骨髄異形成関連変化を伴う急性骨髄性白血病	有	11	72.1	73.7						1	7	3
C928		無	3	65.7	13.7						2	1	
C928	難治性骨髄異形成関連変化を伴う急性骨髄性白血病	有	1	74.0	133.0							1	
C930	急性単球性白血病	有	12	62.9	20.9					1	6	5	
C930		無	2	73.0	14.0							2	
C930	再発性急性単球性白血病	無	1	87.0	14.0								1
C931	慢性骨髄単球性白血病	有	1	73.0	3.0							1	
C933	若年性骨髄単球性白血病	有	2	4.0	29.5								
C947	アグレッシブNK細胞白血病	有	1	82.0	7.0								1
C950	混合型白血病	有	5	67.8	30.6					1		4	
C966	ランゲルハンス細胞組織球症	有	1	1.0	64.0								
D001	食道上皮内癌	有	2	70.0	8.0								2
D047	足背ポーエン病	有	1	81.0	17.0								1
D060	子宮頸管上皮内癌	有	1	62.0	7.0								1
D069	子宮頸部上皮内腫瘍・異型度3	有	36	43.9	3.9					14	20	2	
D110	耳下腺オンコサイトーマ	有	1	81.0	7.0								1
D110	耳下腺良性腫瘍	有	2	53.5	6.5						1	1	
D117	顎下腺多形腺腫	有	1	68.0	5.0							1	
D117	顎下腺良性腫瘍	有	1	27.0	4.0					1			
D120	盲腸腺腫	有	1	77.0	3.0							1	
D121	虫垂良性腫瘍	有	2	77.0	8.0							2	
D122	上行結腸腺腫	有	5	69.8	2.4							5	
D123	横行結腸腺腫	有	1	71.0	2.0							1	
D124	下行結腸腺腫	有	2	59.0	5.0						1	1	
D125	S状結腸腺腫	有	2	66.5	3.5							2	
D126	大腸ポリポシスの疑い	無	1	2.0	3.0								
D126	大腸腺腫	有	3	67.0	4.0						1	2	
D128	直腸腺腫	有	2	64.5	4.5							2	
D131	胃腺腫	有	8	73.3	9.8							7	1
D132	十二指腸腺腫	有	2	65.0	5.5						1	1	
D135	十二指腸乳頭部腺腫	有	1	75.0	30.0							1	
D135	胆のう腺筋腫	有	2	41.5	5.0					1	1		
D135	胆のう腺筋腫症	有	6	64.7	6.0					1		4	1
D135		無	1	59.0	2.0						1		
D136	膵管内乳頭粘液性腺腫	有	5	75.6	20.8							3	2
D136	膵粘液性のう胞腺腫	有	1	34.0	16.0					1			
D136	膵漿液性のう胞腺腫	有	1	55.0	16.0						1		
D141	喉頭乳頭腫	有	2	61.0	4.0						1	1	
D143	肺良性腫瘍	有	7	61.7	6.0						4	3	
D151	心臓粘液腫	有	1	66.0	21.0							1	
D152	縦隔神経鞘腫	有	1	55.0	5.0						1		
D152	良性縦隔腫瘍	有	1	37.0	10.0								
D161	母趾爪下外骨腫	有	1	8.0	5.0				1				
D162	遠位大腿骨骨軟骨腫	有	1	15.0	3.0				1				
D162	大腿骨骨軟骨腫	有	1	36.0	12.0					1			
D162	脛骨骨幹部良性骨腫瘍	有	1	17.0	40.0				1				
D163	踵骨良性腫瘍	有	1	46.0	4.0						1		
D164	頭骨骨腫	有	1	74.0	5.0							1	
D165	下顎エナメル上皮腫	有	3	37.0	5.3						3		
D165	下顎骨腫瘍	有	1	46.0	6.0						1		
D165	下顎歯牙腫	有	2	35.0	6.5				1			1	
D170	頸部脂肪腫	無	1	62.0	1.0							1	
D171	胸部脂肪腫	有	1	74.0	5.0							1	
D171	肩甲部脂肪腫	有	1	37.0	3.0					1			
D171	背部脂肪腫	有	1	60.0	3.0						1		
D172	足部脂肪腫	有	1	81.0	6.0								1
D172	膝大腿脂肪腫	有	1	60.0	2.0						1		
D175	小腸脂肪腫	有	1	73.0	12.0							1	
D177	腎血管筋脂肪腫	有	1	72.0	7.0							1	
D179	口唇脂肪腫	有	1	50.0	7.0						1		
D180	肝海綿状血管腫	有	1	78.0	9.0						1	1	
D180	顔面血管腫	無	1	48.0	2.0						1		
D181	頸部のう胞性リンパ管腫	有	1	65.0	4.0							1	
D211	手掌軟部良性腫瘍	有	1	75.0	2.0							1	
D211	上腕良性軟部腫瘍	有	1	53.0	2.0						1		

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインディケータ

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
D212	下腿良性軟部腫瘍	有	1	56.0	4.0						1		
D212	足底良性軟部腫瘍	有	1	56.0	4.0						1		
D212	足部良性軟部腫瘍	有	1	47.0	3.0						1		
D213	胸部良性軟部腫瘍	有	1	51.0	3.0						1		
D215	臀部皮下腫瘍	有	1	75.0	6.0							1	
D215	臀部良性軟部腫瘍	有	1	44.0	5.0						1		
D224	頭部脂腺母斑	有	2	8.5	3.0			2					
D226	肩母斑細胞母斑	有	1	8.0	3.0			1					
D227	足母斑細胞母斑	有	1	11.0	3.0			1					
D233	頬部石灰化上皮腫	有	1	3.0	3.0		1						
D236	上腕石灰化上皮腫	有	1	7.0	3.0			1					
D239	頰部表皮のう腫	有	1	8.0	3.0			1					
D250	筋腫分娩	有	1	46.0	6.0						1		
D250	筋腫分娩	無	1	40.0	3.0					1			
D250	子宮粘膜下筋腫	有	15	45.3	5.5					3	11	1	
D251	壁内子宮平滑筋腫	有	34	44.3	7.0					11	22	1	
D251	壁内子宮平滑筋腫	無	1	45.0	9.0						1		
D252	有茎性漿膜下子宮筋腫	有	1	43.0	6.0						1		
D252	漿膜下子宮平滑筋腫	有	13	46.0	8.0					2	11		
D252	漿膜下子宮平滑筋腫	無	1	46.0	1.0						1		
D259	巨大子宮筋腫	有	2	56.5	8.0						1	1	
D259	子宮筋腫	有	1	42.0	6.0						1		
D259	多発性子宮筋腫	有	2	49.0	5.5						2		
D27	卵巣のう腫	有	18	52.3	6.3			1	3	8	6		
D27	卵巣のう腫	無	1	84.0	15.0								1
D27	卵巣のう腫捻転	有	2	34.0	5.5					1	1		
D27	卵巣のう腫捻転の疑い	無	1	41.0	2.0						1		
D27	卵巣奇形腫	有	8	30.1	5.6			1		6	1		
D27	卵巣成熟のう胞性奇形腫	有	3	38.0	6.0					2	1		
D27	卵巣成熟奇形腫	無	1	80.0	9.0								1
D27	卵巣線維腫	有	1	21.0	11.0				1				
D27	卵巣漿液性腺腫	有	2	76.5	6.0							2	
D320	円蓋部髄膜腫	有	1	81.0	25.0								1
D320	前頭髄膜腫	無	1	81.0	4.0								1
D320	前頭髄膜腫	有	2	75.0	25.0							1	1
D34	濾胞腺腫	有	1	72.0	5.0							1	
D352	下垂体腺腫	有	1	54.0	10.0						1		
D369	頬皮のう胞	有	1	2.0	3.0		1						
D370	咽頭腫瘍	有	1	57.0	4.0						1		
D370	顎下腺腫瘍	有	1	14.0	7.0			1					
D370	歯肉腫瘍	有	1	88.0	6.0								1
D370	耳下腺腫瘍	有	10	55.2	6.1					2	3	5	
D370	舌腫瘍	有	1	81.0	14.0								1
D370	副咽頭間隙腫瘍	有	1	52.0	6.0						1		
D370	頬粘膜腫瘍	有	1	76.0	8.0							1	
D370	扁桃腫瘍	有	1	73.0	11.0							1	
D371	胃粘膜下腫瘍	有	1	52.0	7.0						1		
D371	胃粘膜下腫瘍	無	1	63.0	2.0							1	
D372	十二指腸粘膜下腫瘍	有	1	71.0	6.0							1	
D373	虫垂腫瘍	有	1	69.0	6.0							1	
D376	肝門部腫瘍	無	1	68.0	2.0							1	
D376	十二指腸乳頭部腫瘍の疑い	無	1	73.0	3.0							1	
D376	胆のう腫瘍の疑い	無	1	49.0	2.0						1		
D376	胆管内乳頭状腫瘍	有	2	69.5	19.0							2	
D377	腫瘍性嚢のう胞	無	1	76.0	2.0							1	
D377	膵管内乳頭粘液性腫瘍	無	17	72.3	2.1						1	12	4
D377	膵管内乳頭粘液性腫瘍の疑い	無	1	74.0	2.0							1	
D377	膵腫瘍	無	1	71.0	2.0							1	
D377	膵神経内分泌腫瘍	有	3	70.7	26.7							3	
D377	膵神経内分泌腫瘍	無	1	71.0	2.0							1	
D377	膵頭部腫瘍	有	1	76.0	5.0							1	
D380	喉頭腫瘍	有	1	62.0	4.0							1	
D382	胸膜腫瘍	無	1	84.0	2.0								1
D385	中耳腫瘍	有	1	69.0	9.0							1	
D390	子宮頸部腫瘍	有	1	52.0	8.0						1		
D391	のう胞性卵巣腫瘍	有	2	50.0	6.0					1		1	
D391	充実性卵巣腫瘍	有	1	65.0	7.0							1	
D391	卵巣境界悪性腫瘍	有	2	59.0	11.0						1	1	
D391	卵巣腫瘍	有	3	52.0	7.0					1	1	1	
D391	卵巣粘液性境界悪性腫瘍	有	1	74.0	8.0							1	
D392	侵入全胞状奇胎	無	7	25.0	9.0					7			
D413	外尿道口腫瘍	有	1	46.0	4.0						1		
D413	外尿道口腫瘍	無	1	0.0	10.0		1						
D441	副腎腫瘍	有	3	51.7	7.3					1	1	1	
D447	傍神経節腫	無	2	68.0	7.0							2	
D461	環状鉄芽球を伴う不応性貧血	有	6	74.0	14.5								6
D461	環状鉄芽球を伴う不応性貧血	無	1	74.0	9.0								1

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインデキータ

退院患者数

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
D462	遺伝性芽球増加を伴う不応性貧血-2RAEB-2	有	4	58.8	65.8						4		
D462	芽球増加を伴う不応性貧血-1	有	4	82.8	12.3							1	3
		無	1	85.0	8.0								1
D462	芽球増加を伴う不応性貧血-1RAEB-1	有	1	69.0	8.0							1	
		無	1	70.0	12.0							1	
D462	芽球増加を伴う不応性貧血-2	有	4	71.5	50.3						1	1	2
D462	芽球増加を伴う不応性貧血-2RAEB-2	有	10	75.2	58.8							4	6
		無	9	81.2	9.3							1	8
D466	5q-症候群	有	1	82.0	16.0								1
		無	1	82.0	9.0								1
D469	骨髄異形成症候群	有	24	74.9	16.5							13	11
		無	17	75.1	13.7							15	2
D471	骨髄増殖性腫瘍	有	2	84.0	14.0								2
D474	原発性骨髄線維症	有	3	60.3	62.3						2	1	
D474	骨髄線維症	有	2	84.0	12.0								2
D477	移植後リンパ増殖性疾患	有	2	59.5	8.5						2		
		無	1	59.0	18.0						1		
D480	指末節骨腫瘍	有	1	74.0	3.0							1	
D480	仙骨腫瘍	無	1	81.0	2.0								1
D480	頭蓋骨腫瘍	有	1	48.0	10.0						1		
D480	肋骨腫瘍	有	1	21.0	5.0					1			
D480	脛骨近位部巨細胞腫	有	1	28.0	6.0					1			
D481	頸部軟部腫瘍	有	1	73.0	3.0							1	
D481	足底皮下腫瘍	有	1	64.0	8.0							1	
D481	大腿皮下腫瘍	有	1	67.0	6.0							1	
D481	膝部軟部腫瘍	有	1	34.0	3.0					1			
D481	肘部皮下腫瘍	有	1	68.0	2.0							1	
D481	腋窩部軟部腫瘍	有	1	64.0	3.0							1	
D481	臍皮下腫瘍	有	1	39.0	7.0					1			
D483	後腹膜腫瘍	有	1	46.0	7.0						1		
		無	2	66.5	2.0						1	1	
D485	顔面皮膚腫瘍	有	1	4.0	3.0		1						
D485	上眼瞼皮膚腫瘍	有	1	66.0	2.0							1	
D487	胸壁腫瘍	有	1	39.0	5.0					1			
D487	肩甲部腫瘍	有	1	33.0	3.0					1			
D487	単径部腫瘍	有	1	74.0	4.0							1	
D489	部歯原性腫瘍	有	1	50.0	4.0						1		
D500	出血性貧血	有	1	71.0	3.0							1	
D508	小球性低色素性貧血	有	1	87.0	13.0								1
D509	鉄欠乏性貧血	有	1	76.0	8.0							1	
D520	食事性葉酸欠乏性貧血	有	1	83.0	17.0								1
D591	自己免疫性溶血性貧血	有	1	30.0	14.0					1			
D610	赤芽球ろう	有	1	4.0	5.0		1						
D613	特発性再生不良性貧血	有	3	45.0	78.0					2		1	
D619	再生不良性貧血	有	4	79.0	18.8							2	2
D619	重症再生不良性貧血	有	1	58.0	11.0						1		
D619	中等症再生不良性貧血	有	2	27.5	63.5			1	1				
		無	2	59.0	4.0					1			1
D619	汎血球減少症	有	1	23.0	2.0					1			
D62	急性失血性貧血	有	1	81.0	6.0								1
D65	播種性血管内凝固	有	6	69.3	24.7					1		3	2
		無	1	88.0	6.0								1
D680	フォンウィルブランド病	有	1	78.0	7.0							1	
D684	ビタミンK欠乏による凝固因子欠乏	無	1	66.0	2.0							1	
D689	血液凝固異常	無	1	60.0	6.0						1		
D690	IgA血管炎	有	1	22.0	10.0					1			
		無	9	16.6	8.4			4	3	1			1
D693	エバンス症候群	有	1	52.0	11.0						1		
		無	1	30.0	12.0						1		
D693	特発性血小板減少性紫斑病	有	6	74.8	14.8							4	2
		無	8	45.6	8.4			1	2			2	2
D693	難治性特発性血小板減少性紫斑病	有	1	81.0	104.0								1
D693	慢性特発性血小板減少性紫斑病	有	1	69.0	10.0							1	
D696	血小板減少症	有	1	82.0	8.0								1
D70	重症先天性好中球減少症	無	2	1.0	4.5			2					
D70	無顆粒球症	無	1	62.0	7.0							1	
D731	脾機能亢進症	有	1	60.0	6.0						1		
D763	組織球性壊死性リンパ節炎	有	1	17.0	11.0				1				
D860	肺サルコイドーシス	有	1	68.0	6.0							1	
		無	2	86.5	3.5								2
D860	肺サルコイドーシスの疑い	有	1	67.0	2.0							1	
D868	心サルコイドーシス	無	2	79.0	16.0							2	
D869	サルコイドーシスの疑い	無	1	76.0	2.0							1	
E039	甲状腺機能低下症	無	1	70.0	9.0							1	
E049	縦隔甲状腺腫	有	3	51.0	6.0				1		1		1

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインディケータ

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
E049	腺腫様甲状腺腫	有	42	52.5	5.1				1	11	16	13	1
		無	1	32.0	2.0					1			
E050	バセドウ病	有	6	52.7	6.3					3		3	
		無	4	36.8	8.5			1		1	2		
E059	原発性甲状腺機能亢進症	有	2	69.5	5.0							2	
		無	1	74.0	23.0							1	
E063	橋本病	有	1	74.0	23.0						1		
		無	1	51.0	3.0						1		
E100	1型糖尿病性低血糖性昏睡	無	1	74.0	4.0							1	
E101	1型糖尿病性アシドーシス	無	1	26.0	4.0					1			
E101	1型糖尿病性ケトアシドーシス	有	1	63.0	21.0							1	
		無	1	43.0	14.0						1		
E101	1型糖尿病性ケトアシドーシス	無	1	10.0	2.0			1					
E102	1型糖尿病・腎合併症あり	無	1	54.0	15.0						1		
E102	緩徐進行1型糖尿病・腎合併症あり	無	2	71.0	9.0							2	
E109	1型糖尿病・糖尿病性合併症なし	無	7	32.4	11.1			3	1			3	
E109	緩徐進行1型糖尿病・糖尿病性合併症なし	無	1	34.0	15.0					1			
E111	2型糖尿病性ケトアシドーシス	無	4	52.8	8.0					1	2	1	
		有	1	72.0	19.0							1	
E112	2型糖尿病・腎合併症あり	無	10	60.7	10.7					1	3	6	
E113	2型糖尿病・眼合併症あり	無	2	75.0	10.5							2	
E114	2型糖尿病・神経学的合併症あり	無	2	81.0	12.0							1	1
E116	2型糖尿病・糖尿病性合併症あり	無	1	63.0	12.0							1	
E116	2型糖尿病性高血糖高浸透圧症候群	無	2	91.5	27.5								2
E119	2型糖尿病・糖尿病性合併症なし	有	1	58.0	16.0						1		
		無	14	55.4	9.1			1		2	6	4	1
E119	安定型糖尿病・糖尿病性合併症なし	無	1	74.0	10.0							1	
E131	ステロイド糖尿病・ケトアシドーシス合併あり	無	1	70.0	4.0							1	
E133	ステロイド糖尿病・眼合併症あり	無	1	76.0	15.0							1	
E133	膵性糖尿病・眼合併症あり	無	2	71.5	9.0							1	1
E139	膵性糖尿病・糖尿病性合併症なし	無	2	70.0	9.5						1		1
E161	インスリン自己免疫症候群の疑い	無	1	33.0	3.0					1			
E162	低血糖	無	1	87.0	2.0								1
E162	低血糖発作	無	1	87.0	7.0								1
E210	原発性副甲状腺機能亢進症	有	11	71.3	8.5						1	8	2
		無	1	65.0	1.0							1	
E213	副甲状腺機能亢進症	無	1	74.0	4.0							1	
E214	副甲状腺のう胞	有	2	80.0	5.5							1	1
E230	A C T H単独欠損症	無	1	80.0	3.0								1
E230	下垂体機能低下症	有	1	79.0	62.0							1	
		無	1	52.0	8.0							1	
E230	下垂体機能低下症の疑い	無	3	48.3	3.0					1	1	1	
E230	汎下垂体機能低下症	無	1	69.0	4.0							1	
E232	中枢性尿崩症	無	5	16.0	3.0	3				1	1		
E232	中枢性尿崩症の疑い	無	2	1.0	2.0	2							
E236	下垂体卒中	無	1	64.0	4.0								1
E250	21-水酸化酵素欠損症	無	1	6.0	2.0			1					
E260	原発性アルドステロン症	無	2	47.0	2.5						2		
E260	原発性アルドステロン症の疑い	無	3	51.7	3.3						3		
E272	副腎クリーゼ	無	1	43.0	5.0						1		
E274	続発性副腎皮質機能低下症	無	6	65.7	7.3					1	1	2	2
E274	続発性副腎皮質機能低下症の疑い	無	3	59.7	4.0					1		2	
E274	副腎皮質機能低下症の疑い	無	1	34.0	4.0					1			
E328	胸腺のう胞	有	1	69.0	6.0							1	
E441	軽度栄養失調症	無	1	0.0	3.0	1							
E46	栄養失調	有	2	69.0	10.0							2	
		無	2	67.5	10.5							2	
E639	栄養障害	無	1	0.0	2.0	1							
E668	病的肥満症	有	1	63.0	30.0							1	
		無	1	45.0	17.0						1		
E669	小児肥満	無	1	11.0	29.0			1					
E669	肥満症	無	2	62.0	14.0					1	1		
E722	高アンモニア血症	無	2	85.5	10.0								2
E806	体質性黄疸	無	1	61.0	5.0							1	
E835	高カルシウム血症	無	2	65.0	12.0						1	1	
E835	低カルシウム血症	無	1	82.0	9.0								1
E858	ALアミロイドーシス	有	2	67.5	45.5						1	1	
		無	1	63.0	10.0							1	
E858	原発性全身性ALアミロイドーシス	無	1	63.0	11.0							1	
E86	脱水症	無	11	57.1	4.8	2					2	5	2
E870	高ナトリウム血症	有	1	48.0	43.0						1		
		無	1	71.0	13.0							1	
E871	鉍質コルチコイド反応性低ナトリウム血症	無	1	92.0	51.0								1
E871	低ナトリウム血症	有	2	87.5	22.0								2
		無	10	78.1	7.5						3	2	5
E872	ケトアシドーシス	有	1	66.0	21.0							1	
		有	2	77.0	10.5							1	1
E875	高カリウム血症	有	2	83.0	3.0							1	1
		無	2	83.0	3.0							1	1
E876	低カリウム血症	無	5	72.2	17.6						1	2	2

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインディケータ

退院患者数

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
E877	水中毒	無	1	47.0	12.0						1		
E888	ME L A S 症候群	有 無	1 2	17.0 17.5	26.0 17.5				1 2				
E891	膵全摘後二次性糖尿病	無	1	72.0	10.0							1	
F001	アルツハイマー型老年認知症	無	2	76.0	118.5							2	
F011	皮質認知症	無	1	80.0	4.0								1
F012	皮質下認知症	無	1	72.0	23.0							1	
F019	血管性認知症	無	1	89.0	58.0								1
F020	前頭側頭葉型認知症	無	1	74.0	25.0							1	
F03	認知症	無	1	83.0	6.0								1
F03	老年期認知症	無	1	74.0	19.0							1	
F04	器質性健忘症候群・精神作用物質によらないもの	無	1	49.0	43.0						1		
F051	認知症に重なったせん妄	有 無	1 4	73.0 84.0	36.0 61.3							1	3
F058	急性脳症候群	無	1	8.0	16.0			1					
F059	せん妄	無	1	80.0	30.0								1
F063	器質性躁病性障害	無	1	46.0	105.0						1		
F064	器質性不安障害	無	1	86.0	25.0								1
F066	器質性情緒不安定性障害	無	1	75.0	309.0							1	
F068	てんかん性精神病	無	2	57.5	92.0						2		
F100	急性アルコール中毒	無	2	60.5	1.5					1			1
F102	アルコール依存症	無	1	52.0	72.0						1		
F106	アルコール性コルサコフ症候群	無	1	46.0	7.0						1		
F106	コルサコフ症候群	無	1	67.0	8.0							1	
F200	妄想型統合失調症	有 無	1 7	68.0 55.4	47.0 86.9							1 3	
F201	破瓜型統合失調症	無	1	22.0	33.0					1			
F203	型分類困難な統合失調症	有 無	1 3	75.0 34.0	99.0 45.0							1	
F205	残遺型統合失調症	無	1	66.0	37.0							1	
F208	統合失調症様状態	有 無	1 5	57.0 50.2	71.0 59.0				1	2		1	1
F220	妄想性障害	無	2	66.0	64.0						1	1	
F250	躁病型統合失調感情障害	無	1	48.0	40.0						1		
F310	双極性感情障害・軽躁病エピソード	無	2	42.0	16.0			1				1	
F311	双極性感情障害・精神病症状を伴わない躁病エピソード	無	3	48.0	49.7					1	1	1	
F312	双極性感情障害・精神病症状を伴う躁病エピソード	無	3	53.3	60.0						3		
F313	双極性感情障害・軽症のうつ病エピソード	無	2	33.0	27.0					1	1		
F313	双極性感情障害・中等症のうつ病エピソード	無	1	28.0	11.0					1			
F314	双極性感情障害・精神病症状を伴わない重症うつ病エピソード	無	2	61.0	25.5						1	1	
F315	双極性感情障害・精神病症状を伴う重症うつ病エピソード	無	1	62.0	57.0							1	
F316	双極性感情障害・混合性エピソード	無	7	38.1	43.9				1	4		2	
F318	双極 I I 型障害	無	2	34.0	17.0					1	1		
F322	精神病症状を伴わない重症うつ病エピソード	無	2	62.5	40.5						1	1	
F328	思春期うつ病	無	1	15.0	21.0			1					
F329	うつ病	有	1	54.0	13.0						1		
F411	不安神経症	無	1	71.0	32.0							1	
F412	混合性不安抑うつ障害	無	1	12.0	84.0			1					
F412	不安うつ病	無	2	37.0	17.5					1	1		
F421	強迫神経症	無	3	15.7	97.7					2	1		
F430	急性ストレス反応	無	1	41.0	2.0							1	
F431	心的外傷後ストレス障害	無	2	15.0	20.5					2			
F432	遷延性抑うつ反応	無	1	13.0	13.0			1					
F432	適応障害	無	11	38.3	25.8			2	1	4	1	2	1
F442	解離性昏迷	無	1	70.0	53.0							1	
F444	ヒステリー性運動失調症	無	1	17.0	18.0				1				
F445	憤怒痙攣	無	1	1.0	3.0			1					
F447	混合性解離性障害	無	1	42.0	7.0							1	
F448	急性精神錯乱	無	1	53.0	44.0							1	
F451	分類困難な身体表現性障害	無	1	37.0	6.0						1		
F500	神経性食欲不振症	無	5	18.4	104.2					2	1	2	
F505	神経性嘔吐症	無	1	18.0	7.0					1			
F512	非器質性睡眠・覚醒スケジュール障害	無	1	14.0	8.0								
F514	夜驚症	無	1	8.0	2.0					1			
F721	重度知的障害・要治療の行動機能障害あり	無	1	12.0	31.0					1			
F728	重度知的障害・その他の行動機能障害あり	無	2	7.5	8.5					2			
F791	知的障害・要治療の行動機能障害あり	無	2	31.5	55.0					1		1	
F840	高機能自閉症	無	4	19.0	39.5					2	1	1	
F840	小児自閉症	無	2	11.0	48.5					2			
F849	自閉症スペクトラム障害	無	1	14.0	14.0					1			
F900	注意欠陥多動障害	無	9	11.3	41.1					9			
F941	小児期反応性愛着障害	無	1	12.0	8.0					1			
G030	無菌性髄膜炎	無	2	35.5	12.5					1	1		
G040	急性散在性脳脊髄炎	無	2	8.0	16.0					2			
G048	急性小脳性失調症の疑い	無	1	1.0	5.0					1			
G049	急性脊髄炎の疑い	無	1	1.0	7.0					1			
G062	硬膜外膿瘍	有	2	57.0	18.0						1		1

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインディケータ

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
G112	歯状核赤核淡蒼球ルイ体萎縮症	無	2	29.5	12.5					2				
G121	脊髄性筋萎縮症 I I 型	無	2	3.5	2.0		2							
G122	筋萎縮性側索硬化症	有	2	63.0	15.0								2	
G122	脊髄性筋萎縮症	無	2	63.0	21.5								2	
G128	頸椎性筋萎縮症	無	3	7.0	2.0			3						
G20	パーキンソン症候群	有	1	78.0	17.0								1	
G20	パーキンソン病	無	1	69.0	12.0								1	
G20	パーキンソン病	有	1	79.0	13.0								1	
G253	ミオクロオス	無	2	75.0	20.5								2	
G253	ミオクロオス	有	1	89.0	3.0									1
G301	アルツハイマー型老年認知症	無	1	83.0	8.0									1
G309	アルツハイマー型認知症	無	1	78.0	29.0								1	
G310	前頭側頭葉変性症	無	1	65.0	38.0								1	
G401	焦点性てんかん	無	3	32.3	3.0		1	1						1
G402	症候性部分てんかん	無	7	8.4	4.7		2	5						
G402	特発性部分てんかん	無	1	6.0	2.0			1						
G403	小児期アブサンスてんかん	無	1	12.0	2.0			1						
G403	特発性全般てんかん	無	1	14.0	4.0			1						
G403	良性乳児ミオクロオステんかんの疑い	無	1	0.0	2.0	1								
G404	ウエスト症候群	有	1	2.0	34.0	1								
G404	ウエスト症候群	無	2	1.0	32.0	2								
G404	レノックス・ガストー症候群	無	1	11.0	2.0			1						
G404	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	無	1	12.0	2.0			1						
G404	点頭てんかん	無	4	3.5	12.3		4							
G407	てんかん小発作	無	2	70.0	8.0						1			1
G408	光原性てんかん	無	1	57.0	2.0						1			
G408	症候性てんかん	無	49	49.7	7.5	8	1	6		3	5	16	10	
G408	症候性てんかんの疑い	有	1	72.0	3.0								1	
G408	症候性てんかんの疑い	無	4	23.5	2.3			3					1	
G409	てんかん	無	3	2.0	4.0	3								
G409	てんかんの疑い	無	5	30.8	9.6	2		1			1			1
G409	脳炎後てんかん	無	1	27.0	5.0					1				
G439	片頭痛	無	1	9.0	2.0			1						
G454	一過性全健忘症	無	1	56.0	6.0						1			
G459	一過性脳虚血発作	無	11	77.9	4.6								6	5
G459	一過性脳虚血発作の疑い	無	1	39.0	2.0					1				
G473	睡眠時無呼吸症候群	有	6	4.8	8.7		4	2						
G473	閉塞性睡眠時無呼吸	有	2	2.0	12.5	2								
G473	閉塞性睡眠時無呼吸の疑い	無	1	0.0	2.0	1								
G500	右三叉神経痛	有	1	43.0	9.0							1		
G510	顔面神経麻痺	有	2	62.0	7.0							1	1	
G510	顔面神経麻痺	無	4	59.3	7.5							2	2	
G510	特発性末梢性顔面神経麻痺	有	1	38.0	5.0					1				
G510	特発性末梢性顔面神経麻痺	無	5	54.4	9.4			1			2	2		
G510	末梢性顔面神経麻痺	有	4	72.3	7.8							3	1	
G527	多発性脳神経障害	無	1	90.0	26.0									1
G530	三叉神経帯状疱疹	有	1	84.0	7.0									1
G530	帯状疱疹後神経痛	無	2	82.0	12.0								1	1
G610	ギラン・バレー症候群	無	2	65.5	31.5								2	
G610	ビッカースタッフ脳幹脳炎	無	1	7.0	15.0			1						
G618	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	有	1	61.0	6.0								1	
G700	眼筋型重症筋無力症	有	2	1.0	8.0	2								
G700	重症筋無力症	有	1	66.0	20.0								1	
G710	福山型先天性筋ジストロフィー	無	2	3.0	6.5			2						
G712	先天性ミオパチーの疑い	無	1	2.0	3.0	1								
G723	低カリウム血性周期性四肢麻痺	無	3	36.0	3.3					2			1	
G800	痙性脳性麻痺	無	2	4.5	9.0	1		1						
G904	自律神経過敏症	無	1	29.0	5.0					1				
G910	交通性水頭症	有	2	79.0	18.5								2	
G911	非交通性水頭症	有	1	12.0	102.0			1						
G912	正常圧水頭症	有	1	81.0	18.0									1
G930	くも膜のう胞	有	1	27.0	7.0					1				
G930	くも膜のう胞	無	1	0.0	5.0	1								
G931	低酸素性脳症	無	5	54.6	15.4	1					1	2	1	
G934	急性脳症	無	1	1.0	22.0	1								
G934	自己免疫介在性脳炎・脳症	無	2	1.0	2.5	2								
G938	脳室拡大	無	1	0.0	4.0	1								
G948	インフルエンザ脳症後遺症	無	1	3.0	10.0		1							
G948	橋本脳症	無	1	58.0	25.0						1			
G950	脊髄空洞症	無	1	75.0	4.0								1	
G968	脊髄くも膜下出血	無	1	37.0	18.0					1				
H000	眼瞼蜂巣炎	無	1	0.0	6.0	1								
H001	霰粒腫	有	2	4.0	3.0		2							
H020	眼瞼内反症	有	13	40.4	3.2		2	4	1			3	3	
H020	睫毛内反症	有	3	11.3	2.7		1	1	1					
H024	眼瞼下垂症	有	5	63.6	4.4				1					
H050	眼窩蜂巣炎	無	1	14.0	8.0			1						

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインデキータ

退院患者数

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
H110	翼状片	有	1	77.0	2.0								1	
H250	皮質性加齢性白内障	有	1	77.0	8.0								1	
H250	老人性初発白内障	有	54	73.2	6.2						3	40	11	
		無	3	78.3	1.7								2	1
H258	成熟白内障	有	8	77.0	9.5						1	4	3	
H263	ステロイド白内障	有	1	34.0	3.0					1				
H268	アトピー性白内障	有	1	62.0	6.0								1	
H308	フォークト・小柳・原田病	無	1	64.0	13.0								1	
H341	網膜中心動脈閉塞症	無	1	78.0	3.0								1	
H342	網膜動脈分枝閉塞症	無	1	85.0	3.0									1
H348	網膜中心静脈閉塞症	無	1	62.0	2.0								1	
H353	加齢黄斑変性	無	2	89.0	2.0									2
H402	慢性閉塞隅角緑内障	無	1	85.0	4.0									1
H491	上斜筋麻痺	有	1	4.0	3.0		1							
H492	外転神経麻痺	無	1	82.0	10.0									1
H500	内斜視	有	1	13.0	3.0			1						
H500	部分調節性内斜視	有	2	5.0	3.0		2							
H501	外斜視	有	3	21.0	3.0			1	1	1				
H502	下斜筋過動	有	2	6.0	3.0			1	1					
H503	間欠性外斜視	有	18	11.1	3.0			1	14	2	1			
H652	慢性滲出性中耳炎	有	3	6.7	3.0		1	2						
H663	慢性化膿性穿孔性中耳炎	有	11	36.5	3.7			4	1		4	2		
H669	慢性穿孔性中耳炎	有	1	11.0	5.0			1						
H700	急性乳様突起炎	無	1	41.0	4.0						1			
H71	真珠腫性中耳炎	有	11	44.4	5.6					4	6	1		
H741	癒着性中耳炎	有	1	24.0	3.0					1				
H810	内耳性めまい	無	6	68.7	5.5						1	3	2	
H811	体位性めまい	無	1	72.0	3.0								1	
H811	良性発作性めまい	無	1	68.0	5.0								1	
H811	良性発作性頭位めまい症	無	2	82.5	3.0								1	1
H812	前庭神経炎	無	7	63.9	7.7						4	2	1	
H813	耳性めまい	無	1	56.0	6.0						1			
H813	末梢性めまい症	無	5	57.4	3.4			1			1	2	1	
H814	頭位めまい症	無	1	76.0	15.0								1	
H912	突発性難聴	有	1	75.0	17.0								1	
		無	5	66.6	8.0						2	2	1	
I071	三尖弁閉鎖不全症	有	1	69.0	24.0								1	
I080	僧帽弁狭窄兼閉鎖不全症兼大動脈弁閉鎖不全症	有	1	69.0	56.0								1	
I080	大動脈弁狭窄兼閉鎖不全症兼僧帽弁閉鎖不全症	有	1	71.0	15.0								1	
		無	1	71.0	3.0								1	
I080	大動脈弁狭窄症兼僧帽弁狭窄症	有	1	78.0	21.0								1	
		無	1	77.0	3.0								1	
I080	大動脈弁狭窄症兼僧帽弁閉鎖不全症	有	2	74.5	39.0								2	
I080	大動脈弁閉鎖不全症兼僧帽弁閉鎖不全症	有	1	77.0	18.0								1	
I081	僧帽弁狭窄症兼三尖弁閉鎖不全症	有	1	39.0	22.0					1				
		無	1	39.0	3.0					1				
I081	僧帽弁閉鎖不全症兼三尖弁閉鎖不全症	有	6	77.2	19.2								4	2
		無	2	77.0	5.5								2	
I082	大動脈弁狭窄症兼三尖弁閉鎖不全症	無	1	70.0	3.0								1	
I083	大動脈弁狭窄症兼僧帽弁閉鎖不全症兼三尖弁閉鎖不全症	有	1	76.0	85.0								1	
		無	1	82.0	3.0									1
I083	大動脈弁閉鎖不全症兼僧帽弁閉鎖不全症兼三尖弁閉鎖不全症	有	2	77.0	20.0								1	1
I10	高血圧性緊急症	無	1	87.0	2.0									1
I110	高血圧性うっ血性心不全	無	13	87.2	10.6								2	11
I110	高血圧性心不全	無	2	69.0	11.0						1			1
I152	内分泌性高血圧症	無	1	74.0	12.0								1	
I200	初発労作型狭心症	無	2	68.0	3.0								2	
I200	不安定狭心症	有	27	70.8	8.1							6	15	6
		無	9	69.9	2.8							2	6	1
I200	不安定狭心症の疑い	有	1	67.0	3.0								1	
		無	5	78.0	4.8								3	2
I201	異型狭心症の疑い	無	1	87.0	25.0									1
I201	冠攣縮性狭心症	有	1	50.0	3.0							1		
		無	15	61.9	2.7						3	2	9	1
I201	冠攣縮性狭心症の疑い	無	2	71.0	2.5							1		1
I208	労作時兼安静時狭心症	有	1	89.0	21.0									1
I208	労作性狭心症	有	164	72.3	5.9							19	99	46
		無	221	72.5	3.0							29	133	59
I208	労作性狭心症の疑い	無	6	73.8	3.0							1	4	1
I209	安定狭心症	有	3	81.7	3.3								1	2
		無	4	73.0	3.0							1	2	1
I210	急性広範前壁心筋梗塞	有	8	68.3	27.3							2	5	1
I210	急性前側壁心筋梗塞	有	1	73.0	10.0								1	
I210	急性前壁心筋梗塞	有	18	70.3	15.4							4	9	5
		無	2	53.0	13.5								1	
I210	急性前壁心尖部心筋梗塞	有	1	69.0	8.0								1	

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインディケータ

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
I210	急性前壁中隔心筋梗塞	有	9	74.2	28.8						1	5	3
		無	1	72.0	9.0							1	
I211	急性下後壁心筋梗塞	有	3	74.7	11.0							2	1
I211	急性下壁心筋梗塞	有	20	76.0	15.5						2	9	9
		無	1	60.0	3.0						1		
I212	急性後壁心筋梗塞	有	10	79.0	24.6						1	4	5
		無	1	90.0	31.0								1
I212	急性後壁心筋梗塞の疑い	無	1	75.0	12.0							1	
I212	急性側壁心筋梗塞	有	1	71.0	13.0							1	
I214	急性心内膜下梗塞	無	2	91.0	20.0								2
I219	急性心筋梗塞の疑い	無	1	68.0	2.0							1	
I219	心臓破裂	有	1	76.0	25.0							1	
I219	非S T上昇型心筋梗塞	有	1	92.0	4.0								1
I233	急性心筋梗塞後心破裂	有	1	72.0	21.0							1	
I240	冠状動脈血栓症	有	2	71.0	7.5							2	
I249	急性冠症候群の疑い	無	1	73.0	2.0							1	
I251	冠状動脈狭窄症	有	1	86.0	22.0								1
I251	冠状動脈硬化症	有	1	70.0	26.0							1	
I252	陳旧性下壁心筋梗塞	無	1	84.0	3.0								1
I252	陳旧性心筋梗塞	無	41	67.7	3.5						13	22	6
I252	陳旧性心筋梗塞の疑い	無	1	83.0	3.0								1
I252	陳旧性前壁心筋梗塞	無	3	70.3	3.0							2	1
I252	陳旧性前壁中隔心筋梗塞	無	2	70.5	3.0							2	
I255	虚血性心筋症	有	9	64.0	10.8						4	3	2
		無	7	63.4	5.3						3	3	1
I255	心筋虚血	有	2	80.0	3.0								2
		無	1	71.0	3.0							1	
I256	無症候性心筋虚血	有	9	73.9	4.6						1	5	3
		無	6	73.5	3.0						1	3	2
I256	無症候性心筋虚血の疑い	無	1	80.0	3.0								1
I260	急性肺性心	無	1	87.0	2.0								1
I269	肺血栓塞栓症	有	1	73.0	15.0							1	
		無	2	65.5	6.5								1
I269	肺塞栓症	有	1	81.0	26.0					1			1
		無	1	60.0	10.0						1		
I269	肺動脈血栓塞栓症	無	1	22.0	5.0					1			
I270	肺高血圧症	無	2	75.0	2.0							2	
I272	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	無	1	84.0	25.0								1
I279	慢性肺性心	無	1	84.0	7.0								1
I309	急性心膜炎	無	2	62.0	10.0						1	1	
I311	収縮性心膜炎	無	2	78.0	4.5							2	
I319	心タンポナーデ	有	1	88.0	1.0								1
		無	1	58.0	3.0						1		
I319	心膜液貯留	無	3	79.7	3.7							2	1
I330	感染性心内膜炎	有	3	78.7	40.3							1	2
I330	急性感染性心内膜炎	有	1	99.0	30.0								1
I340	僧帽弁逆流症	無	2	81.5	16.5							1	1
I340	僧帽弁閉鎖不全症	有	19	77.0	17.0					1	1	6	11
		無	11	85.0	10.3							2	9
I350	大動脈弁狭窄症	有	51	84.9	20.1							14	37
		無	31	82.8	5.4							8	23
I351	大動脈弁逆流症	有	1	72.0	21.0							1	
		無	1	75.0	10.0							1	
I351	大動脈弁閉鎖不全症	有	1	74.0	23.0							1	
		無	1	77.0	3.0							1	
I352	大動脈弁狭窄兼閉鎖不全症	有	1	49.0	18.0						1		
I358	大動脈弁輪拡張症	有	2	49.0	23.0					1	1		
		無	2	69.5	4.0						1		1
I420	拡張型心筋症	無	2	61.0	9.0						1	1	
I420	特発性拡張型心筋症	有	2	62.5	173.5							2	
		無	1	62.0	17.0							1	
I421	閉塞性肥大型心筋症	無	1	86.0	23.0								1
I422	肥大型心筋症	無	2	68.0	3.0							2	
I441	モビッツ2型第2度房室ブロック	有	1	67.0	8.0							1	
I441	高度房室ブロック	有	11	81.5	10.0							2	9
		有	2	77.0	8.5							1	1
I441	第2度房室ブロック	無	1	69.0	3.0							1	
I442	完全房室ブロック	有	17	84.2	14.1						2		15
I442	第3度房室ブロック	有	1	88.0	9.0								1
I443	間欠性房室ブロックの疑い	有	1	93.0	2.0								1
I443	房室ブロック	有	1	72.0	8.0							1	
I456	WPW症候群	有	1	17.0	4.0								
I458	QT延長症候群	有	1	32.0	6.0				1				
I460	心肺停止後蘇生に成功した心停止	無	1	86.0	1.0								1
I460	蘇生に成功した心停止	有	2	56.0	3.5						1	1	
		無	4	84.0	1.3							1	3

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインディケータ

退院患者数

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
I469	心肺停止	有	1	104.0	1.0									1
		無	2	85.0	1.0									2
I469	来院時心肺停止	有	8	71.3	1.0							8		
		無	57	76.3	1.0	1				1	8	15	32	
I471	上室頻拍	無	1	83.0	3.0									1
I471	心房頻拍	無	1	76.0	16.0								1	
I471	発作性上室頻拍	有	6	69.7	4.0						2	2	2	
		無	1	55.0	2.0						1			
I471	発作性上室頻拍の疑い	有	1	27.0	2.0				1					
I472	持続性心室頻拍	有	1	72.0	8.0							1		
		無	1	43.0	9.0						1			
I472	心室頻拍	有	1	60.0	6.0						1			
I472	非持続性心室頻拍	有	1	64.0	7.0								1	
		無	2	72.0	11.5								2	
I480	発作性心房細動	有	1	82.0	6.0									1
		無	2	73.0	20.0								2	
I480	発作性頻脈性心房細動	無	3	77.7	4.7							1	2	
		有	2	71.0	21.0							2		
I480	非弁膜症性発作性心房細動	無	1	68.0	4.0							1		
I481	非弁膜症性持続性心房細動	有	3	76.0	5.7							2	1	
I482	慢性心房細動	無	1	84.0	9.0									1
I489	一過性心房粗動	有	1	79.0	4.0								1	
I489	徐脈性心房細動	有	2	83.5	10.0								1	1
		無	1	82.0	7.0									1
I489	心房粗動	有	2	62.5	7.5					1	1			
I489	非弁膜症性心房細動	有	10	77.4	12.3							5	5	
I489	頻脈性心房細動	無	2	89.5	16.0									2
I490	トルサードポアント	無	1	49.0	8.0						1			
I490	ブルガダ症候群	有	1	61.0	25.0								1	
I490	心室細動	有	3	53.7	30.3						3			
I493	心室期外収縮	有	1	70.0	2.0								1	
		無	1	70.0	3.0								1	
I495	洞不全症候群	有	22	79.8	7.4						1	7	14	
		無	2	86.0	2.5									2
I495	洞不全症候群の疑い	有	3	75.0	2.0							2	1	
I499	不整脈の疑い	有	1	75.0	3.0								1	
I500	うっ血性心不全	有	19	82.7	21.8							7	12	
		無	98	80.5	12.4				1	5	30	62		
I500	右心不全	無	3	86.0	15.7									3
I500	慢性うっ血性心不全	有	5	82.0	18.6							2	3	
		無	20	82.2	12.1					1	5	14		
I501	心原性肺水腫	無	1	78.0	8.0								1	
I513	心室内血栓症	有	1	65.0	13.0								1	
I518	たこつぼ型心筋症	無	3	84.3	7.7									3
I600	I C - P C 動脈瘤破裂によるくも膜下出血	有	2	65.0	30.0						1	1		
I600	内頸動脈瘤破裂によるくも膜下出血後遺症	無	1	22.0	3.0					1				
I601	中大脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血	有	4	63.5	19.3						3			1
I602	前交通動脈瘤破裂によるくも膜下出血	有	8	58.8	18.8				1		4	3		
I604	脳底動脈瘤破裂によるくも膜下出血	有	3	57.3	17.0					1			2	
I605	椎骨動脈瘤破裂によるくも膜下出血	有	1	66.0	62.0								1	
I605	破裂性椎骨動脈解離によるくも膜下出血	有	1	63.0	15.0								1	
I606	前大脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血	無	1	91.0	2.0									1
I607	頭蓋内動脈瘤破裂によるくも膜下出血	無	1	89.0	2.0									1
I608	後下小脳動脈からのくも膜下出血	有	1	37.0	23.0					1				
I609	くも膜下出血	有	2	69.0	15.0						1			1
		無	1	79.0	15.0								1	
I609	特発性くも膜下出血	無	2	76.5	11.0								1	1
I610	視床出血	有	1	75.0	29.0								1	
		無	16	73.1	20.8						3	8	5	
I610	脳皮質下出血	有	10	70.2	32.5						3	4	3	
		無	18	76.9	14.7					1	2	4	11	
I610	被殻出血	有	2	74.0	16.0								2	
		無	28	68.3	15.2						10	12	6	
I610	尾状核出血	有	1	79.0	23.0								1	
I613	橋出血	無	4	74.5	10.5						1	1	2	
I613	脳幹部出血	無	1	47.0	19.0						1			
I614	小脳出血	有	4	81.0	26.5							2	2	
		無	8	74.9	10.1						1	4	3	
I615	脳室内出血	有	2	60.0	19.0					1				1
I616	多発限局性脳内出血	無	1	66.0	11.0								1	
I620	非外傷性慢性硬膜下血腫	有	1	69.0	8.0								1	
I620	慢性硬膜下血腫	有	3	68.0	28.3						1	2		
I633	アテローム血栓性脳梗塞	有	4	72.8	16.3						1	2	1	
		無	31	76.7	13.9						2	14	15	
I633	アテローム血栓性脳梗塞・急性期	有	8	74.3	22.3							5	3	
		無	45	72.3	13.6					1	7	23	14	
I633	アテローム血栓性脳梗塞の疑い	無	1	76.0	5.0								1	
I634	奇異性脳塞栓症	有	1	71.0	10.0									1

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインディケータ

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
I634	塞栓性脳梗塞	有	1	81.0	14.0									1
I634	心原性脳塞栓症	有	29	77.8	20.6					1	3		9	16
I634	心原性脳塞栓症の再発	無	44	83.7	15.8							16		28
I634	小脳梗塞	有	2	87.5	22.5									2
I635	小脳梗塞	有	1	64.0	3.0								1	
I636	静脈性脳梗塞	有	1	72.0	19.0								1	
I638	ラクナ梗塞	無	14	76.2	12.3						3	6		5
I638	出血性脳梗塞	無	1	65.0	10.0								1	
I638	多発性ラクナ梗塞	無	1	70.0	19.0								1	
I638	多発性脳梗塞	有	1	46.0	21.0						1			
I638	多発性脳梗塞	無	13	79.2	21.4						1	5		7
I639	トルソー症候群による脳梗塞	有	1	68.0	13.0								1	
I639	脳梗塞の疑い	無	3	77.0	16.3								2	1
I639	脳梗塞の疑い	無	2	82.5	3.5								1	1
I651	脳底動脈閉塞症	無	1	70.0	5.0								1	
I652	頸部内頸動脈狭窄症	無	1	80.0	2.0									1
I652	内頸動脈狭窄症	有	7	75.3	7.7								4	3
I652	内頸動脈狭窄症	無	9	72.8	6.6						1	7		1
I670	椎骨動脈解離性動脈瘤	無	2	61.5	5.5							1		1
I671	硬膜動静脈瘻	有	1	58.0	29.0							1		
I671	硬膜動静脈瘻の疑い	無	1	79.0	2.0								1	
I671	前交通動脈瘤	無	3	68.7	2.3						1	1		1
I671	多発性脳動脈瘤	無	2	48.0	2.0						2			
I671	中大脳動脈瘤	有	1	65.0	9.0								1	
I671	中大脳動脈瘤	無	1	65.0	2.0								1	
I671	未破裂脳動脈瘤	有	4	53.3	11.5					1	2	1		
I671	未破裂脳動脈瘤	無	6	59.5	2.0						3	3		
I671	未破裂脳動脈瘤の術後	無	1	58.0	2.0						1			
I675	もやもや病	無	3	43.3	4.0						3			
I675	成人もやもや病	無	1	42.0	2.0						1			
I693	脳梗塞後遺症	有	2	81.0	6.5								1	1
I7020	下肢閉塞性動脈硬化症	有	51	72.5	7.6						5	35		11
I7020	下肢閉塞性動脈硬化症	無	13	75.6	5.9						1	6		6
I7021	下肢閉塞性動脈硬化症・壊疽あり	無	1	93.0	14.0									1
I710	解離性胸部大動脈瘤	有	1	85.0	45.0									1
I710	解離性胸部大動脈瘤	無	6	70.7	9.0						1	5		
I710	解離性大動脈瘤	有	2	81.5	25.0								1	1
I710	解離性大動脈瘤	無	1	84.0	3.0									1
I710	急性大動脈解離	有	1	94.0	24.0									1
I710	急性大動脈解離DeBakey I	有	1	56.0	89.0							1		
I710	急性大動脈解離Stanford A	有	13	68.2	30.0						3	9		1
I710	急性大動脈解離Stanford A	無	2	78.5	21.5								1	1
I710	急性大動脈解離Stanford B	有	2	85.5	31.0									2
I710	急性大動脈解離Stanford B	無	9	74.6	19.6						2	3		4
I710	早期血栓閉鎖型大動脈解離	有	1	73.0	13.0								1	
I710	早期血栓閉鎖型大動脈解離	無	1	73.0	10.0								1	
I711	胸部大動脈瘤破裂	有	2	74.5	15.5								1	1
I711	胸部大動脈瘤破裂	無	1	85.0	32.0									1
I712	下行胸部大動脈瘤	有	2	71.0	10.0								2	
I712	感染性胸部大動脈瘤	有	1	81.0	15.0									1
I712	胸部大動脈瘤	有	23	76.9	18.4						1	13		9
I712	胸部大動脈瘤	無	11	74.5	2.8								9	2
I712	胸部大動脈瘤切迫破裂	有	3	77.3	47.0								2	1
I712	胸部大動脈瘤切迫破裂	無	2	83.5	6.5									2
I713	腹部大動脈瘤破裂	有	1	88.0	1.0									1
I714	腹部大動脈瘤	有	41	77.3	17.0						3	18		20
I714	腹部大動脈瘤	無	11	75.5	4.4						1	7		3
I714	腹部大動脈瘤切迫破裂	有	3	72.7	14.0						1	1		1
I716	胸腹部大動脈瘤	有	1	73.0	13.0								1	
I716	胸腹部大動脈瘤	無	1	73.0	3.0								1	
I721	橈骨動脈瘤	有	3	76.0	6.0								2	1
I722	腎動脈瘤	無	1	72.0	3.0								1	
I723	総腸骨動脈瘤	有	5	78.4	13.6								1	4
I723	総腸骨動脈瘤	無	2	60.0	5.0						1	1		
I723	腸骨動脈瘤	有	5	81.2	16.2								2	3
I723	腸骨動脈瘤	無	2	78.0	3.0								1	1
I723	破裂性腸骨動脈瘤	有	1	80.0	24.0									1
I724	膝窩動脈瘤	有	1	79.0	15.0								1	
I725	脳底動脈瘤	無	3	63.3	2.0						1	2		
I726	椎骨動脈瘤	有	1	55.0	6.0							1		
I726	椎骨動脈瘤	無	2	64.0	2.0						1	1		
I726	未破裂椎骨動脈解離	無	2	52.0	4.0						1		1	
I728	胃仮性動脈瘤	有	1	71.0	33.0					1				
I728	胃十二指腸動脈瘤	有	1	70.0	5.0								1	
I728	鎖骨下動脈瘤	有	2	59.5	24.5						2			
I728	腹腔動脈瘤	有	1	53.0	18.0						1			
I740	腹部大動脈塞栓症	有	1	73.0	21.0									1

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインデキータ

退院患者数

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
I743	下肢急性動脈閉塞症	有	13	74.2	22.4							9	4
I743	下肢慢性動脈閉塞症	有	1	67.0	3.0							1	
I771	外腸骨動脈狭窄	有	1	79.0	3.0							1	
I772	大動脈十二指腸瘻	有	1	85.0	3.0								1
I772	大動脈食道瘻	有	2	86.0	36.5								2
I802	下肢静脈血栓症	有	2	65.5	5.5							2	
I809	頸部血栓性静脈炎	有	1	83.0	9.0								1
I809	血栓性静脈炎	無	1	58.0	3.0						1		
I828	上肢静脈血栓症	無	1	39.0	10.0					1			
I830	下肢静脈瘤性潰瘍	有	2	77.0	3.5							1	1
I831	下腿うっ滞性皮膚炎	無	2	64.5	20.0						1	1	
I831	静脈瘤性皮膚炎	有	1	76.0	7.0							1	
I839	下肢静脈瘤	有	1	76.0	3.0							1	
I850	食道静脈瘤出血	有	2	58.0	7.5						1	1	
I850	食道静脈瘤破裂	有	3	61.0	13.0						1	2	
I859	食道静脈瘤	有	1	84.0	18.0								1
I861	精索静脈瘤	有	1	14.0	3.0				1				
I880	腸間膜リンパ節炎	無	2	12.0	7.0				2				
I898	先天性乳び胸	無	1	0.0	37.0	1							
I952	薬剤性低血圧症	無	1	88.0	1.0								1
1982	アルコール性肝硬変に伴う食道静脈瘤	有	4	67.8	14.5						1	3	
1982	肝硬変に伴う食道静脈瘤	有	2	72.0	20.5							2	
1983	肝硬変に伴う食道静脈瘤出血	有	1	76.0	10.0							1	
J018	複数洞急性副鼻腔炎	無	1	48.0	5.0						1		
J019	急性副鼻腔炎	無	1	30.0	6.0					1			
J020	連鎖球菌性咽頭炎	無	2	23.5	4.5						1		
J028	アデノウイルス咽頭炎	無	2	1.5	4.0	2							
J029	咽頭炎	無	1	4.0	3.0								
J039	急性アデノイド扁桃炎	有	1	39.0	14.0					1			
J039	急性化膿性扁桃炎	有	1	2.0	3.0	1							
J039	急性扁桃炎	有	1	46.0	8.0						1		
J039	慢性扁桃炎	無	1	87.0	6.0								1
J039	習慣性扁桃炎	有	3	31.7	7.7					3			
J040	急性声門下喉頭炎	無	1	0.0	2.0	1							
J051	急性喉頭蓋炎	無	6	62.8	5.0						3	3	
J068	咽頭扁桃炎	無	1	11.0	3.0				1				
J069	急性上気道炎	無	16	2.6	4.0	10	5		1				
J121	R S ウイルス肺炎	無	14	1.1	6.6	14							
J13	肺炎球菌肺炎	無	2	73.0	18.5							1	1
J155	大腸菌肺炎	無	1	84.0	14.0								1
J159	細菌性肺炎	有	6	81.5	18.5							3	3
J173	ニューモシスチス肺炎	無	52	78.4	12.8						3	22	26
J173	ニューモシスチス肺炎	無	1	73.0	33.0							1	
J180	気管支肺炎	無	2	69.0	13.0						1	1	
J189	急性肺炎	有	2	38.5	14.5	1						1	
J189	小児肺炎	無	8	27.6	9.1	5					1	1	1
J189	非定型肺炎	無	1	2.0	6.0	1							
J205	R S ウイルス気管支炎	無	1	30.0	3.0					1			
J205	R S ウイルス気管支炎	無	63	0.9	5.0	56	7						
J208	ウイルス性気管支炎	無	1	0.0	10.0	1							
J209	クループ性気管支炎	無	3	2.7	3.3	2	1						
J209	急性気管支炎	無	38	3.7	4.8	30	2	3	1	2			
J210	R S ウイルス細気管支炎	無	31	1.0	5.6	28	2	1					
J219	急性細気管支炎	無	1	0.0	7.0	1							
J303	通年性アレルギー性鼻炎	有	5	28.4	5.4				1	3	1		
J304	アレルギー性鼻炎	有	4	38.3	6.0					2	2		
J324	汎副鼻腔炎	有	17	59.3	5.4					2	8	6	1
J328	好酸球性副鼻腔炎	有	1	70.0	6.0							1	
J328	複数洞慢性副鼻腔炎	有	27	61.9	6.0				2	1	8	13	3
J341	術後性上顎のう胞	無	2	74.0	3.5							2	
J341	術後性上顎のう胞	有	1	36.0	7.0					1			
J341	篩骨前頭洞のう胞	有	1	93.0	5.0								1
J342	鼻中隔彎曲症	有	1	47.0	5.0						1		
J350	慢性扁桃炎	有	12	25.8	9.3				1	2	8	1	
J350	扁桃病巣感染症	有	1	41.0	9.0							1	
J351	扁桃肥大	有	4	5.8	9.5				3	1			
J352	アデノイド肥大	有	1	7.0	5.0				1				
J36	扁桃周囲膿瘍	有	3	14.3	10.0				1	2			
J36	扁桃周囲膿瘍	無	5	61.2	6.4						1	1	3
J381	声帯ポリープ	有	5	55.4	4.0						3	2	
J384	喉頭浮腫	有	1	86.0	5.0								1
J387	喉頭蓋のう胞	無	1	67.0	5.0							1	
J390	深頸部膿瘍	有	3	60.7	18.0				1				2
J398	気管内肉芽腫	有	4	0.5	3.5	4							
J398	気管内肉芽腫	無	1	0.0	3.0	1							

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインディケータ

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
J432	中心小葉性肺気腫	有	1	60.0	6.0						1		
J441	慢性閉塞性肺炎患の急性増悪	無	4	80.3	6.0							2	2
J450	小児喘息	無	4	8.3	5.5		1	3					
J450	小児喘息性気管支炎	無	2	1.0	6.0	2							
J459	気管支喘息	無	5	4.4	4.2		3	2					
J46	気管支喘息発作	無	21	14.1	5.8	5	7	3		4	1	1	
J47	気管支拡張症	有	1	84.0	4.0								1
J690	誤嚥性肺炎	有	15	70.7	32.4					2		9	4
J690	誤嚥性肺炎の疑い	無	71	70.4	15.3	8				4	3	15	41
J700	放射線肺炎	無	1	84.0	1.0								1
J700	放射線肺炎	無	2	74.0	29.0							2	
J704	薬剤性間質性肺炎	無	3	64.3	27.0						2		1
J80	急性呼吸窮迫症候群	有	2	81.0	26.5							1	1
J80	急性呼吸窮迫症候群	無	3	81.3	8.0							2	1
J82	好酸球性肺炎	無	1	69.0	10.0							1	
J82	慢性好酸球性肺炎	有	1	73.0	8.0							1	
J82	慢性好酸球性肺炎	無	1	91.0	11.0								1
J840	自己免疫性肺胞蛋白症	無	3	41.3	15.0						3		
J841	びまん性間質性肺炎	有	1	82.0	39.0								1
J841	びまん性間質性肺炎	無	24	70.2	16.9				2		4	10	8
J841	びまん性間質性肺炎の疑い	無	1	43.0	2.0						1		
J841	急性間質性肺炎	有	1	76.0	91.0							1	
J841	急性間質性肺炎	無	6	66.2	20.2						1	4	1
J841	特発性肺線維症	無	3	76.3	6.0							3	
J848	器質性肺炎	無	1	88.0	9.0								1
J849	間質性肺炎	有	1	84.0	90.0								1
J851	肺炎合併肺膿瘍の術後	無	1	83.0	36.0								1
J852	肺化膿症	無	3	78.3	10.3							2	1
J860	気管支癒膿胸	有	1	77.0	23.0							1	
J860	胸膜癒	有	1	77.0	204.0							1	
J860	胸膜癒	無	1	82.0	14.0								1
J869	急性膿胸	有	2	48.5	16.0				1			1	
J869	急性膿胸	無	2	77.0	14.5							1	1
J869	膿胸	無	2	69.5	11.0							2	
J869	慢性膿胸	無	1	76.0	22.0							1	
J90	胸水貯留	無	5	87.8	11.0							1	4
J90	細菌性胸膜炎	無	4	60.3	7.5						2	2	
J930	緊張性気胸	有	1	79.0	27.0							1	
J931	自然気胸	有	7	28.0	9.4			2	4	1			
J931	自然気胸	無	2	36.5	4.5			1		1			
J938	続発性気胸	有	4	68.8	33.8					1	3		
J938	続発性気胸	無	3	59.7	11.0				1		2		
J950	気管切開部気道閉塞	有	1	55.0	7.0						1		
J958	喉頭摘出術後遺症	有	1	76.0	5.0							1	
J9600	急性1型呼吸不全	有	1	79.0	20.0							1	
J9600	急性1型呼吸不全	無	1	93.0	22.0								1
J9609	慢性呼吸不全	無	1	85.0	25.0								1
J9610	慢性1型呼吸不全	無	1	78.0	6.0							1	
J9611	慢性2型呼吸不全	無	1	35.0	15.0				1				
J9611	慢性2型呼吸不全の増悪	有	1	92.0	3.0								1
J984	感染性肺のう胞	有	1	43.0	21.0						1		
J988	気道狭窄	無	2	74.5	2.0							2	
J998	肺アミロイドーシスの疑い	無	1	68.0	2.0							1	
K006	萌出異常	有	1	13.0	4.0								
K011	過剰埋伏歯	有	3	22.0	3.7			2			1		
K011	上顎正中過剰埋伏歯	有	1	7.0	3.0			1					
K011	正中過剰埋伏歯	有	2	6.5	3.0								
K011	埋伏歯	有	3	12.0	3.3								
K011	埋伏智歯	有	1	69.0	7.0							1	
K045	根尖性歯周炎	有	5	60.8	4.2			1			1	1	2
K045	根尖性歯周炎	無	1	6.0	2.0			1					
K048	歯根のう胞	有	12	51.3	5.1			2	2	4	3		1
K052	歯肉膿瘍	無	1	7.0	3.0			1					
K053	慢性辺縁性歯周炎重度	有	1	92.0	4.0								1
K073	下顎水平埋伏智歯	有	13	44.9	3.4			1	4	6	1		1
K079	顎変形症	有	8	28.9	10.3			1	6	1			
K090	下顎骨腺性歯原性のう胞	有	1	38.0	7.0					1			
K090	下顎骨原性角化のう胞	有	1	68.0	9.0							1	
K090	含菌性のう胞	有	8	53.6	5.9				2	4	2		
K090	上顎骨原性角化のう胞	有	3	47.7	8.0				1	1	1		
K091	鼻口蓋管のう胞	有	3	41.7	6.0			1		1		1	
K092	歯根のう胞	有	1	69.0	9.0							1	
K100	下顎隆起	有	1	68.0	5.0							1	
K102	下顎骨骨髄炎	有	3	54.3	9.0				1	1			1
K102	下顎骨周囲膿瘍	有	5	67.6	8.0				1	1	1		2
K102	顎骨周囲膿瘍	無	1	44.0	4.0					1			
K102	顎骨腐骨	有	2	57.0	4.5						1	1	

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインデキータ

退院患者数

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
K102	骨吸収抑制薬関連顎骨壊死	有	1	88.0	11.0									1
K102	骨吸収抑制薬関連顎骨壊死	有	14	78.5	13.3							9		5
K113	顎下腺膿瘍	無	1	82.0	8.0									1
K113	耳下腺膿瘍	無	1	44.0	6.0						1			
K115	顎下腺唾石症	有	2	68.5	5.5						1	1		
K121	潰瘍性口内炎	無	1	51.0	8.0						1			
K122	顎下部膿瘍	有	2	70.0	18.0						1			1
K122	顎下部膿瘍	無	1	31.0	3.0					1				
K122	口腔底膿瘍	無	1	62.0	8.0							1		
K122	口腔底蜂巣炎	有	1	61.0	11.0							1		
K132	舌白板症	有	1	72.0	18.0							1		
K20	腐食性食道炎	無	1	75.0	27.0							1		
K210	維持療法の必要な難治性逆流性食道炎	有	1	86.0	3.0									1
K210	逆流性食道炎	有	2	75.0	5.5								1	1
K210	逆流性食道炎	無	1	13.0	2.0			1						
K210	難治性逆流性食道炎	有	1	76.0	8.0							1		
K219	胃食道逆流症	有	1	6.0	17.0			1						
K222	食道狭窄	有	1	63.0	2.0								1	
K224	びまん性食道痙攣	有	1	87.0	4.0									1
K226	マロリ・ワイス症候群	有	2	64.0	6.0					1				1
K226	マロリ・ワイス症候群	無	2	64.5	10.0					1				1
K250	急性出血性胃潰瘍	有	17	72.9	11.7						3	10		4
K250	急性出血性胃潰瘍	無	1	47.0	3.0						1			
K251	急性胃潰瘍穿孔	有	1	96.0	22.0									1
K253	急性胃潰瘍	無	1	86.0	12.0									1
K255	穿孔性胃潰瘍	有	1	86.0	25.0									1
K260	急性出血性十二指腸潰瘍	有	8	76.9	9.5								6	2
K260	急性出血性十二指腸潰瘍	有	2	59.5	20.0						1	1		
K261	急性十二指腸潰瘍穿孔	無	1	67.0	19.0								1	
K263	急性十二指腸潰瘍	無	1	28.0	4.0					1				
K280	急性出血性吻合部潰瘍	有	2	65.0	5.0								2	
K284	出血性吻合部潰瘍	有	3	65.7	13.3						1		2	
K291	急性びらん性胃炎	有	1	74.0	7.0								1	
K311	術後幽門狭窄	有	1	75.0	2.0								1	
K315	十二指腸狭窄症	有	1	89.0	12.0									1
K315	上腸間膜動脈症候群	無	1	19.0	4.0				1					
K315	上腸間膜動脈症候群の疑い	無	1	11.0	2.0			1						
K317	胃ポリープ	有	1	93.0	2.0									1
K317	胃過形成ポリープ	有	5	76.8	4.2								3	2
K317	出血性胃底腺ポリープ	有	1	77.0	7.0								1	
K318	胃軸捻症	無	1	84.0	14.0									1
K318	胃前庭部毛細血管拡張症	有	8	78.6	8.1								3	5
K352	虫垂炎性汎発性腹膜炎	有	1	43.0	7.0						1			
K353	急性穿孔性虫垂炎	有	8	49.9	12.4			1		1	3	2		1
K353	虫垂炎性腹膜炎	有	1	70.0	6.0								1	
K353	虫垂周囲膿瘍	有	5	24.8	9.8			2	1	2				
K358	急性化膿性虫垂炎	有	2	20.5	4.5			1		1				
K358	急性壊死性虫垂炎	無	1	11.0	4.0			1						
K358	急性壊疽性虫垂炎	有	2	8.0	8.0			2						
K358	急性虫垂炎	有	1	25.0	7.0					1				
K358	急性虫垂炎	無	24	44.9	4.8			3	1	6	7	6		1
K358	急性虫垂炎	有	10	30.9	5.3			5	1	1	1	2		
K358	急性虫垂炎の疑い	無	1	14.0	2.0			1						
K36	慢性虫垂炎	有	2	33.0	4.5			1			1			
K37	虫垂炎の疑い	無	1	92.0	2.0									1
K402	両側外単径ヘルニア	有	3	82.0	6.3								1	2
K402	両側内単径ヘルニア	有	2	80.0	4.0								1	1
K402	両側単径ヘルニア	有	10	28.9	3.8	2	3	1			2	1		1
K402	両側単径ヘルニア	無	1	4.0	2.0									
K403	絞扼性単径ヘルニア	有	1	86.0	4.0									1
K403	単径ヘルニア嵌頓	有	5	58.2	5.0			1				1		2
K403	単径ヘルニア嵌頓	無	1	86.0	10.0									1
K409	外単径ヘルニア	有	14	70.5	4.1					1	2	6		5
K409	再発性単径ヘルニア	有	1	61.0	4.0								1	
K409	内単径ヘルニア	有	2	75.5	4.5								1	1
K409	単径ヘルニア	有	57	32.8	3.5	15	7	11			3	14		7
K413	絞扼性大腿ヘルニア	有	1	90.0	9.0									1
K413	大腿ヘルニア嵌頓	有	5	81.6	11.8								3	2
K419	大腿ヘルニア	有	4	84.5	6.3								1	3
K420	絞扼性臍ヘルニア	有	1	80.0	10.0									1
K429	臍ヘルニア	有	18	1.6	3.0	17		1						
K429	臍ヘルニア	無	1	2.0	2.0	1								
K430	絞扼性腹壁癒痕ヘルニア	有	1	67.0	8.0								1	
K430	嵌頓性腹壁癒痕ヘルニア	有	1	83.0	5.0									1
K430	嵌頓性腹壁癒痕ヘルニア	無	2	78.5	5.5								1	1
K432	腹壁癒痕ヘルニア	有	11	70.6	10.8						3	5		3
K432	腹壁癒痕ヘルニア	無	1	72.0	6.0								1	

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインディケータ

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
K433	非還納性傍ストーマヘルニア	有	1	92.0	8.0									1
K433	嵌頓性傍ストーマヘルニア	有	1	91.0	14.0									1
K435	傍ストーマヘルニア	有	2	78.0	10.5							1		1
K439	白線ヘルニア	有	1	1.0	3.0	1								
K449	横隔膜ヘルニア	有	1	0.0	5.0	1								
K449	術後食道裂孔ヘルニア	有	1	34.0	8.0					1				
K449	食道裂孔ヘルニア	有	1	81.0	8.0									1
K450	絞扼性閉鎖孔ヘルニア	有	1	88.0	2.0									1
K450	絞扼性閉鎖孔ヘルニア	有	2	91.5	16.0									2
K450	閉鎖孔ヘルニア嵌頓	有	1	81.0	15.0									1
K500	回腸クローン病	無	1	59.0	7.0						1			
K500	小腸クローン病	有	3	46.7	13.3					1	2			
K500	小腸クローン病	無	1	39.0	5.0					1				
K501	大腸クローン病	有	1	64.0	16.0							1		
K508	小腸大腸クローン病	有	1	43.0	80.0						1			
K508	小腸大腸クローン病	無	2	30.0	6.0					2				
K509	クローン病の疑い	無	2	13.0	3.5			2						
K510	潰瘍性大腸炎・全大腸炎型	有	5	48.0	21.2					2	2	1		
K510	潰瘍性大腸炎・全大腸炎型	無	2	27.0	26.5				1	1				
K515	潰瘍性大腸炎・左側大腸炎型	有	2	19.0	13.5				2					
K515	潰瘍性大腸炎・左側大腸炎型	無	2	28.5	15.5				1	1				
K519	潰瘍性大腸炎の疑い	無	2	8.5	2.5			1	1					
K520	放射線性腸炎	無	1	81.0	2.0									1
K521	薬剤性腸炎	無	1	78.0	8.0							1		
K522	食物蛋白誘発胃腸炎	無	5	0.6	3.2	5								
K529	術後盲腸炎	無	1	47.0	4.0						1			
K529	小腸炎	無	1	79.0	70.0							1		
K529	慢性大腸炎	無	1	85.0	16.0									1
K550	亜急性虚血性大腸炎	無	1	83.0	10.0									1
K550	急性虚血性大腸炎	有	3	82.3	24.7							1		2
K550	急性虚血性大腸炎	無	24	75.9	8.8					1	3	8	12	
K550	急性広範腸壊死	有	2	90.0	21.0									2
K550	急性小腸虚血	無	1	58.0	3.0						1			
K550	急性上腸間膜動脈閉塞症	有	3	77.0	51.0								3	
K550	腸壊死	無	1	74.0	1.0								1	
K550	非閉塞性腸間膜虚血	有	3	85.0	21.0									3
K560	麻痺性イレウス	有	2	40.0	32.5			1				1		
K560	麻痺性イレウス	無	6	23.0	8.7			1						
K560	麻痺性イレウスの再燃	無	4	19.5	3.3			4						
K561	小腸重積症	有	2	1.5	5.5	2								
K561	小腸重積症	有	4	0.8	3.3	4								
K561	小腸重積症	無	1	2.0	2.0	1								
K562	S状結腸軸捻転	有	4	83.5	16.5								1	3
K562	S状結腸軸捻転	無	7	80.7	5.7								4	3
K562	絞扼性イレウス	有	24	81.0	17.5					1		8	15	
K564	糞便充塞	無	1	73.0	5.0								1	
K564	糞便性イレウス	無	2	62.0	10.0						1		1	
K565	癒着性イレウス	有	10	82.4	21.7						1	2	7	
K565	癒着性イレウス	無	18	62.5	9.7			1			7	7	3	
K566	癌性イレウス	有	1	82.0	14.0									1
K566	癌性イレウス	無	1	68.0	6.0								1	
K566	機械的イレウス	有	2	64.5	11.0						1	1		
K567	イレウス	無	1	56.0	8.0						1			
K570	医原性十二指腸憩室穿孔	有	1	97.0	19.0									1
K571	十二指腸憩室出血	有	1	80.0	11.0									1
K572	S状結腸憩室穿孔	有	1	61.0	11.0								1	
K572	S状結腸憩室穿孔	有	1	41.0	11.0						1			
K573	S状結腸憩室	有	1	57.0	10.0							1		
K573	S状結腸憩室炎	有	2	82.0	14.5									2
K573	S状結腸憩室炎	無	3	61.7	7.3						2			1
K573	S状結腸憩室出血	有	9	79.6	8.7						2	1		6
K573	S状結腸憩室出血	無	3	87.3	12.7									3
K573	横行結腸憩室炎	有	1	80.0	10.0									1
K573	横行結腸憩室出血	有	2	80.0	7.5									2
K573	下行結腸憩室出血	有	1	91.0	11.0									1
K573	回盲部憩室炎	有	1	58.0	5.0						1			
K573	結腸憩室炎	無	1	44.0	5.0						1			
K573	出血性盲腸憩室	有	1	74.0	7.0								1	
K573	上行結腸憩室炎	有	1	38.0	10.0						1			
K573	上行結腸憩室炎	無	10	49.2	5.9					4	3	2		1
K573	上行結腸憩室出血	有	15	71.9	6.9						3	10		2
K573	上行結腸憩室出血	無	1	52.0	4.0						1			
K573	大腸憩室出血	有	2	84.5	8.0									1
K573	大腸憩室出血の疑い	無	2	66.5	5.5								2	
K573	大腸憩室出血の疑い	有	1	73.0	6.0								1	
K580	下痢型過敏性腸症候群	無	1	72.0	8.0									1

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインデキータ

退院患者数

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
K589	過敏性腸症候群	無	1	48.0	8.0						1			
K590	重症便秘症	無	2	68.0	5.0							2		
K590	便秘症	無	1	74.0	7.0							1		
K591	機能的下痢	有	1	72.0	8.0							1		
K603	痔瘻	有	1	83.0	13.0									1
K610	肛門周囲膿瘍	有	1	75.0	7.0							1		
K621	直腸ポリープ	有	2	81.5	7.0									2
K623	直腸脱	有	8	84.4	10.0							2		6
K624	直腸狭窄	有	1	93.0	6.0									1
K625	直腸出血	有	1	71.0	10.0						1			
K626	出血性直腸潰瘍	有	1	34.0	1.0					1				
K626	直腸潰瘍	有	1	65.0	3.0							1		
K627	放射線直腸炎	有	5	78.4	11.4							3		2
K631	S状結腸穿孔	有	1	81.0	12.0									1
K631	S状結腸穿孔	有	1	90.0	5.0							1		
K631	S状結腸穿孔	無	1	57.0	16.0						1			
K631	S状結腸穿孔	無	1	57.0	2.0						1			
K631	小腸穿孔	有	3	83.7	29.0							1		2
K631	直腸穿孔	有	2	77.0	13.5							2		
K633	S状結腸潰瘍	有	1	92.0	18.0									1
K633	宿便性潰瘍	有	1	85.0	11.0									1
K635	S状結腸ポリープ	有	2	79.0	2.5							1		1
K635	上行結腸ポリープ	有	1	56.0	9.0						1			
K635	大腸ポリープ	有	10	68.4	3.8						2	8		
K649	出血性痔核	有	2	88.0	6.5									2
K650	横行結腸穿孔による汎発性腹膜炎	有	2	73.0	28.0								1	1
K650	急性汎発性腹膜炎	有	10	69.8	22.9						2	6		2
K650	急性腹膜炎	有	1	77.0	10.0							1		
K650	後腹膜膿瘍	有	2	52.5	75.0					1		1		
K650	穿孔性腹腔内膿瘍	有	1	72.0	32.0							1		
K650	穿孔性腹腔内膿瘍	無	1	72.0	10.0							1		
K650	穿孔性腹膜炎	有	1	47.0	46.0						1			
K650	穿孔性腹膜炎	無	1	59.0	9.0						1			
K650	腸腰筋膿瘍	有	2	72.5	34.0								2	
K650	腹腔骨盤部膿瘍	有	1	70.0	25.0								1	
K650	腹腔内膿瘍	有	3	68.3	18.3								3	
K658	細菌性腹膜炎	有	1	54.0	67.0						1			
K658	腸間膜脂肪織炎	有	1	76.0	2.0								1	
K661	後腹膜血腫	有	1	57.0	9.0						1			
K661	後腹膜血腫	有	2	60.0	10.5						1	1		
K661	後腹膜血腫	無	1	26.0	8.0					1				
K701	アルコール性肝炎	無	2	61.0	8.0						1	1		
K703	アルコール性肝硬変	無	3	69.7	14.0							3		
K703	非代償性アルコール性肝硬変	有	4	45.0	3.8						4			
K703	非代償性アルコール性肝硬変	無	1	45.0	1.0						1			
K704	急性アルコール性肝不全	無	1	58.0	5.0						1			
K709	アルコール性肝障害	無	1	40.0	9.0					1				
K710	肝内閉塞性黄疸	有	1	70.0	8.0							1		
K710	肝内閉塞性黄疸	無	1	70.0	5.0							1		
K719	薬物性肝障害	無	1	77.0	9.0							1		
K719	薬物性肝障害の疑い	無	2	63.5	3.5							2		
K720	急性肝不全	有	1	17.0	10.0				1					
K720	急性肝不全	無	1	54.0	2.0						1			
K729	肝性脳症	無	5	78.6	8.4							3		2
K746	C型肝炎	有	1	76.0	20.0							1		
K746	肝硬変症	有	1	68.0	3.0							1		
K746	肝硬変症	無	1	83.0	12.0									1
K746	非代償性肝硬変	有	1	73.0	35.0							1		
K750	化膿性肝膿瘍	有	5	77.0	26.4							4		1
K750	肝膿瘍	有	6	69.8	19.5						1	5		
K750	肝膿瘍	無	2	69.0	7.5							2		
K750	細菌性肝膿瘍	有	4	71.3	27.3							4		
K750	多発性肝膿瘍	有	1	62.0	21.0							1		
K750	胆管炎性肝膿瘍	有	1	81.0	15.0									1
K758	非アルコール性脂肪性肝炎	無	1	80.0	25.0									1
K760	脂肪肝	無	1	10.0	7.0			1						
K800	急性胆のう炎を伴う胆のう結石	有	8	79.8	9.5							4		4
K800	急性胆のう炎を伴う胆のう結石	無	2	72.5	5.0							1		1
K800	胆石性急性胆のう炎	有	22	71.2	7.8						6	7		9
K801	胆石性胆のう炎	有	16	65.1	7.7				1		4	10		1
K801	慢性胆のう炎を伴う胆のう結石	有	9	72.9	6.4							7		2
K802	胆のう結石症	有	48	62.6	5.0					6	14	22		6
K802	胆のう結石症	無	1	84.0	6.0									1
K802	胆石仙痛の疑い	有	1	61.0	2.0							1		
K803	肝内結石性胆管炎	有	3	86.0	18.3							1		2
K803	肝内結石性胆管炎	無	1	79.0	6.0							1		
K803	総胆管結石を伴う急性閉塞性化膿性胆管炎	有	5	79.0	15.4							3		2

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインディケータ

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
K803	総胆管結石性胆管炎	有	113	76.0	9.4					1	15	50	47
		無	6	77.0	6.7							4	2
K803	胆管炎を伴う総胆管結石	有	2	77.0	7.5						1		1
K803	胆管結石性胆管炎	有	1	91.0	15.0								1
K804	総胆管結石性胆のう炎	有	10	79.5	10.8						1	2	7
		無	1	90.0	3.0								1
K804	胆のう炎および胆管炎を伴う総胆管結石	有	2	64.0	11.0							2	
K805	肝内結石症	有	4	72.8	5.8							2	2
K805	総胆管結石	有	30	73.1	9.3					1	3	18	8
		無	1	76.0	5.0							1	
K810	黄色肉芽腫性胆嚢炎	有	1	79.0	9.0							1	
K810	壊疽性胆のう炎	有	1	72.0	6.0							1	
K810	急性気腫性胆のう炎	有	1	74.0	14.0							1	
K810	急性胆のう炎	有	10	78.7	10.6						1	5	4
		無	2	70.0	6.5							2	
K810	胆管胆のう炎	有	1	66.0	36.0							1	
K811	慢性胆のう炎	有	1	82.0	11.0								1
K823	胆のう十二指腸瘻	有	1	72.0	10.0							1	
K828	胆のうポリープ	有	4	68.8	5.0						1	2	1
K830	I g G 4関連硬化性胆管炎	無	1	82.0	4.0								1
K830	逆行性胆管炎	有	2	69.0	16.0						1		1
		無	7	28.4	6.1				4	1		1	1
K830	急性胆管炎	有	6	70.8	8.3						1	3	2
		無	20	48.4	6.0	2	5				1	9	3
K830	急性閉塞性化膿性胆管炎	有	1	90.0	14.0								1
		無	1	70.0	10.0							1	
K830	慢性胆管炎	有	1	79.0	13.0							1	
K831	肝内胆管狭窄	有	3	74.7	3.7							2	1
K831	総胆管狭窄症	有	2	71.5	8.5							1	1
K831	胆管狭窄症	有	4	58.8	2.0						4		
K831	胆汁うっ滞	有	1	73.0	3.0							1	
K831	閉塞性黄疸	有	4	75.3	6.5							2	2
K833	胆汁瘻	有	1	93.0	7.0								1
K838	肝外閉塞性黄疸	有	3	78.7	7.7							2	1
K850	特発性急性膵炎	有	2	70.5	41.5							2	
K851	胆石性膵炎	有	1	78.0	16.0							1	
		無	1	64.0	12.0							1	
K852	アルコール性急性膵炎	有	1	43.0	12.0						1		
		無	8	57.8	10.6						7	1	
K858	ERCP後膵炎	有	2	60.5	15.0						1	1	
K859	急性膵炎	有	1	94.0	59.0								1
		無	2	68.5	8.0							2	
K859	重症急性膵炎	無	1	59.0	10.0						1		
K859	慢性膵炎急性増悪	無	1	63.0	12.0							1	
K860	アルコール性慢性膵炎	2	59.0	11.0						2			
K861	1型自己免疫性膵炎	無	1	65.0	2.0							1	
K861	慢性膵炎	有	1	66.0	2.0							1	
K862	膵のう胞	無	2	71.5	2.0							2	
K863	化膿性膵のう胞	有	1	85.0	21.0								1
		無	6	61.7	21.5						1	5	
K863	仮性膵のう胞	有	1	51.0	30.0						1		
K868	膵管拡張	無	1	73.0	2.0							1	
K904	蛋白漏出性胃腸症	無	1	6.0	27.0			1					
K904	糖質不耐性吸収不良症	無	2	6.0	5.0			2					
K913	術後イレウス	有	10	68.1	17.5						3	7	
		無	18	69.3	9.8						3	13	2
K913	術後癒着性イレウス	有	7	70.7	11.6						2	3	2
		無	27	69.4	8.4					3	3	14	7
K918	胃瘻後期合併症	有	1	98.0	16.0								1
K918	術後食道狭窄	有	56	71.1	2.2						7	47	2
		無	4	79.0	2.3							2	2
K918	術後胆管炎	無	1	83.0	21.0								1
K918	術後胆管狭窄	有	4	72.5	7.5						1	3	
K918	胆管空腸吻合部狭窄の疑い	有	1	46.0	5.0						1		
K921	下血	有	1	71.0	16.0							1	
		無	1	3.0	3.0								
K922	胃出血	有	2	81.0	7.0								2
K922	下部消化管出血	有	4	70.5	9.8							4	
		無	3	48.0	6.0	1						2	
K922	小腸出血	有	2	58.5	10.0						1	1	
K922	小腸出血の疑い	有	1	92.0	5.0								1
		無	1	65.0	4.0							1	
K922	消化管出血	有	3	81.3	12.7							1	2
		無	1	7.0	5.0			1					
K922	消化管出血の疑い	有	2	72.0	9.5							1	1
K922	上部消化管出血	有	5	68.2	8.0					1	1		3
		無	1	72.0	2.0							1	

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインディケータ

退院患者数

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
L020	顔面膿瘍	無	2	45.0	7.5						2		
L020	頬部膿瘍	有	2	59.5	4.5					1			1
L021	頸部膿瘍	無	1	0.0	8.0	1							
L022	会陰部膿瘍	有	1	52.0	21.0						1		
L022	胸部膿瘍	有	1	1.0	9.0	1							
L022	腹部膿瘍	有	1	17.0	2.0			1					
L022	臍部膿瘍	有	2	53.0	6.0					1	1		
L022		無	1	65.0	5.0						1		
L023	殿部膿瘍	有	1	74.0	7.0							1	
L024	下腿膿瘍	有	1	66.0	58.0							1	
L029	膝窩部膿瘍	有	1	46.0	23.0						1		
L031	下肢蜂巣炎	無	2	72.0	8.5						1		1
L031	下腿蜂巣炎	無	1	77.0	13.0							1	
L031	手蜂巣炎	無	1	50.0	9.0						1		
L031	上腕蜂巣炎	無	1	61.0	8.0							1	
L031	前腕蜂巣炎	有	1	67.0	8.0							1	
L031	足蜂巣炎	有	1	77.0	29.0							1	
L031		無	2	81.0	11.0							1	1
L031	膝部蜂巣炎	無	1	12.0	5.0			1					
L032	下顎部蜂巣炎	無	1	11.0	4.0			1					
L032	頬部蜂巣炎	有	2	61.0	7.0					1	1		
L033	体幹蜂巣炎	無	1	73.0	15.0							1	
L039	下腿急性リンパ管炎	無	1	80.0	15.0								1
L040	頸部リンパ節炎	有	2	8.0	12.0			1	1				
L040		無	1	31.0	5.0					1			
L043	下肢の急性リンパ節炎	無	1	45.0	9.0						1		
L080	殿部慢性膿皮症	有	1	39.0	23.0					1			
L120	水疱性類天疱瘡	有	1	77.0	345.0							1	
L120		無	1	72.0	9.0							1	
L208	成人アトピー性皮膚炎	無	1	33.0	10.0					1			
L270	紅皮症型薬疹	無	1	64.0	9.0							1	
L270	全身薬疹	無	1	53.0	18.0						1		
L401	膿疱性乾癬	無	1	65.0	7.0							1	
L408	乾癬性紅皮症	無	1	77.0	12.0							1	
L511	ステイブンス・ジョンソン症候群	無	1	69.0	27.0							1	
L512	中毒性表皮壊死症	無	1	95.0	28.0								1
L518	多形滲出性紅斑	無	2	25.0	6.0			1			1		
L530	中毒性紅斑	無	1	92.0	13.0								1
L600	母趾陥入爪	有	1	55.0	7.0						1		
L720	顔面粉瘤	有	1	56.0	2.0						1		
L720	頸部アテローム	有	1	8.0	3.0			1					
L750	腋臭症	有	3	32.7	4.3			1		1	1		
L851	掌蹠角化症	無	1	93.0	11.0								1
L858	手背角化棘細胞腫	有	1	71.0	2.0							1	
L88	壊疽性膿皮症	有	1	71.0	753.0							1	
L892	褥瘡・ステージⅡⅢ	有	1	63.0	43.0							1	
L893	頭部褥瘡・ステージⅣ	有	1	76.0	59.0							1	
L893	褥瘡・ステージⅣ	有	3	71.7	92.7					1	1	1	
L905	下眼瞼癒痕拘縮	有	1	67.0	18.0							1	
L905	外陰部癒痕拘縮	有	1	38.0	7.0					1			
L905	顔面癒痕拘縮	有	1	11.0	3.0			1					
L905	口唇癒痕拘縮	有	1	11.0	3.0			1					
L905	上眼瞼癒痕拘縮	有	1	12.0	3.0			1					
L905	足癒痕拘縮	有	1	11.0	3.0			1					
L905	母趾屈筋癒痕拘縮	有	1	56.0	4.0					1			
L905	癒痕拘縮	有	1	20.0	3.0				1				
L910	肩部熱傷後癒痕ケロイド拘縮	有	1	67.0	15.0							1	
L97	下肢皮膚潰瘍	無	1	82.0	21.0								1
L97	下腿難治性皮膚潰瘍	有	1	76.0	39.0							1	
L97	足部難治性皮膚潰瘍	有	1	47.0	38.0						1		
L97	趾皮膚潰瘍	有	2	63.5	78.0						1	1	
L97	踵部皮膚潰瘍	有	1	70.0	60.0							1	
L984	1型糖尿病性潰瘍	有	1	54.0	47.0						1		
M0006	MRSA膝関節炎	有	2	72.0	30.5							2	
M0095	化膿性関節炎・股関節	有	1	70.0	82.0							1	
M0299	反応性関節障害	無	1	42.0	2.0						1		
M1121	肩関節偽痛風	無	1	91.0	10.0								1
M1126	膝関節偽痛風	無	4	85.5	17.0							1	3
M1128	頸椎偽痛風	無	1	83.0	6.0								1
M1229	足関節色素性絨毛結節性滑膜炎	有	1	58.0	43.0					1			
M1315	股関節炎	無	2	8.0	3.0			2					
M1315	恥骨結合炎	無	1	33.0	32.0					1			
M160	両側性原発性股関節症	有	2	61.5	14.5						1	1	
M160	両側性原発性変形性股関節症	有	1	78.0	14.0							1	
M161	一側性原発性股関節症	有	6	70.3	16.3							6	
M161	一側性原発性変形性股関節症	有	1	66.0	10.0							1	
M161	原発性股関節症	有	1	82.0	19.0								1

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインディケータ

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
M161	原発性変形性股関節症	有	4	83.8	18.8							1	3
M163	一側性形成不全性股関節症	有	2	78.0	17.0							2	
M163	一側性形成不全性変形性股関節症	有	2	54.0	32.5						2		
M163	形成不全性変形性股関節症	有	2	63.5	20.0							2	
M165	外傷後変形性股関節症	有	1	79.0	16.0							1	
M167	一側性続発性股関節症	有	1	55.0	12.0						1		
M167	一側性続発性変形性股関節症	有	2	60.0	15.0						2		
M170	両側性原発性膝関節症	有	7	76.3	17.3							3	4
M170	両側性変形性膝関節症	有	21	72.9	19.4						3	13	5
M170	両側性変形性膝関節症	無	1	57.0	1.0						1		
M171	一側性変形性膝関節症	有	4	75.3	19.5							4	
M171	変形性膝関節症	有	4	69.8	18.0							4	
M171	変形性膝関節症	無	1	51.0	23.0						1		
M173	外傷後変形性膝関節症	有	1	72.0	17.0							1	
M201	外反母趾	有	1	46.0	9.0						1		
M2167	足部変形	有	2	6.0	9.0	1		1					
M220	習慣性膝蓋骨脱臼	有	1	17.0	7.0				1				
M2333	外側半月板ロッキング	有	1	44.0	13.0						1		
M2336	外側半月板嵌頓	有	1	63.0	20.0							1	
M2349	膝関節内遊離体	有	2	66.0	3.5							2	
M2454	環指屈曲拘縮	有	1	63.0	23.0							1	
M2556	膝関節痛	無	1	89.0	15.0								1
M303	急性熱性皮膚リンパ節症候群	無	1	2.0	7.0		1						
M303	川崎病	無	17	1.8	9.4	12	5						
M303	川崎病の疑い	無	1	6.0	4.0			1					
M303	不全型川崎病	無	3	3.7	9.0		3						
M314	高安動脈炎	無	1	50.0	11.0					1			
M316	巨細胞動脈炎の疑い	無	1	67.0	12.0							1	
M317	顕微鏡的多発血管炎	無	1	75.0	45.0							1	
M318	A N C A関連血管炎の疑い	無	1	78.0	38.0							1	
M350	シェーグレン症候群	有	2	82.5	20.0								2
M353	リウマチ性多発筋痛	無	1	87.0	15.0								1
M4185	胸腰椎変性側弯症	有	1	80.0	14.0								1
M4185	胸腰椎変性側弯症	無	1	79.0	2.0							1	
M4316	腰椎すべり症	有	6	68.7	13.7							6	
M4316	腰椎すべり症	無	6	68.5	2.0							6	
M4316	腰椎分離すべり症	有	1	78.0	34.0							1	
M4316	腰椎変性すべり症	有	1	71.0	12.0							1	
M4316	腰椎変性すべり症	無	2	66.5	1.5							2	
M4636	腰椎化膿性椎間板炎	有	1	82.0	65.0								1
M4636	腰椎化膿性椎間板炎	無	1	84.0	25.0								1
M4654	胸椎化膿性脊椎炎	有	3	79.7	22.0						1	2	
M4654	胸椎化膿性脊椎炎	無	1	54.0	35.0					1			
M4656	腰椎化膿性脊椎炎	有	3	72.7	17.7							3	
M4656	腰椎化膿性脊椎炎	無	3	82.3	26.7					1			2
M4712	頸椎症性脊髄症	有	16	71.6	14.9					3	11	2	
M4712	頸椎症性脊髄症	無	15	68.9	2.1					4	10	1	
M4722	頸椎症性神経根症	有	1	56.0	16.0					1			
M4722	頸椎症性神経根症	無	3	60.3	2.0					2	1		
M4782	頸椎症	無	1	53.0	2.0					1			
M4786	変形性腰椎症	無	1	63.0	2.0							1	
M4800	広範脊柱管狭窄症	有	2	50.5	18.5					2			
M4800	広範脊柱管狭窄症	無	2	50.5	2.0					2			
M4806	腰部脊柱管狭窄症	有	80	71.0	16.5				1	11	49	19	
M4806	腰部脊柱管狭窄症	無	87	70.8	2.5					13	56	18	
M4854	胸椎圧迫骨折後偽関節による遅発性麻痺	有	3	81.3	22.3							1	2
M4856	偽関節による遅発性麻痺	有	1	83.0	22.0								1
M4856	胸椎圧迫骨折後偽関節による遅発性麻痺	有	3	74.0	21.0							3	
M4881	軸椎歯突起後方偽腫瘍	無	1	81.0	2.0								1
M4882	頸椎後縦靭帯骨化症	有	4	62.5	15.8					1	3		
M4882	頸椎後縦靭帯骨化症	無	5	61.4	2.6					2	3		
M4884	胸椎黄色靭帯骨化症	有	1	82.0	37.0								1
M4884	胸椎後縦靭帯骨化症	有	3	45.0	18.7				1	2			
M4884	胸椎後縦靭帯骨化症	無	3	45.0	2.0				1	2			
M502	頸椎椎間板ヘルニア	有	1	73.0	16.0							1	
M502	頸椎椎間板ヘルニア	無	2	60.0	2.0					1	1		
M511	腰部椎間板ヘルニアによる神経根症	有	1	61.0	10.0							1	
M511	腰部椎間板ヘルニアによる神経根症	無	3	67.3	3.0							3	
M512	腰椎椎間板ヘルニア	有	22	43.7	10.8				8	13	1		
M512	腰椎椎間板ヘルニア	無	12	49.7	2.3		1			10	1		
M512	第4・5腰椎椎間板ヘルニア	無	1	74.0	2.0							1	
M5446	腰痛坐骨神経痛症候群	有	1	50.0	6.0					1			
M5456	急性腰痛症	有	4	72.8	3.8				1		1	2	
M5456	腰殿部痛	無	1	70.0	6.0							1	
M6226	下腿コンパートメント症候群	無	1	47.0	8.0					1			
M6259	廃用症候群	無	1	91.0	20.0								1
M6289	横紋筋融解	無	9	63.9	12.3				2	2	2	2	3

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインデキータ

退院患者数

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
M6504	手化膿性腱鞘炎	有	2	62.5	12.5						1	1	
M6596	膝関節滑膜炎	有	11	45.4	4.1				1	3	5	2	
M678	膝関節滑膜ひだ障害	有	1	45.0	3.0						1		
M7265	会陰部フルニエ壊疽	有	1	62.0	41.0							1	
M7265	大腿壊死性筋膜炎	有	1	67.0	67.0							1	
M7266	下腿壊死性筋膜炎	有	2	72.5	30.5							2	
M7267	足部壊死性筋膜炎	有	2	72.5	27.5						1		1
M7269	壊死性筋膜炎	有	1	53.0	58.0						1		
M7269	胸部壊死性筋膜炎	有	1	81.0	104.0								1
M8098	骨粗鬆症・脊椎病的骨折あり	有	1	50.0	7.0						1		
M8403	橈骨骨折後変形治癒	有	1	57.0	7.0						1		
M8415	大腿骨頸上骨折後偽関節	有	2	82.5	23.0								2
M8418	胸椎偽関節	有	2	85.0	18.5								2
M8418	歯突起骨折偽関節	有	1	74.0	18.0							1	
M8419	骨盤偽関節	有	1	43.0	9.0						1		
M8445	大腿骨骨幹部病的骨折	有	1	85.0	10.0								1
M8448	脊椎病的骨折	有	1	87.0	18.0								1
M8508	顔面骨線維性骨異形成症	有	1	67.0	10.0							1	
M8618	急性胸骨骨髄炎	有	1	73.0	38.0							1	
M8655	慢性血行性大腿骨骨髄炎	有	1	68.0	7.0							1	
M8665	大腿骨慢性骨髄炎	有	2	20.0	9.5			2					
M8669	頭骨慢性骨髄炎	有	1	47.0	4.0					1			
M8695	大腿骨骨髄炎	有	1	20.0	4.0			1					
M8696	下腿骨骨髄炎	有	2	60.5	19.5				1				1
M8697	踵骨骨髄炎	有	3	66.0	20.3					1	2		
M8698	MR S A 胸部骨髄炎	有	1	79.0	45.0						1		
M8698	胸骨骨髄炎	有	1	71.0	65.0						1		
M8705	特発性大腿骨頭壊死	有	1	85.0	16.0								1
M8705	特発性大腿骨内顆骨頭壊死	有	6	75.2	16.3							6	
M8715	ステロイド性大腿骨頭壊死	有	1	80.0	19.0								1
M8725	外傷性大腿骨頭壊死	有	1	84.0	16.0								1
M8785	大腿骨頭壊死	有	2	72.0	18.0							2	
M8900	複合性局所疼痛症候群	有	1	48.0	36.0					1			
M926	足舟状骨ケラー病	有	1	3.0	8.0			1					
M930	大腿骨頭すべり症	無	1	10.0	4.0			1					
M9408	肋軟骨炎の疑い	無	1	90.0	7.0								1
M966	人工関節周囲骨折	有	1	62.0	30.0							1	
M966	人工股関節周囲骨折	有	2	80.5	23.5							1	1
M966	大腿骨人工関節周囲骨折	有	1	77.0	15.0							1	
M966	大腿骨人工関節周囲骨折	無	3	87.3	33.7								3
M966	大腿骨人工関節周囲骨折	有	1	100.0	5.0								1
N017	A N C A 関連腎炎の疑い	無	1	66.0	4.0							1	
N017	抗糸球体基底膜腎炎	有	1	50.0	47.0					1			
N019	急速進行性糸球体腎炎の疑い	無	1	74.0	4.0							1	
N028	I g A 腎症	有	16	39.9	9.4			1	9	3	3		
N028	I g A 腎症	無	33	38.0	3.9			6	16	5	6		
N028	I g A 腎症の疑い	無	1	39.0	4.0				1				
N039	慢性糸球体腎炎	無	1	77.0	4.0							1	
N039	慢性糸球体腎炎の疑い	無	6	34.8	4.0				5	1			
N040	微小変化型ネフローゼ症候群	無	1	42.0	44.0					1			
N049	ステロイド依存性ネフローゼ症候群	無	1	4.0	11.0			1					
N049	ステロイド抵抗性ネフローゼ症候群	無	1	56.0	23.0					1			
N049	ネフローゼ症候群	有	2	72.5	59.5							2	
N049	ネフローゼ症候群	無	3	25.7	5.0	1	1					1	
N049	小児ネフローゼ症候群	無	1	10.0	10.0			1					
N049	難治性ネフローゼ症候群	有	1	87.0	42.0								1
N049	難治性ネフローゼ症候群	無	1	75.0	2.0							1	
N049	二次性ネフローゼ症候群	無	1	47.0	62.0					1			
N051	巣状分節性糸球体硬化症の疑い	無	1	65.0	4.0							1	
N052	膜性腎症	無	1	77.0	34.0							1	
N083	2型糖尿病性腎症	無	1	50.0	26.0					1			
N083	2型糖尿病性腎症第4期	有	2	78.5	26.0						1	1	1
N083	2型糖尿病性腎症第4期	無	4	72.8	23.0						1	1	2
N083	2型糖尿病性腎症第5期	有	4	64.5	33.0						2	1	1
N083	2型糖尿病性腎症第5期	有	3	74.3	23.0							2	1
N10	急性腎盂腎炎	有	50	60.7	10.3	3		1	4	13	20	9	
N10	急性腎盂腎炎	無	4	84.0	11.8						1	1	2
N10	急性腎盂腎炎	有	3	78.3	9.3						1		2
N12	水腎症を伴う腎盂腎炎	有	1	14.0	11.0			1					
N12	尿細管間質性腎炎の疑い	無	1	14.0	11.0			1					
N130	後天性腎盂尿管移行部狭窄を伴う水腎症	有	1	74.0	9.0							1	
N130	尿管腎盂移行部閉塞を伴う水腎症	有	1	79.0	15.0							1	
N131	尿管狭窄を伴う水腎症	有	34	63.3	4.4					14	17		3
N131	尿管狭窄を伴う水腎症	無	1	73.0	3.0						1		
N132	腎結石性閉塞を伴う水腎症	有	1	92.0	12.0								1
N132	尿管結石性閉塞を伴う水腎症	有	16	72.8	7.6					1	12		3
N133	水腎症	有	1	86.0	9.0								1

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインディケータ

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
N135	後腹膜線維症	有	1	69.0	9.0							1	
N135	尿管狭窄	無	1	52.0	21.0						1		
N151	腎周囲膿瘍	有	1	88.0	3.0								1
N151	腎膿瘍	有	1	72.0	5.0							1	
N170	急性腎性腎不全	有	2	79.5	37.5							1	1
N170	急性腎性腎不全	無	1	71.0	15.0							1	
N178	急性腎後性腎不全	有	1	87.0	10.0								1
N178	急性腎前性腎不全	有	2	83.0	16.0								2
N178	急性腎前性腎不全	無	9	71.1	15.2					3	3		3
N179	急性腎不全	有	1	86.0	37.0								1
N179	急性腎不全	無	1	76.0	3.0							1	
N182	慢性腎臓病ステージG 2	無	1	38.0	4.0				1				
N183	慢性腎臓病ステージG 3	有	1	51.0	2.0					1			
N183	慢性腎臓病ステージG 3 a	無	5	55.2	6.2				1	2		2	
N183	慢性腎臓病ステージG 3 a	無	3	56.7	5.0				1			2	
N183	慢性腎臓病ステージG 3 b	無	4	60.3	5.5				1	1		1	1
N184	慢性腎臓病ステージG 4	有	1	55.0	10.0					1			
N184	慢性腎臓病ステージG 4	無	7	59.9	13.1				1	3		2	1
N185	末期腎不全	有	5	69.8	37.6					1		3	1
N185	末期腎不全	無	5	77.4	16.6							3	2
N185	慢性腎臓病ステージG 5	有	46	63.2	16.3				4	13		21	8
N185	慢性腎臓病ステージG 5	無	6	71.3	16.8							5	1
N185	慢性腎臓病ステージG 5 D	有	24	74.1	28.5					5	7	12	7
N185	慢性腎臓病ステージG 5 D	無	10	69.9	10.9					1	8		1
N189	慢性腎不全	有	3	82.3	26.3								3
N189	慢性腎不全	無	8	63.4	12.8							2	3
N19	無機能腎	有	1	78.0	8.0							1	
N200	腎結石症	有	17	65.2	5.7					2	3	10	2
N201	尿管結石症	有	22	67.8	6.6					1	5	12	4
N201	尿管結石症	無	1	73.0	5.0							1	
N202	腎尿管結石	有	3	88.7	6.0								3
N209	結石性腎盂腎炎	有	4	71.8	14.3						1	1	2
N209	結石性腎盂腎炎	無	1	35.0	10.0				1				
N210	膀胱結石症	有	2	66.5	6.0					1		1	
N280	腎梗塞	有	2	72.0	7.5							2	
N281	後天性腎のう胞	有	1	85.0	38.0								1
N288	急性腎障害	有	1	51.0	10.0					1			
N288	特発性腎出血	有	1	77.0	7.0							1	
N300	急性出血性膀胱炎	有	1	70.0	23.0							1	
N300	急性出血性膀胱炎	無	2	82.5	3.5							1	1
N301	間質性膀胱炎	有	1	65.0	4.0							1	
N302	慢性膀胱炎	有	1	98.0	7.0								1
N304	放射線出血性膀胱炎	有	2	59.0	10.5					2			
N304	放射線出血性膀胱炎	無	3	57.3	6.7					3			
N308	気腫性膀胱炎	有	1	87.0	23.0								1
N308	気腫性膀胱炎	無	1	73.0	4.0							1	
N308	尿管膿瘍	有	3	57.7	10.0					1		2	
N319	神経因性膀胱	有	1	8.0	9.0				1				
N320	膀胱頸部狭窄	有	7	72.3	5.4							7	
N359	尿道狭窄症	有	1	76.0	8.0							1	
N360	尿道皮膚瘻	有	1	7.0	15.0				1				
N390	急性尿路感染	有	2	73.0	10.0							2	
N390	尿路感染症	有	1	78.0	9.0							1	
N390	尿路感染症	無	24	53.9	9.4	7	1			1		6	9
N390	複雑性尿路感染症	有	1	80.0	19.0								1
N40	前立腺肥大症	有	68	73.8	7.5					2	52	14	
N40	前立腺肥大症	無	3	68.0	1.3							3	
N410	急性細菌性前立腺炎	有	2	71.5	7.0							2	
N421	前立腺出血	有	2	77.5	7.0							1	1
N421	前立腺出血	無	2	73.0	4.0							2	
N432	交通性陰のう水腫	有	5	3.4	3.0	2	3						
N433	陰のう水腫	有	2	1.5	3.0	2							
N433	陰嚢水腫	有	10	11.3	3.1	4	2	3				1	
N433	精索水腫	有	2	1.5	3.0	2							
N44	精巣捻転症	有	2	14.0	2.0			2					
N459	急性精巣上体炎	有	1	6.0	2.0			1					
N459	精巣炎	有	1	72.0	6.0							1	
N459	精巣炎	無	1	81.0	8.0								1
N46	無精子症	有	4	32.5	1.3					3	1		
N47	真性包茎	有	4	9.3	3.0			1	3				
N480	乾燥性閉鎖性亀頭炎	有	1	14.0	3.0				1				
N488	陰茎縫線のう腫	有	1	22.0	2.0					1			
N645	陥没乳頭	有	1	25.0	3.0					1			
N700	急性卵管卵巣膿瘍	有	2	43.5	33.5					1	1		
N700	急性卵管卵巣膿瘍	無	1	93.0	7.0								1
N709	卵巣膿瘍	有	1	39.0	5.0					1			
N710	急性子宮内膜炎	有	1	32.0	7.0					1			

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインデキータ

退院患者数

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
N733	急性骨盤腹膜炎	無	4	37.3	4.0					3	1			
N750	バルトリン腺のう胞	有	1	51.0	4.0						1			
N751	バルトリン腺膿瘍	有	1	42.0	3.0						1			
N800	子宮腺筋症	有	6	45.5	7.0						6			
		無	1	50.0	6.0						1			
N801	チョコレートのう胞	有	4	37.5	6.5					2	2			
N801	卵巣子宮内膜症	有	1	37.0	6.0					1				
N801	卵巣子宮内膜症のう胞	有	13	35.5	6.1					8	5			
N803	骨盤子宮内膜症	有	2	42.5	4.5						2			
N809	子宮内膜症	有	1	41.0	6.0						1			
N811	膣脱症	有	1	87.0	6.0									1
N812	子宮下垂	有	2	74.0	6.5								2	
N812	子宮脱1度	有	2	69.0	6.0								2	
N812	子宮脱2度	有	7	69.3	6.4								7	
N812	不全子宮脱	有	1	76.0	7.0								1	
N813	完全子宮脱	有	5	74.6	7.4								3	2
N813	子宮脱3度	有	10	71.6	7.4						1		8	1
N835	卵巣のう腫捻転	有	2	41.0	4.5					1	1			
N835	卵巣捻転	有	2	30.5	4.5					2				
N838	傍卵管のう胞	有	1	72.0	5.0								1	
N838	卵巣出血	無	1	26.0	8.0					1				
N840	子宮内膜ポリープ	有	9	44.6	3.0					3	6			
N850	子宮内膜増殖症	有	1	73.0	3.0								1	
N851	子宮内膜異型増殖症	有	11	48.3	4.0					2	9			
N851	腺腫性子宮内膜増殖症	有	1	73.0	10.0								1	
N851	単純性子宮内膜異型増殖症	有	1	30.0	3.0					1				
N870	子宮頸部軽度異形成	有	3	43.0	3.0					1	2			
N871	子宮頸部中等度異形成	有	10	43.1	4.0					4	5	1		
N872	子宮頸部高度異形成	有	6	44.5	2.8					2	4			
N895	膣癒着	有	1	82.0	3.0									1
N920	過多月経	有	1	13.0	4.0			1						
		無	1	44.0	1.0						1			
N946	月経モリミナ	無	1	33.0	1.0					1				
N948	スック管水腫	有	2	38.5	4.0					1	1			
N980	採卵後骨盤内炎症性疾患	無	1	34.0	2.0					1				
N981	卵巣過剰刺激症候群	無	1	42.0	9.0						1			
N991	術後尿道狭窄	有	1	76.0	7.0								1	
O000	腹膜妊娠	有	1	37.0	5.0					1				
O001	卵管峡部妊娠	有	1	22.0	8.0					1				
O001	卵管妊娠	有	1	34.0	4.0					1				
O001	卵管妊娠破裂	有	1	44.0	6.0						1			
O001	卵管流産	有	1	41.0	5.0						1			
O002	卵巣妊娠	有	1	41.0	5.0						1			
O008	子宮筋層内妊娠	有	1	37.0	6.0					1				
O010	全胎状奇胎	有	1	25.0	3.0					1				
O021	稽留流産	有	3	37.0	2.7					2	1			
O034	不全流産	有	1	44.0	4.0						1			
O039	完全流産	無	1	37.0	7.0					1				
O039	進行流産	無	1	26.0	2.0					1				
O049	人工妊娠中絶	有	1	34.0	3.0					1				
		無	2	33.0	3.0					2				
O11	加重型妊娠高血圧腎症	有	1	33.0	7.0					1				
O140	軽症妊娠高血圧症候群	有	1	28.0	16.0					1				
		無	5	27.8	6.0						5			
O140	軽症妊娠高血圧腎症	有	1	42.0	10.0						1			
		無	1	40.0	8.0					1				
O141	重症妊娠高血圧症候群	有	4	33.3	13.3					4				
		無	1	35.0	8.0					1				
O141	重症妊娠高血圧腎症	有	6	33.0	7.2					6				
		無	2	35.0	8.0					1	1			
O149	遅発型妊娠高血圧症候群	有	1	28.0	9.0					1				
O200	切迫流産	無	8	33.0	9.6					7	1			
O208	絨毛膜下血腫	無	2	31.0	10.5					2				
O211	ビタミン欠乏症を伴う妊娠悪阻	無	3	29.7	14.3					3				
O211	重症妊娠悪阻	有	1	32.0	22.0					1				
		無	10	32.8	7.1					10				
O211	脱水を伴う妊娠悪阻	無	2	24.5	8.5					2				
O240	1型糖尿病合併妊娠	無	1	34.0	8.0					1				
O241	2型糖尿病合併妊娠	無	6	30.2	9.5					5	1			
O244	ハイリスク妊娠糖尿病	無	1	33.0	5.0					1				
O244	妊娠糖尿病	有	1	37.0	97.0					1				
		無	21	34.3	10.6					20	1			
O300	一絨毛膜二羊膜性双胎	有	5	32.0	21.0					5				
O300	双胎妊娠	有	1	34.0	7.0					1				
O300	二絨毛膜二羊膜性双胎	有	7	34.0	14.9					7				
O320	不安定胎位のための母体管理	有	1	29.0	7.0					1				

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインディケータ

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
O321	骨盤位	有	10	34.7	7.1					9	1			
		無	1	40.0	6.0					1				
O321	骨盤位のための母体管理	有	6	32.5	6.8					4	2			
O331	狭骨盤	有	3	33.3	11.0					3				
O331	比較的狭骨盤	有	1	29.0	7.0					1				
O342	既往子宮術後妊娠	有	6	35.0	7.0					6				
O342	既往帝王切後妊娠	有	101	34.7	7.0				1	90	10			
O343	子宮頸管無力症のための母体管理	有	14	34.0	7.8					14				
O344	頸管熟化不全	有	3	31.3	9.0					3				
		無	8	31.9	7.0					8				
O344	軟産道強靱症	有	6	37.5	6.5					4	2			
O348	卵巣腫瘍合併妊娠	有	1	28.0	8.0					1				
O351	胎児染色体異常	無	2	38.5	4.5					2				
O351	胎児染色体異常の疑い	無	3	34.0	1.0					3				
O353	サイトメガロウイルス感染症合併妊娠の疑い	無	1	29.0	4.0					1				
O358	胎児水腎症	無	1	30.0	8.0					1				
O359	胎児異常	無	3	37.3	4.0					2	1			
O362	胎児水腫のための母体管理	無	1	37.0	4.0					1				
O364	子宮内胎児死亡	有	2	34.0	3.0					1	1			
		無	1	41.0	2.0					1				
O364	子宮内胎児死亡のための母体管理	有	7	31.0	4.1					6	1			
		無	10	33.9	17.3					9	1			
O365	胎児発育不全のための母体管理	有	9	30.0	10.8				1	8				
O365	胎盤機能不全	有	3	39.3	6.7					2	1			
O411	絨毛膜羊膜炎	有	1	29.0	9.0					1				
O420	前期破水・分娩開始が破水後24時間未満	有	1	29.0	6.0					1				
		無	6	29.5	6.5					6				
O421	前期破水・分娩開始が破水後24時間以降	有	3	35.7	8.3					3				
		無	4	35.5	5.3					4				
O422	前期破水・治療による分娩遷延	無	1	33.0	7.0					1				
O441	後在低置胎盤	有	1	25.0	7.0					1				
O441	出血を伴う前置胎盤	有	3	34.3	16.3					3				
O441	出血を伴う低置胎盤	有	2	24.0	11.0					2				
O441	全前置胎盤	有	2	38.5	36.5					2				
O441	低置胎盤	有	4	36.8	7.0					4				
O441	部分前置胎盤	有	1	36.0	24.0					1				
O441	辺縁前置胎盤	有	2	35.5	6.5					1	1			
		無	1	40.0	15.0					1				
O450	凝固障害を伴う常位胎盤早期剥離	有	3	35.7	8.3					2	1			
O459	常位胎盤早期剥離	有	1	31.0	9.0					1				
O459	常位胎盤早期剥離の疑い	無	1	33.0	2.0					1				
O459	胎盤早期剥離の疑い	無	1	32.0	1.0					1				
O470	妊娠満37週未満の偽陣痛	無	1	30.0	2.0					1				
O471	妊娠満37週以後の偽陣痛	無	3	36.0	2.0					3				
O471	妊娠満37週以後の前陣痛	無	1	33.0	1.0					1				
O479	前駆陣痛	無	2	35.5	1.5					1	1			
O48	分娩予定日超過	無	1	31.0	6.0					1				
O600	切迫早産	有	23	33.1	34.6				1	22				
		無	53	31.9	22.4				2	50	1			
O601	自然早産	無	1	25.0	6.0					1				
O620	原発性陣痛微弱	有	7	36.3	6.9					6	1			
		無	9	32.8	7.2					8	1			
O621	続発性陣痛微弱	有	5	35.2	6.8					5				
		無	15	33.5	6.6					14	1			
O622	微弱陣痛	有	2	35.0	6.0					2				
O624	切迫子宮破裂	有	17	33.1	9.9					16	1			
		無	2	33.0	2.5					2				
O631	第2期遷延分娩	有	1	31.0	6.0					1				
O640	児頭回旋異常による分娩停止	有	3	36.3	7.0					3				
O651	児型骨盤による分娩停止	有	2	38.5	10.5					2				
O651	単純狭骨盤による分娩停止	有	1	25.0	7.0					1				
O651	男性骨盤による分娩停止	有	1	35.0	7.0					1				
O651	侏小骨盤による分娩停止	有	1	38.0	6.0					1				
O654	胎児骨盤不均衡による分娩停止	有	1	27.0	6.0					1				
O655	軟産道強靱症による分娩停止	有	6	37.8	7.7					5	1			
O662	巨大児による分娩停止	有	2	33.0	9.0					2				
O669	分娩停止	有	1	24.0	11.0					1				
O680	胎児機能不全	有	28	32.7	7.2					27	1			
		無	2	30.5	4.5					2				
O680	胎児心拍異常	有	8	32.9	6.4					7	1			
O694	前置血管	有	2	42.5	20.5						2			
O703	会陰裂傷第4度	有	1	34.0	7.0					1				
O717	産科的陰血腫	有	1	33.0	5.0					1				
O720	胎盤遺残	有	1	43.0	3.0						1			
O722	部分癒着胎盤	有	1	36.0	6.0					1				
O723	分娩後DIC	有	1	41.0	7.0						1			
		無	4	31.8	5.3					4				
O800	自然頭位分娩	有	171	31.7	5.7				7	159	5			

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインデキータ

退院患者数

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
O85	産褥熱	無	1	25.0	12.0						1			
O908	産褥子宮退縮不全	無	1	28.0	4.0					1				
O908	胎盤ポリープ	有	2	35.5	6.0					2				
O912	産褥性乳腺炎	無	1	29.0	2.0					1				
O991	特発性血小板減少性紫斑病合併妊娠	有	1	38.0	11.0					1				
O993	てんかん合併妊娠	無	1	27.0	6.0					1				
P034	帝切児症候群	無	4	0.0	8.3	4								
P070	超低出生体重児	有	6	0.0	111.7	6								
		無	2	0.0	85.5	2								
P071a	極低出産体重児	無	1	0.0	151.0	1								
P071a	極低出生体重児	有	4	0.0	123.0	4								
		無	13	0.0	59.5	13								
P071b	低出生体重児	有	3	0.0	53.7	3								
		無	50	0.0	29.9	50								
P073	早産児	無	3	0.0	17.0	3								
P120	新生児頭血腫	無	1	0.0	6.0	1								
P122	新生児帽状腱膜下出血	有	1	0.0	19.0	1								
P211	軽度新生児仮死	有	2	0.0	3.5	2								
P219	新生児仮死	無	1	0.0	5.0	1								
P220	新生児特発性呼吸窮迫症候群	無	1	0.0	72.0	1								
P221	新生児一過性多呼吸	有	1	0.0	3.0	1								
		無	12	0.0	7.8	12								
P228	新生児呼吸障害	有	3	0.0	5.3	3								
		無	72	0.0	6.9	72								
P240	胎便吸引症候群	有	1	0.0	11.0	1								
		無	4	0.0	7.0	4								
P241	羊水大量吸引症候群	有	1	0.0	8.0	1								
P284	新生児無呼吸発作	無	21	0.0	5.3	21								
P293	新生児遷延性肺高血圧症	無	1	0.0	20.0	1								
P351	先天性サイトメガロウイルス感染症	無	1	0.0	2.0	1								
P399	新生児感染症	無	1	0.0	4.0	1								
P599	新生児黄疸	無	54	0.0	4.0	54								
P704	新生児低血糖	無	5	0.0	5.0	5								
P819	新生児発熱	無	6	0.0	3.8	6								
P832	胎児水腫	無	1	44.0	4.0						1			
P920	新生児溢乳	無	1	0.0	11.0	1								
P920	新生児嘔吐	無	4	0.0	5.5	4								
P922	哺乳不全	無	4	0.0	5.8	4								
Q02	小頭症	無	2	1.0	8.5	2								
Q039	先天性水頭症	有	3	6.0	6.7	1	1	1						
Q070	キアリ奇形第1奇形	有	1	27.0	10.0					1				
Q070	キアリ奇形第2奇形	有	1	0.0	22.0	1								
Q100	先天性眼瞼下垂	有	1	3.0	5.0		1							
Q181	先天性耳瘻孔	有	6	27.3	2.8	1		2		2		1		
Q210	心室中隔欠損症	有	2	0.0	10.5	2								
		無	1	0.0	3.0	1								
Q212	房室中隔欠損症	無	1	0.0	4.0	1								
Q262	上部心臓型総肺静脈還流異常症	無	3	11.7	3.7			3						
Q282	脳動静脈奇形	無	1	55.0	3.0						1			
Q336	肺形成不全症	有	1	0.0	2.0	1								
Q353	軟口蓋裂	有	1	14.0	6.0			1						
Q369	片側性不完全唇裂	有	1	0.0	4.0	1								
Q371	片側性唇顎硬口蓋裂	有	1	0.0	8.0	1								
Q378	性唇顎口蓋裂	有	1	1.0	5.0	1								
Q379	唇顎裂	無	1	0.0	9.0	1								
Q383	舌小帯付着位置異常	有	2	2.5	3.0	1	1							
Q388	梨状窩瘻	有	1	5.0	6.0		1							
		無	1	7.0	10.0			1						
Q400	乳児肥厚性幽門狭窄症の疑い	無	1	0.0	7.0	1								
Q430	臍腸管遺残	有	1	4.0	3.0		1							
Q431	ヒルシュスブルグ病	有	1	0.0	14.0	1								
Q433a	腸回転異常	有	1	0.0	34.0	1								
Q444	先天性胆道拡張症	有	1	64.0	14.0								1	
Q445	膵管胆管合流異常	有	1	68.0	12.0								1	
		無	1	68.0	3.0								1	
Q445	膵管胆管合流異常の疑い	無	1	19.0	2.0			1						
Q446	多発性肝のう胞の破裂	無	1	55.0	4.0						1			
Q524	先天性腔異常	有	1	0.0	4.0	1								
Q524	先天性腔奇形	無	1	0.0	15.0	1								
Q531	停留精巣	有	10	4.1	3.0	5	2	3						
Q532	両側性停留精巣	有	6	1.8	3.0	4	2							
Q539	停留精巣	有	1	4.0	3.0		1							
Q621	先天性腎盂尿管移行部狭窄	有	1	0.0	30.0	1								
Q644	尿管遺残	有	1	13.0	4.0			1						
Q676	漏斗胸	有	2	13.5	3.5			1	1					
		有	1	1.0	3.0	1								
Q704	多合趾症	無	1	1.0	2.0	1								

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインディケータ

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
Q740	短指症	有	1	12.0	4.0			1						
Q750	頭蓋骨癒合症	有	1	0.0	47.0	1								
Q850	フォン・レックリングハウゼン病	無	1	19.0	2.0				1					
Q892	正中顔のう胞	有	3	45.7	6.0					1	2			
Q900	減数分裂性不分離トリソミー21	無	1	0.0	63.0	1								
Q909	ダウン症候群	無	1	0.0	6.0	1								
R001	徐脈性失神の疑い	有	1	70.0	2.0							1		
R040	鼻出血症	有	3	73.3	6.3						1			2
R042	喀血	無	1	27.0	3.0					1				
R048	肺出血	無	1	55.0	2.0						1			
R048	肺出血	無	2	49.0	12.5						2			
R100	急性腹症	無	1	23.0	3.0					1				
R11	アセトン血性嘔吐症	無	1	6.0	2.0			1						
R11	嘔吐症	無	1	26.0	1.0					1				
R198	摂食機能障害	有	1	3.0	15.0		1							
R470	失語症	無	1	73.0	15.0								1	
R509	不明熱	有	1	70.0	29.0								1	
R509	不明熱	無	1	5.0	9.0			1						
R560	熱性痙攣	無	27	2.1	4.3	22	2	3						
R560	複雑型熱性痙攣	無	6	2.0	4.0	5	1							
R568	無熱性痙攣	無	1	12.0	2.0			1						
R568	痙攣重積発作	無	2	4.5	2.5	1		1						
R568	痙攣発作の疑い	無	1	6.0	2.0			1						
R688	多臓器不全	有	1	1.0	4.0	1								
S000	前頭部打撲傷	有	1	24.0	2.0					1				
S000	頭部血腫	無	1	71.0	1.0								1	
S000	頭部擦過創	無	1	12.0	2.0			1						
S000	頭部打撲	無	1	2.0	2.0	1								
S000	頭部打撲傷	無	1	3.0	2.0			1						
S015	舌裂創	有	1	3.0	3.0			1						
S0210	後頭骨線状骨折	無	1	0.0	3.0	1								
S0210	前頭蓋底骨折	無	1	20.0	4.0				1					
S0220	鼻骨骨折	有	3	26.7	3.0			2			1			
S0230	眼窩底骨折	有	2	34.5	5.0			1			1			
S0240	頬骨弓骨折	有	1	40.0	3.0					1				
S0240	頬骨骨折	有	4	54.8	4.8			1			1		2	
S0260	下顎骨骨折	有	2	25.0	8.5					2				
S0260	下顎骨骨折の術後	有	1	27.0	5.0					1				
S0270	顔面多発骨折	無	1	52.0	2.0						1			
S0280	眼窩骨折	有	2	43.0	6.5			1					1	
S0280	眼窩骨折	無	1	86.0	5.0									1
S0290	頭蓋骨陥没骨折	無	1	0.0	2.0	1								
S0291	頭蓋骨開放骨折	有	1	11.0	4.0			1						
S051	外傷性前房出血	無	1	60.0	3.0						1			
S0600	脳振盪・頭蓋内に達する開放創合併なし	無	2	46.5	2.5			1					1	
S0601	脳振盪・頭蓋内に達する開放創合併あり	有	1	26.0	3.0					1				
S0620	脳挫傷・頭蓋内に達する開放創合併なし	無	1	80.0	2.0									1
S0621	脳挫傷・頭蓋内に達する開放創合併あり	無	1	85.0	17.0									1
S0630	外傷性脳内血腫・頭蓋内に達する開放創合併なし	有	1	81.0	11.0									1
S0630	局所性脳挫傷・頭蓋内に達する開放創合併なし	有	1	80.0	15.0									1
S0631	外傷性脳内血腫・頭蓋内に達する開放創合併あり	無	5	77.8	11.0			1			1	1		3
S0640	急性硬膜外血腫・頭蓋内に達する開放創合併なし	有	1	10.0	15.0			1					4	
S0640	急性硬膜外血腫・頭蓋内に達する開放創合併なし	有	4	67.0	24.5									
S0640	急性硬膜外血腫・頭蓋内に達する開放創合併なし	無	1	61.0	6.0								1	
S0650	外傷性慢性硬膜下血腫	有	23	74.7	11.8			1		1	1	8		12
S0650	外傷性慢性硬膜下血腫	無	1	76.0	4.0							1		
S0650	急性硬膜下血腫・頭蓋内に達する開放創合併なし	有	14	83.9	28.6								3	11
S0650	急性硬膜下血腫・頭蓋内に達する開放創合併なし	無	12	74.6	13.3			1				6		5
S0651	急性硬膜下血腫・頭蓋内に達する開放創合併あり	有	1	45.0	12.0						1			
S0651	急性硬膜下血腫・頭蓋内に達する開放創合併あり	無	1	71.0	43.0								1	
S0660	外傷性くも膜下出血・頭蓋内に達する開放創合併なし	有	1	57.0	2.0						1			
S0660	外傷性くも膜下出血・頭蓋内に達する開放創合併なし	無	9	63.3	10.9			1			2	3		3
S0661	外傷性くも膜下出血・頭蓋内に達する開放創合併あり	有	2	64.5	12.5						1	1		
S0681	外傷性脳室内出血・頭蓋内に達する開放創合併あり	無	1	75.0	25.0								1	
S0690	後頭部外傷・頭蓋内に達する開放創合併なし	有	1	91.0	2.0									1
S092	外傷性鼓膜穿孔	有	1	17.0	3.0			1						
S092	外傷性鼓膜穿孔	有	1	76.0	5.0								1	
S1200	環椎骨折	有	1	65.3	15.0						1	1		1
S1200	環椎骨折	無	3	65.3	15.0						1	1		1
S1210	ハングマン骨折	有	1	57.0	12.0						1			
S1210	頸椎歯突起骨折	無	1	86.0	21.0									1
S1210	軸椎骨折	無	1	68.0	2.0								1	
S1210	軸椎椎体骨折	有	1	55.0	17.0						1			
S1220	頸椎脱臼骨折	有	1	90.0	41.0									1
S1220	第5頸椎骨折	有	1	84.0	22.0									1
S1220	第6頸椎骨折	有	2	76.5	22.5							1		1
S1270	頸椎多発骨折	無	1	83.0	11.0									1
S1280	喉頭骨折	無	1	19.0	3.0				1					

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインデキータ

退院患者数

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
S1290	頰椎骨折の疑い	無	1	47.0	1.0						1			
S1290	頰椎椎体骨折	有	1	33.0	14.0					1				
S1290	頰椎椎体骨折	無	1	76.0	16.0							1		
S134	頰椎捻挫	無	1	46.0	2.0						1			
S141	下位頰髄損傷	有	1	71.0	19.0								1	
S141	頰髄損傷	有	5	57.6	29.6				1		1	2	1	
S141	頰椎損傷の疑い	無	1	77.0	3.0								1	
S141	上位頰髄損傷	有	1	74.0	22.0								1	
S141	中心性頰髄損傷	有	4	69.0	15.3						1	3		
S141	中心性頰髄損傷	無	3	57.0	5.7						2	1		
S141	非骨傷性頰髄損傷	有	4	74.5	26.0								3	1
S150	頰動脈損傷	有	1	50.0	7.0						1			
S202	胸部打撲傷	有	1	95.0	2.0									1
S202	肋骨部打撲	無	1	72.0	2.0								1	
S212	背部皮膚欠損創	有	1	95.0	40.0									1
S2200	胸椎圧迫骨折	有	2	46.0	12.5					1		1		
S2200	胸椎圧迫骨折	無	1	84.0	9.0									1
S2200	胸椎骨折	有	3	78.3	17.7								2	1
S2200	胸椎脱臼骨折	有	2	20.0	21.0				1	1				
S2200	胸椎椎体骨折	有	6	81.8	18.2								4	2
S2200	胸椎椎体骨折	無	2	80.0	16.5								1	1
S2200	胸椎破裂骨折	有	6	58.8	11.0						2		3	1
S2200	胸椎破裂骨折	無	1	81.0	16.0									1
S2210	胸椎多発骨折	有	3	69.7	16.7								3	
S2210	胸椎多発破裂骨折	有	2	63.0	18.0						1		1	
S2220	胸骨骨折	無	4	75.5	16.3								3	1
S2230	肋骨骨折	無	2	89.5	8.0									2
S2230	肋骨骨折の疑い	無	1	65.0	2.0								1	
S2240	肋骨多発骨折	有	1	39.0	2.0					1				
S2240	肋骨多発骨折	無	4	77.5	5.8								2	2
S2710	外傷性血胸・胸腔に達する開放創合併なし	有	3	80.7	21.0								1	2
S2710	外傷性血胸・胸腔に達する開放創合併なし	無	1	88.0	31.0									1
S2720	外傷性血気胸・胸腔に達する開放創合併なし	無	1	77.0	8.0								1	
S2720	閉鎖性外傷性血気胸	無	1	83.0	21.0									1
S2730	肺挫傷・胸腔に達する開放創合併なし	無	1	67.0	11.0								1	
S300	殿部打撲傷	無	1	90.0	7.0									1
S3200	腰椎圧迫骨折	有	9	63.0	26.2						5	2	2	2
S3200	腰椎圧迫骨折	無	7	85.1	12.9								2	5
S3200	腰椎横突起骨折	無	3	64.7	6.7						1	2		
S3200	腰椎骨折	有	1	72.0	10.0								1	
S3200	腰椎椎体骨折	有	3	82.7	15.3								1	2
S3200	腰椎椎体骨折	無	2	73.5	7.5								1	1
S3200	腰椎破裂骨折	有	16	54.1	14.7						3	7	5	1
S3200	腰椎破裂骨折	無	1	82.0	10.0									1
S3230	上前腸骨棘剥離骨折	無	1	79.0	14.0								1	
S3230	腸骨骨折	有	1	45.0	9.0						1			
S3231	腸骨開放骨折	有	1	34.0	8.0					1				
S3240	寛骨臼骨折	有	2	57.5	19.0					1				1
S3240	寛骨臼骨折	無	1	94.0	4.0									1
S3250	恥骨骨折	無	1	76.0	12.0								1	
S3270	腰椎多発圧迫骨折	有	2	76.0	28.5								1	1
S3270	腰椎多発骨折	有	1	84.0	18.0									1
S3280	骨盤骨折	有	3	65.3	13.0						1	1	1	1
S3280	骨盤骨折	有	8	64.4	20.0					2	1	2	3	3
S3280	骨盤骨折	無	3	80.7	14.0								2	1
S3600	閉鎖性脾損傷	有	1	10.0	8.0				1					
S3600	脾損傷・腹腔に達する開放創合併なし	有	3	77.3	8.7						1			2
S3610	肝損傷・腹腔に達する開放創合併なし	有	1	73.0	7.0								1	
S3641	開放性十二指腸損傷	有	1	48.0	11.0						1			
S3680	外傷性腹腔内出血	有	1	71.0	9.0								1	
S3680	閉鎖性腸間膜損傷	有	1	91.0	15.0									1
S3700	腎損傷・骨盤腔に達する開放創合併なし	無	2	45.0	8.5					1	1			
S390	殿部筋肉内血腫	有	1	85.0	8.0									1
S390	殿部筋肉内血腫	無	2	91.0	3.0									2
S399	腹部外傷	無	1	27.0	5.0					1				
S4200	鎖骨遠位端骨折	有	8	58.8	7.1					1	4	2	1	1
S4200	鎖骨遠位端骨折	無	1	87.0	16.0									1
S4200	鎖骨骨幹部骨折	有	10	47.2	7.3					5	3	1	1	1
S4200	鎖骨骨折	有	8	58.5	5.0				1	1	2	1	3	3
S4201	鎖骨遠位端開放骨折	有	2	53.0	4.5						2			
S4210	肩甲骨関節窩骨折	有	1	82.0	15.0									1
S4210	肩甲骨体部骨折	有	1	38.0	17.0					1				
S4220	上腕骨外科頸骨折	有	1	86.0	10.0									1
S4220	上腕骨近位端骨折	有	15	78.6	10.3							2	6	7
S4220	上腕骨大結節骨折	有	2	59.0	7.5						1	1	1	1
S4230	上腕骨骨幹部骨折	有	6	64.7	11.2					1	1	3	1	1
S4230	上腕骨骨折	有	1	71.0	12.0								1	

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインディケータ

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
S4231	上腕骨骨幹部開放骨折	有	1	33.0	7.0					1				
S4240	上腕骨遠位端骨折	有	5	71.8	11.8						2	1	2	
S4240	上腕骨外顆骨折	有	3	5.0	3.7			3						
S4240	上腕骨内上顆骨折	有	1	9.0	2.0				1					
S4240	上腕骨顆上骨折	有	11	6.1	2.6			5	6					
S4240	上腕骨顆上骨折	無	1	3.0	2.0			1						
S4241	上腕骨顆上開放骨折	有	1	57.0	18.0						1			
S431	肩鎖関節脱臼	有	4	52.3	6.5						4			
S501	前腕皮下血腫	有	1	74.0	16.0							1		
S519	前腕皮膚欠損創	有	2	25.0	8.0					2				
S5200	尺骨近位端骨折	有	1	7.0	3.0				1					
S5200	肘関節脱臼骨折	有	4	43.8	12.8				1	2				1
S5200	肘頭骨折	有	3	38.7	8.0				1		2			
S5240	橈骨尺骨骨折	有	1	13.0	4.0				1					
S5250	橈骨遠位骨端線損傷	有	2	12.5	2.5				2					
S5250	橈骨遠位端骨折	有	24	62.5	3.3				2	2	2	12	6	
S5260	橈骨尺骨遠位端骨折	有	5	50.4	3.8				2			1	2	
S5261	開放性橈骨尺骨遠位端骨折	有	1	64.0	22.0							1		
S5280	尺骨遠位端骨折	有	1	86.0	2.0									1
S541	正中神経断裂	有	2	39.5	8.5				1			1		
S542	外傷性橈骨神経麻痺	有	2	40.0	2.0			1				1		
S561	示指浅指屈筋腱断裂	有	1	74.0	13.0							1		
S561	手指屈筋腱断裂	有	1	80.0	4.0									1
S563	長母指伸筋腱断裂	有	1	65.0	4.0							1		
S565	長橈側手根伸筋損傷	有	1	61.0	5.0							1		
S610	環指皮膚欠損創	有	1	64.0	9.0							1		
S610	手指汚染創	有	1	80.0	3.0									1
S610	手指皮膚欠損創	有	1	49.0	28.0						1			
S610	母指皮膚欠損創	有	1	32.0	8.0					1				
S6251	母指開放骨折	有	1	32.0	7.0					1				
S6260	環指基節骨骨折	有	1	51.0	2.0						1			
S6261	環指中節骨開放骨折	有	1	68.0	2.0								1	
S6261	示指中節骨開放骨折	有	1	66.0	5.0								1	
S6261	小指基節骨開放骨折	有	1	70.0	7.0								1	
S6261	小指末節骨開放骨折	有	1	7.0	2.0			1						
S6261	中指中節骨開放骨折	有	1	44.0	2.0						1			
S662	母指伸筋腱断裂	有	1	48.0	2.0						1			
S670	手指挫減創	有	2	55.5	6.0					1		1		
S678	手背部挫減創	有	2	47.0	7.5				1			1		
S681	環指切断	有	1	58.0	16.0						1			
S681	示指手指不全切断	有	1	50.0	15.0						1			
S681	手指切断	有	1	50.0	2.0						1			
S701	大腿部皮下血腫	有	1	72.0	18.0							1		
S701	大腿部皮下血腫	無	1	85.0	2.0									1
S711	大腿汚染創	有	1	70.0	4.0							1		
S711	大腿挫創	有	1	73.0	25.0							1		
S7200	大腿骨頸部骨折	有	68	81.2	14.8						1	25	42	
S7200	大腿骨頸部骨折	無	1	74.0	23.0							1		
S7210	大腿骨大転子骨折	無	5	85.2	14.8						1		4	
S7210	大腿骨転子部骨折	有	51	85.2	15.4						1	13	37	
S7210	大転子骨折	無	2	67.0	5.0						1		1	
S7220	大腿骨転子下骨折	有	6	77.8	14.2							3	3	
S7230	大腿骨骨幹部骨折	有	6	43.3	18.7				2		2	2		
S7240	大腿骨遠位端骨折	有	1	72.0	11.0							1		
S7240	大腿骨遠位端骨折	無	1	79.0	5.0							1		
S7240	大腿骨顆上骨折	有	2	73.5	14.5						1		1	
S771	大腿挫減創	有	3	38.3	3.7				1		2			
S801	下腿部皮下血腫	有	1	79.0	22.0								1	
S810	膝関節部挫創	無	1	9.0	4.0				1					
S8200	膝蓋骨骨折	有	10	68.7	11.7						1	8	1	
S8201	膝蓋骨開放骨折	有	2	59.5	15.5						1	1		
S8210	前十字靭帯付着部剥離骨折	有	1	32.0	13.0						1			
S8210	脛骨近位端骨折	有	6	62.0	13.7						1		5	
S8210	脛骨近位端骨折	無	2	64.5	13.5						1		1	
S8210	脛骨結節部剥離骨折	有	1	16.0	6.0				1					
S8210	脛骨高原骨折	有	5	56.8	17.4					2	1	2		
S8220	脛骨骨幹部骨折	有	2	52.5	17.5						1	1		
S8220	脛骨骨折	無	1	18.0	2.0				1					
S8220	脛骨腓骨骨幹部骨折	有	1	71.0	18.0							1		
S8220	脛骨腓骨骨幹部粉碎骨折	有	1	87.0	19.0									1
S8221	脛骨開放骨折	有	1	83.0	5.0									1
S8221	脛骨骨幹部開放骨折	有	1	72.0	12.0								1	
S8221	脛骨腓骨開放骨折	有	3	43.7	41.7					2	1			
S8221	脛骨腓骨骨幹部開放骨折	有	4	34.0	9.3					3	1			
S8230	脛骨遠位骨端線損傷	有	3	13.0	6.0				3					
S8230	脛骨腓骨遠位端骨折	有	5	48.0	10.2				1	1	1	2		
S8240	腓骨遠位端骨折	有	2	52.5	10.5						2			

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインデキータ

退院患者数

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
S8250	足関節内果骨折	有	1	33.0	6.0					1				
S8260	足関節外果骨折	有	1	47.0	5.0						1			
S8280	足関節三果骨折	有	4	65.0	26.0						1	2	1	
S8280	足関節脱臼骨折	有	1	83.0	16.0									1
S8281	足関節開放性脱臼骨折	有	1	59.0	3.0						1			
S832	外側半月板断裂	有	6	37.3	11.2			1	1	1	2	1		
S832	内側半月板断裂	有	14	58.4	13.6				1	1	5	6	1	
S833	大腿骨外顆軟骨損傷	有	1	44.0	13.0						1			
S835	前十字靭帯断裂	有	4	33.3	17.8				1	2	1			
S850	膝窩動脈損傷	有	1	53.0	54.0						1			
S860	アキレス腱断裂	有	4	53.8	9.3					1	1	2		
S862	前脛骨筋損傷	有	1	34.0	10.0					1				
S870	膝挫減創	有	1	46.0	4.0						1			
S878	下腿挫減創	有	4	49.0	21.8					2		1	1	
S903	足部打撲傷	無	1	26.0	2.0					1				
S913	足部皮膚欠損創	有	2	71.0	25.0							2		
S9200	踵骨骨折	有	8	61.9	16.3						3	4	1	
S9221	足舟状骨開放骨折	有	1	85.0	7.0									1
S9221	楔状骨開放骨折	有	1	59.0	15.0						1			
S9230	リスフラン関節脱臼骨折	有	2	29.5	4.5					2				
S9230	中足骨骨折	無	1	90.0	16.0									1
S9240	母趾基節骨骨折	有	1	40.0	3.0					1				
S9251	第3趾基節骨開放骨折	有	1	62.0	11.0								1	
S9271	足の多発開放骨折	有	1	58.0	13.0						1			
S931	趾関節脱臼	有	2	48.5	5.5				1			1		
S968	趾伸筋腱断裂	有	1	44.0	10.0						1			
T0210	胸腰椎圧迫骨折	有	1	84.0	27.0									1
T0210	胸腰椎多部位骨折	無	1	71.0	15.0								1	
T0210	胸腰椎多部位骨折	無	1	96.0	18.0									1
T0220	一側上肢多発骨折	有	1	11.0	3.0			1						
T0221	一側上肢多発開放骨折	有	1	93.0	16.0									1
T0230	一側下肢多発骨折	有	1	70.0	12.0								1	
T0250	両側下肢多発骨折	有	2	79.0	20.0								1	1
T0251	下肢多発開放骨折	有	1	31.0	89.0					1				
T0280	複合部位の骨折	有	4	82.5	30.3								1	3
T0281	複合部位の開放骨折	有	1	18.0	34.0				1					
T043	多発性下肢挫減創	有	1	78.0	6.0								1	
T08-0	胸椎チャンス骨折	有	1	86.0	18.0									1
T08-0	胸椎椎体骨折	有	1	21.0	9.0					1				
T093	脊髄振盪	無	2	35.0	3.5			1			1			
T148	高エネルギー外傷	無	3	17.7	2.0			1		2				
T173	喉頭内異物による窒息	無	1	81.0	12.0									1
T175	気管支異物	有	1	1.0	7.0	1								
T181	食道異物	有	3	50.7	5.0			1			1			1
T182	胃内異物	有	1	3.0	2.0			1						
T185	直腸内異物	有	1	10.0	4.0			1						
T193	子宮内異物	有	2	41.5	4.5					1	1			
T202	顔面第2度熱傷	無	2	59.5	13.5					1				1
T203	顔面第3度熱傷	有	1	73.0	36.0								1	
T213	下腹部第3度熱傷	有	1	17.0	15.0				1					
T273	気道熱傷	無	1	66.0	4.0								1	
T292	四肢第2度熱傷	無	1	73.0	32.0								1	
T293	重症下半身第3度熱傷	有	1	73.0	36.0								1	
T293	全身第3度熱傷	有	1	55.0	47.0						1			
T391	アセトアミノフェン中毒	無	3	16.7	2.3			1	2					
T391	アセトアミノフェン中毒の疑い	無	1	37.0	2.0					1				
T424	ベンゾジアゼピン中毒	無	3	36.7	2.3					2	1			
T424	ベンゾジアゼピン中毒の疑い	無	1	63.0	2.0								1	
T426	ゾピクロン中毒	無	1	17.0	2.0				1					
T432	抗うつ薬中毒	無	1	32.0	3.0					1				
T435	リチウム中毒	無	1	45.0	27.0						1			
T450	ジフェンヒドรามミン中毒	無	1	31.0	8.0					1				
T509	急性薬物中毒	無	3	53.3	2.7						2	1		
T55	洗剤中毒	無	1	55.0	3.0						1			
T58	一酸化炭素中毒による遅発性脳症	無	1	49.0	21.0						1			
T603	パラコート中毒	無	1	64.0	14.0								1	
T629	食中毒	無	1	70.0	1.0								1	
T630	マムシ咬傷	無	6	60.3	2.8					1	1	4		

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインディケイター

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
T634	蜂刺によるアナフィラキシーショック	無	2	61.0	3.5						1	1	
T634	蜂刺症	無	1	70.0	2.0							1	
T652	タバコ誤飲	無	1	0.0	1.0	1							
T678	熱中症	無	1	75.0	2.0							1	
T68	低体温	無	5	72.6	10.2			1					4
T751	溺水	無	1	89.0	15.0								1
T780	ピーナッツによるアナフィラキシーショック	無	1	4.0	2.0		1						
T780	食物によるアナフィラキシー	無	2	36.5	2.0		1					1	
T780	食物依存性運動誘発アナフィラキシー	無	1	14.0	2.0			1					
T781	ピーナッツアレルギー	無	1	13.0	2.0			1					
T781	食物アレルギー	無	9	5.6	2.9	3	1	5					
T781	卵アレルギー	無	2	1.0	1.5	2							
T782	アナフィラキシー	無	7	18.6	2.1	1	4			1			1
T782	アナフィラキシーショック	無	3	38.7	1.7			1		1		1	
T782	アナフィラキシーの疑い	無	1	61.0	2.0							1	
T783	クインケ浮腫	無	2	44.5	2.0			1				1	
T794	外傷性出血性ショック	有	4	73.3	10.8						1	1	2
T798	開放性脳損傷髄膜炎	有	1	21.0	13.0					1			
T810	後出血	有	1	68.0	6.0							1	
T810	術後出血	有	2	74.5	5.0							1	1
T810	生検後出血	有	1	35.0	3.0					1			
T810	大腸ポリープ切除後出血	有	1	32.0	3.0					1			
T812	術後顔面神経麻痺	有	1	71.0	9.0							1	
T813	縫合不全	無	1	70.0	8.0							1	
T813	腔壁縫合不全	有	1	44.0	8.0						1		
T814	カテーテル感染症	有	1	83.0	6.0								1
T814	下腿MRSA術後創部感染	有	1	56.0	38.0						1		
T814	下腿術後感染症	有	1	79.0	29.0							1	
T814	骨盤部感染性リンパのう胞	有	1	53.0	11.0						1		
T814	術後髄膜炎	無	1	43.0	7.0						1		
T814	術後創部感染	有	2	79.0	35.5							1	1
T814		無	2	79.0	8.0							1	1
T814	術後膿瘍	有	4	78.5	13.8							2	2
T814	術後腹腔内膿瘍	有	1	74.0	8.0							1	
T814		無	3	73.0	6.3							3	
T814	背部術後感染症	有	1	91.0	76.0								1
T818	開胸術後疼痛症候群	無	1	76.0	14.0							1	
T818	上顎洞穿孔	有	1	58.0	2.0						1		
T818	吻合部狭窄	無	2	48.5	16.0					1	1		
T820	人工弁不全	有	1	80.0	76.0								1
T820		無	1	85.0	9.0								1
T821	ペースメーカーリード感染	有	1	79.0	45.0							1	
T821	ペースメーカーリード断線	有	1	74.0	9.0							1	
T821	ペースメーカー電池消耗	有	18	79.2	8.8						1	7	10
T821	植込型除細動器電池消耗	有	4	50.0	6.5					1	2	1	
T826	人工弁感染	無	1	71.0	8.0							1	
T827	ペースメーカー植え込み後感染症	有	1	84.0	12.0								1
T827	移植人工血管感染	有	4	84.3	39.8								4
T827		無	1	81.0	35.0								1
T827	中心静脈カテーテル感染症	有	1	69.0	11.0							1	
T827		無	1	72.0	7.0							1	
T827	透析シャント感染症	有	1	85.0	3.0								1
T828	透析シャント閉塞	有	1	86.0	3.0								1
T840	人工股関節脱臼	有	1	77.0	17.0							1	
T840	人工膝関節の破損	有	1	74.0	10.0							1	
T843	顎骨内異物	有	1	21.0	7.0					1			
T856	インプラント	無	1	64.0	2.0							1	
T857	プレートによる感染	有	1	26.0	5.0					1			
T857	歯科インプラント周囲炎	有	1	74.0	2.0							1	
T860	慢性移植片対宿主病	無	4	62.0	9.3							4	
T861	腎移植急性拒絶反応	無	2	52.0	7.5						2		
T868	G VHD・末梢血幹細胞移植後	有	2	67.0	26.5								2

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインデイクータ

退院患者数

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
T873	断端神経腫	有	1	55.0	9.0						1		
T881	予防接種副反応の疑い	無	1	77.0	6.0							1	
T886	造影剤ショック	無	1	53.0	2.0						1		
T886	薬剤によるアナフィラキシーショック	無	4	68.3	2.3						1	3	
T887	睡眠薬副作用	無	1	85.0	2.0								1
T887	造影剤アレルギー	無	1	44.0	2.0						1		
T905	外傷性てんかん	無	1	62.0	2.0							1	
U071	COVID-19	有	14	69.4	36.5					2	1	7	4
		無	330	59.0	13.8	8	1	8	5	63	79	72	94
U071	COVID-19・ウイルス同定	無	4	5.5	7.3	1		3					
U071	COVID-19の疑い	有	1	39.0	6.0					1			
		無	6	26.8	6.2	3				2			1
U071	COVID-19合併妊娠	有	2	34.0	10.5					2			
		無	1	28.0	2.0					1			
Z520	末梢血幹細胞移植ドナー	有	6	44.7	4.2				1	1	2	2	
Z523	骨髄移植ドナー	有	7	37.0	4.0			1		3	2	1	
Z524	腎移植ドナー	有	13	59.5	13.2					1	7	4	1
		無	1	56.0	6.0						1		
Z940	生体腎移植後	無	1	4.0	29.0		1						

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインディケーター

2 外来患者数 (前年度対比)

上段： 令和2年度
下段： 令和3年度

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合診療科	333 375	318 355	396 364	432 377	411 397	353 374	382 419	349 380	360 381	284 367	309 359	346 368	4,273 4,516
心療内科	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
精神科	81 86	68 90	74 86	99 103	85 95	92 111	82 105	106 105	94 112	92 106	107 89	106 100	1,086 1,188
地域医療科	7 6	6 7	6 7	5 7	6 5	6 7	7 4	7 6	6 5	7 5	7 5	7 5	77 69
血液内科・輸血科	686 761	639 726	716 806	732 804	723 757	721 790	772 764	679 813	749 788	712 775	685 762	833 922	8,647 9,468
糖尿病・内分泌内科	411 445	392 424	411 462	431 490	368 443	410 479	406 459	361 456	380 534	375 497	348 485	405 504	4,698 5,678
放射線療法科	457 271	283 242	314 410	312 344	278 361	318 333	274 342	259 293	246 292	147 253	344 280	362 337	3,594 3,758
感染症科	0 2	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	2 0	3 0	66 0	12 1	2 0	8 0	93 3
腫瘍内科	379 386	357 342	391 399	392 405	355 372	419 385	431 388	351 395	336 465	400 468	332 429	376 514	4,519 4,948
ペインクリニック科	268 293	251 256	265 319	280 328	286 337	275 327	336 336	323 341	313 323	288 320	290 308	345 346	3,540 3,834
放射線科	24 39	26 29	39 39	40 35	39 35	33 30	41 38	37 42	26 49	37 55	25 37	40 44	407 472
神経内科	50 89	73 63	81 87	72 82	69 83	84 77	76 86	71 85	87 77	73 81	65 74	89 82	890 966
脳神経外科	194 217	176 175	212 197	235 216	197 200	173 204	210 241	198 226	188 215	191 205	187 196	228 222	2,389 2,514
眼科	500 568	476 496	585 591	577 599	559 560	580 589	602 656	510 548	590 683	514 583	502 537	604 666	6,599 7,076
耳鼻咽喉科	573 733	537 626	708 762	730 754	659 725	574 609	704 779	596 735	623 833	581 696	629 639	747 765	7,661 8,656
歯科口腔外科	1,193 1,410	952 1,325	1,580 1,497	1,609 1,493	1,439 1,413	1,363 1,273	1,525 1,350	1,397 1,426	1,327 1,273	1,191 1,187	1,156 1,150	1,569 1,509	16,301 16,306
呼吸器内科	333 329	349 276	379 301	392 322	386 322	350 284	319 344	333 302	305 300	265 297	236 279	368 354	4,015 3,710
呼吸器外科	235 282	210 272	265 269	289 281	241 275	293 328	289 308	246 325	290 343	278 289	253 301	308 338	3,197 3,611
循環器内科	435 466	382 436	522 466	504 390	432 411	411 427	490 471	418 473	479 478	398 429	409 396	434 432	5,314 5,275
心臓血管外科	204 276	229 262	320 313	307 291	284 288	304 228	292 266	223 217	296 276	283 278	288 250	339 278	3,369 3,223
乳腺・甲状腺外科	351 405	363 426	404 455	483 491	414 472	373 427	438 529	385 483	431 559	438 486	372 444	429 504	4,881 5,681
消化器内科	343 428	331 388	399 431	428 425	392 441	368 419	425 469	415 491	412 490	377 388	372 376	472 526	4,734 5,272
消化器外科・一般外科	899 970	876 891	1,090 973	1,023 1,071	981 993	839 1,014	1,030 1,015	884 1,039	942 1,043	881 1,032	861 958	962 1,029	11,268 12,028
泌尿器科	404 418	382 373	457 413	437 461	398 447	465 406	476 438	396 451	391 425	381 379	337 400	432 422	4,956 5,033
腎臓内科・膠原病科	315 298	253 273	333 317	343 302	309 269	312 320	357 305	302 320	337 363	249 315	250 288	355 423	3,715 3,793
婦人科	518 652	514 524	589 658	657 644	549 597	606 611	623 665	574 623	644 669	577 609	545 513	655 684	7,051 7,449
生殖医療科	238 266	201 233	273 281	269 269	235 266	267 228	249 270	225 248	215 263	219 218	197 231	260 300	2,848 3,073
移植外科	206 189	140 185	202 236	196 219	212 210	181 179	200 215	166 224	187 209	190 184	182 186	228 253	2,290 2,488
救命救急科	406 488	497 604	486 505	527 620	538 503	431 436	518 477	495 500	465 544	454 592	436 559	462 539	5,715 6,367
集中治療科	3 3	1 1	0 2	1 0	2 2	2 2	2 1	4 1	1 2	4 0	2 3	1 1	23 18
麻酔科	1 3	1 3	0 1	2 2	5 2	0 3	2 2	2 2	3 1	1 4	4 4	2 4	23 31
小児科	925 1,129	906 1,019	1,080 1,214	1,085 1,295	1,280 1,308	899 1,067	1,118 1,111	1,248 1,203	1,187 1,293	1,012 1,085	972 915	1,302 1,278	13,014 13,917
小児外科	153 181	124 165	164 182	173 186	219 246	125 159	170 171	146 151	158 197	155 191	148 161	233 204	1,968 2,194
産科	649 770	563 651	625 741	633 711	628 740	668 684	662 715	682 715	711 687	661 633	687 613	788 688	7,957 8,348
皮膚科	406 480	381 376	509 498	533 425	483 409	403 432	515 426	423 410	425 439	373 373	391 307	486 349	5,328 4,924
整形外科	541 631	480 550	650 683	682 671	588 648	599 620	606 651	606 652	639 738	503 671	547 579	705 838	7,146 7,932
形成外科	153 192	143 158	175 210	184 204	223 213	177 191	175 219	171 217	158 189	152 184	162 166	230 280	2,103 2,423
緩和ケア内科	158 152	171 137	171 153	183 147	143 113	114 83	159 87	134 90	140 100	149 113	133 90	145 116	1,800 1,381
児童精神科	168 190	188 180	191 183	216 216	216 224	183 199	220 199	191 203	233 215	201 191	194 177	288 235	2,489 2,412
令和2年度合計	13,200	12,299	15,062	15,513	14,632	13,771	15,185	13,916	14,440	13,105	12,966	15,949	169,978
令和3年度合計	14,979	13,539	15,511	15,680	15,182	14,385	16,321	15,191	15,853	14,540	13,545	16,459	180,035
令和2年度検診等合計	283	279	316	281	284	280	313	322	325	319	324	424	3,750
令和3年度検診等合計	427	378	384	352	415	319	362	368	341	318	315	351	4,330
増減数	1,679	1,300	449	167	550	564	136	1,275	1,413	1,435	579	510	10,057
増減率	12.7%	10.6%	3.0%	1.1%	3.8%	4.1%	0.9%	9.2%	9.8%	11.0%	4.5%	3.2%	5.9%
増減数...令和3年度合計-令和2年度合計													
増減率...増減数/令和2年度合計													

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインデキータ

3 全科疾病分類別上位頻度表

I 感染症及び寄生虫症		ICDコード	件数	%
1	その他の胃腸炎及び大腸炎、感染症及び詳細不明の原因によるもの	A09	42	28.8%
2	その他の敗血症	A41	32	21.9%
3	带状疱疹[带状疱疹]	B02	14	9.6%
4	ウイルス性及びその他の明示された腸管感染症	A08	13	8.9%
5	その他の細菌性腸管感染症	A04	9	6.2%
6	その他の非結核性抗酸菌による感染症	A31	5	3.4%
7	部位不明の細菌感染症	A49	4	2.7%
8	皮膚及び粘膜病変を特徴とするその他のウイルス感染症、他に分類されないもの	B08	3	2.1%
9	サイトメガロウイルス病	B25	3	2.1%
10	その他のサルモネラ感染症	A02	3	2.1%
11	その他		18	12.3%
合計			146	100.0%

II 新生物<腫瘍>		ICDコード	件数	%
1	気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	C34	365	9.8%
2	非濾胞性リンパ腫	C83	246	6.6%
3	食道の悪性新生物<腫瘍>	C15	222	5.9%
4	胃の悪性新生物<腫瘍>	C16	206	5.5%
5	結腸の悪性新生物<腫瘍>	C18	173	4.6%
6	乳房の悪性新生物<腫瘍>	C50	172	4.6%
7	膵の悪性新生物<腫瘍>	C25	160	4.3%
8	直腸の悪性新生物<腫瘍>	C20	147	3.9%
9	前立腺の悪性新生物<腫瘍>	C61	130	3.5%
10	骨髄性白血病	C92	116	3.1%
11	その他		1,799	48.2%
合計			3,736	100.0%

III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害		ICDコード	件数	%
1	紫斑病及びその他の出血性病態	D69	29	40.8%
2	その他の無形成性貧血	D61	14	19.7%
3	サルコイドーシス	D86	7	9.9%
4	播種性血管内凝固症候群[脱線維素症候群]	D65	7	9.9%
5	無顆粒球症	D70	3	4.2%
6	鉄欠乏性貧血	D50	3	4.2%
7	その他の凝固障害	D68	3	4.2%
8	急性出血後貧血	D62	1	1.4%
9	リンパ細網組織及び細網組織球組織のその他の明示された疾患	D76	1	1.4%
10	葉酸欠乏性貧血	D52	1	1.4%
11	その他		2	2.8%
合計			71	100.0%

IV 内分泌、栄養及び代謝疾患		ICDコード	件数	%
1	その他の非中毒性甲状腺腫	E04	46	19.7%
2	2型<インスリン非依存性>糖尿病<NIIDDM>	E11	38	16.2%
3	その他の体液、電解質及び酸塩基平衡障害	E87	26	11.1%
4	1型<インスリン依存性>糖尿病<IIDDM>	E10	16	6.8%
5	下垂体機能低下症及びその他の下垂体障害	E23	15	6.4%
6	副甲状腺<上皮小体>機能亢進症及びその他の副甲状腺<上皮小体>障害	E21	15	6.4%
7	甲状腺中毒症[甲状腺機能亢進症]	E05	12	5.1%
8	体液量減少(症)	E86	11	4.7%
9	その他の副腎障害	E27	11	4.7%
10	その他の明示された糖尿病	E13	6	2.6%
11	その他		38	16.2%
合計			234	100.0%

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインディケータ

V 精神及び行動の障害		ICDコード	件数	%
1	双極性感情障害<躁うつ病>	F31	23	17.2%
2	統合失調症	F20	20	14.9%
3	重度ストレスへの反応及び適応障害	F43	15	11.2%
4	多動性障害	F90	9	6.7%
5	せん妄、アルコールその他の精神作用物質によらないもの	F05	7	5.2%
6	広汎性発達障害	F84	7	5.2%
7	摂食障害	F50	6	4.5%
8	脳の損傷及び機能不全並びに身体疾患によるその他の精神障害	F06	5	3.7%
9	解離性[転換性]障害	F44	5	3.7%
10	アルコール使用<飲酒>による精神及び行動の障害	F10	5	3.7%
11	その他		32	23.9%
合計			134	100.0%

VI 神経系の疾患		ICDコード	件数	%
1	てんかん	G40	89	45.4%
2	顔面神経障害	G51	16	8.2%
3	一過性脳虚血発作及び関連症候群	G45	13	6.6%
4	脳のその他の障害	G93	11	5.6%
5	脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	G12	10	5.1%
6	睡眠障害	G47	9	4.6%
7	炎症性多発(性)ニューロパチ<シ>ー	G61	4	2.0%
8	パーキンソン<Parkinson>病	G20	4	2.0%
9	脳炎、脊髄炎及び脳脊髄炎	G04	4	2.0%
10	水頭症	G91	4	2.0%
11	その他		32	16.3%
合計			196	100.0%

VII 眼及び付属器の疾患		ICDコード	件数	%
1	老人性白内障	H25	66	51.2%
2	その他の斜視	H50	26	20.2%
3	眼瞼のその他の障害	H02	21	16.3%
4	麦粒腫及びさん<霰>粒腫	H00	3	2.3%
5	網膜血管閉塞症	H34	3	2.3%
6	麻痺性斜視	H49	2	1.6%
7	その他の網膜障害	H35	2	1.6%
8	その他の白内障	H26	2	1.6%
9	眼窩の障害	H05	1	0.8%
10	網脈絡膜の炎症	H30	1	0.8%
11	その他		2	1.6%
合計			129	100.0%

VIII 耳及び乳様突起の疾患		ICDコード	件数	%
1	前庭機能障害	H81	24	41.4%
2	化膿性及び詳細不明の中耳炎	H66	12	20.7%
3	中耳真珠腫	H71	11	19.0%
4	その他の難聴	H91	6	10.3%
5	非化膿性中耳炎	H65	3	5.2%
6	乳(様)突(起)炎及び関連病態	H70	1	1.7%
7	中耳及び乳様突起のその他の障害	H74	1	1.7%
合計			58	100.0%

疾病分類別統計

IX	循環器系の疾患	ICDコード	件数	%
1	狭心症	I20	462	25.1%
2	脳梗塞	I63	204	11.1%
3	心不全	I50	146	7.9%
4	大動脈瘤及び解離	I71	143	7.8%
5	脳内出血	I61	96	5.2%
6	非リウマチ性大動脈弁障害	I35	91	4.9%
7	慢性虚血性心疾患	I25	85	4.6%
8	急性心筋梗塞	I21	82	4.5%
9	心停止	I46	75	4.1%
10	アテローム<粥状>硬化(症)	I70	65	3.5%
11	その他		392	21.3%
	合計		1,841	100.0%

X	呼吸器系の疾患	ICDコード	件数	%
1	急性気管支炎	J20	105	17.6%
2	固形物及び液状物による肺臓炎	J69	87	14.6%
3	細菌性肺炎、他に分類されないもの	J15	59	9.9%
4	慢性副鼻腔炎	J32	47	7.9%
5	その他の間質性肺疾患	J84	41	6.9%
6	急性細気管支炎	J21	32	5.4%
7	喘息発作重積状態	J46	21	3.5%
8	扁桃及びアデノイドの慢性疾患	J35	18	3.0%
9	気胸	J93	17	2.8%
10	多部位及び部位不明の急性上気道感染症	J06	17	2.8%
11	その他		153	25.6%
	合計		597	100.0%

XI	消化器系の疾患	ICDコード	件数	%
1	胆石症	K80	286	21.9%
2	消化器系の処置後障害、他に分類されないもの	K91	129	9.9%
3	そけい<単径>ヘルニア	K40	97	7.4%
4	麻痺性イレウス及び腸閉塞、ヘルニアを伴わないもの	K56	90	6.9%
5	腸の憩室性疾患	K57	61	4.7%
6	胆道のその他の疾患	K83	57	4.4%
7	急性虫垂炎	K35	56	4.3%
8	腸の血行障害	K55	38	2.9%
9	消化器系のその他の疾患	K92	27	2.1%
10	腹膜炎	K65	27	2.1%
11	その他		440	33.6%
	合計		1,308	100.0%

XII	皮膚及び皮下組織の疾患	ICDコード	件数	%
1	蜂巣炎<蜂窩織炎>	L03	15	19.7%
2	皮膚膿瘍、せつ<フルンケル>及びよう<カルブンケル>	L02	14	18.4%
3	皮膚の萎縮性障害	L90	8	10.5%
4	下肢の潰瘍、他に分類されないもの	L97	6	7.9%
5	褥瘡性潰瘍及び圧迫領域	L89	5	6.6%
6	急性リンパ節炎	L04	4	5.3%
7	多形紅斑	L51	4	5.3%
8	アポクリン汗腺の障害	L75	3	3.9%
9	その他の表皮肥厚	L85	2	2.6%
10	乾せん<癬>	L40	2	2.6%
11	その他		13	17.1%
	合計		76	100.0%

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインディケータ

X III 筋骨格系及び結合組織の疾患		ICDコード	件数	%
1	その他の脊椎障害	M48	195	38.5%
2	その他の椎間板障害	M51	39	7.7%
3	膝関節症[膝の関節症]	M17	39	7.7%
4	脊椎症	M47	37	7.3%
5	股関節症[股関節部の関節症]	M16	25	4.9%
6	結節性多発(性)動脈炎及び関連病態	M30	22	4.3%
7	その他の変形性脊柱障害	M43	16	3.2%
8	滑膜炎及び腱鞘炎	M65	13	2.6%
9	骨髄炎	M86	13	2.6%
10	その他の炎症性脊椎障害	M46	12	2.4%
11	その他		96	18.9%
	合計		507	100.0%

X IV 腎尿路生殖器系の疾患		ICDコード	件数	%
1	慢性腎不全	N18	129	18.5%
2	前立腺肥大(症)	N40	71	10.2%
3	閉塞性尿路疾患及び逆流性尿路疾患	N13	58	8.3%
4	急性尿細管間質性腎炎	N10	53	7.6%
5	反復性及び持続性血尿	N02	50	7.2%
6	腎結石及び尿管結石	N20	48	6.9%
7	子宮内膜症	N80	28	4.0%
8	尿路系のその他の障害	N39	28	4.0%
9	女性性器脱	N81	28	4.0%
10	精巣<睾丸>水腫及び精液瘤	N43	19	2.7%
11	その他		185	26.5%
	合計		697	100.0%

X V 妊娠、分娩及び産褥		ICDコード	件数	%
1	単胎自然分娩	O80	175	23.7%
2	既知の母体骨盤臓器の異常又はその疑いのための母体ケア	O34	139	18.8%
3	切迫早産及び早産	O60	77	10.4%
4	娩出力の異常	O62	57	7.7%
5	胎児ストレス[仮死<ジストレス>]を合併する分娩	O68	38	5.1%
6	その他の既知の胎児側の問題又はその疑いのための母体ケア	O36	33	4.5%
7	妊娠中の糖尿病	O24	30	4.1%
8	子癇前症	O14	22	3.0%
9	既知の胎位異常又はその疑いのための母体ケア	O32	18	2.4%
10	過度の妊娠嘔吐	O21	16	2.2%
11	その他		134	18.1%
	合計		739	100.0%

X VI 周産期に発生した病態		ICDコード	件数	%
1	新生児の呼吸窮<促>迫	P22	89	31.2%
2	妊娠期間短縮及び低出産体重に関連する障害、他に分類されないもの	P07	82	28.8%
3	その他及び詳細不明の原因による新生児黄疸	P59	54	18.9%
4	周産期に発生したその他の呼吸器病態	P28	21	7.4%
5	新生児の哺乳上の問題	P92	9	3.2%
6	新生児吸引症候群	P24	6	2.1%
7	新生児のその他の体温調節機能障害	P81	6	2.1%
8	胎児及び新生児に特異的な一過性糖質代謝障害	P70	5	1.8%
9	その他の分娩合併症により影響を受けた胎児及び新生児	P03	4	1.4%
10	出生時仮死	P21	3	1.1%
11	その他		6	2.1%
	合計		285	100.0%

XVII 先天奇形,変形及び染色体異常		ICDコード	件数	%
1	停留精巣<睾丸>	Q53	17	23.0%
2	顔面及び頸部のその他の先天奇形	Q18	6	8.1%
3	胆嚢、胆管及び肝の先天奇形	Q44	5	6.8%
4	舌、口(腔)及び咽頭のその他の先天奇形	Q38	4	5.4%
5	心(臓)中隔の先天奇形	Q21	4	5.4%
6	唇裂を伴う口蓋裂	Q37	3	4.1%
7	腸のその他の先天奇形	Q43	3	4.1%
8	先天性水頭症	Q03	3	4.1%
9	大型静脈の先天奇形	Q26	3	4.1%
10	その他の先天奇形、他に分類されないもの	Q89	3	4.1%
11	その他		23	31.1%
合計			74	100.0%

XVIII 症状,徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの		ICDコード	件数	%
1	けいれん<痙攣>、他に分類されないもの	R56	37	69.8%
2	気道からの出血	R04	7	13.2%
3	不明熱	R50	2	3.8%
4	悪心及び嘔吐	R11	2	3.8%
5	その他の全身症状及び徴候	R68	1	1.9%
6	言語の障害、他に分類されないもの	R47	1	1.9%
7	消化器系及び腹部に関するその他の症状及び徴候	R19	1	1.9%
8	心拍の異常	R00	1	1.9%
9	腹痛及び骨盤痛	R10	1	1.9%
合計			53	100.0%

XIX 損傷,中毒及びその他の外因の影響		ICDコード	件数	%
1	大腿骨骨折	S72	143	15.8%
2	頭蓋内損傷	S06	84	9.3%
3	肩及び上腕の骨折	S42	79	8.7%
4	腰椎及び骨盤の骨折	S32	66	7.3%
5	下腿の骨折、足首を含む	S82	59	6.5%
6	前腕の骨折	S52	42	4.6%
7	肋骨、胸骨及び胸椎骨折	S22	40	4.4%
8	心臓及び血管のプロステーシス、挿入物及び移植片の合併症	T82	37	4.1%
9	処置の合併症、他に分類されないもの	T81	30	3.3%
10	有害作用、他に分類されないもの	T78	29	3.2%
11	その他		297	32.8%
合計			906	100.0%

XXI 健康状態に影響をおよぼす要因及び保健サービスの利用		ICDコード	件数	%
1	臓器及び組織の提供者<ドナー>	Z52	27	96.4%
2	臓器及び組織の移植後の状態	Z94	1	3.6%
合計			28	100.0%

XXII その他		ICDコード	件数	%
1	新型コロナウイルス感染症	U07	358	100.0%
合計			358	100.0%

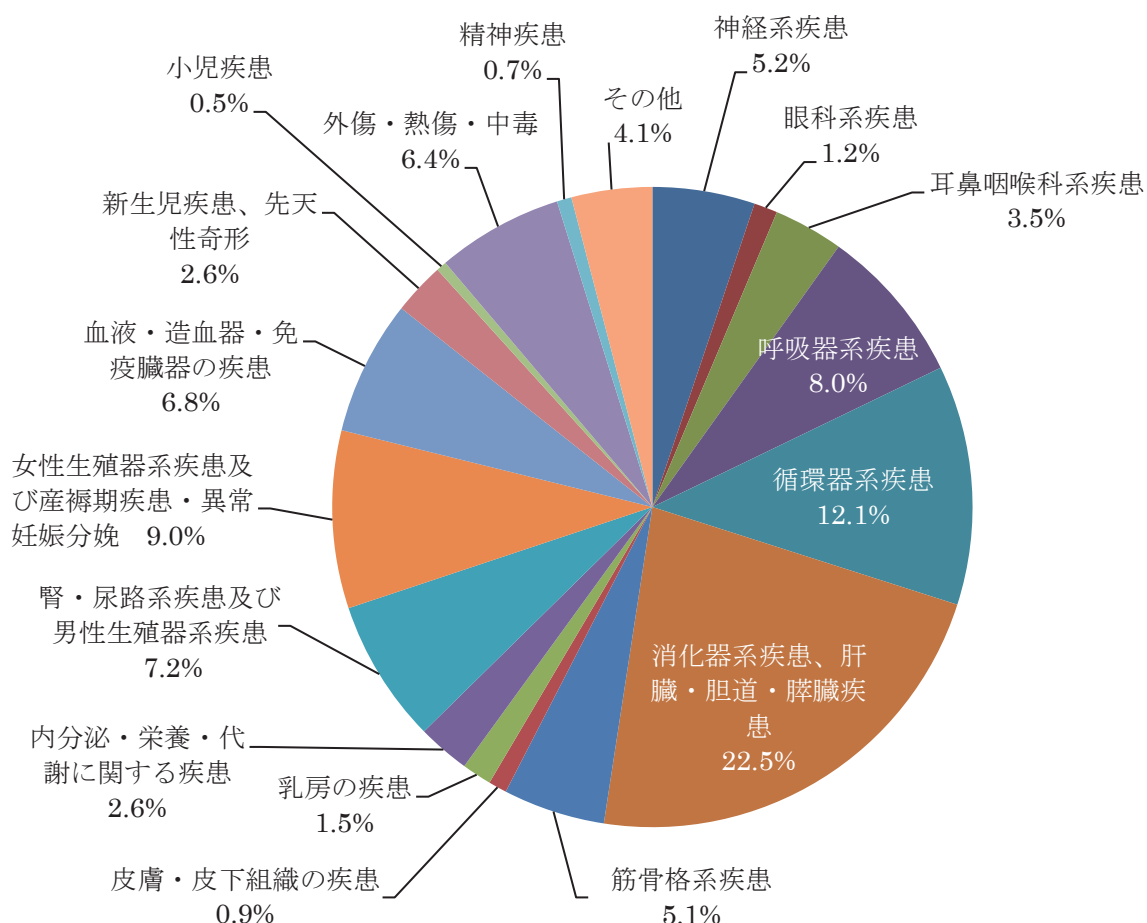
4 DPC統計

(1) MDC別退院患者数

令和3年4月1日～令和4年3月31日退院患者
(自費を除く)

MDC 番号	MDC 名称	件数
MDC01	神経系疾患	593
MDC02	眼科系疾患	136
MDC03	耳鼻咽喉科系疾患	404
MDC04	呼吸器系疾患	912
MDC05	循環器系疾患	1,387
MDC06	消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患	2,579
MDC07	筋骨格系疾患	590
MDC08	皮膚・皮下組織の疾患	106
MDC09	乳房の疾患	172
MDC10	内分泌・栄養・代謝に関する疾患	303
MDC11	腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患	831
MDC12	女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩	1,029
MDC13	血液・造血器・免疫臓器の疾患	780
MDC14	新生児疾患、先天性奇形	301
MDC15	小児疾患	60
MDC16	外傷・熱傷・中毒	731
MDC17	精神疾患	85
MDC18	その他	467
合 計		11,466

MDC別退院患者割合



(2) 在院期間別退院患者数

令和3年4月1日～令和4年3月31日退院患者
(自費を除く)

	在院期間									合計	平均在 院日数 (日)
	1～10日	11～20日	21～30日	31～40日	41～50日	51～60日	61～ 90日	91～ 180日	181日～		
MDC01 神経系疾患	272	200	70	23	13	5	7	2	1	593	14.9
MDC02 眼科系疾患	128	6		1			1			136	5.6
MDC03 耳鼻咽喉科系疾患	329	34	13	8	4	5	10	1		404	10.6
MDC04 呼吸器系疾患	642	158	51	24	21	6	5	4	1	912	10.8
MDC05 循環器系疾患	952	243	109	46	14	4	13	5	1	1,387	10.4
MDC06 消化器系疾患、肝臓・胆 道・膵臓疾患	1,657	640	164	62	20	10	19	6	1	2,579	11.1
MDC07 筋骨格系疾患	295	205	57	16	9	1	5	1	1	590	13.6
MDC08 皮膚・皮下組織の疾患	75	16	6	1	1	2	3	1	1	106	15.3
MDC09 乳房の疾患	152	16	2	2						172	7.1
MDC10 内分泌・栄養・代謝に関 する疾患	227	47	13	4	4	2	2	3	1	303	11.3
MDC11 腎・尿路系疾患及び男性 生殖器系疾患	614	120	38	29	12	3	13	1	1	831	10.5
MDC12 女性生殖器系疾患及び産 褥期疾患・異常妊娠分娩	874	98	20	17	9	3	5	3		1,029	8.6
MDC13 血液・造血器・免疫臓器 の疾患	244	251	137	68	28	12	24	14	2	780	22.6
MDC14 新生児疾患、先天性奇形	207	36	14	16	5	7	8	6	2	301	15.4
MDC15 小児疾患	52	8								60	6.2
MDC16 外傷・熱傷・中毒	354	261	68	30	8	1	7	1	1	731	13.0
MDC17 精神疾患	16	13	14	10	12	6	8	4	2	85	39.5
MDC18 その他	247	139	42	12	13	3	9	2		467	14.5
合計	7,337	2,491	818	369	173	70	139	54	15	11,466	13.4

(3) MDC別年齢別・性別退院患者数

令和3年4月1日～令和4年3月31日退院患者
(自費を除く)

	性別	年齢階層											合計
		0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～89	90～99	100～109	
MDC01 神経系疾患	男	39	5	3	6	16	30	52	105	68	10		334
	女	26	7	8	5	19	20	23	55	68	26	2	259
MDC02 眼科系疾患	男	17	6	1	1		1	13	25	15	1		80
	女	11	8	1	1		3	7	15	8	2		56
MDC03 耳鼻咽喉科系疾患	男	29	6	15	16	19	28	60	47	23	1		244
	女	14	9	7	4	20	41	24	24	13	4		160
MDC04 呼吸器系疾患	男	107	4	10	11	11	30	107	189	91	22		582
	女	82	4	4	3	12	21	55	75	55	17	2	330
MDC05 循環器系疾患	男	1	1	1	6	29	81	187	328	243	41	1	919
	女			2	4	7	17	33	152	193	58	2	468
MDC06 消化器系疾患、 肝臓・胆道・膵臓疾患	男	70	21	11	18	57	162	362	583	248	36		1,568
	女	60	24	9	19	41	73	174	306	226	76	3	1,011
MDC07 筋骨格系疾患	男	4	8	7	10	19	53	79	116	40	3		339
	女	1	4	12	8	22	29	44	70	54	6	1	251
MDC08 皮膚・皮下組織の疾患	男	13	7	1	3	5	3	6	16	6	1		61
	女	7	3	1	2	2	8	7	7	3	5		45
MDC09 乳房の疾患	男												0
	女			2	8	46	36	37	30	10	3		172
MDC10 内分泌・栄養・代謝に関する疾患	男	5	7	1	5	11	17	27	30	15	1		119
	女	12	6	8	20	15	28	26	43	17	9		184
MDC11 腎・尿路系疾患及び 男性生殖器系疾患	男	32	14	11	9	21	37	91	246	109	9		579
	女	5	1	11	10	26	36	31	63	49	18	2	252
MDC12 女性生殖器系疾患 及び産褥期疾患・異常妊娠分娩	男												0
	女		4	146	430	211	79	80	68	10	1		1,029
MDC13 血液・造血器・免疫臓器の疾患	男	7	3	8	10	13	43	109	149	85	4		431
	女	9	4	11	5	10	27	58	152	68	5		349
MDC14 新生児疾患、先天性奇形	男	147	11		1		1						160
	女	130	3	1	1	1	1	3	1				141
MDC15 小児疾患	男	30		1									31
	女	29											29
MDC16 外傷・熱傷・中毒	男	25	34	13	14	26	36	38	83	72	22	1	364
	女	14	15	12	10	10	20	54	84	98	43	7	367
MDC17 精神疾患	男	1	10	2	8	4	4	6	2	2			39
	女	4	15	5	5	5	5	2	3	2			46
MDC18 その他	男	14	7	9	19	20	36	34	50	34	8	1	232
	女	9	4	27	20	19	15	28	34	47	30	2	235
合計		954	255	361	692	717	1,021	1,857	3,151	1,972	462	24	11,466

I 病院の概要

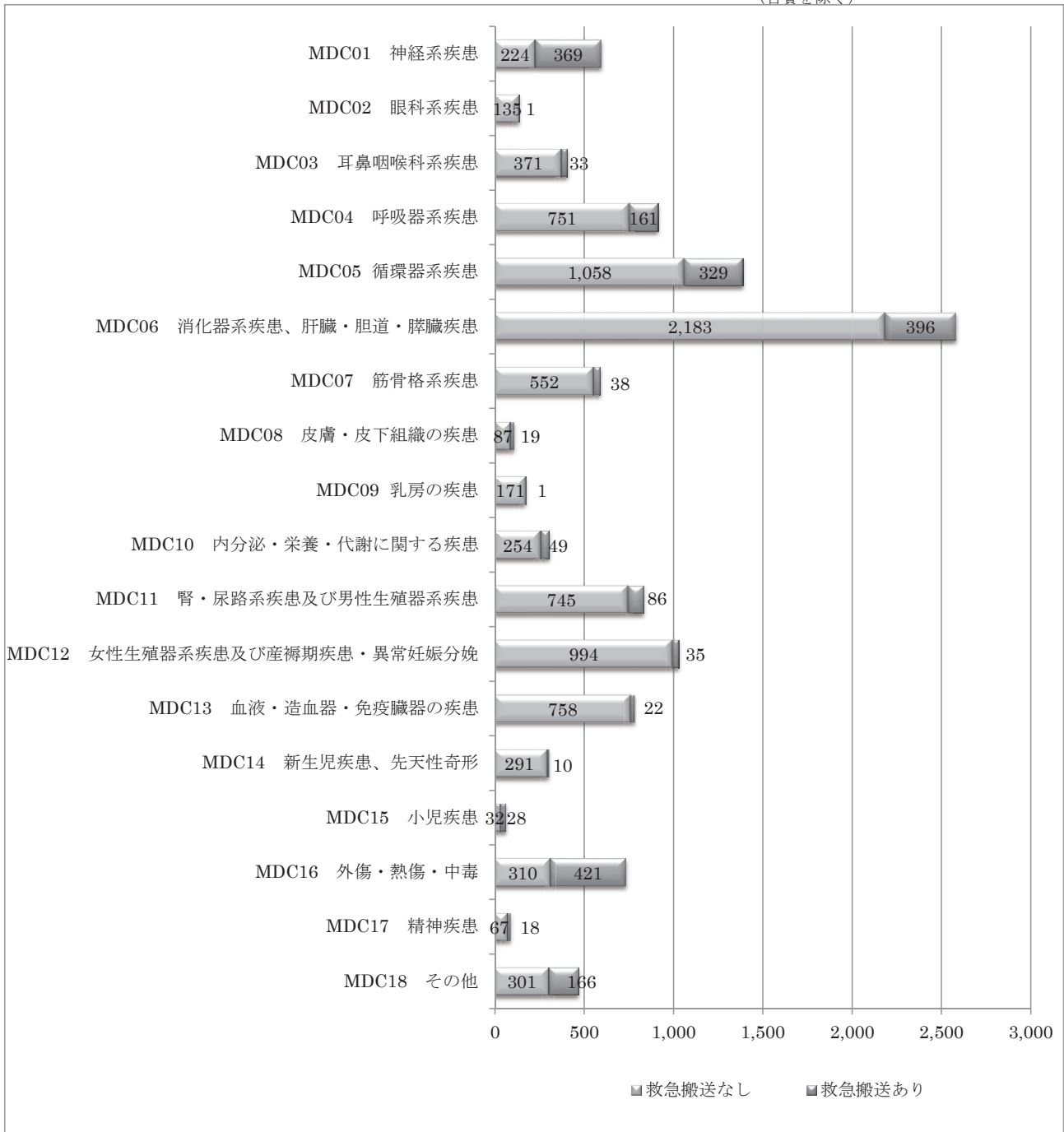
II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインディケータ

(4) MDC別退院患者・救急搬送数

令和3年4月1日～令和4年3月31日退院患者
(自費を除く)



※ 退院患者総数 11,466
救急搬送総数 2,182

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインディケータ

(5) 科別診断群分類 (DPC) 上位頻度表

対象：令和3年4月1日～令和4年3月31日退院患者

総合診療科

総件数 497件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	180030xxxxx0x	その他の感染症（真菌を除く。） 定義副傷病なし	242
2	180030xxxxx1x	その他の感染症（真菌を除く。） 定義副傷病あり	47
3	040081xx99x0xx	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置等2 なし	18
4	110310xx99xxxx	腎臓又は尿路の感染症 手術なし	9
5	060210xx99000x	ヘルニアの記載のない腸閉塞 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	9
6	100393xx99xxxx	その他の体液・電解質・酸塩基平衡障害 手術なし	6
7	160610xx99xxxx	四肢筋腱損傷 手術なし	6
8	010080xx99x0x1	脳脊髄の感染を伴う炎症 手術なし 手術・処置等2 なし 15歳以上	5
9	070510xx99xxxx	痛風、関節の障害（その他） 手術なし	5
10	010230xx99x00x	てんかん 手術なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	4

精神科

総件数 108件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	170040xxxxxxxx	気分〔感情〕障害	21
2	170030xxxxxxxx	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	15
3	170050xxxxxxxx	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	10
4	170060xxxxxxxx	その他の精神及び行動の障害	9
5	161070xxxxx00x	薬物中毒（その他の中毒） 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	8
6	01021xxxxx0xxx	認知症 手術・処置等1なし	4
7	040110xxxxx2xx	間質性肺炎 手術・処置等2 2あり	3
8	100270xxxxx0xx	間脳下垂体疾患（その他） 手術・処置等2 なし	3
9	160800xx01xxxx	股関節・大腿近位の骨折 人工骨頭挿入術 肩、股等	2
10	160720xx01xxxx	肩関節周辺の骨折・脱臼 骨折観血的手術 肩甲骨、上腕、大腿等	2

血液内科・輸血科

総件数 787件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	130010xx97x2xx	急性白血病 手術あり 手術・処置等2 2あり	77
2	130030xx97x50x	非ホジキンリンパ腫 手術あり 手術・処置等2 5あり 定義副傷病なし	76
3	130030xx99x5xx	非ホジキンリンパ腫 手術なし 手術・処置等2 5あり	68
4	130030xx99x4xx	非ホジキンリンパ腫 手術なし 手術・処置等2 4あり	64
5	130060xx97x40x	骨髄異形成症候群 手術あり 手術・処置等2 4あり 定義副傷病なし	30
6	130030xx97x3xx	非ホジキンリンパ腫 手術あり 手術・処置等2 3あり	29
7	130060xx99x4xx	骨髄異形成症候群 手術なし 手術・処置等2 4あり	26
8	130010xx99x2xx	急性白血病 手術なし 手術・処置等2 2あり	24
9	130030xx99x8xx	非ホジキンリンパ腫 手術なし 手術・処置等2 8あり	23
10	130040xx97x6xx	多発性骨髄腫、免疫系悪性新生物 手術あり 手術・処置等2 6あり	18

糖尿病・内分泌内科

総件数 155件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	120200xx99xxxx	妊娠中の糖尿病 手術なし	28
2	10007xxxxxx1xx	2型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く。） 手術・処置等2 1あり	20
3	10007xxxxxx0xx	2型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く。） 手術・処置等2 なし	11
4	100202xxxxxxxx	その他の副腎皮質機能低下症	10
5	110310xx99xxxx	腎臓又は尿路の感染症 手術なし	8
6	10006xxxxxx1xx	1型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く。） 手術・処置等2 1あり	5
7	10008xxxxxx1xx	その他の糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く。） 手術・処置等2 1あり	4
8	180010x0xxx0xx	敗血症（1歳以上） 手術・処置等2 なし	3
9	100040xxxxx00x	糖尿病性ケトアシドーシス、非ケトン昏睡 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	3
10	100250xx99x21x	下垂体機能低下症 手術なし 手術・処置等2 2あり 定義副傷病あり	3

DPC 統計

放射線療法科

総件数 1件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	160400xx99x0xx	胸郭・横隔膜損傷 手術なし 手術・処置等2 なし	1

感染症科

総件数 9件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	180030xxxxxx0x	その他の感染症（真菌を除く。） 定義副傷病なし	8
2	180030xxxxxx1x	その他の感染症（真菌を除く。） 定義副傷病あり	1

腫瘍内科

総件数 1件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	060130xx0200xx	食道、胃、十二指腸、他腸の炎症（その他良性疾患） 内視鏡的消化管止血術等 手術・処置等1 なし 手術・処置等2 なし	1

ペインクリニック科

総件数 11件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	010111xxxxx0xx	遺伝性ニューロパチー 手術・処置等2 なし	3
2	070343xx99x0xx	脊柱管狭窄（脊椎症を含む。） 腰部骨盤、不安定椎 手術なし 手術・処置等2 なし	2
3	080020xxxxxxxx	帯状疱疹	1
4	180040xx99x0xx	手術・処置等の合併症 手術なし 手術・処置等2 なし	1
5	071030xx99xx0x	その他の筋骨格系・結合組織の疾患 手術なし 定義副傷病なし	1
6	071030xx97xxxx	その他の筋骨格系・結合組織の疾患 手術あり	1
7	070430xx97xxxx	神経栄養症、骨成長障害、骨障害（その他） その他の手術あり	1
8	06007xxx9900xx	膵臓、脾臓の腫瘍 手術なし 手術・処置等1 なし 手術・処置等2 なし	1

脳神経外科

総件数 539件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	010040x099000x	非外傷性頭蓋内血腫（非外傷性硬膜下血腫以外）（JCS10未満） 手術なし 手術・処置等1 なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	51
2	010230xx99x00x	てんかん 手術なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	33
3	010060x2990401	脳梗塞（脳卒中発症3日以内、かつ、JCS10未満） 手術なし 手術・処置等1 なし 手術・処置等2 4あり 定義副傷病なし 発症前Rankin Scale 0、1又は2	32
4	160100xx97x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 その他の手術あり 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	29
5	160100xx99x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 手術なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	26
6	010040x199x0xx	非外傷性頭蓋内血腫（非外傷性硬膜下血腫以外）（JCS10以上） 手術なし 手術・処置等2 なし	24
7	010030xx9910xx	未破裂脳動脈瘤 手術なし 手術・処置等1 あり 手術・処置等2 なし	21
8	010061xxxxx0xx	一過性脳虚血発作 手術・処置等2 なし	11
9	010040x101x1xx	非外傷性頭蓋内血腫（非外傷性硬膜下血腫以外）（JCS10以上） 脳血管内手術+脳動静脈奇形摘出術等 手術・処置等2 あり	11
10	010060x2990501	脳梗塞（脳卒中発症3日以内、かつ、JCS10未満） 手術なし 手術・処置等1 なし 手術・処置等2 5あり 定義副傷病なし 発症前Rankin Scale 0、1又は2	11

眼科

総件数 123件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	020110xx97xxx0	白内障、水晶体の疾患 手術あり 片眼	41
2	020150xx97xxxx	斜視（外傷性・癒着性を除く。） 手術あり	27
3	020110xx97xxx1	白内障、水晶体の疾患 手術あり 両眼	23
4	020320xx97xxxx	眼瞼、涙器、眼窩の疾患 手術あり	17
5	020110xx99xxxx	白内障、水晶体の疾患 手術なし	3
6	020200xx99x2xx	黄斑、後極変性 手術なし 手術・処置等2 2あり	2
7	020210xx99x0xx	網膜血管閉塞症 手術なし 手術・処置等2 なし	2
8	020230xx97x0xx	眼瞼下垂 手術あり 手術・処置等2 なし	2
9	020320xx99xxxx	眼瞼、涙器、眼窩の疾患 手術なし	1
10	020130xxxxxxxx	原田病	1

耳鼻咽喉科

総件数 387件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	030350xxxxxxx	慢性副鼻腔炎	48
2	030230xxxxxxx	扁桃、アデノイドの慢性疾患	36
3	030150xx97xxxx	耳・鼻・口腔・咽頭・大唾液腺の腫瘍 手術あり	23
4	030440xx01xxxx	慢性化膿性中耳炎・中耳真珠腫 鼓室形成手術	22
5	030400xx99xxxx	前庭機能障害 手術なし	16
6	03001xxx0111xx	頭頸部悪性腫瘍 頭部悪性腫瘍手術等 手術・処置等1あり 手術・処置等2 1あり	15
7	03001xxx97x3xx	頭頸部悪性腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等2 3あり	13
8	030240xx99xxxx	扁桃周囲膿瘍、急性扁桃炎、急性咽頭喉頭炎 手術なし	12
9	03001xxx99x7xx	頭頸部悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等2 7あり	12
10	030390xx99xxxx	顔面神経障害 手術なし	11

呼吸器内科

総件数 311件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	040040xx9910xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1あり 手術・処置等2 なし	76
2	040110xxxxx0xx	間質性肺炎 手術・処置等2 なし	32
3	040040xx9900xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2 なし	16
4	040040xx9909xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2 9あり	12
5	040040xx99041x	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2 4あり 定義副傷病あり	11
6	040040xx99040x	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2 4あり 定義副傷病なし	11
7	040040xx99081x	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2 8あり 定義副傷病あり	11
8	040040xx97x9xx	肺の悪性腫瘍 手術あり 手術・処置等2 9あり	10
9	040040xx9905xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2 5あり	10
10	040081xx99x0xx	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置等2 なし	7

呼吸器外科

総件数 279件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	040040xx97x00x	肺の悪性腫瘍 手術あり 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	121
2	040040xx9910xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1あり 手術・処置等2 なし	21
3	040040xx99040x	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2 4あり 定義副傷病なし	14
4	040200xx01x00x	気胸 肺切除術等 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	10
5	040040xx9909xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2 9あり	7
6	040030xx01xxxx	呼吸器系の良性腫瘍 肺切除術 気管支形成を伴う肺切除等	7
7	040040xx97x10x	肺の悪性腫瘍 手術あり 手術・処置等2 1あり 定義副傷病なし	6
8	040200xx99x00x	気胸 手術なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	6
9	160400xx99x0xx	胸郭・横隔膜損傷 手術なし 手術・処置等2 なし	5
10	040310xxxxxxx	その他の呼吸器の障害	5

循環器内科

総件数 1139件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	050050xx9910xx	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 手術・処置等1 1あり 手術・処置等2 なし	279
2	050050xx0200xx	狭心症、慢性虚血性心疾患 経皮的冠動脈形成術等 手術・処置等1なし、1,2あり 手術・処置等2 なし	210
3	050210xx97000x	徐脈性不整脈 手術あり 手術・処置等1なし、1,3あり 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	81
4	050130xx9900xx	心不全 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2 なし	56
5	050030xx97000x	急性心筋梗塞（続発性合併症を含む。）、再発性心筋梗塞 その他の手術あり 手術・処置等1なし、1あり 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	46
6	050080xx9910xx	弁膜症（連合弁膜症を含む。） 手術なし 手術・処置等1 1あり 手術・処置等2 なし	34
7	050130xx9910xx	心不全 手術なし 手術・処置等1 1あり 手術・処置等2 なし	30
8	050080xx9701xx	弁膜症（連合弁膜症を含む。） その他の手術あり 手術・処置等1なし、1あり 手術・処置等2 1あり	30
9	050050xx9920xx	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 手術・処置等1 2あり 手術・処置等2 なし	29
10	050163xx9910xx	非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤 手術なし 手術・処置等1 1あり 手術・処置等2 なし	17

DPC 統計

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインディケータ

心臓血管外科

総件数 284件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	050170xx03000x	閉塞性動脈疾患 動脈塞栓除去術 その他のもの(観血的なもの)等手術・処置等1なし、1あり手術・処置等2なし定義副傷病なし	34
2	050163xx03x1xx	非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤 ステントグラフト内挿術 手術・処置等2 1あり	29
3	050163xx02x1xx	非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤 大動脈瘤切除術(吻合又は移植を含む。) 腹部大動脈(分枝血管の再建を伴うもの)等手術・処置等2 1あり	27
4	050080xx0101xx	弁膜症(連合弁膜症を含む。) ロス手術(自己肺動脈弁組織による大動脈基部置換術)等手術・処置等1なし手術・処置等2 1あり	18
5	050163xx01x1xx	非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤 大動脈瘤切除術(吻合又は移植を含む。) 上行大動脈及び弓部大動脈の同時手術等手術・処置等2 1あり	17
6	050161xx97x1xx	解離性大動脈瘤 その他の手術あり 手術・処置等2 1あり	14
7	050130xx9900xx	心不全 手術なし 手術・処置等1なし手術・処置等2なし	12
8	050080xx0111xx	弁膜症(連合弁膜症を含む。) ロス手術(自己肺動脈弁組織による大動脈基部置換術)等手術・処置等1あり手術・処置等2 1あり	12
9	050170xx02010x	閉塞性動脈疾患 動脈形成術、吻合術 指(手、足)の動脈等手術・処置等1なし、1あり手術・処置等2あり定義副傷病なし	11
10	050161xx9900xx	解離性大動脈瘤 手術なし 手術・処置等1なし手術・処置等2なし	10

乳腺・甲状腺外科

総件数 290件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	090010xx010xxx	乳房の悪性腫瘍 乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術(腋窩部郭清を伴うもの(内視鏡下によるものを含む。))等手術・処置等1なし	53
2	100130xx97x0xx	甲状腺の良性結節 手術あり 手術・処置等2なし	46
3	100020xx010xxx	甲状腺の悪性腫瘍 甲状腺悪性腫瘍手術 切除(頸部外側区域郭清を伴わないもの)等手術・処置等1なし	35
4	090010xx02xxxx	乳房の悪性腫瘍 乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術(腋窩部郭清を伴わないもの)	35
5	090010xx99x4xx	乳房の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等2 4あり	29
6	100220xx01xxxx	原発性副甲状腺機能亢進症、副甲状腺腫瘍 副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成手術 副甲状腺(上皮小体)摘出術等	12
7	090010xx99x8xx	乳房の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等2 8あり	10
8	100140xx97xxxx	甲状腺機能亢進症 手術あり	8
9	03001xxx0100xx	頭頸部悪性腫瘍 頸部悪性腫瘍手術等手術・処置等1なし手術・処置等2なし	6
10	090010xx99x0xx	乳房の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等2なし	6

消化器内科

総件数 806件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	060340xx03x00x	胆管(肝内外)結石、胆管炎 限局性腹腔膿瘍手術等手術・処置等2なし定義副傷病なし	146
2	060020xx04xxxx	胃の悪性腫瘍 内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術	49
3	06007xxx97x00x	膵臓、脾臓の腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等2なし定義副傷病なし	38
4	060060xx9710xx	胆嚢、肝外胆管の悪性腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等1あり手術・処置等2なし	38
5	060100xx01xxxx	小腸大腸の良性疾患(良性腫瘍を含む。) 内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術	31
6	06007xxx9900xx	膵臓、脾臓の腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし手術・処置等2なし	27
7	060140xx97x0xx	胃十二指腸潰瘍、胃憩室症、幽門狭窄(穿孔を伴わないもの) その他の手術あり 手術・処置等2なし	22
8	060130xx0200xx	食道、胃、十二指腸、他腸の炎症(その他良性疾患) 内視鏡的消化管止血術等手術・処置等1なし手術・処置等2なし	21
9	060102xx02xxxx	穿孔又は膿瘍を伴わない憩室性疾患 小腸結腸内視鏡的止血術等	21
10	060130xx9700xx	食道、胃、十二指腸、他腸の炎症(その他良性疾患) その他の手術あり 手術・処置等1なし手術・処置等2なし	19

消化器外科・一般外科

総件数 1719件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	060035xx010x0x	結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍 結腸切除術 全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術等手術・処置等1なし定義副傷病なし	113
2	060020xx02xxxx	胃の悪性腫瘍 胃切除術 悪性腫瘍手術等	79
3	060050xx02xxxx	肝・肝内胆管の悪性腫瘍(続発性を含む。) 肝切除術 部分切除等	68
4	060335xx02000x	胆嚢炎等 腹腔鏡下胆嚢摘出術等手術・処置等1なし手術・処置等2なし定義副傷病なし	58
5	060010xx99x40x	食道の悪性腫瘍(頭部を含む。) 手術なし 手術・処置等2 4あり定義副傷病なし	56
6	060160x001xxxx	鼠径ヘルニア(15歳以上) ヘルニア手術 鼠径ヘルニア等	55
7	060570xx97xxxx	その他の消化管の障害 手術あり	54
8	060040xx0210xx	直腸肛門(直腸S状部から肛門)の悪性腫瘍 肛門悪性腫瘍手術 切除等手術・処置等1あり手術・処置等2なし	53
9	060210xx99000x	ヘルニアの記載のない腸閉塞 手術なし 手術・処置等1なし手術・処置等2なし定義副傷病なし	52
10	060330xx02xxxx	胆嚢疾患(胆嚢結石など) 腹腔鏡下胆嚢摘出術等	45

泌尿器科

総件数 507件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	110200xx02xxxx	前立腺肥大症等 経尿道的前立腺手術等	67
2	110080xx991xxx	前立腺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 1あり	63
3	11012xxx020x0x	上部尿路疾患 経尿道的尿路結石除去術 手術・処置等 1なし 定義副傷病なし	47
4	110070xx03x0xx	膀胱腫瘍 膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 手術・処置等 2なし	43
5	110420xx02xx0x	水腎症等 経尿道的尿管ステント留置術等 定義副傷病なし	29
6	11001xxx01x0xx	腎腫瘍 腎(尿管)悪性腫瘍手術等 手術・処置等 2なし	20
7	110080xx01xxxx	前立腺の悪性腫瘍 前立腺悪性腫瘍手術等	19
8	110080xx02xx0x	前立腺の悪性腫瘍 精巣摘出術 定義副傷病なし	15
9	11012xxx97xx0x	上部尿路疾患 その他の手術あり 定義副傷病なし	12
10	110060xx99x20x	腎盂・尿管の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 2 2あり 定義副傷病なし	10

腎臓内科・膠原病科

総件数 118件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	110280xx9900xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 手術・処置等 1なし 手術・処置等 2なし	50
2	110280xx02x00x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 動脈形成術、吻合術 その他の動脈等 手術・処置等 2なし 定義副傷病なし	15
3	110280xx9901xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 手術・処置等 1なし 手術・処置等 2 1あり	11
4	110280xx02x1xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 動脈形成術、吻合術 その他の動脈等 手術・処置等 2 1あり	8
5	110260xx99x0xx	ネフローゼ症候群 手術なし 手術・処置等 2なし	5
6	110280xx97x00x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 その他の手術あり 手術・処置等 2なし 定義副傷病なし	4
7	070560xx99x00x	重篤な臓器病変を伴う全身性自己免疫疾患 手術なし 手術・処置等 2なし 定義副傷病なし	2
8	110310xx99xxxx	腎臓又は尿路の感染症 手術なし	2
9	110270xx99x0xx	急速進行性腎炎症候群 手術なし 手術・処置等 2なし	2
10	110280xx02x3xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 動脈形成術、吻合術 その他の動脈等 手術・処置等 2 3あり	1

婦人科

総件数 511件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	12002xxx99x40x	子宮頸・体部の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 2 4あり 定義副傷病なし	57
2	12002xxx02x0xx	子宮頸・体部の悪性腫瘍 子宮頸部(腔部)切除術等 手術・処置等 2なし	45
3	120060xx01xxxx	子宮の良性腫瘍 子宮全摘術等	40
4	120060xx02xxxx	子宮の良性腫瘍 腹腔鏡下腔式子宮全摘術等	33
5	120070xx02xxxx	卵巣の良性腫瘍 卵巣部分切除術(腔式を含む。) 腹腔鏡によるもの等	32
6	120010xx99x50x	卵巣・子宮付属器の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 2 5あり 定義副傷病なし	31
7	120090xx97xxxx	生殖器脱出症 手術あり	28
8	12002xxx01x0xx	子宮頸・体部の悪性腫瘍 子宮悪性腫瘍手術等 手術・処置等 2なし	23
9	120010xx99x70x	卵巣・子宮付属器の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 2 7あり 定義副傷病なし	17
10	120100xx01xxxx	子宮内膜症 子宮全摘術等	15

生殖医療科

総件数 4件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	120110xx99xxxx	子宮・子宮付属器の炎症性疾患 手術なし	2
2	120300xxxxxxxx	人工授精に関する合併症	2

DPC 統計

移植外科

総件数 114件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	110280xx02x00x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 動脈形成術、吻合術 その他の動脈等 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	22
2	110280xx9900xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 手術・処置等1 なし 手術・処置等2 なし	15
3	110280xx03x0xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 内シャント血栓除去術等 手術・処置等2 なし	15
4	110310xx99xxxx	腎臓又は尿路の感染症 手術なし	11
5	110280xx97x1xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 その他の手術あり 手術・処置等2 1あり	10
6	110280xx97x00x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 その他の手術あり 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	4
7	180041xxxxxxx	移植臓器及び組織の不全及び拒絶反応	4
8	060380xxxxx00x	ウイルス性腸炎 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	2
9	060150xx03xxxx	虫垂炎 虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍を伴わないもの等	2
10	0400801299x001	肺炎等（市中肺炎かつ15歳以上65歳未満） 手術なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし A-DROP スコア1	2

救命救急科

総件数 34件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	050210xx9901xx	徐脈性不整脈 手術なし 手術・処置等1 なし 手術・処置等2 1あり	4
2	180010x0xxx3xx	敗血症（1歳以上） 手術・処置等2 3あり	3
3	161070xxxxx00x	薬物中毒（その他の中毒） 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	2
4	110290xx99x3xx	急性腎不全 手術なし 手術・処置等2 3あり	1
5	110310xx99xxxx	腎臓又は尿路の感染症 手術なし	1
6	160200xx99x0xx	顔面損傷（口腔、咽頭損傷を含む。） 手術なし 手術・処置等2 なし	1
7	160400xx99x0xx	胸郭・横隔膜損傷 手術なし 手術・処置等2 なし	1
8	160870xx99x00x	頸椎頭髄損傷 手術なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	1
9	160990xx97x1xx	多部位外傷 手術あり 手術・処置等2 あり	1
10	180010x0xxx2xx	敗血症（1歳以上） 手術・処置等2 2あり	1

小児科

総件数 814件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	040090xxxxx0x	急性気管支炎、急性細気管支炎、下気道感染症（その他） 定義副傷病なし	135
2	140010x199x0xx	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害（出生時体重2500g以上） 手術なし 手術・処置等2 なし	129
3	010230xx99x00x	てんかん 手術なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	50
4	060380xxxxx00x	ウイルス性腸炎 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	36
5	150040xxxxx0xx	熱性けいれん 手術・処置等2 なし	34
6	140010x299x0xx	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害（出生時体重1500g以上2500g未満） 手術なし 手術・処置等2 なし	32
7	180030xxxxx0x	その他の感染症（真菌を除く。） 定義副傷病なし	27
8	040100xxxxx00x	喘息 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	25
9	140010x199x1xx	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害（出生時体重2500g以上） 手術なし 手術・処置等2 1あり	20
10	030270xxxxxxx	上気道炎	19

小児外科

総件数 150件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	060160x101xxxx	鼠径ヘルニア（15歳未満） ヘルニア手術 鼠径ヘルニア等	40
2	11022xxx01xxxx	男性生殖器疾患 精索捻転手術等	26
3	060170xx02xxxx	閉塞、壊疽のない腹腔のヘルニア ヘルニア手術 腹壁瘻痕ヘルニア等	19
4	140590xx97xxxx	停留精巣 手術あり	17
5	060150xx03xxxx	虫垂炎 虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍を伴わないもの等	5
6	040180xx97xxxx	気管支狭窄など気管通過障害 手術あり	3
7	060150xx99xx0x	虫垂炎 手術なし 定義副傷病なし	3
8	140420xx01xxxx	腸重積 腸重積症整復術 非観血的なもの	3
9	140260xx97xxxx	胸郭の変形及び先天異常 その他の手術あり	2
10	060130xx9900xx	食道、胃、十二指腸、他腸の炎症（その他良性疾患） 手術なし 手術・処置等1 なし 手術・処置等2 なし	2

産科			総件数 523件
順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	120180xx01xxxx	胎児及び胎児付属物の異常 子宮全摘術等	142
2	120260xx01xxxx	分娩の異常 子宮破裂手術等	65
3	120170x199xxxx	早産、切迫早産（妊娠週数34週未満） 手術なし	42
4	120180xx99xx0x	胎児及び胎児付属物の異常 手術なし 定義副傷病なし	31
5	120260xx99xxxx	分娩の異常 手術なし	28
6	120170x101xxxx	早産、切迫早産（妊娠週数34週未満） 子宮破裂手術等	26
7	120180xx02xxxx	胎児及び胎児付属物の異常 骨盤位娩出術等	26
8	120260xx02xxxx	分娩の異常 骨盤位娩出術等	23
9	120165xx99xxxx	妊娠合併症等 手術なし	15
10	120160xx01xxxx	妊娠高血圧症候群関連疾患 子宮破裂手術等	15

皮膚科			総件数 26件
順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	080020xxxxxxxx	帯状疱疹	7
2	080105xxxxx2xx	重症薬疹 手術・処置等2 2あり	2
3	161070xxxxx00x	薬物中毒（その他の中毒） 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	2
4	080110xxxxx2xx	水疱症 手術・処置等2 2あり	2
5	080100xxxx0xxx	薬疹、中毒疹 手術・処置等1 なし	2
6	080010xxxx0xxx	膿皮症 手術・処置等1 なし	2
7	050180xx99xx0x	静脈・リンパ管疾患 手術なし 定義副傷病なし	2
8	080140xxxx0xx	炎症性角化症 手術・処置等2 なし	1
9	130111xxxxx00x	アレルギー性紫斑病 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	1
10	160660xxxx1xxx	皮下軟部損傷・挫滅損傷、開放創 手術・処置等1あり	1

整形外科			総件数 1051件
順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	160800xx01xxxx	股関節・大腿近位の骨折 人工骨頭挿入術 肩、股等	121
2	070343xx99x1xx	脊柱管狭窄（脊椎症を含む。） 腰部骨盤、不安定椎 手術なし 手術・処置等2 1あり	83
3	070343xx01x0xx	脊柱管狭窄（脊椎症を含む。） 腰部骨盤、不安定椎 椎間固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（多椎間又は多椎弓の場合を含む。） 前方椎体固定等 手術・処置等2 なし	54
4	07040xxx01xxxx	股関節骨頭壊死、股関節症（変形性を含む。） 人工関節再置換術等	36
5	160690xx01xxxx	胸椎、腰椎以下骨折損傷（胸・腰髄損傷を含む。） 脊椎、骨盤脱臼観血的手術等	35
6	070230xx01xxxx	膝関節症（変形性を含む。） 人工関節再置換術等	34
7	070343xx97x0xx	脊柱管狭窄（脊椎症を含む。） 腰部骨盤、不安定椎 その他の手術あり 手術・処置等2 なし	27
8	160720xx01xxxx	肩関節周辺の骨折・脱臼 骨折観血的手術 肩甲骨、上腕、大腿等	24
9	070341xx99x1xx	脊柱管狭窄（脊椎症を含む。） 頭部 手術なし 手術・処置等2 あり	24
10	160700xx97xx0x	鎖骨・肩甲骨の骨折 手術あり 定義副傷病なし	23

形成外科			総件数 137件
順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	160200xx0200xx	顔面損傷（口腔、咽頭損傷を含む。） 鼻骨骨折整復固定術等 手術・処置等1 なし 手術・処置等2 なし	10
2	090010xx04xxxx	乳房の悪性腫瘍 組織拡張器による再建手術（一連につき） 乳房（再建手術）の場合等	8
3	080007xx010xxx	皮膚の良性新生物 皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）等 手術・処置等1 なし	8
4	080006xx01x0xx	皮膚の悪性腫瘍（黒色腫以外） 皮膚悪性腫瘍切除術等 手術・処置等2 なし	8
5	070395xx971xxx	壊死性筋膜炎 手術あり 手術・処置等1 あり	5
6	070010xx970xxx	骨軟部の良性腫瘍（脊椎脊髄を除く。） その他の手術あり 手術・処置等1 なし	5
7	140210xx01xxxx	先天性耳瘻孔、副耳 先天性耳瘻管摘出術	4
8	070570xx010xxx	癬痕拘縮 癬痕拘縮形成手術 手術・処置等1 なし	4
9	080010xxxx1xxx	膿皮症 手術・処置等1 あり	4
10	160660xxxx1xxx	皮下軟部損傷・挫滅損傷、開放創 手術・処置等1 あり	4

DPC 統計

緩和ケア内科

総件数 1件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	110050xx97x00x	後腹膜疾患 その他の手術あり 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	1

児童精神科

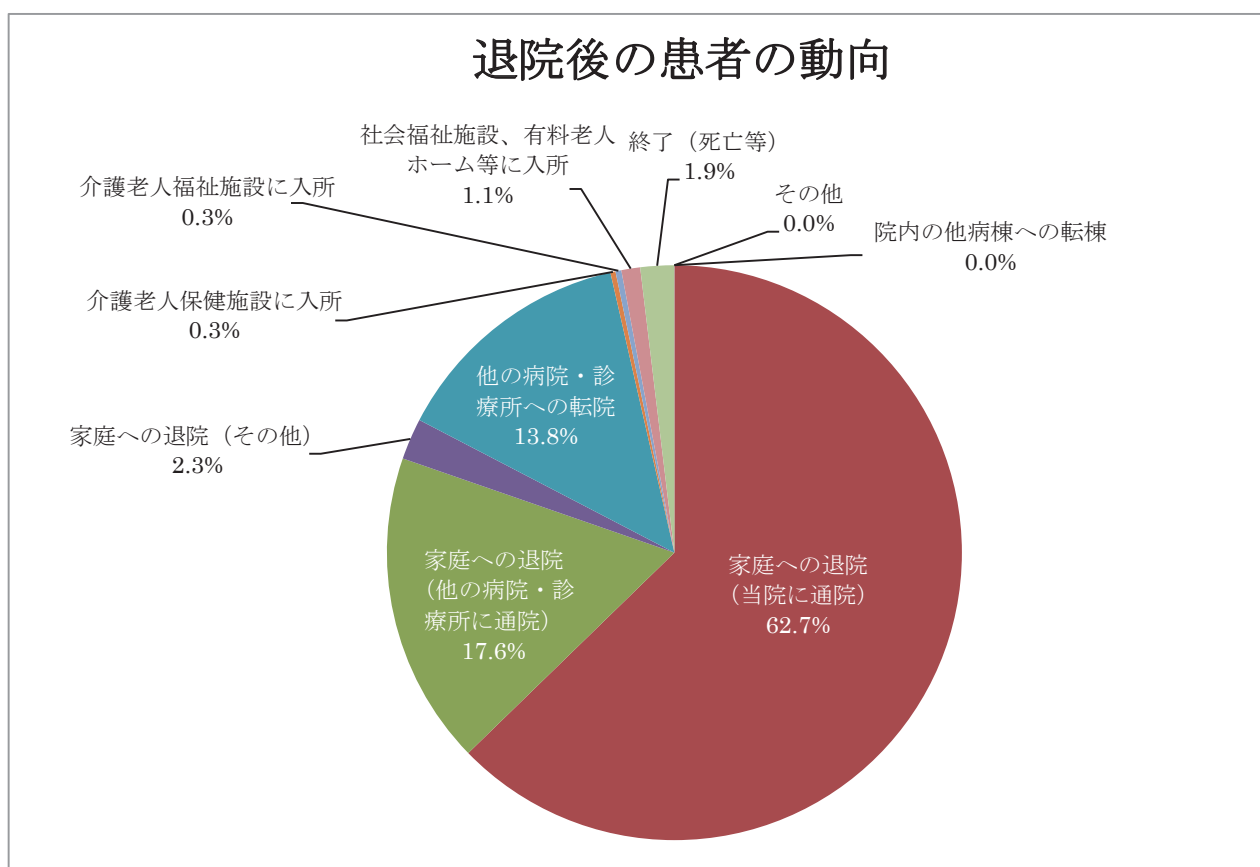
総件数 30件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	170060xxxxxxxx	その他の精神及び行動の障害	16
2	170050xxxxxxxx	神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害	8
3	100270xxxxx0xx	間脳下垂体疾患 (その他) 手術・処置等2 なし	2
4	160990xx97x0xx	多部位外傷 手術あり 手術・処置等2 なし	2
5	080100xxxx0xxx	薬疹、中毒疹 手術・処置等1 なし	1
6	170040xxxxxxxx	気分 [感情] 障害	1

(6) 退院後の患者の動向

対象：令和3年4月1日～令和4年3月31日退院患者

退院先	件数
院内の他病棟への転棟	0
家庭への退院（当院に通院）	7,192
家庭への退院（他の病院・診療所に通院）	2,017
家庭への退院（その他）	266
他の病院・診療所への転院	1,581
介護老人保健施設に入所	33
介護老人福祉施設に入所	38
社会福祉施設、有料老人ホーム等に入所	121
終了（死亡等）	217
その他	1
合計	11,466



5 悪性新生物統計

(1) 悪性新生物 主な手術・処置件数

令和3年度

コード	部位	主な手術・処置 (1入院に対して主な手術・処置を1つ選択)	件数	在院日数の平均 (日)		
C00-C14 口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物<腫瘍>						
C01 ~C06	舌、舌根<基底>部、口腔、 歯肉	口腔、顎、顔面悪性腫瘍切除術	4	40.3		
		化学療法ありかつ放射線療法なし	3	3.0		
		咽頭悪性腫瘍手術 (軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	2	31.5		
		化学療法ありかつ放射線療法なし	2	9.0		
		食道狭窄拡張術 拡張用バルーンによるもの	2	2.0		
		セツキシマブ	1	3.0		
		咽頭悪性腫瘍手術 (軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	1	8.0		
C07~C08	耳下腺、唾液腺	顎下腺摘出術	1	8.0		
		ペムプロリズマブ	1	7.0		
		リンパ節摘出術 長径3センチメートル以上	1	7.0		
C09	扁桃	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	1	130.0		
C10	中咽頭	胃瘻造設術 (経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	4	37.0		
		化学療法ありかつ放射線療法あり	3	21.0		
		化学療法ありかつ放射線療法なし	1	3.0		
		口腔、顎、顔面悪性腫瘍切除術	1	39.0		
		喉頭悪性腫瘍手術 全摘	1	22.0		
C11	鼻<上>咽頭	咽頭悪性腫瘍手術 (軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	1	24.0		
		胃瘻造設術 (経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	1	70.0		
C12	梨状陥凹<洞>	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	1	80.0		
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	5	33.8		
		喉頭、下咽頭悪性腫瘍手術 (頸部、胸部、腹部等の操作による再建を含む。)	2	25.5		
C13	下咽頭	化学療法ありかつ放射線療法あり	1	36.0		
		喉頭形成手術 人工形成材料挿置術、軟骨片挿置術	1	3.0		
		ペムプロリズマブ	9	3.0		
		喉頭、下咽頭悪性腫瘍手術 (頸部、胸部、腹部等の操作による再建を含む。)	3	29.7		
		セツキシマブ	1	3.0		
C15-C26	消化器の悪性新生物<腫瘍>	胃瘻造設術 (経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	1	11.0		
		咽頭悪性腫瘍手術 (軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	1	15.0		
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	1	32.0		
		化学療法ありかつ放射線療法なし	71	8.6		
		化学療法ありかつ放射線療法あり	35	10.7		
C15	食道	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	28	15.4		
		胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術 頸部、胸部、腹部の操作によるもの	20	49.0		
		内視鏡的食道粘膜切除術 早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術	13	8.8		
		胃瘻造設術 (経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	5	18.4		
		創傷処理 筋肉、臓器に達するもの (長径5センチメートル未満)	4	23.8		
		食道空置バイパス作成術	3	51.0		
		気管・気管支ステント留置術 硬性鏡によるもの	2	6.5		
		内視鏡的食道及び胃内異物摘出術	2	32.5		
		胸水・腹水濾過濃縮再静注法	2	3.0		
		縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術	2	58.5		
		中心静脈注射用植込型カテーテル設置 (四肢)	2	22.5		
		ニボルマブ	1	6.0		
		胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術 胸部、腹部の操作によるもの	1	23.0		
		食道悪性腫瘍手術 (単に切除のみのもの) 胸部食道の場合	1	22.0		
		食道狭窄拡張術 拡張用バルーンによるもの	1	11.0		
		食道切除後2次的再建術 消化管利用によるもの	1	29.0		
		C16 ~C17	胃・小腸	腹腔鏡下胃切除術 悪性腫瘍手術	52	14.2
				内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術 早期悪性腫瘍粘膜切除術	25	8.0
内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術 早期悪性腫瘍胃粘膜下層剥離術	24			8.3		
胃切除術 悪性腫瘍手術	21			19.3		
胃全摘術 悪性腫瘍手術	14			26.1		
腹腔鏡下胃全摘術 悪性腫瘍手術	8			17.3		
胃腸吻合術 (ブラウン吻合を含む。)	6			21.8		
腹腔鏡下試験開腹術	4			6.5		
腹腔鏡下噴門側胃切除術 悪性腫瘍切除術	4			12.0		
内視鏡的胃、十二指腸狭窄拡張術	3			12.0		

コード	部位	主な手術・処置（1入院に対して主な手術・処置を1つ選択）	件数	在院日数の平均（日）
C16 ~C17	胃・小腸	胸水・腹水濾過濃縮再静注法	3	22.3
		オキサリプラチン	3	12.0
		化学療法ありかつ放射線療法なし	3	5.0
		膵頭部腫瘍切除術 リンパ節・神経叢郭清等を伴う腫瘍切除術の場合又は十二指腸温存膵頭切除術の場合	3	27.7
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用挿込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	3	10.0
		内視鏡的胆道ステント留置術	2	2.0
		腹腔鏡下胃局所切除術 内視鏡処置を併施するもの	2	10.0
		腹腔鏡下胃腸吻合術	1	18.0
		胃局所切除術	1	10.0
		腹腔鏡下試験切除術	1	5.0
内視鏡的消化管止血術	1	11.0		
内視鏡的乳頭切開術 乳頭括約筋切開のみのもの	1	9.0		
C18 ~C21	結腸、直腸、肛門	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	148	14.4
		腹腔鏡下直腸切除・切断術	112	16.4
		人工肛門閉鎖術 腸管切除を伴うもの その他のもの	41	9.6
		腹腔鏡下人工肛門造設術	6	13.3
		結腸切除術 全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術	5	25.2
		早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	5	8.2
		内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術	5	3.6
		化学療法なしかつ放射線療法あり	4	35.8
		骨盤内臓全摘術	2	195.5
		直腸切除・切断術 切除術	2	16.0
		腹腔鏡下結腸切除術 全切除、亜全切除	1	80.0
		人工肛門造設術	1	57.0
		化学療法ありかつ放射線療法あり	1	21.0
		回腸（結腸）導管造設術	1	21.0
		腸管癒着症手術	1	15.0
		人工肛門形成術 その他のもの	1	14.0
		腹腔鏡下人工肛門閉鎖術（悪性腫瘍に対する直腸切除術後のもの）	1	13.0
		試験開腹術	1	11.0
		人工肛門閉鎖術 腸管切除を伴わないもの	1	9.0
		小腸・結腸狭窄部拡張術（内視鏡によるもの）	1	2.0
直腸腫瘍摘出術（ポリープ摘出を含む。） 経肛門	1	2.0		
C22	肝及び肝内胆管	血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等） 選択的動脈化学塞栓術	22	3.8
		肝切除術 亜区域切除	12	11.3
		肝切除術 2区域切除	9	15.3
		肝切除術 1区域切除（外側区域切除を除く。）	9	13.4
		肝切除術 部分切除 単回の切除によるもの	9	11.8
		内視鏡的胆道ステント留置術	4	16.0
		血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等） 止血術	4	10.0
		肝切除術 外側区域切除	3	12.0
		肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法	3	5.0
		血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等） その他のもの	3	4.0
		内視鏡的乳頭切開術 乳頭括約筋切開のみのもの	2	9.0
		肝切除術 2区域切除以上であって、血行再建を伴うもの	1	13.0
		肝門部胆管悪性腫瘍手術 血行再建あり	1	12.0
		肝切除術 部分切除 複数回の切除を要するもの	1	11.0
C23 ~C24	胆のう<囊>、胆道	内視鏡的胆道ステント留置術	55	10.1
		膵頭部腫瘍切除術 リンパ節・神経叢郭清等を伴う腫瘍切除術の場合又は十二指腸温存膵頭切除術の場合	6	27.8
		胆嚢悪性腫瘍手術 肝切除（亜区域切除以上）を伴うもの	6	16.0
		肝門部胆管悪性腫瘍手術 血行再建なし	4	15.5
		経皮的胆管ドレナージ術	4	8.8
		胃・十二指腸ファイバースコーピー胆管・膵管造影法	2	5.0
		胆管悪性腫瘍手術 膵頭十二指腸切除及び血行再建を伴うもの	1	27.0
		膵頭部腫瘍切除術 膵頭十二指腸切除術の場合	1	23.0
		肝切除術 2区域切除	1	15.0
		総胆管胃（腸）吻合術	1	14.0
		胆嚢摘出術	1	12.0
		血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等） その他のもの	1	10.0
		腹腔鏡下胆嚢摘出術	1	10.0
		胆嚢悪性腫瘍手術 胆嚢に限局するもの（リンパ節郭清を含む。）	1	9.0
		化学療法	1	8.0
		内視鏡的経鼻胆管ドレナージ術（ENBD）	1	5.0
内視鏡的乳頭切開術 乳頭括約筋切開のみのもの	1	3.0		

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインデキータ

コード	部位	主な手術・処置（1入院に対して主な手術・処置を1つ選択）	件数	在院日数の平均（日）
C25	膵	内視鏡的胆道ステント留置術	69	6.7
		膵頭部腫瘍切除術 リンパ節・神経叢郭清等を伴う腫瘍切除術の場合又は十二指腸温存膵頭切除術の場合	16	22.8
		膵頭部腫瘍切除術 血行再建を伴う腫瘍切除術の場合	11	24.6
		膵体尾部腫瘍切除術 リンパ節・神経叢郭清等を伴う腫瘍切除術の場合	11	19.0
		超音波内視鏡下穿刺吸引生検法	9	2.0
		膵全摘術	4	21.0
		膵体尾部腫瘍切除術 周辺臓器（胃、結腸、腎、副腎等）の合併切除を伴う腫瘍切除術の場合	2	35.0
		胃腸吻合術（ブラウン吻合を含む。）	2	16.5
		胃・十二指腸ファイバースコープ胆管・膵管造影法	2	6.0
		胆管外瘻造設術 経皮経肝によるもの	1	55.0
		肝内胆管外瘻造設術 経皮経肝によるもの	1	27.0
		腹腔鏡下汎発性腹膜炎手術	1	16.0
		膵頭部腫瘍切除術 周辺臓器（胃、結腸、腎、副腎等）の合併切除を伴う腫瘍切除術の場合	1	16.0
		化学療法ありかつ放射線療法あり	1	14.0
		胆嚢摘出術	1	12.0
経皮的肝膿瘍ドレナージ術	1	10.0		
内視鏡的膵管ステント留置術	1	9.0		
血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等） 止血術	1	6.0		
C30-C39 呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物<腫瘍>				
C30 ~C31	鼻腔及び中耳、副鼻腔	化学療法ありかつ放射線療法なし	4	4.0
		動注化学療法	3	32.0
		化学療法ありかつ放射線療法あり	2	58.5
		鼻副鼻腔悪性腫瘍手術 全摘	2	6.5
		鼻副鼻腔悪性腫瘍手術 切除	1	8.0
		上顎洞根治手術	1	4.0
C32	喉頭	喉頭悪性腫瘍手術 全摘	3	21.3
		化学療法なしかつ放射線療法あり	2	36.5
		喉頭、下咽頭悪性腫瘍手術（頭部、胸部、腹部等の操作による再建を含む。）	1	27.0
		喉頭形成手術 人工形成材料挿置術、軟骨片挿置術	1	19.0
C33 ~C34	気管、気管支及び肺	気管支ファイバースコープ	47	3.3
		胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 肺葉切除又は1肺葉を超えるもの	45	9.8
		化学療法ありかつ放射線療法なし	36	4.8
		経気管肺生検法	34	2.7
		胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 区域切除	28	9.3
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	27	20.3
		胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 部分切除	22	7.4
		ラムシルマブ	15	3.1
		経皮的針生検法	10	5.3
		超音波気管支鏡下穿刺吸引生検法（EBUS-TBNA）	10	3.2
		化学療法ありかつ放射線療法あり	9	36.8
		化学療法なしかつ放射線療法あり	9	17.3
		カルボプラチン+パクリタキセルあり	8	20.4
		デュルバルマブ	8	5.3
		ベムプロリズマブ	6	4.3
		ペメトレキセドナトリウム	4	23.8
		気管・気管支ステント留置術 硬性鏡によるもの	2	9.0
		アテゾリズマブ	2	4.0
		気管切開術	1	26.0
		オシメルチニブメシル酸塩	1	9.0
アフアチニブマレイン酸塩	1	8.0		
放射線療法	1	7.0		
ニボルマブ	1	3.0		
C37	胸腺	放射線療法	2	24.5
		縦隔悪性腫瘍手術 広汎摘出	2	12.0
		胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術	2	7.5
C40-C41 骨及び関節軟骨の悪性新生物<腫瘍>				
C40	(四) 肢の骨及び関節軟骨	化学療法ありかつ放射線療法なし	1	9.0
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	1	9.0
C41	その他の骨及び関節軟骨	化学療法	4	5.8
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	1	9.0
C43-C44 皮膚の悪性新生物<腫瘍>				
C43~C44	皮膚及びその他の皮膚	皮膚悪性腫瘍切除術 単純切除	13	8.5
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	1	4.0

コード	部位	主な手術・処置（1入院に対して主な手術・処置を1つ選択）	件数	在院日数の平均（日）
C45-C49	中皮及び軟部組織の悪性新生物<腫瘍>			
C45	中皮腫	ペメトレキセドナトリウム	3	5.0
C48	後腹膜及び腹膜	カルボプラチン+パクリタキセルあり	10	5.9
		トラベクテジン	7	4.0
		後腹膜悪性腫瘍手術	2	33.0
		子宮附属器悪性腫瘍手術（両側）	2	14.5
		腹腔鏡下大網、腸間膜、後腹膜腫瘍摘出術	1	25.0
		胸水・腹水濾過濃縮再静注法	1	12.0
		小腸腫瘍、小腸憩室摘出術（メッケル憩室炎手術を含む。）	1	10.0
		腹腔鏡下小切開後腹膜悪性腫瘍手術	1	9.0
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	1	3.0
C49	その他の結合組織及び軟部組織	化学療法ありかつ放射線療法なし	34	7.2
		四肢・軀幹軟部悪性腫瘍手術 肩、上腕、前腕、大腿、下腿、軀幹	12	19.8
		トラベクテジン	12	4.7
		化学療法ありかつ放射線療法あり	3	12.7
		放射線療法	2	8.0
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	1	7.0
		化学療法なしかつ放射線療法あり	1	5.0
C50	乳房の悪性新生物<腫瘍>			
C50	乳房	乳腺悪性腫瘍手術 乳房切除術（腋窩部郭清を伴わないもの）	36	8.8
		乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴わないもの）	35	6.3
		シクロホスファミド+塩酸エビルピシンあり	18	2.8
		乳腺悪性腫瘍手術 乳房切除術（腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの）・胸筋切除を併施しないもの	11	9.5
		トラスツズマブ	9	6.1
		ドセタキセル	8	2.9
		乳腺悪性腫瘍手術 乳輪温存乳房切除術（腋窩部郭清を伴わないもの）	7	15.1
		ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）	7	8.9
		化学療法ありかつ放射線療法なし	5	2.6
		放射線療法	4	27.0
		乳腺腫瘍摘出術 長径5センチメートル以上	4	4.3
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	4	3.0
		パクリタキセル	3	3.0
		ペルツズマブ	3	2.7
		トラスツズマブ デルクステカン	2	10.0
		乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴うもの（内視鏡下によるものを含む。））	2	9.0
		組織拡張器による再建手術（一連につき）乳房（再建手術）の場合	1	15.0
		陥没乳頭形成術、再建乳房乳頭形成術	1	10.0
		乳腺悪性腫瘍手術 乳房切除術（腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの）・胸筋切除を併施するもの	1	9.0
				リンパ節群郭清術 腋窩
C51-C58	女性生殖器の悪性新生物<腫瘍>			
C51	外陰（部）	女子外生殖器腫瘍摘出術	1	5.0
C53	子宮頸（部）	化学療法ありかつ放射線療法なし	11	5.5
		子宮悪性腫瘍手術	8	13.1
		ベバシズマブ	6	3.8
		子宮頸部（腔部）切除術	3	7.7
		化学療法ありかつ放射線療法あり	1	3.0
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	1	3.0
		子宮頸部摘出術（腔部切断術を含む。）	1	3.0
C54	子宮体部	化学療法ありかつ放射線療法なし	47	4.7
		子宮悪性腫瘍手術	14	9.7
		子宮内膜搔爬術	3	3.0
		子宮全摘術	2	22.0
		腔壁腫瘍摘出術	1	15.0
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	1	11.0
C56	卵巣	カルボプラチン+パクリタキセルあり	30	4.3
		ベバシズマブ	24	6.3
		ドキシソルピシン塩酸塩リポソーム製剤	10	6.1
		子宮附属器悪性腫瘍手術（両側）	9	11.0
		化学療法ありかつ放射線療法なし	8	3.6
		胸水・腹水濾過濃縮再静注法	4	6.3
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	2	5.5
		子宮附属器腫瘍摘出術（両側） 開腹によるもの	1	11.0

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインデキータ

コード	部位	主な手術・処置（1入院に対して主な手術・処置を1つ選択）	件数	在院日数の平均（日）
C57	その他の女性生殖器	カルボプラチン+パクリタキセルあり	1	6.0
		ドキシソルビシン塩酸塩リポソーム製剤	1	4.0
		ペバシズマブ	1	4.0
		胸水・腹水濾過濃縮再静注法	1	3.0
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	1	3.0
C60-C63	男性生殖器の悪性新生物<腫瘍>			
C61	前立腺	前立腺針生検法	62	2.0
		精巣摘出術	20	5.5
		腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	19	10.8
		化学療法	9	8.1
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	7	17.1
		カバジタキセル アセトン付加物	3	13.7
		経尿道的前立腺手術 電解質溶液利用のもの	1	16.0
		ドセタキセル	1	13.0
C62	精巣<睾丸>	精巣悪性腫瘍手術	3	31.3
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	1	65.0
C64-C68	腎尿路の悪性新生物<腫瘍>			
C64	腎盂を除く腎	腹腔鏡下腎（尿管）悪性腫瘍手術	23	9.7
		ニボルマブ	3	6.3
		アキシチニブ	1	9.0
		ペムプロリズマブ	1	8.0
		カボザンチニブリンゴ酸塩	1	6.0
C65	腎盂	化学療法	9	11.0
		腹腔鏡下腎（尿管）悪性腫瘍手術	6	15.5
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	4	29.3
		ペムプロリズマブ	3	7.7
C66	尿管	膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 電解質溶液利用のもの	1	77.0
		腹腔鏡下腎（尿管）悪性腫瘍手術	1	17.0
C67	膀胱	化学療法	1	4.0
		膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 電解質溶液利用のもの	44	6.5
		化学療法	5	4.8
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	3	24.0
		腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術 全摘（回腸又は結腸導管を利用して尿路変更を行うもの）	2	46.5
		腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術 全摘（腸管等を利用して尿路変更を行わないもの）	2	17.0
		ペムプロリズマブ	2	3.5
		腹腔鏡下胆嚢摘出術	1	31.0
C69-C72	眼、脳及び中枢神経系のその他の部位の悪性新生物<腫瘍>			
C69	眼及び付属器	化学療法	3	45.0
C71	脳	頭蓋内腫瘍摘出術 その他のもの	3	64.0
		化学療法なしかつ放射線療法あり	2	16.0
C73-C75	甲状腺及びその他の内分泌腺の悪性新生物<腫瘍>			
C73	甲状腺	甲状腺悪性腫瘍手術 切除（頸部外側区域郭清を伴わないもの）	17	4.9
		甲状腺悪性腫瘍手術 全摘及び亜全摘（片側頸部外側区域郭清を伴うもの）	8	6.3
		甲状腺悪性腫瘍手術 全摘及び亜全摘（頸部外側区域郭清を伴わないもの）	7	5.9
		甲状腺悪性腫瘍手術 切除（頸部外側区域郭清を伴うもの）	5	6.2
		頸部郭清術 片側	5	6.2
		レンバチニブメシル酸塩	3	18.3
		甲状腺悪性腫瘍手術 全摘及び亜全摘（両側頸部外側区域郭清を伴うもの）	2	119.0
C74	副腎	副腎悪性腫瘍手術	1	23.0
C75	その他の内分泌腺及び関連組織	大網、腸間膜、後腹膜腫瘍摘出術 腸切除を伴わないもの	1	11.0
C76-C80	部位不明確、続発部位及び部位不明の悪性新生物<腫瘍>			
C77	リンパ節の続発性及び部位不明	頸部郭清術 片側	2	5.5
		四肢・軀幹幹部腫瘍摘出術 肩、上腕、前腕、大腿、下腿、軀幹	1	16.0
		胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。）	1	14.0
		リンパ節群郭清術 後腹膜	1	11.0
		リンパ節群郭清術 腋窩	1	11.0
		リンパ節群郭清術 頸部（深在性）	1	7.0
		リンパ節摘出術 長径3センチメートル以上	1	4.0

コード	部位	主な手術・処置（1入院に対して主な手術・処置を1つ選択）	件数	在院日数の平均（日）		
C78	呼吸器及び消化器の続発性	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 部分切除	21	12.8		
		肝切除術 部分切除 単回の切除によるもの	13	10.5		
		肝切除術 部分切除 複数回の切除を要するもの	11	10.6		
		胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 区域切除	8	6.9		
		肝切除術 亜区域切除	4	16.8		
		肝切除術 2区域切除	4	11.0		
		肝切除術 1区域切除（外側区域切除を除く。）	4	10.5		
		胸水・腹水濾過濃縮再静注法	3	8.3		
		大網、腸間膜、後腹膜腫瘍摘出術 腸切除を伴わないもの	2	9.5		
		直腸切除・切断術 低位前方切除術	1	15.0		
		肝切除術 外側区域切除	1	12.0		
		経皮的肝膿瘍ドレナージ術	1	10.0		
		試験開腹術	1	8.0		
		血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等） その他のもの	1	5.0		
C79	その他の部位の続発性	放射線療法	8	15.6		
		頭蓋内腫瘍摘出術 その他のもの	3	57.7		
		化学療法なしかつ放射線療法あり	3	20.0		
		脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（多椎間又は多椎弓の場合を含む。） 後方又は後側方固定	3	15.7		
		骨折観血的手術 肩甲骨、上腕、大腿	2	15.0		
		穿頭術（トレパナチオン）	2	14.5		
		腹腔鏡下副腎悪性腫瘍手術	2	9.0		
		脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（多椎間又は多椎弓の場合を含む。） 椎弓切除	1	45.0		
		骨悪性腫瘍手術 肩甲骨、上腕、大腿	1	11.0		
		試験開頭術	1	10.0		
		腹壁腫瘍摘出術（形成手術を必要としない）	1	8.0		
		リンパ節摘出術 長径3センチメートル未満	1	6.0		
		C80	部位の明示なし	化学療法	5	14.0
				腹腔鏡下試験開腹術	2	20.5
リンパ節摘出術 長径3センチメートル未満	2			8.0		
C81-C96	リンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物<腫瘍>、原発と記載された又は推定されたもの					
C81	ホジキン<Hodgkin>リンパ腫	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	3	26.0		
		ブレンツキシマブ ベドチン	3	18.7		
C82	濾胞性〔結節性〕非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	7	23.9		
		オビヌツズマブ	7	13.3		
		ベンダムスチン塩酸塩	5	8.4		
		リツキシマブ	2	5.0		
		化学療法ありかつ放射線療法なし	1	45.0		
		中心静脈注射	1	31.0		
		放射線療法	1	24.0		
		リンパ節群郭清術 後腹膜	1	9.0		
C83	非濾胞性リンパ腫	リツキシマブ	93	12.8		
		化学療法ありかつ放射線療法なし	38	14.0		
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	36	24.8		
		リツキシマブ+フィルグラスチム	28	19.9		
		ポラツズマブ ベドチン	10	13.0		
		創傷処理 筋肉、臓器に達するもの（長径5センチメートル未満）	5	37.8		
		ベンダムスチン塩酸塩	5	14.6		
		造血幹細胞移植（末梢血幹細胞移植）（自家移植）	4	61.8		
		リンパ節摘出術 長径3センチメートル未満	4	26.0		
		造血幹細胞採取（末梢血幹細胞採取）（自家移植）	4	13.3		
		中心静脈注射	3	20.7		
		放射線療法	1	28.0		
C84	成熟T/NK細胞リンパ腫	チラブルチニブ塩酸塩	1	12.0		
		化学療法ありかつ放射線療法なし	8	18.1		
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	7	24.7		
		ブレンツキシマブ ベドチン	7	13.1		
		リンパ節摘出術 長径3センチメートル未満	3	33.0		
		造血幹細胞移植（末梢血幹細胞移植）（自家移植）	2	36.0		
		造血幹細胞採取（末梢血幹細胞採取）（自家移植）	2	18.0		
		造血幹細胞移植（骨髄移植）（同種移植）	1	143.0		
C85	非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫のその他の型	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	5	28.4		
		中心静脈注射	3	18.0		
		造血幹細胞採取（末梢血幹細胞採取）（自家移植）	2	12.0		
		試験開腹術	2	5.0		
		化学療法ありかつ放射線療法なし	1	61.0		
		リツキシマブ	1	10.0		

I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインデキータ

悪性新生物統計

I 病院の概要

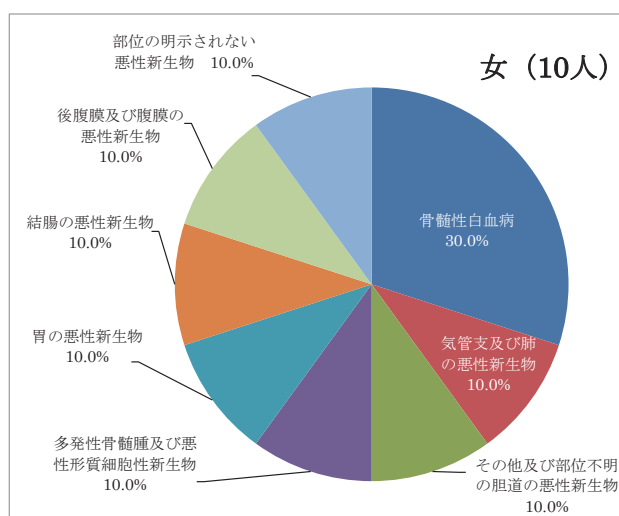
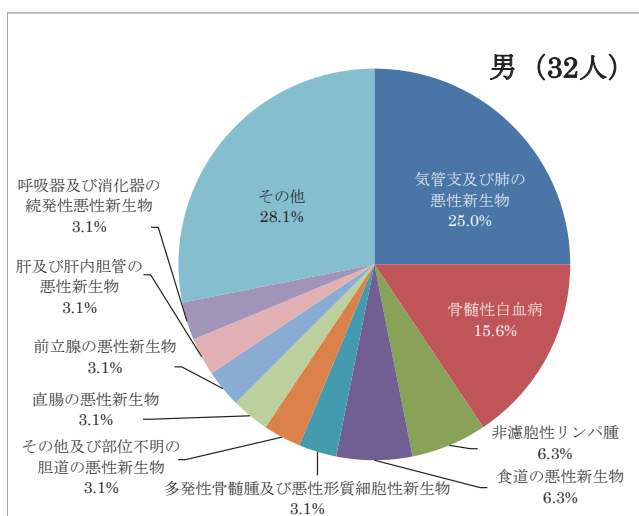
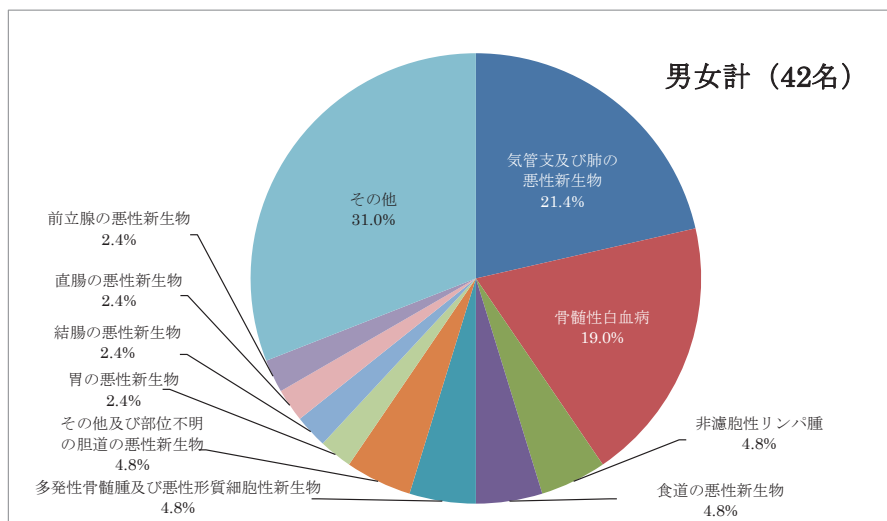
II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインディケータ

コード	部位	主な手術・処置（1入院に対して主な手術・処置を1つ選択）	件数	在院日数の平均（日）
C86	T/NK細胞リンパ腫のその他の明示された型	化学療法ありかつ放射線療法なし	4	13.8
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用挿込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	2	31.5
		ロミデプシン	1	22.0
		ブレンツキシマブ ベドチン	1	15.0
		トロンボモデュリンアルファ	1	3.0
C88	悪性免疫増殖性疾患	創傷処理 筋肉、臓器に達するもの（長径5センチメートル未満）	1	44.0
		放射線療法	1	30.0
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用挿込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	1	16.0
		ベンダムスチン塩酸塩	1	7.0
		リツキシマブ	1	3.0
C90	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物	ボルテゾミブ	13	23.2
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用挿込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	11	39.2
		造血幹細胞移植（末梢血幹細胞移植）（自家移植）	11	28.6
		イサツキシマブ	7	23.6
		ボマリドミド	7	21.3
		パノピノスタット乳酸塩	7	18.0
		造血幹細胞採取（末梢血幹細胞採取）（自家移植）	7	6.1
		化学療法ありかつ放射線療法なし	5	18.4
		レナリドミド	4	22.8
		エロツズマブ	3	48.0
		ダラツムマブ	3	25.7
		ダラツムマブ・ボルヒアルロニダーゼ アルファ	3	20.7
		カルフィルゾミブ	2	32.0
		イキサゾミブクエン酸エステル	2	12.0
		造血幹細胞移植（末梢血幹細胞移植）（同種移植）	1	88.0
ガンマグロブリン	1	8.0		
C91	リンパ性白血病	化学療法ありかつ放射線療法なし	15	25.3
		ダサチニブ	11	21.9
		化学療法	10	26.5
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用挿込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	6	36.2
		中心静脈注射	4	45.8
		モガムリズマブ	3	27.0
		ブレンツキシマブ ベドチン	3	4.3
		造血幹細胞移植（骨髄移植）（同種移植）	2	74.0
		ブリナツモマブ	2	27.5
		造血幹細胞移植（末梢血幹細胞移植）（同種移植）	1	67.0
		ボナチニブ塩酸塩	1	38.0
		小腸切除術 複雑なもの	1	37.0
リンパ節摘出術 長径3センチメートル未満	1	20.0		
ベネトクラクス	1	11.0		
C92	骨髄性白血病	化学療法	58	28.5
		中心静脈注射	19	36.3
		三酸化ヒ素製剤	5	35.6
		造血幹細胞移植（末梢血幹細胞移植）（同種移植）	3	199.0
		造血幹細胞移植（臍帯血移植）	3	125.7
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用挿込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	3	49.3
		ダサチニブ	3	13.0
		ゲムツズマブ オゾガマイシン	2	39.5
		造血幹細胞移植（骨髄移植）（同種移植）	1	120.0
		ボスチニブ	1	15.0
C93	単球性白血病	化学療法	8	25.1
		ギルテリチニブフマル酸塩	1	14.0
C94	細胞型の明示されたその他の白血病	化学療法	1	7.0
C95	細胞型不明の白血病	化学療法	3	21.7
C96	その他及び詳細不明	リンパ節摘出術 長径3センチメートル未満	1	64.0
D00-D09 上皮内新生物<腫瘍>				
D00	口腔、食道及び胃の上皮内癌	内視鏡的食道粘膜切除術 早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術	2	8.0
D04	皮膚の上皮内癌	皮膚悪性腫瘍切除術 単純切除	1	17.0
D06	子宮頸（部）の上皮内癌	子宮頸部（腔部）切除術	18	3.0
		腹腔鏡下腔式子宮全摘術	12	5.9
		子宮頸部異形成上皮又は上皮内癌レーザー照射治療	5	2.6
		子宮全摘術	1	7.0
		子宮頸部摘出術（腔部切断術を含む。）	1	3.0

(2) 悪性新生物による死亡患者数



I 病院の概要

II 各診療科資料

III 各委員会資料

IV クリニカルインディケータ

6 死亡患者統計

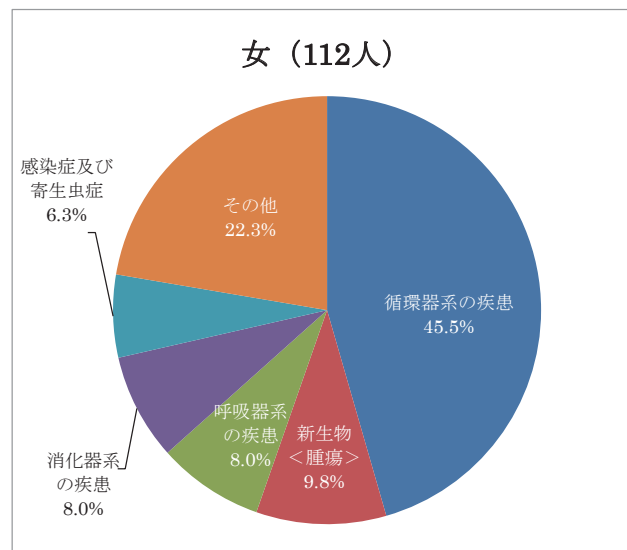
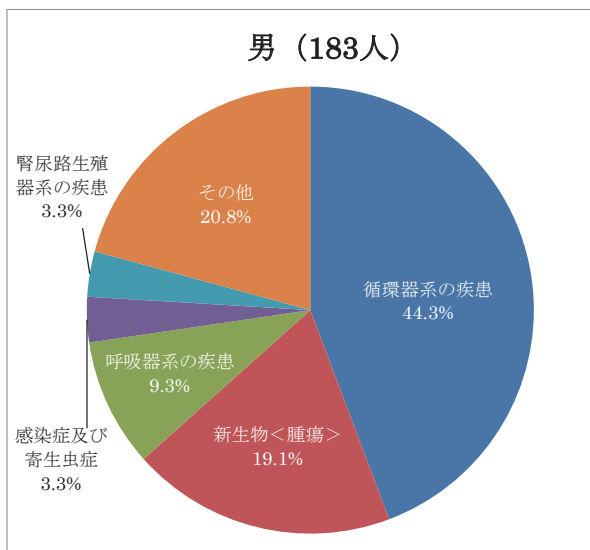
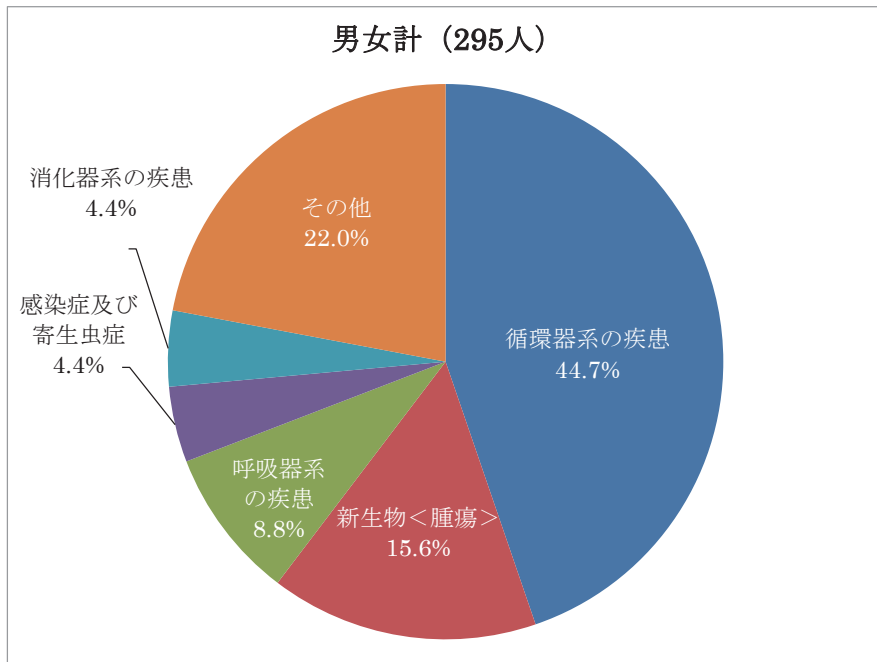
(1) 科別死亡率

診療科	退院患者数			死亡患者数				
	男	女	計	男	女	計	死亡率 (%)	平均年齢 (才)
総合診療科	260	268	528	23	12	35	6.6%	86.3
精神科	51	63	114				-	-
血液内科・輸血科	464	352	816	18	6	24	2.9%	75.0
糖尿病・内分泌内科	64	93	157	3	2	5	3.2%	86.4
放射線療法科		2	2				-	-
感染症科	2	7	9				-	-
腫瘍内科	1		1				-	-
ペインクリニック科	3	8	11				-	-
脳神経外科	325	232	557	18	11	29	5.2%	77.7
眼科	73	51	124				-	-
耳鼻咽喉科	247	142	389	1		1	0.3%	65.0
歯科口腔外科	83	67	150				-	-
呼吸器内科	205	107	312	9	4	13	4.2%	69.8
呼吸器外科	187	96	283	9		9	3.2%	69.8
循環器内科	753	389	1,142	13	10	23	2.0%	80.2
心臓血管外科	196	92	288	8	8	16	5.6%	84.1
乳腺・甲状腺外科	33	259	292				-	-
消化器内科	475	333	808	5	8	13	1.6%	82.2
消化器外科・一般外科	1,096	636	1,732	11	7	18	1.0%	78.8
泌尿器科	394	122	516	2		2	0.4%	71.0
腎臓内科・膠原病科	67	52	119	3	1	4	3.4%	84.8
婦人科		514	514		1	1	0.2%	62.0
生殖医療科		4	4				-	-
移植外科	72	56	128	1		1	0.8%	71.0
救命救急科	63	40	103	52	34	86	83.5%	76.2
小児科	489	390	879	2	3	5	0.6%	3.8
小児外科	102	50	152				-	-
産科		717	717				-	-
皮膚科	11	16	27	1	1	2	7.4%	86.0
整形外科	591	528	1,119	2	3	5	0.4%	88.8
形成外科	83	66	149	2	1	3	2.0%	78.0
緩和ケア内科	1		1				-	-
児童精神科	10	20	30				-	-
合計	6,401	5,772	12,173	183	112	295	2.4%	77.4

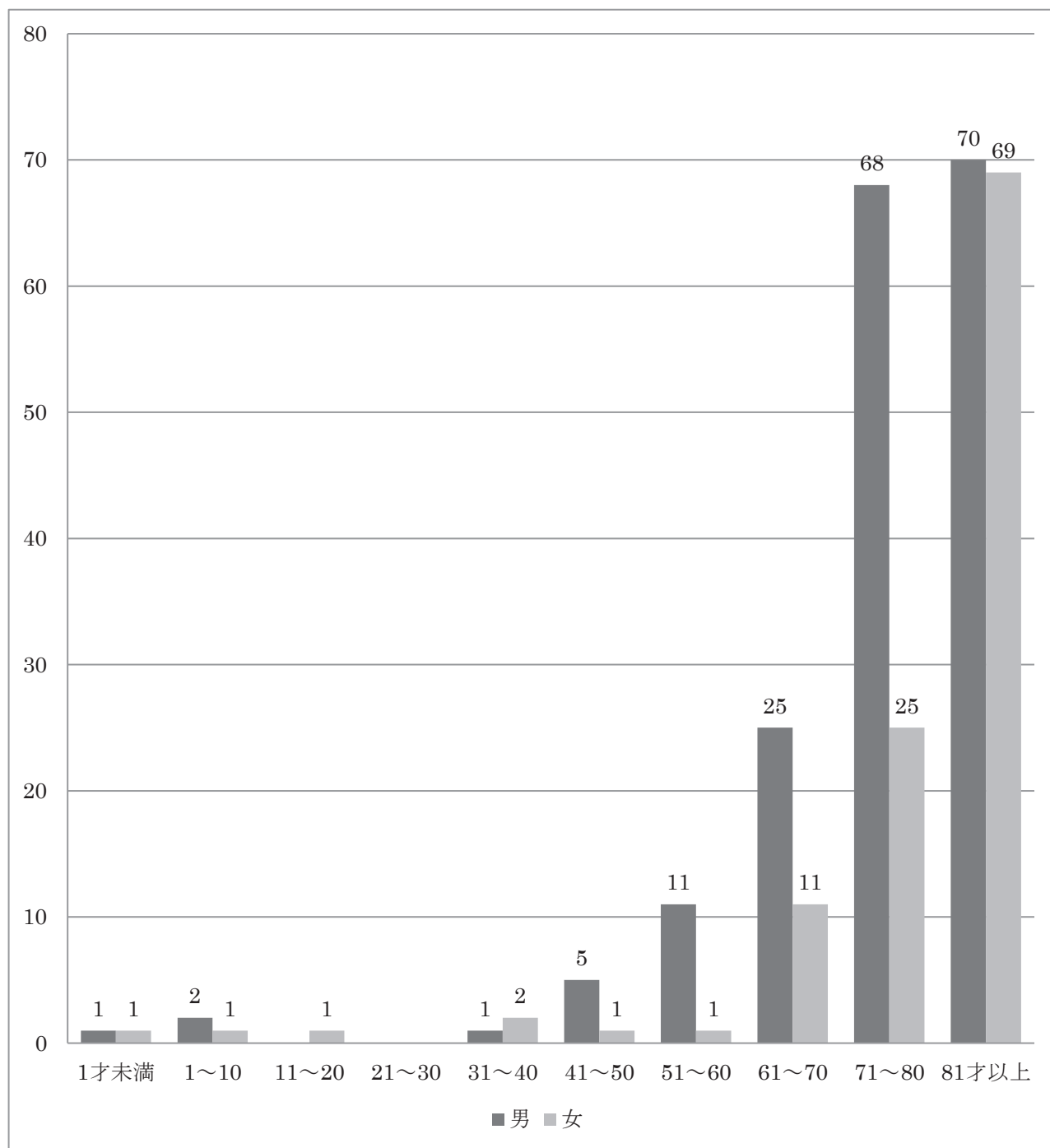
(2) 死亡患者数

疾病大分類		死亡患者数			
		男	女	計	%
I	感染症及び寄生虫症	6	7	13	4.4%
II	新生物<腫瘍>	35	11	46	15.6%
III	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の傷害	2	2	4	1.4%
IV	内分泌, 栄養及び代謝疾患	1	0	1	0.3%
V	精神及び行動の障害				-
VI	神経系の疾患	2	1	3	1.0%
VII	眼及び付属器の疾患				-
VIII	耳及び乳様突起の疾患				-
IX	循環器系の疾患	81	51	132	44.7%
X	呼吸器系の疾患	17	9	26	8.8%
X I	消化器系の疾患	4	9	13	4.4%
X II	皮膚及び皮下組織の疾患	1	1	2	0.7%
X III	筋骨格系及び結合組織の疾患	1	3	4	1.4%
X IV	腎尿路生殖器系の疾患	6	1	7	2.4%
X V	妊娠, 分娩及び産褥				-
X VI	周産期に発生した病態	0	1	1	0.3%
X VII	先天奇形, 変形及び染色体異常	1	0	1	0.3%
X VIII	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1	0	1	0.3%
X IX	損傷, 中毒及びその他の外因の影響	5	5	10	3.4%
X X	傷病及び死亡の外因				-
X X II	その他	20	11	31	10.5%
合 計		183	112	295	100.0%

(3) 死亡患者数の割合



(4) 年齢別死亡患者数



(5) 死亡患者疾病順位表＜性別・年齢別＞

年齢階層	患者数	順位																				
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10											
男 (183人)	1才未満	先天奇形、変形及び染色体異常 1																				
	1-10	循環器系の疾患 1	他に分類されないもの 1																			
	11-20	0																				
	21-30	0																				
	31-40	1	呼吸器系の疾患 1																			
	41-50	5	循環器系の疾患 3	新生物＜腫瘍＞ 2																		
	51-60	11	循環器系の疾患 8	新生物＜腫瘍＞ 1	感染症及び寄生虫症 1	消化器系の疾患 1																
	61-70	25	循環器系の疾患 12	新生物＜腫瘍＞ 1	その他 1																	
	71-80	68	循環器系の疾患 26	新生物＜腫瘍＞ 14	呼吸器系の疾患 9	その他 9	消化器系の疾患 8	感染症及び寄生虫症 3	泌尿生殖器系の疾患 2	腎臓、中等及びその他の外国の影響 2	腎臓、中等及びその他の外国の影響 2	泌尿生殖器系の疾患 2	神経系の疾患 1	皮膚及び皮下組織の疾患 1								
	81才以上	70	循環器系の疾患 31	その他 13	呼吸器系の疾患 7	新生物＜腫瘍＞ 6	泌尿生殖器系の疾患 4	感染症及び寄生虫症 2	消化器系の疾患 2	泌尿生殖器系の疾患 2	消化器系の疾患 2	神経系の疾患 1	泌尿生殖器系の疾患 1	神経系の疾患 1	消化器系の疾患 1							
	1才未満	1	周産期に発生した病態 1																			
	1-10	1	神経系の疾患 1																			
	11-20	1	消化器系の疾患 1																			
	21-30	0																				
31-40	2	循環器系の疾患 2																				
41-50	1	新生物＜腫瘍＞ 1																				
51-60	1	循環器系の疾患 1																				
61-70	11	新生物＜腫瘍＞ 4	循環器系の疾患 3	その他 3	呼吸器系の疾患 1	呼吸器系の疾患 1	呼吸器系の疾患 1	呼吸器系の疾患 1	呼吸器系の疾患 1	呼吸器系の疾患 1	呼吸器系の疾患 1	呼吸器系の疾患 1	呼吸器系の疾患 1	呼吸器系の疾患 1	呼吸器系の疾患 1	呼吸器系の疾患 1	呼吸器系の疾患 1	呼吸器系の疾患 1	呼吸器系の疾患 1	呼吸器系の疾患 1		
71-80	25	循環器系の疾患 11	新生物＜腫瘍＞ 4	その他 3	消化器系の疾患 2	消化器系の疾患 2	消化器系の疾患 2	消化器系の疾患 2	消化器系の疾患 2	消化器系の疾患 2	消化器系の疾患 2	消化器系の疾患 2	消化器系の疾患 2	消化器系の疾患 2	消化器系の疾患 2	消化器系の疾患 2	消化器系の疾患 2	消化器系の疾患 2	消化器系の疾患 2	消化器系の疾患 2		
81才以上	69	循環器系の疾患 34	その他 8	呼吸器系の疾患 7	消化器系の疾患 6	感染症及び寄生虫症 6	泌尿生殖器系の疾患 6	泌尿生殖器系の疾患 6	泌尿生殖器系の疾患 6	泌尿生殖器系の疾患 6	泌尿生殖器系の疾患 6	泌尿生殖器系の疾患 6	泌尿生殖器系の疾患 6	泌尿生殖器系の疾患 6	泌尿生殖器系の疾患 6	泌尿生殖器系の疾患 6	泌尿生殖器系の疾患 6	泌尿生殖器系の疾患 6	泌尿生殖器系の疾患 6	泌尿生殖器系の疾患 6		

令和3年度
高知医療センター年報

発行 高知医療センター 広報委員会

〒781-8555 高知市池2125番地1

電話 088-837-3000(代)

